

SAITAMA
KAWAGOE
KUMAGAYA
KAWAGUCHI
GYODA
CHICHIBU
TOKOROZAWA
HANNO
KAZO
HONJO
HIGASHIMATSUYAMA
KASUKABE
SAYAMA
HANYU
KONOSU
FUKAYA
AGEO
SOKA
KOSHIGAYA
WARABI
TODA
IRUMA
ASAKA
SHIKI
WAKO
NIIZA
OKEGAWA
KUKI
KITAMOTO
YASHIO
FUJIMI
MISATO
HASUDA
SAKADO
SATTE
TSURUGASHIMA
HIDAKA
YOSHIKAWA
FUJIMINO
SHIRAOKA
INA
MIYOSHI
MOROYAMA
OGOSE
NAMEGAWA
RANZAN
OGAWA
KAWAJIMA
YOSHIMI
HATAYAMA
TOKIGAWA
YOKOZE
MINANO
NAGATORO
OGANO
HIGASHICHICHIBU
MISATO
KAMIKAWA
KAMISATO
YORII
MIYASHIRO
SUGITO
MATSUBUSHI

統計からみた 埼玉県市町村のすがた 2026



埼玉県のマスコット「さいたまっち」「コバトン」

は し が き

「統計からみた埼玉縣市町村のすがた 2026」は、県内市町村別に人口、産業、医療・福祉、環境、安全等の統計データについて、分かりやすくまとめたものです。

各市町村の現状や特色を把握するとともに、県内における位置（順位）を知ることができます。行政活動や企業活動はもとより広く県民活動全般に活用していただければ幸いです。

最後に、貴重な資料を御提供くださいました関係機関の御厚意に深く感謝申し上げます。

令和8年6月

埼玉県総務部統計課長

目次

人口・世帯

1	総人口	1
2	人口密度	2
3	年少人口の割合	3
4	生産年齢人口の割合	4
5	老年人口の割合	5
6	将来推計人口	6
7	1世帯当たり人員(一般世帯)	7
8	3世代世帯の割合	8
9	65歳以上世帯員の単独世帯の割合	9
10	在留外国人数	10
11	昼夜間人口比率	11
12	人口増減率	12
13	社会増減率	13
14	自然増減率	14
15	出生率	15
16	死亡率	16
17	合計特殊出生率	17
18	婚姻率	18
19	離婚率	19
20	平均年齢	20
21-1	平均寿命(男)	21
21-2	平均寿命(女)	22
22-1	健康寿命(男)	23
22-2	健康寿命(女)	24

産業・労働

23	総農家数	25
24	経営耕地面積	26
25	基幹的農業従事者数(個人経営体)	27
26	農業産出額	28
27	民営事業所数	29
28	従業者数	30
29	製造品出荷額等	31
30	卸売業,小売業年間商品販売額	32
31-1	労働力率(男)	33
31-2	労働力率(女)	34
32	若年者の就業率(20~34歳)	35
33	女性の就業率(30~39歳)	36
34	高齢者の就業率(65歳以上)	37
35	完全失業率	38

医療・福祉

36	1人当たり医療費(国民健康保険事業)	39
37	人口10万人当たり病床数(病院)	40
38	人口10万人当たり病床数(一般診療所)	41
39	人口10万人当たり医師数	42
40	人口10万人当たり就業看護師数	43
41	要介護(要支援)認定率・認定者数	44
42	保護率(生活保護)	45

教育・文化

43	人口1人当たりの年間図書貸出冊数	46
44	人口千人当たり社会教育学級・講座の開設数	47

くらし・環境

45	1人1日当たりのごみ排出量	48
46	温室効果ガス排出量	49
47	下水道普及率	50
48	市町村道舗装率	51
49	1人当たり都市公園面積	52
50	人口千人当たり普通自動車等保有車両数	53
51	人口千人当たり軽自動車保有車両数	54
52	NPO法人数	55

安全

53	犯罪率	56
54	自主防犯活動団体数	57
55	交通事故(人身事故)発生率	58
56	出火率	59
57	自主防災組織組織率	60

行政・財政

58-1	市町村内総生産(第1次産業)	61
58-2	市町村内総生産(第2次産業)	62
58-3	市町村内総生産(第3次産業)	63
59	1人当たり市町村民所得	64
60	雇用者1人当たり雇用者報酬	65
61	経常収支比率	66
62	実質公債費比率	67
63	将来負担比率	68
64	市町村税納税率	69
65	議会における女性の議員の割合	70
66	審議会等における女性の委員の割合	71

1 総人口

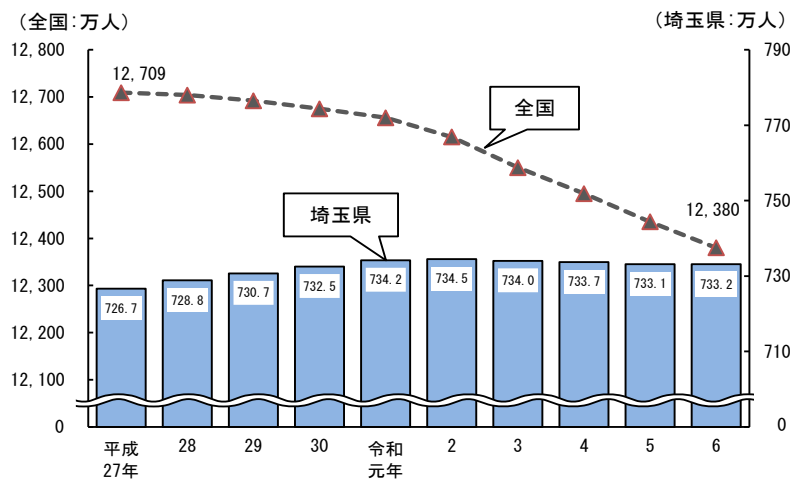
順位	市町村	総人口(人)
	全 県	7,320,779
1	さいたま市	1,359,750
2	川口市	596,645
3	川越市	354,292
4	所沢市	341,015
5	越谷市	337,904
6	草加市	250,786
7	上尾市	228,433
8	春日部市	224,903
9	熊谷市	188,009
10	新座市	165,787
11	久喜市	148,491
12	狭山市	145,933
13	朝霞市	144,698
14	戸田市	143,127
15	三郷市	141,086
16	入間市	140,222
17	深谷市	138,231
18	鴻巣市	116,317
19	富士見市	113,743
20	ふじみ野市	113,623
21	加須市	110,478
22	坂戸市	98,954
23	八潮市	94,507
24	東松山市	92,524
25	和光市	85,244
26	飯能市	78,271
27	本庄市	76,681
28	蕨市	76,122
29	行田市	75,435
30	志木市	75,076
31	桶川市	73,718
32	吉川市	70,856
33	鶴ヶ島市	69,745
34	北本山市	64,154
35	蓮田市	60,791
36	秩父市	54,254
37	日高市	52,782
38	羽生市	51,979
39	白岡市	51,874
40	幸手市	48,107
41	伊奈町	44,789
42	杉戸町	42,416
43	三芳町	37,391
44	毛呂山町	33,705
45	宮代町	33,543
46	寄居町	30,558
47	上里町	29,759
48	松伏町	26,907
49	小川町	26,215
50	滑川町	20,003
51	川島町	18,100
52	嵐山町	17,328
53	吉見町	16,732
54	神川町	12,571
55	鳩山町	12,547
56	美里町	10,480
57	越生町	10,112
58	ときがわ町	9,612
59	小鹿野町	9,385
60	皆野町	8,421
61	横瀬町	7,293
62	長瀬町	6,098
63	東秩父村	2,267

■ 埼玉県の総人口は、7,320,779人

県統計課「埼玉県推計人口」によると、令和8年4月1日現在、総人口は7,320,779人でした。

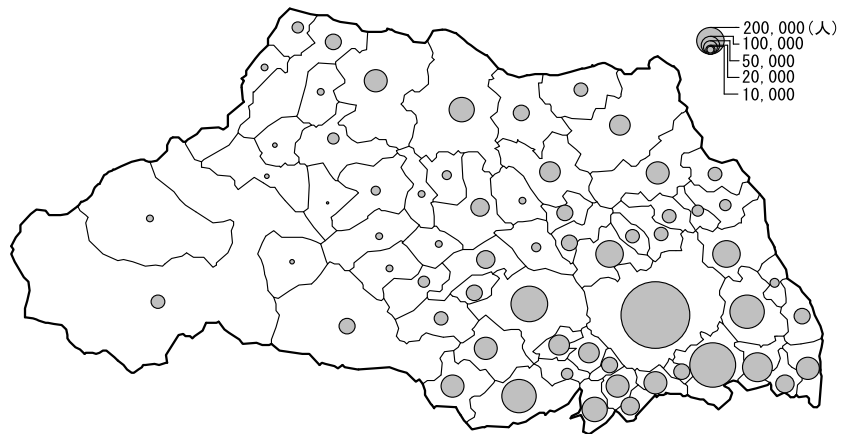
総務省統計局「人口推計」で見ると、平成27年からの総人口の推移は、全国は減少が続いているのに対し、埼玉県は緩やかな増加が続いていました。埼玉県は令和3年に減少となり減少が続いていましたが、令和6年は4年ぶりの増加となりました。

総人口の推移(全国・県)



注) 平成27年及び令和2年は国勢調査による人口。
資料: 総務省統計局「人口推計」

人口の分布



● 推計人口(総人口)とは

直近(本項においては平成27年及び令和2年)の国勢調査人口(確報値)を基に、その後の人口増減(出生・死亡・転入・転出)を住民基本台帳から得て、毎月1日現在の人口として算出したもの。

令和8年4月1日現在

資料: 県統計課「埼玉県推計人口」

注) 推計人口は今後、令和7年国勢調査人口(速報値)を基に、再集計・置き換えを行う。また、令和7年国勢調査人口(確報値)の公表後においても、同様に再集計・置き換えを行う。(最新数値は県HP「彩の国統計情報館」に掲載)

2 人口密度

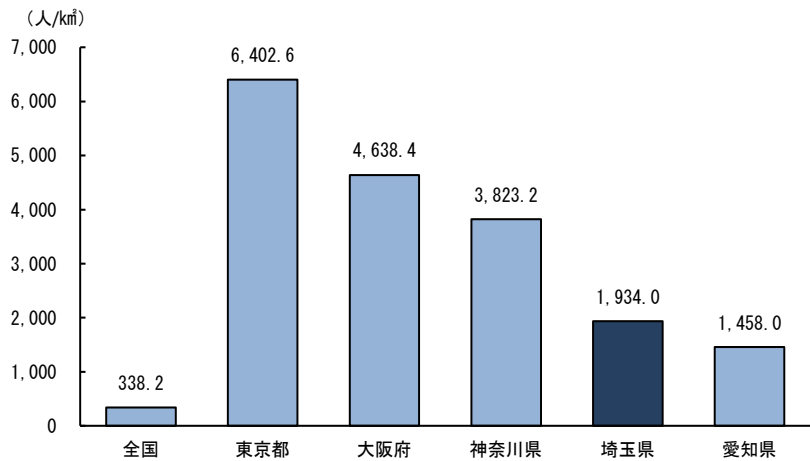
順位	市町村	人口密度 (人/km ²)
	全 県	1,928.2
1	蕨 市	14,835.8
2	川 口 市	9,610.9
3	草 加 市	9,124.1
4	志 木 市	8,299.9
5	朝 霞 市	7,882.0
6	戸 田 市	7,842.2
7	ふ じ み 野 市	7,750.8
8	和 光 市	7,682.6
9	新 座 市	7,293.6
10	さいたま 市	6,237.1
11	富 士 見 市	5,736.2
12	越 谷 市	5,613.1
13	八 潮 市	5,258.7
14	上 尾 市	5,018.8
15	所 沢 市	4,725.6
16	三 郷 市	4,689.3
17	鶴 ヶ 島 市	3,959.3
18	春 日 部 市	3,412.0
19	川 越 市	3,246.1
20	北 本 市	3,238.9
21	入 間 市	3,150.9
22	伊 奈 市	3,031.6
23	狭 山 市	2,982.2
24	桶 川 市	2,904.7
25	三 芳 市	2,457.7
26	坂 戸 市	2,421.7
27	吉 川 市	2,241.5
28	蓮 田 市	2,230.4
29	宮 代 市	2,105.9
30	白 岡 市	2,089.1
31	久 喜 市	1,804.6
32	鴻 巣 市	1,727.3
33	松 伏 市	1,663.2
34	幸 手 市	1,420.5
35	東 松 山 市	1,420.1
36	杉 戸 市	1,417.5
37	熊 谷 市	1,181.9
38	行 田 市	1,122.0
39	日 高 市	1,116.5
40	上 里 市	1,025.3
41	深 谷 市	1,002.3
42	毛 呂 山 市	995.4
43	羽 生 市	887.3
44	本 庄 市	857.8
45	加 須 市	829.6
46	滑 川 市	674.1
47	嵐 山 町	583.0
48	鳩 山 町	491.8
49	寄 居 町	478.6
50	小 川 町	437.1
51	川 島 町	436.5
52	吉 見 町	436.5
53	飯 能 市	407.6
54	美 里 町	315.1
55	神 川 町	265.7
56	越 生 町	253.5
57	長 瀨 町	203.1
58	ときがわ 町	174.5
59	横 瀬 町	148.8
60	皆 野 町	134.0
61	秩 父 市	94.8
62	東 秩 父 村	62.5
63	小 鹿 野 町	55.7

■埼玉県の人口密度は、全国値の約5.7倍(令和2年国勢調査)

県統計課「埼玉県推計人口」によると、令和7年10月1日現在、人口密度は1,928.2人/km²でした。

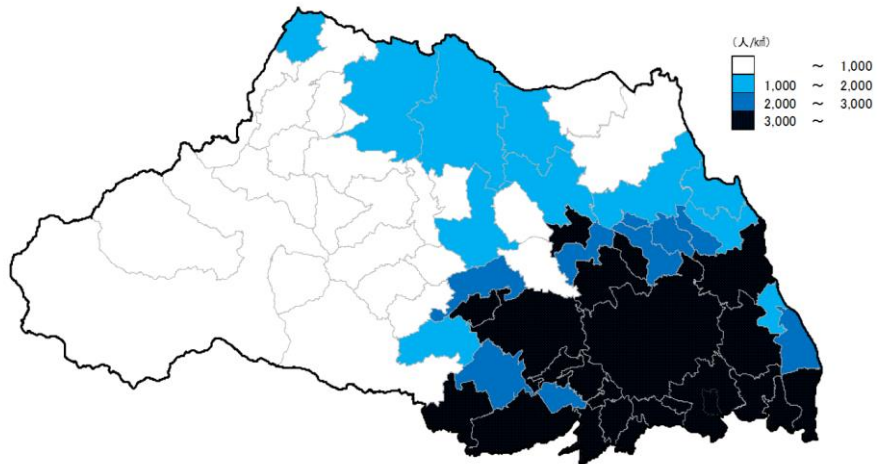
総務省統計局「国勢調査」によると、令和2年10月1日現在、全国順位は東京都、大阪府、神奈川県に次ぐ第4位で、全国値(338.2人/km²)の約5.7倍になります。また、蕨市は、特別区を除く全国の市町村の中で第1位となっています。

人口密度の都道府県別比較(全国第1位～第5位)



資料:総務省統計局「令和2年国勢調査」

人口密度の分布(令和7年10月1日現在)



●人口密度とは

1km²当たりの人口。

令和7年10月1日現在

資料:県統計課「埼玉県推計人口」

注1)人口密度計算資料の面積については、国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調」(令和7年7月1日時点)による。

注2)推計人口は今後、令和7年国勢調査人口(速報値)を基に、再集計・置き換えを行う。また、令和7年国勢調査人口(確報値)の公表後においても、同様に再集計・置き換えを行う。(最新数値は県HP「彩の国統計情報館」に掲載)

3 年少人口の割合

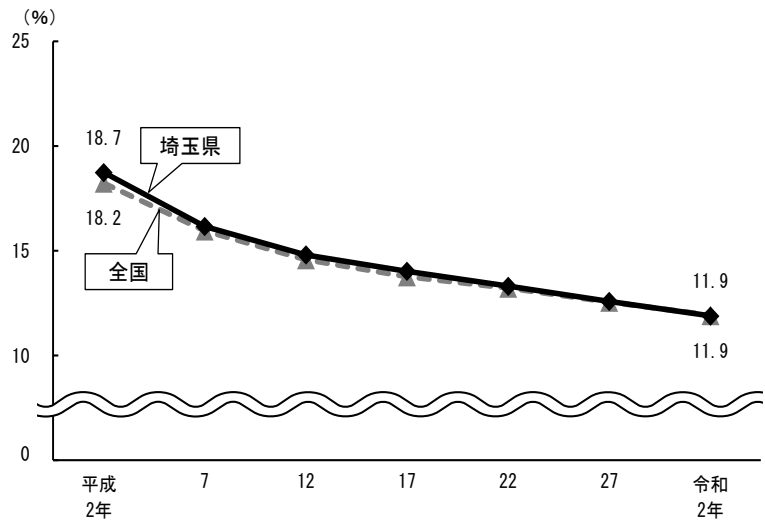
順位	市町村	割合(%)	人数(人)
	全 県	10.9	805,879
1	滑 川 町	14.2	2,817
2	戸 田 市	12.7	18,082
3	朝 霞 市	12.6	18,506
4	さいたま市	12.3	166,529
5	吉 川 市	12.2	8,810
6	志 木 市	12.0	9,109
7	和 光 市	11.9	10,133
8	三 郷 市	11.8	16,789
9	富 士 見 市	11.7	13,254
10	白 岡 市	11.6	6,065
11	新 座 市	11.5	19,186
12	越 谷 市	11.4	39,053
13	ふじみ野市	11.4	13,090
14	八 潮 市	11.3	10,574
15	伊 奈 町	11.3	5,043
16	上 尾 市	11.2	25,795
17	川 越 市	11.0	38,852
18	川 口 市	11.0	66,754
19	東 松 山 市	11.0	9,996
20	深 谷 市	10.7	15,042
21	桶 川 市	10.7	7,950
22	三 芳 町	10.6	3,953
23	宮 代 町	10.6	3,528
24	所 沢 市	10.5	35,824
25	鴻 巣 市	10.4	12,269
26	草 加 市	10.4	26,269
27	本 庄 市	10.3	7,876
28	上 里 町	10.3	3,129
29	久 喜 市	10.2	15,390
30	加 須 市	10.1	11,286
31	蓮 田 市	10.0	6,116
32	飯 能 市	10.0	7,754
33	熊 谷 市	10.0	18,990
34	羽 生 市	10.0	5,356
35	美 里 町	9.9	1,046
36	坂 戸 市	9.9	9,828
37	鶴 ヶ 島 市	9.8	6,859
38	蕨 市	9.8	7,608
39	入 間 市	9.8	13,973
40	狭 山 市	9.7	14,286
41	横 瀬 町	9.6	723
42	秩 父 市	9.6	5,401
43	春 日 部 市	9.6	21,842
44	北 本 市	9.3	6,057
45	杉 戸 町	9.3	4,013
46	行 田 市	9.3	7,173
47	松 伏 町	9.3	2,559
48	日 高 市	9.2	4,954
49	寄 居 町	8.7	2,748
50	幸 手 市	8.6	4,164
51	神 川 町	8.4	1,058
52	皆 野 町	8.3	726
53	嵐 山 町	8.1	1,397
54	川 島 町	7.6	1,400
55	吉 見 町	7.4	1,286
56	長 瀨 町	7.3	457
57	毛 呂 山 町	7.2	2,286
58	ときがわ町	7.2	730
59	越 生 町	7.1	750
60	小 川 町	6.7	1,811
61	小 鹿 野 町	6.6	649
62	鳩 山 町	6.5	816
63	東 秩 父 村	4.7	110

■ 埼玉県の子少人口の割合は、30年間で6.8ポイント低下

県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査」によると、令和8年1月1日現在、年少人口は805,879人で、総人口に占める割合は10.9%でした。

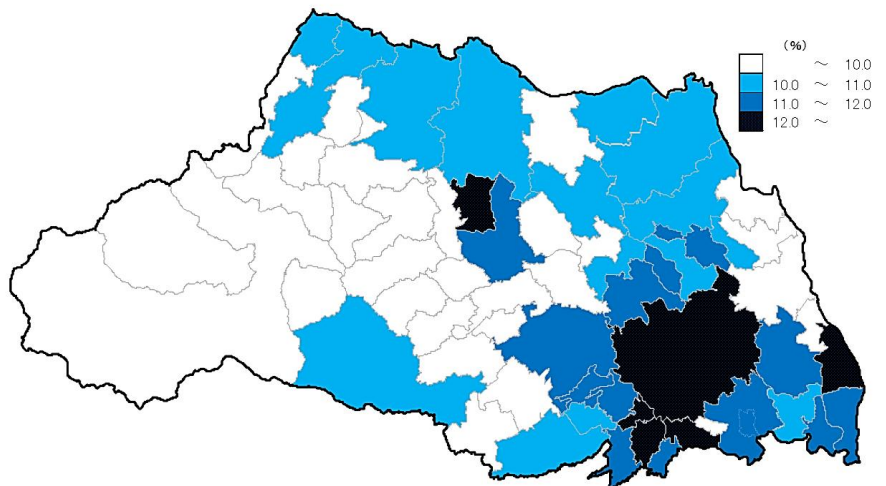
総務省統計局「国勢調査」でみると、令和2年は、30年前(平成2年)から6.8ポイント低下し、全国平均と同じになっています。

年少人口割合の推移(全国・県)



注)平成27年及び令和2年は不詳補完値により算出。平成22年以前は分母から不詳を除いて算出。
資料:総務省統計局「国勢調査」

年少人口割合の分布



● 年少人口割合とは

総人口のうち、0～14歳人口の割合。

令和8年1月1日現在

資料:県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査」

4 生産年齢人口の割合

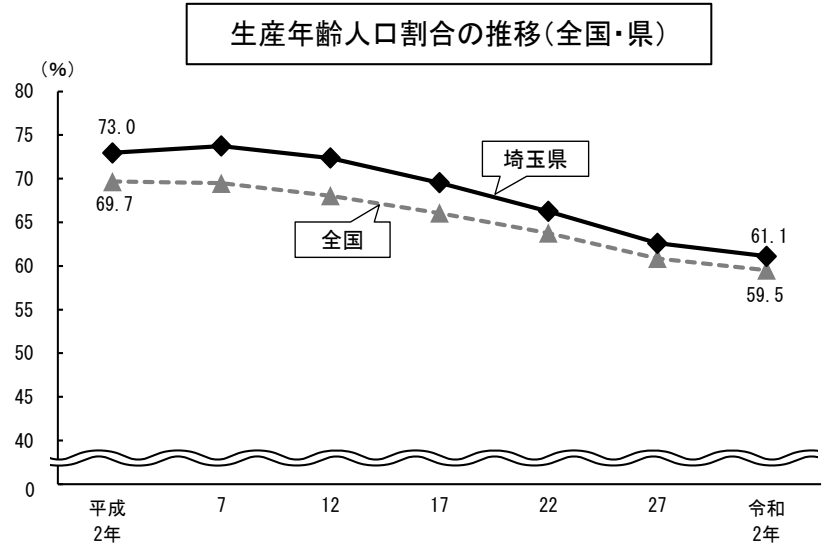
順位	市町村	割合(%)	人数(人)
	全 県	62.0	4,569,672
1	戸 田 市	70.3	100,403
2	和 光 市	69.8	59,309
3	朝 霞 市	67.6	98,966
4	蕨 市	67.6	52,213
5	八 潮 市	66.5	62,342
6	川 口 市	66.1	402,224
7	草 加 市	65.2	164,793
8	伊 奈 町	64.6	28,935
9	富 士 見 市	64.5	73,385
10	さいたま市	64.3	871,768
11	吉 川 市	63.1	45,549
12	志 木 市	63.1	48,075
13	ふじみ野市	63.0	72,166
14	新 座 市	62.9	104,562
15	越 谷 市	62.9	214,631
16	滑 川 町	62.3	12,318
17	川 越 市	61.8	217,973
18	所 沢 市	61.8	211,545
19	上 尾 市	61.2	141,263
20	三 郷 市	61.1	86,727
21	三 芳 町	60.6	22,578
22	鶴ヶ島市	60.3	42,021
23	松 伏 町	60.0	16,594
24	上 里 町	60.0	18,220
25	坂 戸 市	60.0	59,566
26	本 庄 市	59.5	45,283
27	白 岡 市	59.4	31,022
28	春 日 部 市	59.1	135,006
29	桶 川 市	59.0	43,695
30	熊 谷 市	58.9	111,809
31	入 間 市	58.8	83,727
32	東 松 山 市	58.7	53,547
33	羽 生 市	58.7	31,448
34	深 谷 市	58.6	82,164
35	鴻 巣 市	58.4	68,646
36	加 須 市	58.3	65,182
37	蓮 田 市	58.0	35,363
38	狭 山 市	58.0	85,515
39	久 喜 市	58.0	87,445
40	北 本 市	57.4	37,293
41	行 田 市	57.3	44,339
42	神 川 町	57.2	7,230
43	飯 能 市	56.9	44,021
44	嵐 山 町	56.8	9,780
45	日 高 代 市	56.8	30,502
46	宮 代 町	56.8	18,890
47	杉 戸 町	56.6	24,404
48	毛呂山町	56.4	17,832
49	幸 手 市	55.5	26,940
50	寄 居 町	55.4	17,421
51	美 里 町	55.2	5,832
52	吉 見 町	54.4	9,406
53	横 瀬 町	54.2	4,067
54	秩 父 市	54.2	30,461
55	川 島 町	54.0	9,968
56	越 生 町	53.1	5,589
57	皆 野 町	51.0	4,440
58	長 瀨 町	50.7	3,154
59	小 鹿 野 町	49.8	4,890
60	小 川 町	49.8	13,445
61	ときがわ町	49.6	5,015
62	鳩 山 町	45.7	5,723
63	東 秩 父 村	45.3	1,052

令和8年1月1日現在
資料:県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査」

■埼玉県の生産年齢人口の割合は、低下傾向

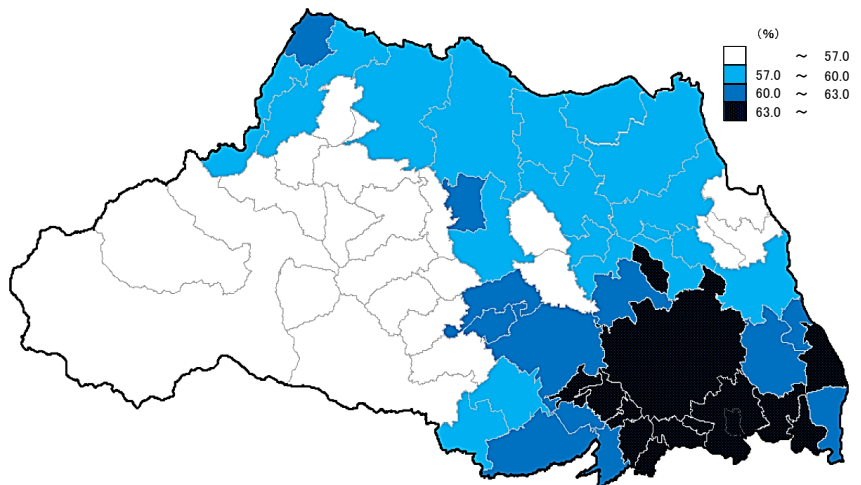
県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査」によると、令和8年1月1日現在、生産年齢人口は4,569,672人で、総人口に占める割合は62.0%でした。

総務省統計局「国勢調査」で見ると、全国平均を上回りながら推移しているものの、低下が続いています。



注)平成27年及び令和2年は不詳補完値により算出。平成22年以前は分母から不詳を除いて算出。
資料:総務省統計局「国勢調査」

生産年齢人口割合の分布



●生産年齢人口割合とは
総人口のうち、15～64歳人口の割合。

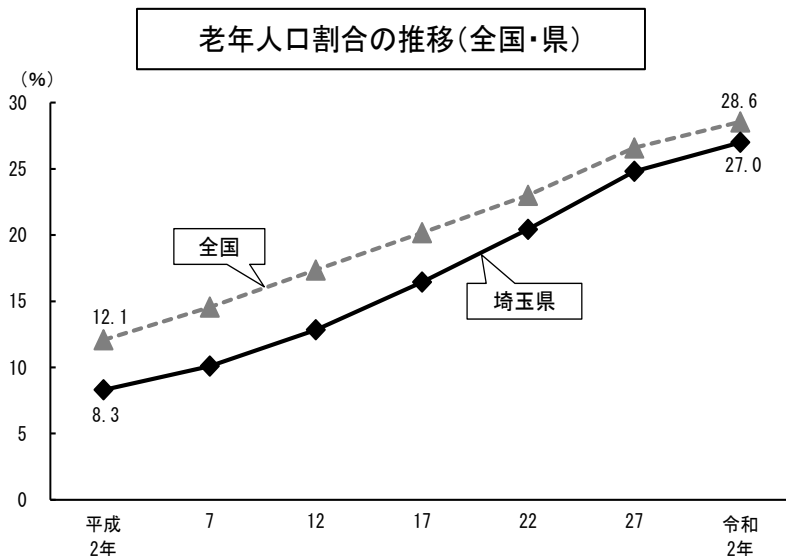
5 老年人口の割合

順位	市町村	割合(%)	人数(人)
	全 県	27.0	1,992,956
1	東 秩 父 村	50.0	1,162
2	鳩 山 町	47.7	5,971
3	小 川 町	43.5	11,764
4	小 鹿 野 町	43.5	4,271
5	と 時 が わ 町	43.1	4,357
6	長 瀬 町	42.0	2,612
7	皆 野 町	40.7	3,542
8	越 生 町	39.7	4,177
9	川 島 町	38.4	7,098
10	吉 見 町	38.2	6,606
11	毛 呂 山 町	36.3	11,475
12	秩 父 市	36.2	20,368
13	横 瀬 町	36.2	2,712
14	幸 手 市	35.9	17,418
15	寄 居 町	35.9	11,272
16	嵐 山 町	35.1	6,051
17	美 里 町	34.9	3,693
18	神 川 町	34.4	4,355
19	杉 戸 町	34.1	14,735
20	日 高 田 市	34.0	18,275
21	行 北 田 市	33.4	25,884
22	北 本 市	33.3	21,647
23	飯 能 市	33.1	25,606
24	宮 代 市	32.6	10,864
25	狭 山 市	32.3	47,676
26	蓮 田 市	31.9	19,449
27	久 喜 市	31.8	47,972
28	加 須 市	31.6	35,378
29	春 日 部 市	31.4	71,762
30	入 間 市	31.3	44,611
31	羽 生 市	31.3	16,785
32	鴻 巣 市	31.2	36,641
33	熊 谷 市	31.1	59,060
34	松 伏 町	30.7	8,504
35	深 谷 市	30.7	43,005
36	桶 川 市	30.3	22,475
37	東 松 山 市	30.3	27,636
38	本 庄 市	30.2	22,948
39	坂 戸 市	30.1	29,952
40	鶴 ヶ 島 市	29.8	20,788
41	上 里 町	29.7	9,033
42	白 岡 市	28.9	15,108
43	三 芳 町	28.7	10,699
44	所 沢 市	27.8	95,121
45	上 尾 市	27.6	63,581
46	川 越 市	27.2	95,782
47	三 郷 市	27.1	38,455
48	越 谷 市	25.7	87,753
49	新 座 市	25.6	42,495
50	ふ じ み 野 市	25.5	29,205
51	志 木 市	24.9	19,003
52	吉 川 市	24.7	17,806
53	草 加 市	24.4	61,524
54	伊 奈 町	24.2	10,846
55	富 士 見 市	23.8	27,089
56	滑 川 町	23.4	4,636
57	さい たま 市	23.4	317,683
58	川 口 市	22.9	139,537
59	蕨 市	22.6	17,468
60	八 潮 市	22.2	20,810
61	朝 霞 市	19.8	28,942
62	和 光 市	18.2	15,475
63	戸 田 市	17.0	24,348

■ 埼玉県の老年人口の割合は、30年間で3倍以上に

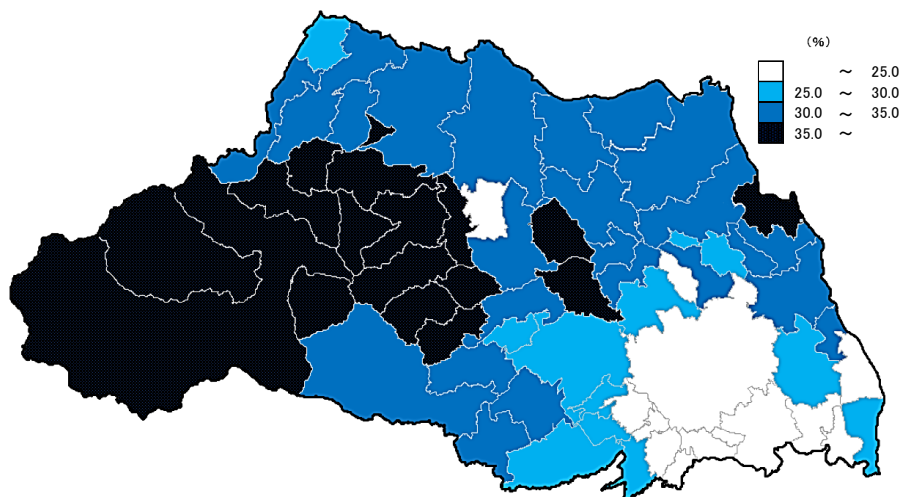
県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査」によると、令和8年1月1日現在、老年人口は1,992,956人で、総人口に占める割合は27.0%でした。

総務省統計局「国勢調査」でみると、全国平均と比べ低く推移していますが、平成2年からの30年間で3倍以上に上昇しています。



注) 平成27年及び令和2年は不詳補完値により算出。平成22年以前は分母から不詳を除いて算出。
資料: 総務省統計局「国勢調査」

老年人口割合の分布



● 老年人口割合とは

総人口のうち、65歳以上人口の割合。

令和8年1月1日現在
資料: 県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査」

6 将来推計人口

順位	市町村	増減率 (%)	2050年 推計人口(人)	2020年 総人口(人)
	全 県	△9.7	6,633,932	7,344,765
1	滑 川 町	11.0	21,904	19,732
2	八 潮 市	9.3	102,076	93,363
3	戸 田 市	7.0	150,760	140,899
4	吉 川 市	6.8	76,872	71,979
5	朝 霞 市	4.2	146,963	141,083
6	志 木 市	1.7	76,611	75,346
7	さいたま市	1.2	1,339,475	1,324,025
8	川 口 市	0.9	599,667	594,274
9	和 光 市	0.4	84,333	83,989
10	伊 奈 町	△0.2	44,770	44,841
11	三 郷 市	△1.1	140,552	142,145
12	蕨 市	△1.8	72,917	74,283
13	新 座 市	△1.9	162,926	166,017
14	ふじみ野市	△2.3	111,025	113,597
15	越 谷 市	△3.3	330,327	341,621
16	富 士 見 市	△4.9	106,340	111,859
17	白 岡 市	△5.4	49,395	52,214
18	川 越 市	△6.4	331,749	354,571
19	草 加 市	△7.5	229,624	248,304
20	所 沢 市	△10.1	307,906	342,464
21	三 芳 町	△11.3	34,102	38,434
22	上 尾 市	△11.3	201,253	226,940
23	桶 川 市	△13.3	64,820	74,748
24	東 松 山 市	△14.2	78,779	91,791
25	坂 戸 市	△16.2	84,008	100,275
26	鶴 ヶ 島 市	△16.9	58,252	70,117
27	本 庄 市	△17.2	65,077	78,569
28	宮 代 町	△17.9	28,029	34,147
29	日 高 市	△18.2	44,637	54,571
30	蓮 田 市	△18.4	50,194	61,499
31	飯 能 市	△20.8	63,609	80,361
32	鴻 巣 市	△21.4	91,849	116,828
33	入 間 市	△22.2	113,303	145,651
34	久 喜 市	△22.2	117,103	150,582
35	上 里 町	△22.2	23,596	30,343
36	加 須 市	△22.4	86,600	111,623
37	美 里 町	△22.7	8,537	11,039
38	熊 谷 市	△22.9	149,959	194,415
39	深 谷 市	△22.9	108,952	141,268
40	狭 山 市	△25.4	110,891	148,699
41	春 日 部 市	△25.5	171,185	229,792
42	羽 生 市	△27.1	38,541	52,862
43	嵐 山 町	△29.2	12,674	17,889
44	北 本 市	△29.9	45,682	65,201
45	神 川 町	△30.7	9,260	13,359
46	杉 戸 町	△30.9	30,307	43,845
47	毛 呂 山 町	△32.6	23,847	35,366
48	松 伏 町	△32.7	19,035	28,266
49	幸 手 市	△32.9	33,617	50,066
50	寄 居 町	△36.4	20,587	32,374
51	行 田 市	△36.4	49,980	78,617
52	秩 父 市	△39.9	35,846	59,674
53	横 瀬 町	△40.1	4,779	7,979
54	川 島 町	△43.1	11,022	19,378
55	越 生 町	△43.7	6,206	11,029
56	皆 野 町	△44.5	5,160	9,302
57	長 瀨 町	△45.9	3,685	6,807
58	鳩 山 町	△46.2	7,290	13,560
59	吉 見 町	△46.8	9,671	18,192
60	ときがわ町	△47.5	5,535	10,540
61	小 川 町	△50.0	14,269	28,524
62	小 鹿 野 町	△55.1	4,907	10,928
63	東 秩 父 村	△59.2	1,105	2,709

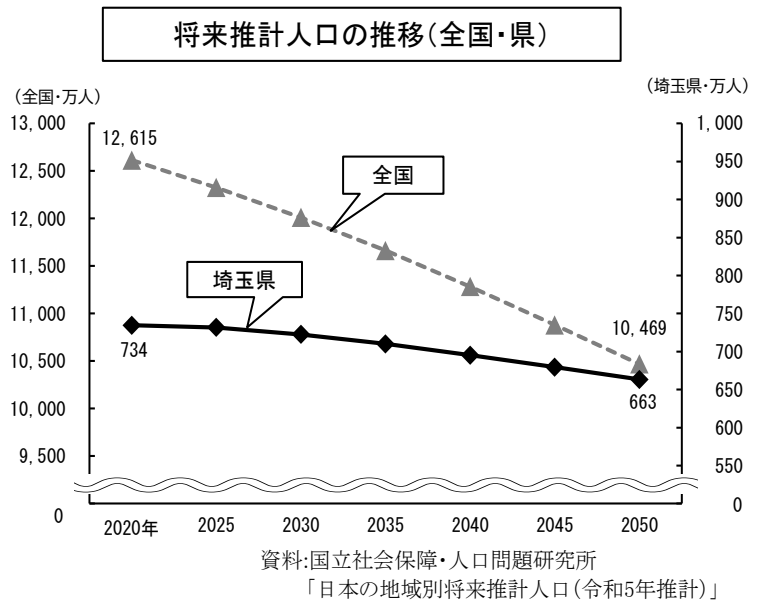
令和5年12月1日現在

資料: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

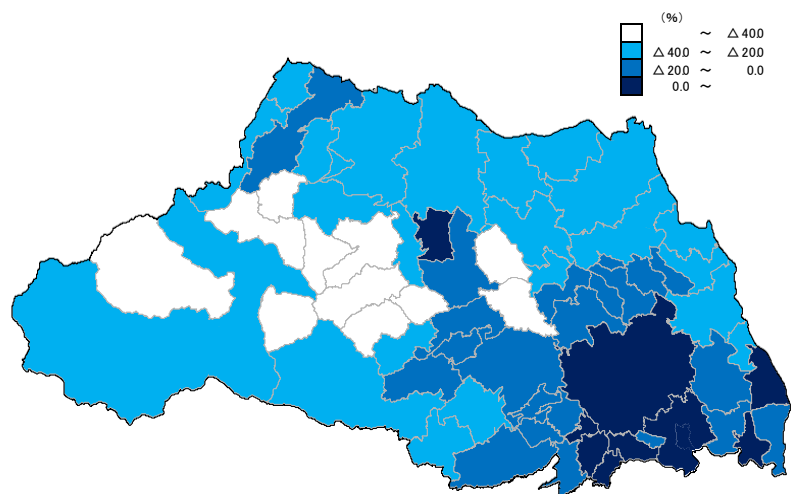
■ 埼玉県は、2050年までに約9.7%減少する見込み

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」によると、2050年の推計人口は6,633,932人となり、令和2年(2020年)国勢調査時の7,344,765人から、約9.7%(約71万人)減少すると推計されています。

全国でみると、2050年の推計人口は1億469万人となり、令和2年(2020年)国勢調査時の1億2,615万人と比べ、約2,100万人の減少となり、2056年には1億人を割ると推計されています。



将来推計による人口増減率の分布(2020年→2050年)



● 将来推計人口(令和5年推計)とは

令和2年国勢調査を基に、将来の出生、死亡ならびに国際人口移動について仮定を設け、これらに基づいて将来の人口等を推計したもの。

7 1世帯当たり人員(一般世帯)

順位	市町村	1世帯当たり人員(人)	一般世帯数
	全 県	2.28	3,157,627
1	美 里 町	2.69	3,833
2	川 島 町	2.61	7,263
3	吉 見 町	2.61	6,856
4	松 伏 町	2.58	10,728
5	東 秩 父 村	2.57	988
6	小 鹿 野 町	2.55	4,156
7	吉 川 市	2.55	27,876
8	横 瀬 町	2.53	3,076
9	長 瀬 町	2.53	2,599
10	皆 野 町	2.51	3,576
11	滑 川 町	2.51	7,640
12	白 岡 市	2.50	20,484
13	上 里 町	2.49	11,824
14	加 須 市	2.48	44,204
15	伊 奈 町	2.47	17,793
16	深 谷 市	2.47	55,713
17	三 芳 町	2.46	15,014
18	ときがわ 町	2.45	4,193
19	杉 戸 町	2.44	17,680
20	秩 父 市	2.44	23,872
21	神 川 市	2.44	5,182
22	羽 生 市	2.43	21,094
23	鴻 巣 市	2.42	47,443
24	行 田 市	2.42	31,821
25	日 高 市	2.40	22,351
26	鳩 山 町	2.39	5,379
27	小 川 町	2.38	11,759
28	桶 川 市	2.38	30,842
29	寄 居 町	2.38	13,239
30	越 生 町	2.37	4,578
31	久 喜 市	2.37	62,497
32	蓮 田 市	2.36	25,439
33	越 谷 市	2.36	142,590
34	熊 谷 市	2.35	79,976
35	幸 手 市	2.35	20,823
36	入 間 市	2.34	61,159
37	北 本 市	2.34	27,378
38	上 尾 市	2.32	96,347
39	春 日 部 市	2.32	97,528
40	飯 能 市	2.31	33,516
41	嵐 山 町	2.31	7,389
42	宮 代 町	2.31	14,558
43	本 庄 市	2.31	32,949
44	三 郷 市	2.31	60,711
45	川 越 市	2.27	153,192
46	狭 山 市	2.27	63,702
47	志 木 市	2.27	32,702
48	東 松 山 市	2.26	39,647
49	ふじみ野 市	2.26	49,338
50	鶴 ヶ 島 市	2.25	30,502
51	さいたま 市	2.24	581,501
52	新 座 市	2.23	73,634
53	朝 霞 市	2.22	62,564
54	坂 戸 市	2.21	44,495
55	所 沢 市	2.21	152,510
56	草 加 市	2.20	111,692
57	川 口 市	2.19	266,756
58	八 潮 市	2.18	42,054
59	富 士 見 市	2.17	50,908
60	戸 田 市	2.16	64,182
61	毛 呂 山 町	2.11	15,722
62	和 光 市	2.07	39,826
63	蕨 市	2.00	36,784

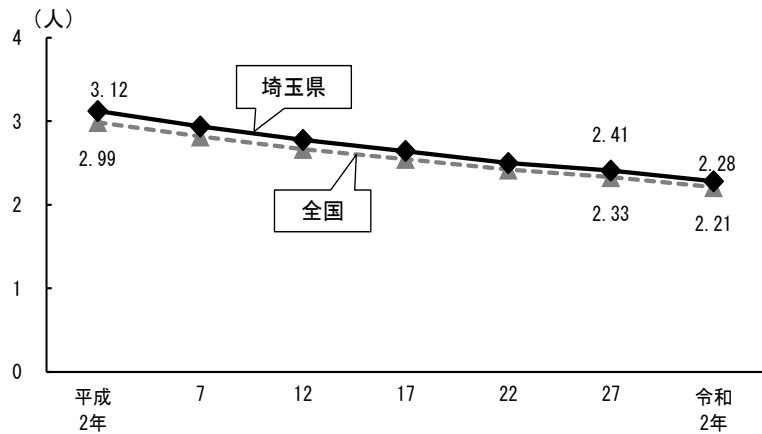
令和2年10月1日現在
資料:総務省統計局「令和2年国勢調査」

■埼玉県の1世帯当たり人員は、減少が続いている

総務省統計局「国勢調査」によると、令和2年10月1日現在、一般世帯の1世帯当たり人員は、前回調査より0.13人減少して2.28人でした。

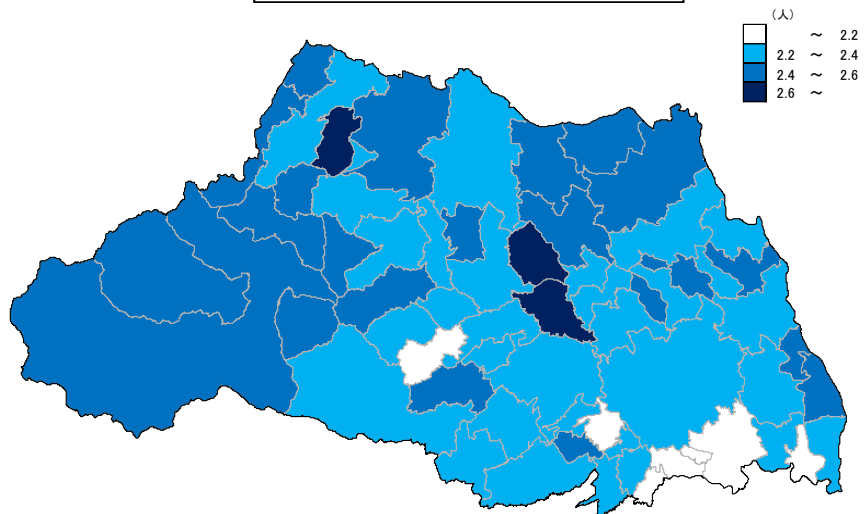
5年ごとの推移をみると、全国、埼玉県ともに世帯の小規模化が進んでおり、平成2年の埼玉県3.12人、全国2.99人から、それぞれ0.84人、0.78人減少しています。

1世帯当たり人員の推移(全国・県)



資料:総務省統計局「国勢調査」

1世帯当たり人員の分布



●一般世帯とは

住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者等のことで、寮・寄宿舎の学生・生徒や病院・療養所の入院者など「施設等の世帯」以外の世帯。

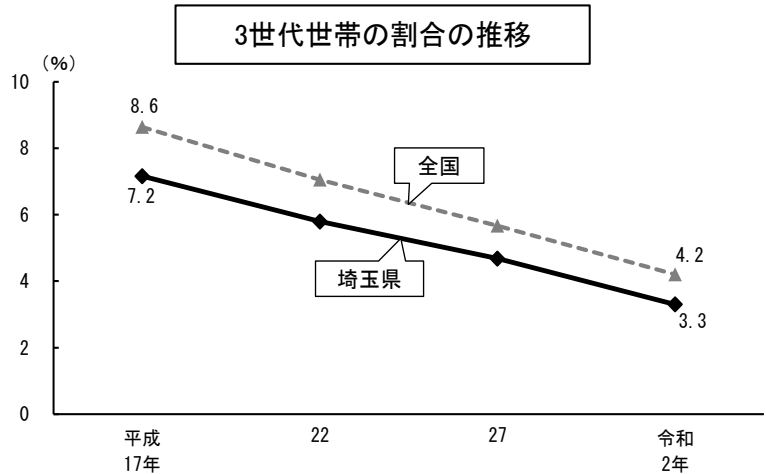
8 3世代世帯の割合

順位	市町村	割合 (%)	3世代世帯数
	全 県	3.3	105,717
1	東 秩 父 村	12.6	124
2	小 鹿 野 町	10.2	425
3	美 里 町	10.2	391
4	長 瀬 町	9.8	256
5	皆 野 町	8.9	318
6	川 島 町	8.9	643
7	吉 見 町	8.4	573
8	横 瀬 町	8.2	252
9	ときがわ 町	7.3	307
10	秩 父 市	7.3	1,740
11	羽 生 市	6.8	1,443
12	神 川 町	6.6	340
13	加 須 市	6.4	2,847
14	寄 居 町	6.3	835
15	松 伏 町	6.3	676
16	小 川 町	6.2	729
17	上 里 町	6.1	727
18	深 谷 市	6.1	3,401
19	越 生 町	5.9	268
20	行 田 市	5.7	1,816
21	嵐 山 町	5.5	406
22	杉 戸 町	5.3	945
23	鳩 山 町	5.1	274
24	滑 川 町	5.0	383
25	本 庄 市	5.0	1,651
26	日 高 市	4.7	1,050
27	吉 川 市	4.7	1,300
28	熊 谷 市	4.6	3,717
29	白 岡 市	4.5	923
30	幸 手 市	4.5	937
31	久 喜 市	4.5	2,787
32	鴻 巣 市	4.4	2,078
33	宮 代 町	4.0	586
34	三 芳 町	4.0	597
35	毛 呂 山 町	4.0	623
36	伊 奈 町	3.9	692
37	飯 能 市	3.9	1,301
38	東 松 山 市	3.8	1,492
39	蓮 田 市	3.6	908
40	越 谷 市	3.6	5,066
41	三 郷 市	3.5	2,128
42	狭 山 市	3.5	2,226
43	北 本 市	3.5	953
44	春 日 部 市	3.4	3,341
45	桶 川 市	3.4	1,048
46	入 間 市	3.3	2,047
47	八 潮 市	3.3	1,402
48	川 越 市	3.2	4,938
49	坂 戸 市	3.2	1,416
50	上 尾 市	2.9	2,792
51	川 口 市	2.9	7,673
52	草 加 市	2.9	3,192
53	ふ じ み 野 市	2.7	1,324
54	富 士 見 市	2.6	1,339
55	鶴 ヶ 島 市	2.5	766
56	さいたま 市	2.4	13,811
57	所 沢 市	2.2	3,422
58	新 座 市	2.2	1,631
59	志 木 市	2.2	719
60	蕨 市	2.0	754
61	戸 田 市	2.0	1,260
62	朝 霞 市	1.8	1,141
63	和 光 市	1.4	567

■ 埼玉県3世代世帯の割合は、3.3%

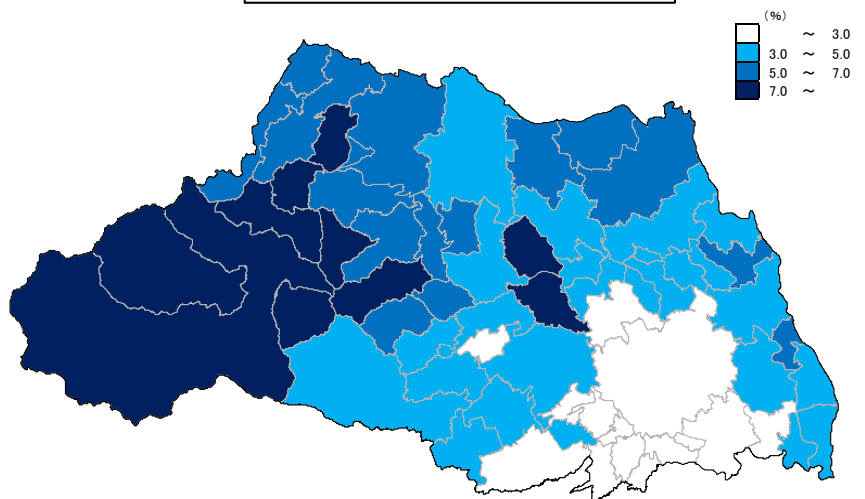
総務省統計局「国勢調査」によると、令和2年10月1日現在、一般世帯の総世帯数3,157,627世帯のうち、3世代世帯は105,717世帯で、全体の3.3%でした。

平成17年からの推移をみると、3世代世帯の割合は、全国と同様に低下が続いており、平成17年の埼玉県7.2%、全国8.6%から、それぞれ3.9ポイント、4.4ポイント低下しています。



資料：総務省統計局「国勢調査」

3世代世帯の割合の分布



● 3世代世帯とは

世帯主との続柄が、祖父母、世帯主の父母(又は世帯主の配偶者の父母)、世帯主(又は世帯主の配偶者)、子(又は子の配偶者)及び孫の直系世代のうち、三つ以上の世代が同居している世帯。

令和2年10月1日現在

資料：総務省統計局「令和2年国勢調査」

9 65歳以上世帯員の単独世帯の割合

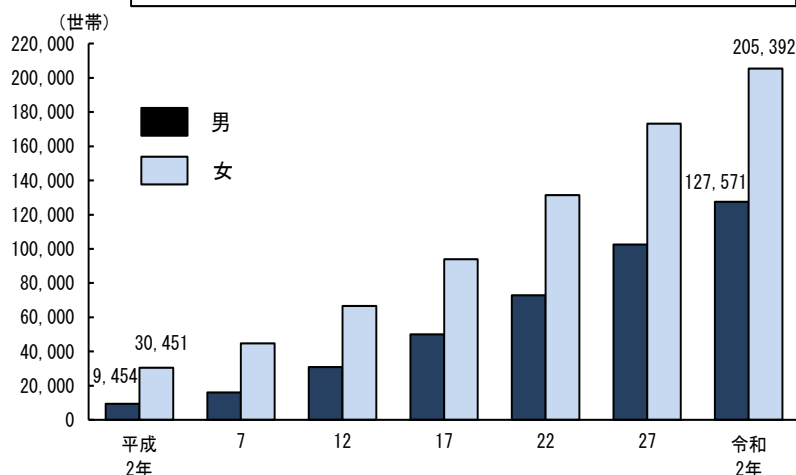
順位	市町村	割合(%)	65歳以上 単独世帯数
	全 県	10.5	332,963
1	東 秩 父 村	17.7	175
2	小 鹿 野 町	16.1	668
3	皆 野 町	15.7	562
4	秩 父 市	15.4	3,665
5	長 瀬 町	15.2	394
6	ときがわ町	14.6	614
7	鳩 山 町	14.1	756
8	小 川 町	14.0	1,646
9	幸 手 市	13.7	2,845
10	越 生 町	13.7	625
11	寄 居 町	13.3	1,762
12	北 本 市	13.1	3,584
13	横 瀬 町	12.7	391
14	嵐 山 町	12.7	939
15	狭 山 市	12.7	8,064
16	日 高 市	12.4	2,771
17	毛 呂 山 町	12.2	1,913
18	坂 戸 市	12.2	5,409
19	ふじみ野市	12.1	5,960
20	飯 能 市	12.0	4,029
21	行 田 市	11.9	3,796
22	入 間 市	11.8	7,224
23	神 川 町	11.8	612
24	本 庄 市	11.8	3,891
25	三 郷 市	11.7	7,076
26	春 日 部 市	11.6	11,361
27	蓮 田 市	11.6	2,943
28	熊 谷 市	11.5	9,218
29	三 芳 町	11.5	1,727
30	杉 戸 町	11.4	2,023
31	草 加 市	11.4	12,716
32	蕨 市	11.3	4,153
33	桶 川 市	11.3	3,470
34	新 座 市	11.2	8,274
35	鶴 ヶ 島 市	11.2	3,421
36	久 喜 市	11.0	6,865
37	上 尾 市	10.9	10,520
38	鴻 巣 市	10.9	5,154
39	吉 見 町	10.7	736
40	美 里 町	10.6	408
41	宮 代 町	10.5	1,529
42	松 伏 町	10.5	1,126
43	加 須 市	10.5	4,624
44	深 谷 市	10.4	5,787
45	羽 生 市	10.4	2,186
46	富 士 見 市	10.3	5,256
47	川 口 市	10.3	27,514
48	東 松 山 市	10.2	4,061
49	越 谷 市	10.1	14,355
50	川 島 町	10.1	731
51	志 木 市	10.1	3,287
52	上 里 町	9.8	1,153
53	さいたま市	9.6	55,934
54	所 沢 市	9.6	14,590
55	川 越 市	9.4	14,439
56	朝 霞 市	9.4	5,863
57	白 岡 市	9.4	1,919
58	吉 川 市	9.0	2,502
59	八 潮 市	8.4	3,531
60	滑 川 町	8.3	632
61	和 光 市	8.2	3,251
62	伊 奈 町	7.8	1,394
63	戸 田 市	7.7	4,939

■ 埼玉県の65歳以上世帯員の単独世帯の割合は、10.5%

総務省統計局「国勢調査」によると、令和2年10月1日現在、一般世帯の総世帯数3,157,627世帯のうち、65歳以上世帯員の単独世帯は332,963世帯で、10.5%を占めています。

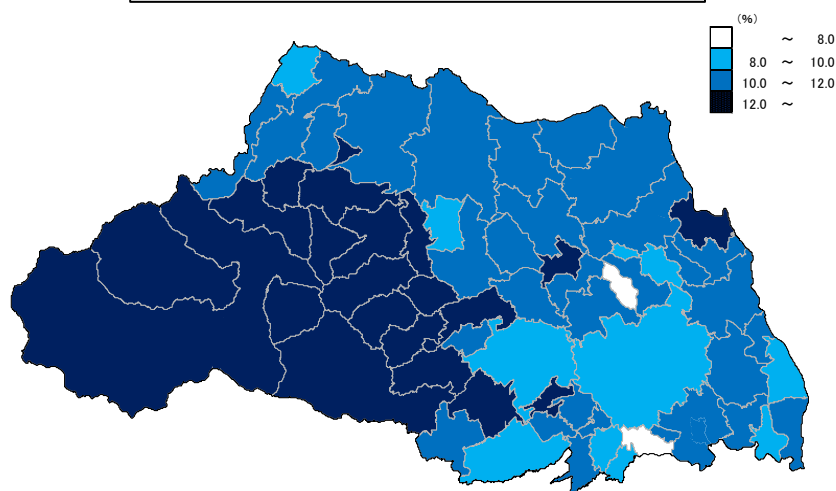
全国の割合(12.1%)と比較すると、1.6ポイント低くなっています。また、男女別で見ると、女性の65歳以上世帯員の単独世帯(205,392世帯)は男性(127,571世帯)の約1.6倍となっています。

65歳以上世帯員の単独世帯数の推移(男女別・全県)



資料:総務省統計局「国勢調査」

65歳以上世帯員の単独世帯の割合の分布



● 65歳以上世帯員の単独世帯とは
65歳以上の人一人のみの一般世帯。

令和2年10月1日現在
資料:総務省統計局「令和2年国勢調査」

10 在留外国人数

順位	市町村	人数(人)	割合(%)
	全 県	262,382	3.6
1	川 口 市	48,843	8.2
2	さいたま市	35,211	2.6
3	草 加 市	11,603	4.6
4	川 越 市	11,496	3.2
5	蕨 市	9,661	12.9
6	越 谷 市	9,356	2.8
7	戸 田 市	8,998	6.3
8	所 沢 市	7,975	2.3
9	三 郷 市	7,097	5.0
10	春日部市	6,779	3.0
11	上 尾 市	5,559	2.4
12	熊 谷 市	5,379	2.8
13	八 潮 市	5,179	5.5
14	新 座 市	5,167	3.1
15	朝 霞 市	5,126	3.6
16	久 喜 市	4,504	3.0
17	深 谷 市	4,271	3.1
18	東 松 山 市	4,127	4.4
19	坂 戸 市	3,962	4.0
20	加 須 市	3,919	3.5
21	狭 山 市	3,809	2.6
22	ふじみ野市	3,739	3.3
23	富 士 見 市	3,668	3.2
24	入 間 市	3,425	2.4
25	本 庄 市	3,358	4.3
26	和 光 市	3,155	3.7
27	鴻 巣 市	2,889	2.5
28	羽 生 市	2,614	5.0
29	行 田 市	2,495	3.3
30	吉 川 市	2,462	3.5
31	志 木 市	2,422	3.2
32	鶴ヶ島市	2,141	3.1
33	幸 手 市	1,655	3.4
34	飯 能 市	1,533	1.9
35	上 里 町	1,497	5.0
36	桶 川 市	1,381	1.9
37	日 高 市	1,335	2.5
38	三 芳 町	1,110	2.9
39	北 本 市	1,097	1.7
40	蓮 田 市	1,045	1.7
41	寄 居 町	1,002	3.2
42	白 岡 市	995	1.9
43	毛 呂 山 町	888	2.6
44	杉 戸 町	865	2.0
45	伊 奈 町	845	1.9
46	秩 父 市	786	1.4
47	嵐 山 町	768	4.4
48	松 伏 町	703	2.6
49	滑 川 町	686	3.4
49	神 川 町	686	5.4
51	宮 代 町	603	1.8
52	川 島 町	491	2.7
53	小 見 町	470	1.8
54	吉 見 町	266	1.6
55	ときがわ町	239	2.4
56	美 里 町	237	2.2
57	越 生 町	210	2.0
58	鳩 山 町	167	1.3
59	小 鹿 野 町	165	1.7
60	皆 野 町	115	1.3
61	横 瀬 町	90	1.2
62	長 瀨 町	53	0.8
63	東 秩 父 村	10	0.4

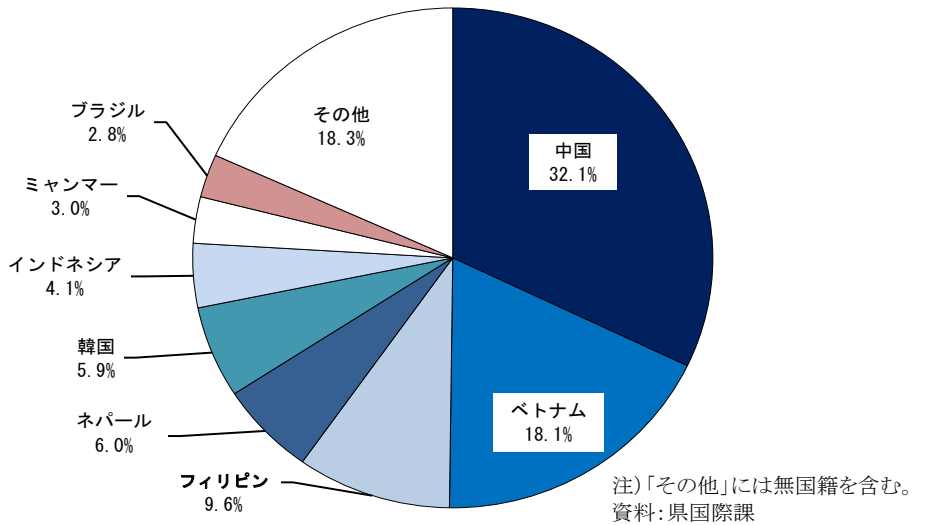
■ 埼玉県の内留外国人数は、総人口の約3.6%

出入国在留管理庁「在留外国人統計」によると、令和6年12月末現在、在留外国人数は262,382人で、総人口(7,326,255人)の約3.6%を占めています。令和5年12月末現在(234,698人)と比べると、27,684人増加しています。

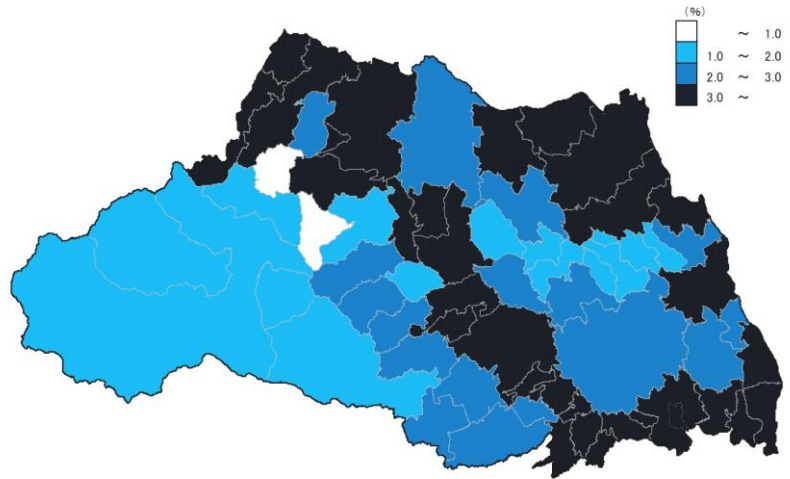
なお、在留外国人数が県内第1位の川口市は、全国の市町村(東京都特別区部を含む。)別では第9位でした。

* 東京23区を、東京都特別区部として1自治体でカウントしている。

在留外国人の国籍・地域別割合(全県)



人口に占める在留外国人の割合の分布



● 在留外国人数とは

中長期在留者(入管法上の在留資格をもって我が国に中長期在留する外国人)及び特別永住者を集計した数。

注) 平成24年7月に改正出入国管理及び難民認定法等が施行され、新しい在留管理制度が導入されたため、従来の外国人登録者数とは単純に比較できない。

令和6年12月末現在

資料: 出入国在留管理庁「在留外国人統計」

注) 割合の算出に用いた人口は県統計課「埼玉県推計人口」(令和7年1月1日現在)による。なお、「埼玉県推計人口」については利用上の注意を参照すること。

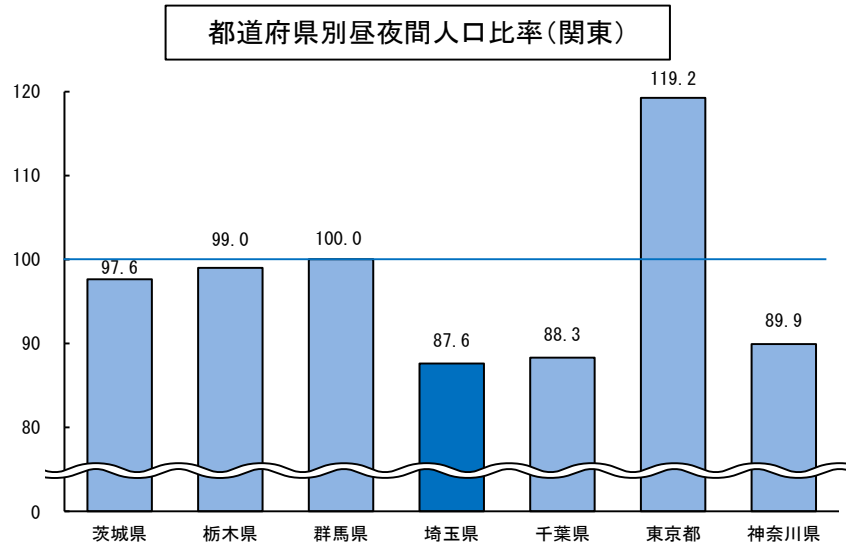
11 昼夜間人口比率

順位	市町村	比率
	全 県	87.6
1	三 芳 町	119.9
2	川 島 町	112.3
3	美 里 町	109.1
4	嵐 山 町	104.6
5	東 松 山 市	102.5
6	本 庄 市	101.2
7	寄 居 町	100.7
8	日 高 市	99.9
9	鳩 山 町	99.6
10	羽 生 市	98.2
11	伊 奈 町	97.7
12	熊 谷 市	97.5
13	秩 父 市	96.7
14	毛 呂 山 町	96.0
15	狭 山 市	95.7
16	加 須 見 市	95.5
17	吉 川 町	94.9
18	滑 越 川 町	94.8
19	滑 越 川 町	94.5
20	小 鹿 野 町	94.3
21	深 谷 市	94.2
22	と き が わ 町	94.1
23	久 喜 市	92.8
24	坂 戸 市	92.5
25	行 田 市	92.3
26	杉 戸 町	92.0
27	飯 能 市	91.9
28	越 生 町	91.7
29	八 潮 市	91.3
30	さ い た ま 市	90.9
31	皆 野 町	90.6
32	神 川 町	89.0
33	戸 田 市	88.9
34	幸 手 市	88.7
35	入 間 市	88.4
36	三 郷 市	88.2
37	上 里 町	85.7
38	長 瀬 町	85.6
39	越 谷 市	85.5
40	東 秩 父 村	85.2
41	小 川 町	85.0
42	新 座 市	84.7
43	和 光 市	84.0
44	蓮 田 市	83.9
45	桶 川 市	83.9
46	所 沢 市	83.8
47	横 瀬 町	82.8
48	春 日 部 市	82.6
49	上 尾 市	81.3
50	鶴 ヶ 島 市	80.5
51	宮 代 町	80.4
52	北 本 市	80.3
53	草 加 市	79.5
54	鴻 巣 市	79.4
55	ふ じ み 野 市	79.4
56	白 岡 市	79.2
57	朝 霞 市	78.7
58	吉 川 市	78.7
59	川 口 市	78.3
60	蕨 市	76.8
61	松 伏 町	76.7
62	志 木 町	76.6
63	富 士 見 市	68.9

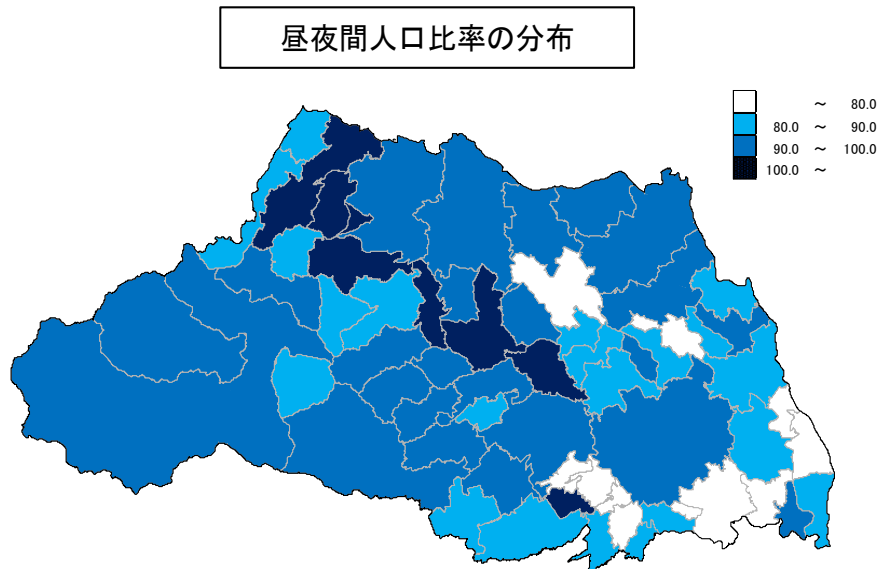
■ 埼玉県の昼夜間人口比率は、全国で最も低い

総務省統計局「国勢調査」によると、令和2年10月1日現在、昼夜間人口比率は87.6で、全国で最も低くなっています。

昼夜間人口比率が100を超える市町村は、埼玉県では三芳町をはじめとする7市町のみとなっています。



注) 不詳補完値による。
資料: 総務省統計局「令和2年国勢調査」



● 昼夜間人口比率とは

夜間人口(常住人口)100人当たりの昼間人口(従業地・通学地による人口)の比率。

令和2年10月1日現在

資料: 総務省統計局「令和2年国勢調査」

注) 集計結果(原数値)に含まれる労働力状態や従業地・通学地の「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」を使用。

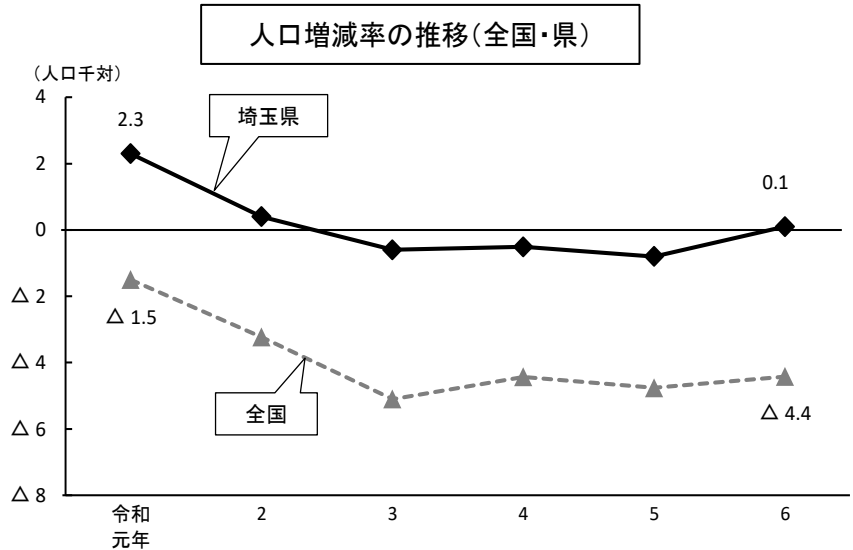
12 人口増減率

順位	市町村	増減率 (人口千対)	増減数 (人)
	全 県	△0.03	△254
1	蕨 市	15.42	1,156
2	和光市	9.17	775
3	戸田市	5.79	824
4	さいたま市	4.96	6,705
5	富士見市	4.45	504
6	朝霞市	4.30	619
7	川口市	2.75	1,634
8	草加市	1.95	489
9	上尾市	1.89	430
10	所沢市	1.61	549
11	桶川市	0.86	63
12	鴻巣市	0.33	38
13	ふじみ野市	0.26	30
14	川越市	0.14	51
15	羽生市	△0.15	△8
16	東松山市	△0.70	△65
17	志木市	△0.75	△56
18	久喜市	△1.14	△169
19	加須市	△1.41	△156
20	八潮市	△1.50	△142
21	北本市	△1.53	△98
22	越谷市	△1.72	△582
23	滑川市	△1.80	△36
24	三郷市	△1.90	△268
25	鶴ヶ島市	△2.22	△155
26	宮代町	△2.23	△75
27	新座市	△2.34	△389
28	坂戸市	△3.02	△300
29	蓮田市	△3.12	△190
30	伊奈町	△3.27	△147
31	春日部市	△3.33	△751
32	吉川市	△3.60	△256
33	上里町	△3.62	△108
34	深谷市	△3.65	△507
35	狭山市	△3.91	△573
36	行田市	△4.13	△313
37	松伏町	△4.51	△122
38	幸手市	△4.57	△221
39	白岡市	△4.70	△245
40	熊谷市	△5.23	△989
41	本庄市	△5.89	△454
42	三芳町	△6.19	△233
43	嵐山町	△6.76	△118
44	神川町	△7.27	△92
45	入間市	△7.38	△1,042
46	飯能市	△7.44	△587
47	杉戸町	△7.51	△321
48	日高市	△8.38	△446
49	川島町	△8.44	△154
50	美里町	△9.55	△101
51	毛呂山町	△9.75	△332
52	寄居町	△9.91	△306
53	横瀬町	△11.79	△87
54	小川町	△14.77	△393
55	吉見町	△17.15	△292
56	秩父市	△17.16	△947
57	皆野町	△18.07	△155
58	ときがわ町	△18.98	△186
59	鳩山町	△19.23	△246
60	越生町	△19.68	△203
61	長瀬町	△25.72	△161
62	小鹿野町	△26.25	△253
63	東秩父村	△38.59	△91

■ 埼玉県人口増減率は、△0.03

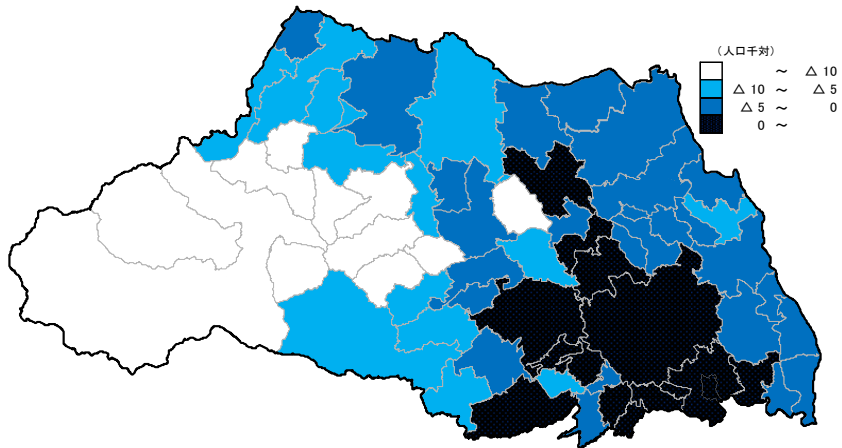
県統計課「埼玉県推計人口」によると、令和8年4月1日現在、前年同月と比較した人口増減率(人口千人当たり)は△0.03でした。

総務省統計局「人口推計」によると、近年の人口増減率は、全国はマイナスで推移していますが、埼玉県は令和6年10月1日現在、4年ぶりにプラスとなりました。



注)各年とも前年10月から当年9月まで
資料:総務省統計局「人口推計」

人口増減率の分布



● 人口増減率とは

一定期間における人口増減数(自然増減+社会増減)の人口に占める割合。
※本項においては、1年間における人口増減数の4月1日現在人口に占める割合(千人当たりで算出)。ただし、グラフは10月1日現在人口に占める割合。

令和8年4月1日現在

資料:県統計課「埼玉県推計人口」

注)推計人口は今後、令和7年国勢調査人口(速報値)を基に、再集計・置き換えを行う。また、令和7年国勢調査人口(確報値)の公表後においても、同様に再集計・置き換えを行う。(最新数値は県HP「彩の国統計情報館」に掲載)

13 社会増減率

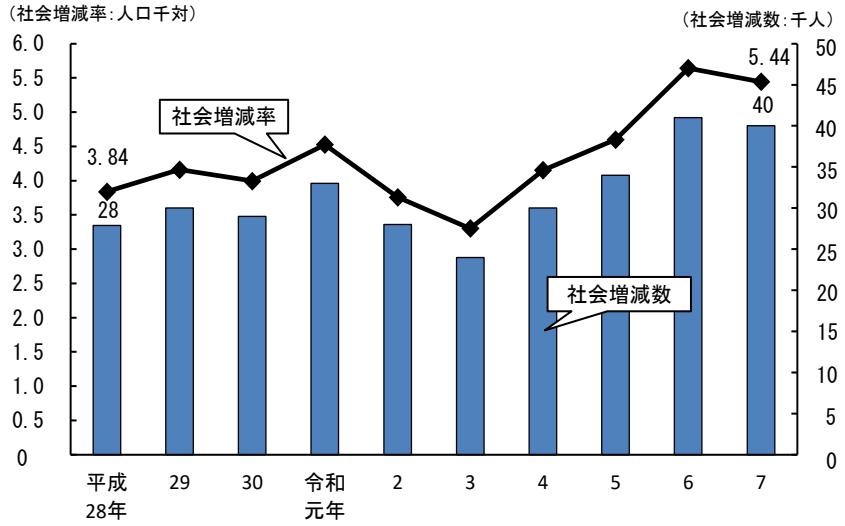
順位	市町村	増減率 (人口千対)	増減数 (人)
	全 県	5.44	39,898
1	蕨 市	14.84	1,113
2	東松山 市	9.48	878
3	三芳 町	8.75	330
4	草加 市	8.40	2,099
5	上尾 市	8.08	1,841
6	桶川 市	7.85	578
7	鴻巣 市	7.78	905
8	上里 町	7.34	220
9	加須 市	7.29	807
10	さいたま 市	7.26	9,803
11	八潮 市	6.84	646
12	嵐山 町	6.84	120
13	久喜 市	6.71	1,000
14	富士見 市	6.42	726
15	川口 市	6.14	3,652
16	ふじみ野 市	6.08	690
17	神川 町	6.04	77
18	所沢 市	5.96	2,032
19	坂戸 市	5.73	571
20	北本市 市	5.69	367
21	深谷 市	5.69	792
22	川越 市	5.58	1,978
23	羽生 市	5.48	286
24	朝霞 市	5.38	775
25	幸手 市	5.34	259
26	宮代 町	5.29	178
27	新座 市	5.22	868
28	志木 市	5.10	383
29	戸田 市	4.74	674
30	春日部 市	4.68	1,059
31	滑川 町	4.35	87
32	三郷 市	4.32	612
33	蓮田 市	4.16	254
34	鶴ヶ島 市	3.97	278
35	熊谷 市	3.83	728
36	ときがわ 町	3.75	37
37	美里 町	3.66	39
38	越谷 市	3.57	1,210
39	行田 市	3.26	249
40	川島 町	3.21	59
41	狭山市 市	3.12	459
42	寄居 町	2.96	92
43	飯能 市	2.79	221
44	日本高市 市	2.79	149
45	本庄 市	2.39	185
46	伊奈 町	1.71	77
47	白岡 市	1.40	73
48	毛呂山 町	1.08	37
49	吉川 市	1.04	74
50	松伏 町	0.63	17
51	杉戸 町	0.30	13
52	和光 市	△0.29	△25
53	入間 市	△0.80	△114
54	横瀬 町	△1.47	△11
55	鳩山 町	△2.10	△27
56	皆野 町	△2.64	△23
57	吉見 町	△3.43	△59
58	小川 町	△3.50	△94
59	秩父 市	△4.00	△223
60	越生 町	△5.27	△55
61	小鹿野 町	△6.44	△63
62	長瀨 町	△7.12	△45
63	東秩父 村	△8.36	△20

■ 埼玉県社会増減率は、5.44

県統計課「埼玉県推計人口」によると、令和7年10月1日現在、前年同月と比較した社会増減数は39,898人増で、社会増減率(人口千人当たり)は5.44でした。社会増減率は、埼玉県の12の市町村でマイナス、51の市町でプラスとなりました。

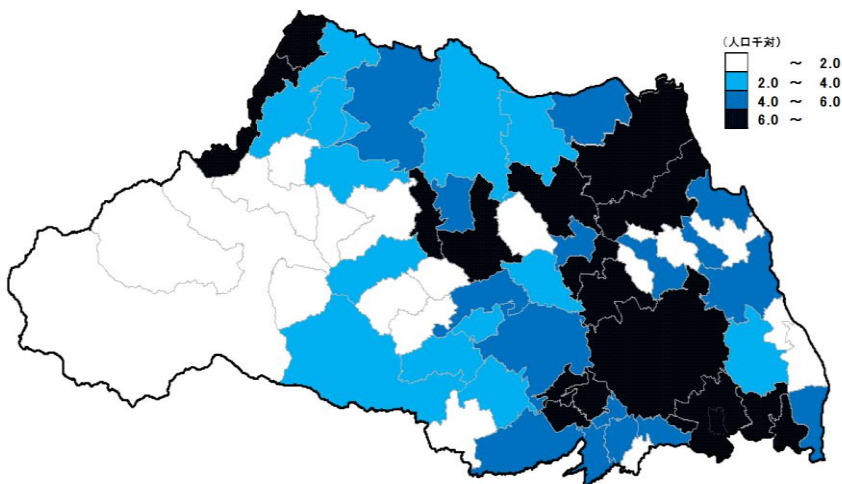
平成28年からの推移をみると、令和元年までは増減を繰り返し、コロナ禍の令和2年から令和3年にかけては減少しました。令和4年以降は上昇傾向にありましたが、令和7年は再び減少しました。

社会増減率の推移(全県)



注) 各年とも前年10月1日から当年9月末までの値。
資料: 県統計課「埼玉県推計人口」

社会増減率の分布



● 社会増減率とは

一定期間における社会増減数(転入者数-転出者数)の人口に占める割合。

※本項においては、1年間における社会増減数の10月1日現在人口に占める割合(千人当たりで算出)。

令和7年10月1日現在
資料: 県統計課「埼玉県推計人口」
注) 推計人口は今後、令和7年国勢調査人口(速報値)を基に、再集計・置き換えを行う。また、令和7年国勢調査人口(確報値)の公表後においても、同様に再集計・置き換えを行う。(最新数値は県HP「彩の国統計情報館」に掲載)

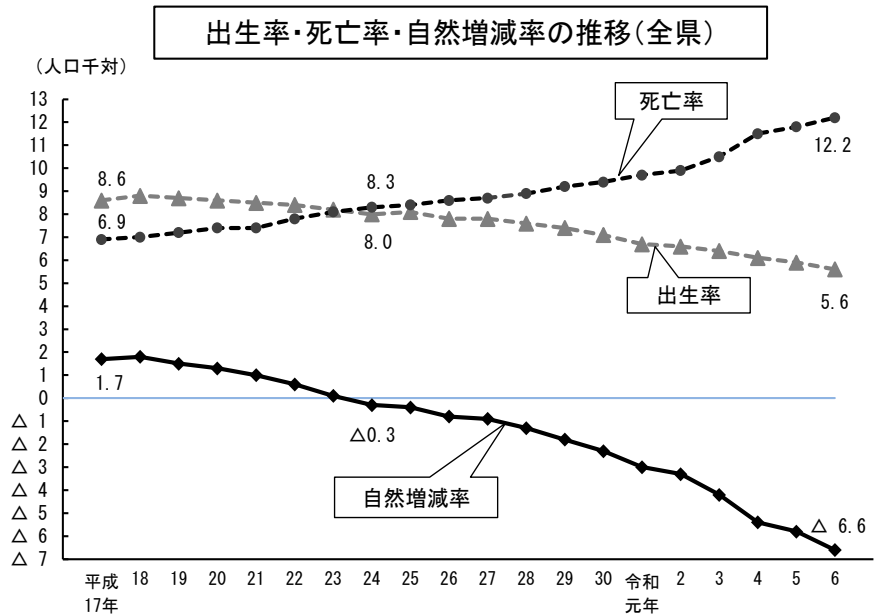
14 自然増減率

順位	市町村	増減率 (人口千対)	増減数 (人)
	全 県	△6.6	△46,427
1	和 光 市	△0.4	△30
2	戸 田 市	△0.9	△121
3	朝 霞 市	△1.4	△208
4	八 潮 市	△3.3	△307
5	さいたま市	△3.5	△4,719
6	富 士 見 市	△4.1	△465
7	滑 川 町	△4.3	△86
8	吉 川 市	△4.4	△313
9	志 木 市	△5.0	△373
10	草 加 市	△5.0	△1,256
11	蕨 市	△5.4	△402
12	越 谷 市	△5.4	△1,825
13	川 口 市	△5.4	△3,204
14	伊 奈 町	△5.5	△248
15	白 岡 市	△5.7	△296
16	所 沢 市	△6.0	△2,052
17	新 座 市	△6.1	△1,009
18	ふじみ野市	△6.2	△706
19	三 郷 市	△6.2	△883
20	上 尾 市	△6.4	△1,450
21	川 越 市	△6.6	△2,348
22	蓮 田 市	△6.6	△405
23	鴻 巣 市	△6.7	△777
24	東 松 山 市	△6.8	△631
25	鶴ヶ島市	△6.8	△478
26	三 芳 町	△7.4	△278
27	宮 代 町	△8.0	△268
28	入 間 市	△8.1	△1,153
29	加 須 市	△8.1	△901
30	桶 川 市	△8.2	△602
31	久 喜 市	△8.2	△1,223
32	坂 戸 市	△8.6	△852
33	飯 能 市	△8.7	△689
34	熊 谷 市	△9.0	△1,702
35	本 庄 市	△9.3	△721
36	春 日 部 市	△9.4	△2,118
37	深 谷 市	△9.5	△1,319
38	狭 山 市	△9.7	△1,427
39	北 本 市	△10.0	△645
40	日 高 市	△10.0	△536
41	羽 生 市	△10.2	△532
42	松 伏 町	△10.6	△287
43	上 里 町	△11.1	△333
44	行 田 市	△11.4	△874
45	川 島 町	△12.0	△221
46	杉 戸 町	△12.2	△527
47	幸 手 市	△12.3	△599
48	寄 居 町	△12.5	△389
49	毛 呂 山 町	△12.7	△436
50	嵐 山 町	△12.9	△226
51	越 生 町	△13.2	△138
52	秩 父 市	△13.5	△750
53	横 瀬 町	△14.2	△106
54	吉 見 町	△14.5	△250
55	鳩 山 町	△14.6	△188
56	小 川 町	△16.1	△432
57	東 秩 父 村	△16.3	△39
58	小 鹿 野 町	△16.7	△163
59	神 川 町	△17.4	△222
60	美 里 町	△18.3	△195
61	長 瀨 町	△18.4	△116
62	皆 野 町	△19.7	△172
63	ときがわ町	△20.9	△206

■ 埼玉県自然増減率は、平成24年からマイナスに

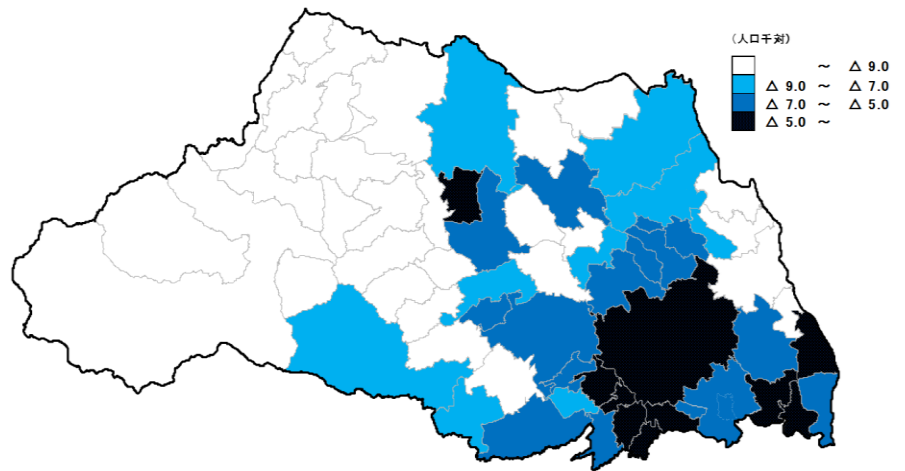
県保健医療政策課「埼玉県の人口動態概況」によると、令和6年の自然増減率(人口千人当たり)は△6.6でした。

平成17年からの推移をみると、自然増減率はプラスで推移してきましたが、平成24年に死亡率が出生率を上回ったためマイナスに転じ、以降、13年連続してマイナスで推移しています。



資料: 県保健医療政策課「令和6年埼玉県の人口動態概況」

自然増減率の分布



● 自然増減率とは

一定期間における自然増減数(出生数-死亡数)の人口に占める割合。
 ※本項においては、1年間における自然増減数の10月1日現在人口に占める割合(千人当たりで算出)。

令和6年
 資料: 県保健医療政策課「令和6年埼玉県の人口動態概況」

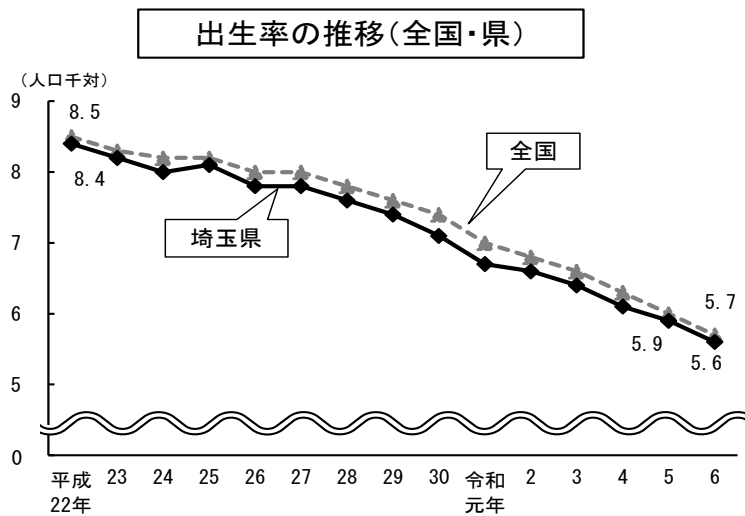
15 出生率

順位	市町村	出生率 (人口千対)	出生数 (人)
	全 県	5.6	39,956
1	朝 霞 市	7.4	1,071
2	和 光 市	7.4	624
3	戸 田 市	7.1	1,003
4	八 潮 市	6.7	637
5	さいたま市	6.6	8,973
6	富 士 見 市	6.5	737
7	滑 川 町	6.2	124
8	白 岡 市	6.1	319
9	志 木 市	5.9	444
10	上 尾 市	5.8	1,311
11	川 口 市	5.7	3,366
12	越 谷 市	5.6	1,904
13	蓮 田 市	5.6	340
14	吉 川 市	5.5	395
15	三 郷 市	5.5	779
16	草 加 市	5.4	1,343
17	新 座 市	5.4	892
18	所 沢 市	5.4	1,829
19	ふじみ野市	5.3	601
20	東 松 山 市	5.2	486
21	美 里 町	5.2	55
22	川 越 市	5.1	1,818
23	宮 代 町	5.1	172
24	桶 川 市	5.1	376
25	鴻 巣 市	5.1	589
26	熊 谷 市	5.0	954
27	蕨 市	4.9	370
28	深 谷 市	4.9	685
29	伊 奈 町	4.9	220
30	加 須 市	4.8	531
31	本 庄 市	4.8	371
32	上 里 町	4.7	142
33	鶴ヶ島市	4.7	328
34	久 喜 市	4.6	691
35	狭 山 市	4.6	682
36	三 芳 町	4.5	171
37	北 本 市	4.4	283
38	春 日 部 市	4.4	992
39	飯 能 市	4.4	347
40	羽 生 市	4.3	225
41	入 間 市	4.2	598
42	行 田 市	4.1	315
43	秩 父 市	3.9	220
44	日 高 市	3.9	210
45	坂 戸 市	3.9	387
46	寄 居 町	3.8	117
47	幸 手 市	3.6	173
48	越 生 町	3.5	37
49	松 伏 町	3.5	94
50	杉 戸 町	3.4	148
51	東 秩 父 村	3.3	8
52	吉 見 町	3.1	54
53	横 瀬 町	2.9	22
54	小 川 町	2.9	79
55	川 島 町	2.8	52
56	皆 野 町	2.5	22
57	毛 呂 山 町	2.5	86
58	嵐 山 町	2.5	43
59	ときがわ町	2.4	24
60	神 川 町	2.3	29
61	長 瀬 町	2.2	14
62	小 鹿 野 町	2.0	20
63	鳩 山 町	1.9	24

■ 埼玉県の出産率は、5.6

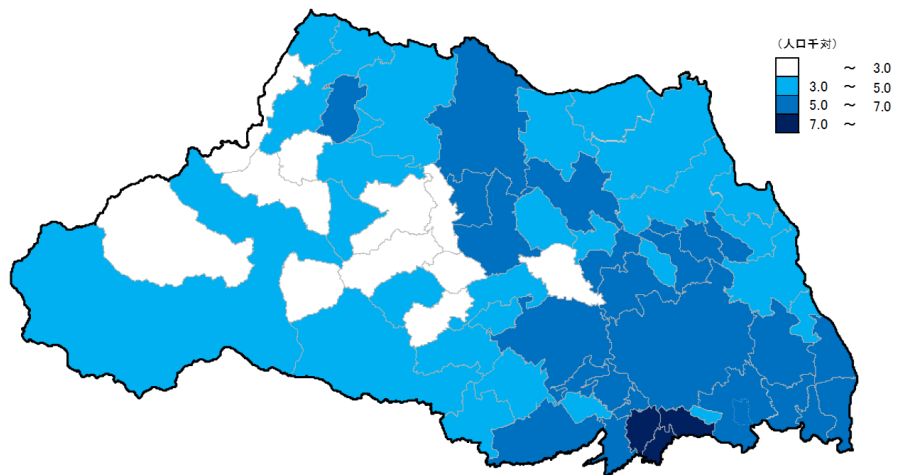
県保健医療政策課「埼玉県の人口動態概況」によると、令和6年の出生数は39,956人で、前年と比べ2,152人減少しました。また、出生率（人口千人あたり）は、前年の5.9から5.6に低下しました。

平成22年からの推移をみると、埼玉県の出産率は、全国を下回って推移しています。



資料：県保健医療政策課「令和6年埼玉県の人口動態概況」

出生率の分布



● 出生率とは

一定期間における出生数の人口に占める割合。

※本項においては、1年間における出生数の10月1日現在人口に占める割合(千人当たりで算出)。

令和6年

資料：県保健医療政策課「令和6年埼玉県の人口動態概況」

16 死亡率

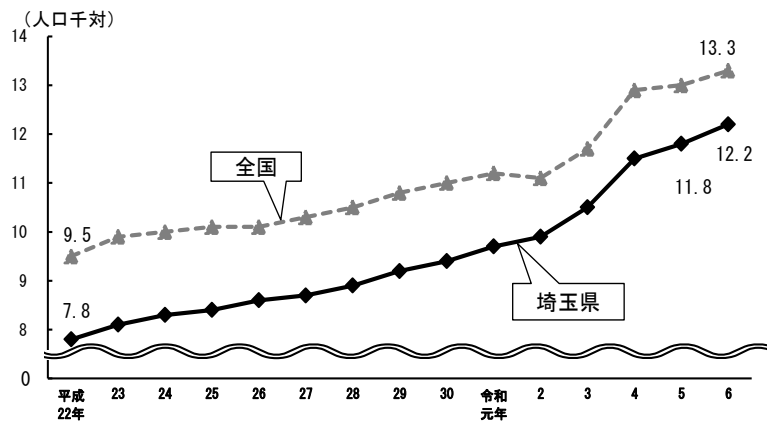
順位	市町村	死亡率 (人口千対)	死亡数 (人)
	全 県	12.2	86,383
1	美 里 町	23.4	250
2	ときがわ町	23.3	230
3	皆 野 町	22.2	194
4	長 瀬 町	20.6	130
5	神 川 町	19.7	251
6	東 秩 父 村	19.7	47
7	小 川 町	19.0	511
8	小 鹿 野 町	18.7	183
9	吉 見 町	17.7	304
10	秩 父 市	17.4	970
11	横 瀬 町	17.1	128
12	越 生 町	16.8	175
13	鳩 山 町	16.5	212
14	寄 居 町	16.3	506
15	幸 手 市	15.9	772
16	上 里 町	15.8	475
17	杉 戸 町	15.7	675
18	行 田 市	15.6	1,189
19	嵐 山 町	15.3	269
20	毛 呂 山 町	15.2	522
21	川 島 町	14.9	273
22	羽 生 市	14.5	757
23	深 谷 市	14.4	2,004
24	北 本 市	14.4	928
25	狭 本 市	14.3	2,109
26	本 庄 市	14.1	1,092
27	松 伏 町	14.0	381
28	熊 谷 市	14.0	2,656
29	日 高 市	14.0	746
30	春 日 部 市	13.7	3,110
31	桶 川 市	13.3	978
32	飯 能 市	13.1	1,036
33	宮 代 町	13.1	440
34	加 須 市	12.9	1,432
35	久 喜 市	12.8	1,914
36	坂 戸 市	12.4	1,239
37	入 間 市	12.3	1,751
38	蓮 田 市	12.2	745
39	上 尾 市	12.1	2,761
40	東 松 山 市	12.1	1,117
41	三 芳 町	11.9	449
42	白 岡 市	11.8	615
43	川 越 市	11.8	4,166
44	三 郷 市	11.7	1,662
45	鴻 巣 市	11.7	1,366
46	ふ じ み 野 市	11.5	1,307
47	鶴 ヶ 島 市	11.5	806
48	新 座 市	11.4	1,901
49	所 沢 市	11.4	3,881
50	川 口 市	11.0	6,570
51	越 谷 市	11.0	3,729
52	志 木 市	10.9	817
53	富 士 見 市	10.6	1,202
54	滑 川 町	10.5	210
55	草 加 市	10.4	2,599
56	伊 奈 町	10.4	468
57	蕨 市	10.3	772
58	さいたま市	10.1	13,692
59	八 潮 市	10.0	944
60	吉 川 市	9.9	708
61	朝 霞 市	8.9	1,279
62	戸 田 市	7.9	1,124
63	和 光 市	7.7	654

■ 埼玉県は、12.2

県保健医療政策課「埼玉県の人口動態概況」によると、令和6年の死亡数は86,383人でした。また、死亡率(人口千人当たり)は、前年の11.8から12.2に上昇しました。

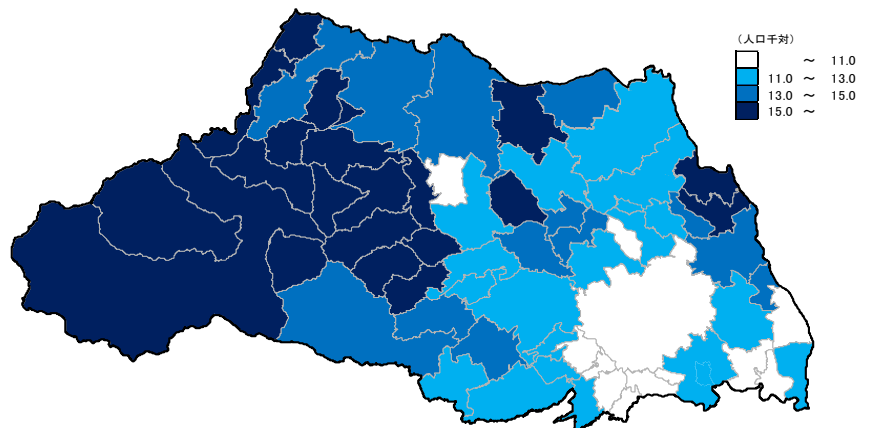
平成22年からの推移をみると、埼玉県の死亡率は全国を下回って推移しています。令和6年は全国で6番目に低い率となったものの、全国と同様に上昇傾向にあります。

死亡率の推移(全国・県)



資料: 県保健医療政策課「令和6年埼玉県の人口動態概況」

死亡率の分布



● 死亡率とは

一定期間における死亡数の人口に占める割合。

※本項においては、1年間における死亡数の10月1日現在人口に占める割合(千人当たりで算出)。

令和6年

資料: 県保健医療政策課「令和6年埼玉県の人口動態概況」

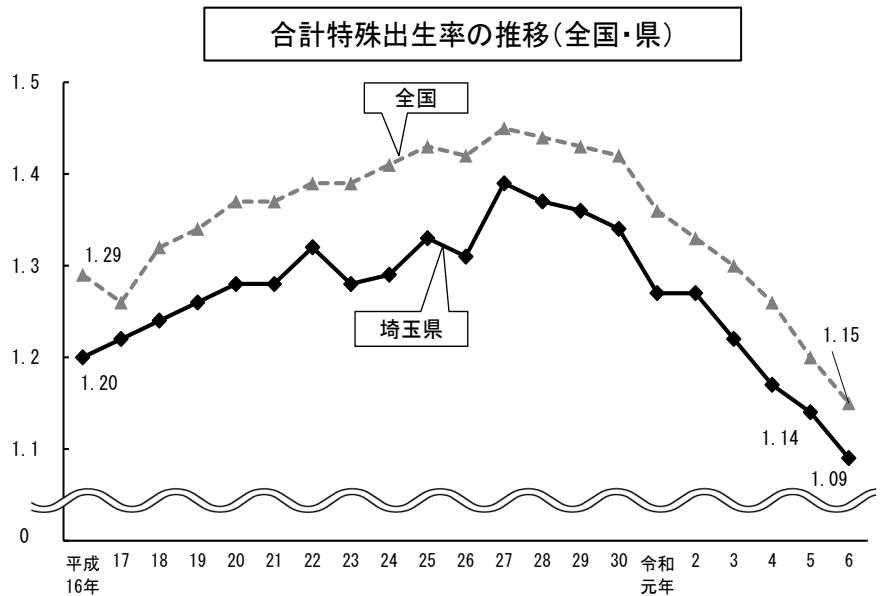
17 合計特殊出生率

順位	市町村	合計特殊出生率
	全 県	1.09
1	美 里 町	1.30
2	滑 川 町	1.19
3	蓮 田 市	1.15
4	朝 霞 市	1.12
5	白 岡 市	1.12
6	宮 代 市	1.11
7	さいたま市	1.09
8	東 松 山 市	1.08
9	八 潮 市	1.07
10	上 尾 市	1.07
11	熊 谷 市	1.05
12	三 芳 町	1.05
13	深 谷 市	1.04
14	富 士 見 市	1.04
15	志 木 市	1.04
16	桶 川 市	1.03
17	三 郷 市	1.03
18	伊 奈 町	1.03
19	新 座 市	1.02
20	和 光 市	1.02
21	鴻 巣 市	1.02
22	上 里 町	1.01
23	越 谷 市	1.01
24	本 庄 市	1.00
25	戸 田 市	1.00
26	ふじみ野市	1.00
27	吉 川 市	0.99
28	加 須 市	0.99
29	東 秩 父 村	0.98
30	狭 山 市	0.98
31	所 沢 市	0.98
32	日 高 市	0.97
33	飯 能 市	0.97
34	川 越 市	0.97
35	草 加 市	0.96
36	秩 父 市	0.96
37	久 喜 市	0.95
38	北 本 市	0.94
39	越 生 町	0.93
40	鶴 ヶ 島 市	0.93
41	川 口 市	0.91
42	春 日 部 市	0.91
43	行 田 市	0.89
44	入 間 市	0.89
45	幸 手 市	0.89
46	坂 戸 市	0.86
47	羽 生 市	0.86
48	寄 居 町	0.84
49	小 川 町	0.82
50	杉 戸 町	0.80
51	松 伏 町	0.79
52	吉 見 町	0.79
53	長 瀨 町	0.77
54	皆 野 町	0.77
55	横 瀨 町	0.76
56	川 島 町	0.75
57	蕨 市	0.71
58	ときがわ町	0.70
59	毛 呂 山 町	0.64
60	鳩 山 町	0.62
61	小 鹿 野 町	0.60
62	嵐 山 町	0.57
63	神 川 町	0.54

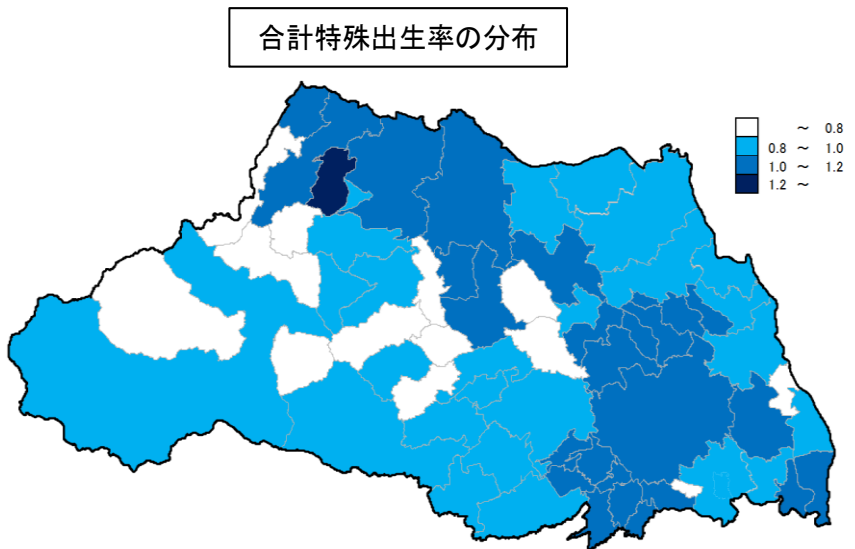
■ 埼玉県の合計特殊出生率は、1.09

県保健医療政策課「埼玉県の人口動態概況」によると、令和6年の合計特殊出生率は1.09で、前年(1.14)と比べ0.05ポイント低下しました。

合計特殊出生率は、平成17年以降おおむね上昇傾向で推移していましたが、平成28年以降は低下傾向に転じ、令和6年は昭和25年以降、最も低くなりました。



資料：県保健医療政策課「令和6年埼玉県の人口動態概況」



● 合計特殊出生率とは
 15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した数値で、一人の女性がその年齢出生率で一生涯の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。
 ※本項においては、1年間における母の年齢別出生数の1月1日現在の年齢別女性人口に占める割合の15歳から49歳までの合計。

令和6年

資料：県保健医療政策課「令和6年埼玉県の人口動態概況」

注)算出に用いた人口は県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査」(令和6年1月1日現在)による。

18 婚姻率

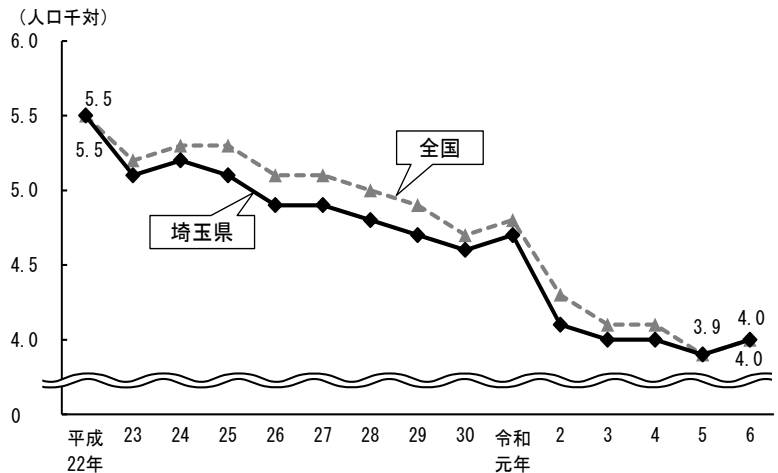
順位	市町村	婚姻率 (人口千対)	婚姻件数 (組)
	全 県	4.0	28,250
1	和 光 市	6.4	540
2	八 潮 市	5.9	553
3	蕨 市	5.6	418
4	戸 田 市	5.6	792
5	朝 霞 市	5.4	783
6	さいたま市	4.6	6,265
7	川 口 市	4.5	2,648
8	越 谷 市	4.3	1,455
9	富 士 見 市	4.2	473
10	白 岡 市	4.0	208
11	志 木 市	3.9	296
12	吉 川 市	3.9	280
13	草 加 市	3.8	948
14	川 越 市	3.8	1,340
15	蓮 田 市	3.7	229
16	所 沢 市	3.7	1,277
17	上 尾 市	3.7	841
18	三 郷 市	3.7	521
19	ふじみ野市	3.6	408
20	新 座 市	3.6	592
21	熊 谷 市	3.5	669
22	伊 奈 町	3.4	155
23	鶴ヶ島市	3.3	231
24	鴻 巣 市	3.2	371
25	加 須 市	3.2	352
26	深 谷 市	3.2	440
27	春 日 部 市	3.2	713
28	本 庄 市	3.1	243
29	狭 山 市	3.1	460
30	羽 生 市	3.1	163
31	越 生 町	3.1	32
32	神 川 町	3.1	39
33	桶 川 市	3.0	218
34	坂 戸 市	3.0	294
35	東 松 山 市	2.9	269
36	北 本 市	2.9	187
37	久 喜 市	2.9	425
38	滑 川 町	2.8	56
39	川 島 町	2.8	51
40	寄 居 町	2.8	86
41	秩 父 市	2.7	153
42	上 里 町	2.7	82
43	入 間 市	2.7	388
44	松 伏 町	2.6	72
45	宮 代 町	2.6	88
46	行 田 市	2.6	199
47	飯 能 市	2.6	204
48	日 高 市	2.4	128
49	毛 呂 山 町	2.4	82
50	嵐 山 町	2.3	41
51	小 川 町	2.2	60
52	幸 手 市	2.2	108
53	長 瀨 町	2.2	14
54	三 芳 町	2.2	82
55	杉 戸 町	2.1	91
56	鳩 山 町	2.0	26
57	横 瀨 町	2.0	15
58	吉 見 町	1.9	33
59	皆 野 町	1.8	16
60	美 里 町	1.8	19
61	東 秩 父 村	1.7	4
62	小 鹿 野 町	1.4	14
63	ときがわ町	1.0	10

■ 埼玉県の婚姻率は、4.0

県保健医療政策課「埼玉県の人口動態概況」によると、令和6年の婚姻件数は28,250組、婚姻率(人口千人当たり)は前年の3.9から4.0に上昇しました。

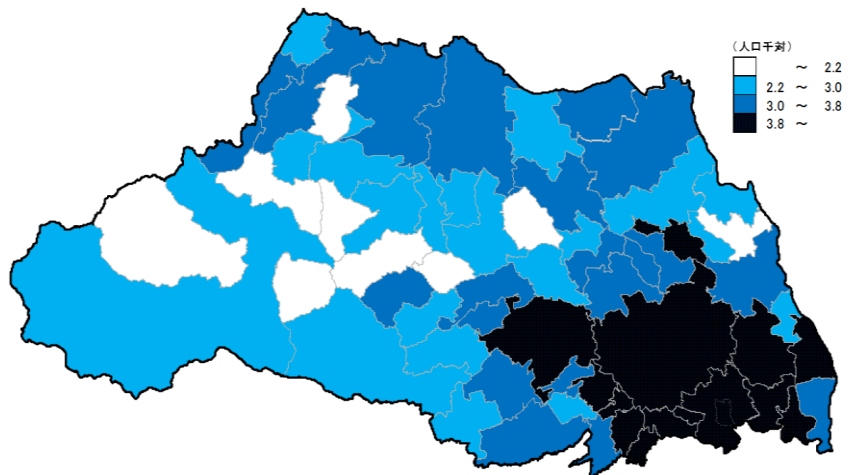
平成22年からの推移をみると、埼玉県の婚姻率は、平成22年は全国と同率でしたが、平成23年以降は全国を下回って推移し、令和5年からは同率が続いています。

婚姻率の推移(全国・県)



資料: 県保健医療政策課「令和6年埼玉県の人口動態概況」

婚姻率の分布



● 婚姻率とは

一定期間における婚姻件数の人口に占める割合。

※本項においては、1年間における婚姻件数の10月1日現在人口に占める割合(千人当たりで算出)。

令和6年

資料: 県保健医療政策課「令和6年埼玉県の人口動態概況」

19 離婚率

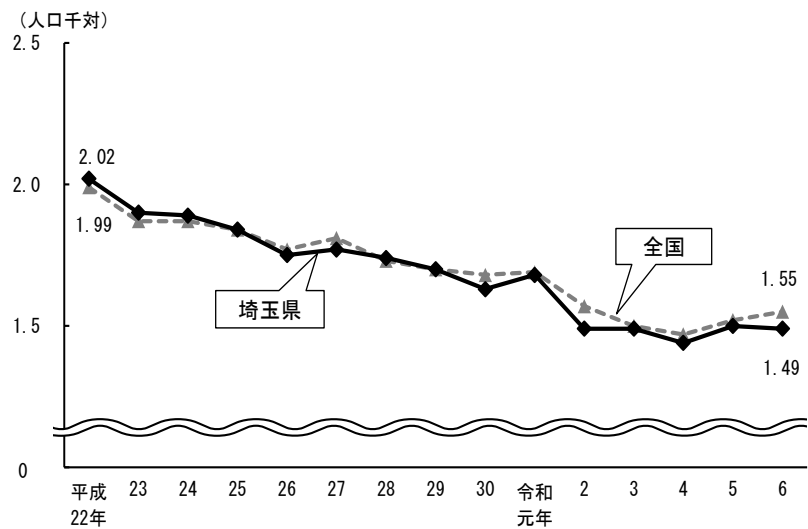
順位	市町村	離婚率 (人口千対)	離婚件数 (組)
	全 県	1.49	10,562
1	鳩 山 町	1.94	25
2	鶴ヶ島 市	1.84	129
3	伊 奈 町	1.82	82
4	志 木 市	1.80	135
5	宮 代 町	1.78	60
6	吉 川 市	1.77	126
7	戸 田 市	1.75	249
8	川 口 市	1.69	1,006
9	八 潮 市	1.66	157
10	富 士 見 市	1.64	186
11	寄 居 町	1.64	51
12	春 日 部 市	1.64	370
13	三 郷 市	1.63	231
14	深 谷 市	1.63	227
15	と ぎ が わ 町	1.62	16
16	日 高 市	1.61	86
17	杉 戸 町	1.60	69
18	滑 川 町	1.60	32
19	坂 戸 市	1.58	157
20	加 須 市	1.55	172
21	行 田 市	1.55	118
22	嵐 山 町	1.54	27
23	入 間 市	1.53	217
24	本 庄 市	1.52	118
25	和 光 市	1.52	129
26	草 加 市	1.51	376
27	羽 生 市	1.49	78
28	朝 霞 市	1.48	213
29	越 谷 市	1.47	499
30	北 本 市	1.43	92
31	川 越 市	1.42	503
32	所 沢 市	1.41	482
33	上 里 町	1.37	41
34	飯 能 市	1.36	108
35	松 伏 町	1.36	37
36	蓮 田 市	1.34	82
37	横 瀬 町	1.34	10
38	上 尾 市	1.34	305
39	蕨 市	1.33	100
40	鴻 巣 市	1.33	155
41	三 芳 町	1.33	50
42	新 座 市	1.32	219
43	さいたま 市	1.29	1,748
44	狭 山 市	1.28	188
45	久 喜 市	1.27	189
46	幸 手 市	1.26	61
47	毛 呂 山 町	1.25	43
48	ふ じ み 野 市	1.24	141
49	桶 川 市	1.24	91
50	白 岡 市	1.22	64
51	吉 見 町	1.22	21
52	秩 父 市	1.18	66
53	熊 谷 市	1.17	223
54	川 島 町	1.14	21
55	美 里 町	1.13	12
56	小 川 町	1.12	30
57	東 松 山 市	1.11	103
58	越 生 町	0.96	10
59	皆 野 町	0.92	8
60	神 川 町	0.71	9
61	長 瀨 町	0.63	4
62	東 秩 父 村	0.42	1
63	小 鹿 野 町	0.41	4

■ 埼玉県は、1.49

県保健医療政策課「埼玉県の人口動態概況」によると、令和6年の離婚件数は10,562組、離婚率は人口千人に対し1.49でした。

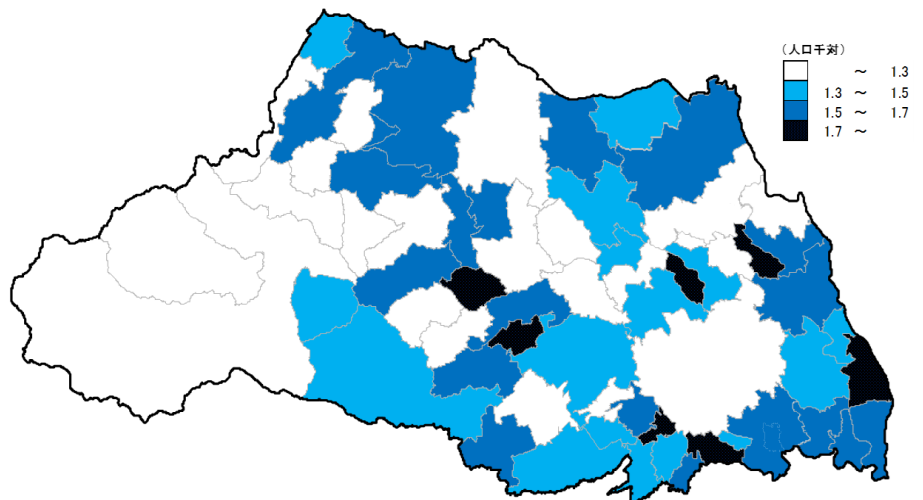
平成22年からの推移をみると、埼玉県の離婚率は、全国とほぼ同率で推移しており、おおむね低下傾向にあります。

離婚率の推移(全国・県)



資料: 県保健医療政策課「令和6年埼玉県の人口動態概況」

離婚率の分布



● 離婚率とは

一定期間における離婚件数の人口に占める割合。

※本項においては、1年間における離婚件数の10月1日現在人口に占める割合(千人当たりで算出)。

令和6年

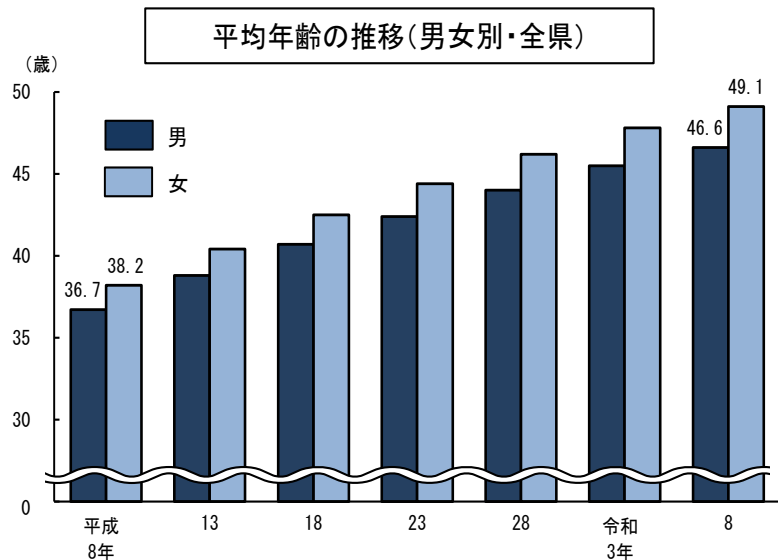
資料: 県保健医療政策課「令和6年埼玉県の人口動態概況」

20 平均年齢

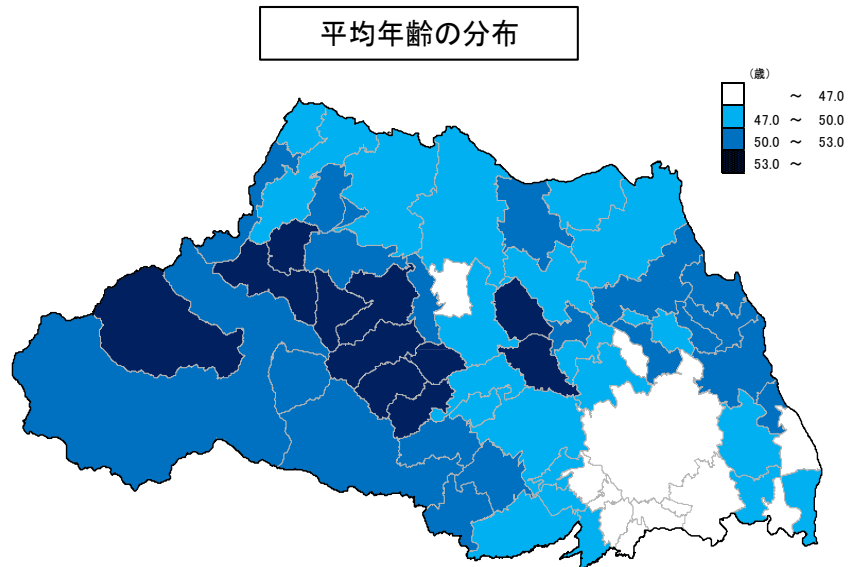
順位	市町村	平均年齢 (歳)
	全 県	47.9
1	東 秩 父 村	59.7
2	鳩 山 町	57.9
3	小 鹿 野 町	56.2
4	小 川 瀨 町	56.1
5	長 瀨 町	55.9
6	ときがわ 町	55.8
7	越 生 町	54.7
8	皆 野 町	54.5
9	吉 見 町	54.0
10	川 島 町	53.5
11	毛 呂 山 町	53.0
12	横 瀨 町	52.5
13	秩 父 市	52.4
14	幸 手 居 市	52.3
15	寄 居 町	52.1
16	嵐 山 町	52.1
17	杉 戸 町	51.6
18	美 里 町	51.5
19	神 川 町	51.5
20	北 本 高 田 市	51.2
21	日 高 市	51.2
22	行 田 市	51.0
23	飯 能 市	50.8
24	狭 山 市	50.5
25	春 日 部 市	50.4
26	松 伏 町	50.4
27	宮 代 町	50.4
28	蓮 田 市	50.3
29	入 間 市	50.2
30	久 喜 市	50.0
31	熊 谷 市	49.8
32	加 須 市	49.6
33	羽 生 市	49.6
34	桶 川 市	49.6
35	鴻 巣 市	49.5
36	本 庄 市	49.4
37	深 谷 市	49.3
38	三 芳 町	49.2
39	坂 戸 市	49.2
40	鶴 ヶ 島 市	49.2
41	上 里 市	49.0
42	東 松 山 市	48.8
43	所 沢 市	48.4
44	白 岡 市	48.4
45	上 尾 市	48.2
46	川 越 市	47.9
47	ふ じ み 野 市	47.5
48	三 郷 市	47.5
49	新 座 市	47.4
50	越 谷 市	47.3
51	草 加 市	47.1
52	志 木 市	46.9
53	伊 奈 町	46.6
54	富 士 見 市	46.3
55	吉 川 市	46.2
56	川 口 市	46.1
57	さ い た ま 市	45.9
58	蕨 市	45.7
59	八 潮 市	45.5
60	滑 川 町	45.0
61	朝 霞 市	44.4
62	和 光 市	43.4
63	戸 田 市	42.9

■ 埼玉県の平均年齢は、男女共に上昇が続く

県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査」によると、令和8年1月1日現在、平均年齢は47.9歳でした。5年ごとの推移をみると、昭和54年の調査開始以来、一貫して上昇を続けており、令和8年は平成8年(37.5歳)に比べて10.4歳上昇しています。男女別では、男性が46.6歳、女性が49.1歳で、女性が男性より2.5歳高くなっています。



資料: 県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査」



● 平均年齢とは

(年齢(各歳)+0.5)×各歳別人口÷(総人口-年齢不詳者)の式で求められる。

※年齢に0.5を加える理由: X歳と0日から364日までの人がいることを考慮し、平均である半年分(0.5歳)を加えている。

令和8年1月1日現在
資料: 県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査」

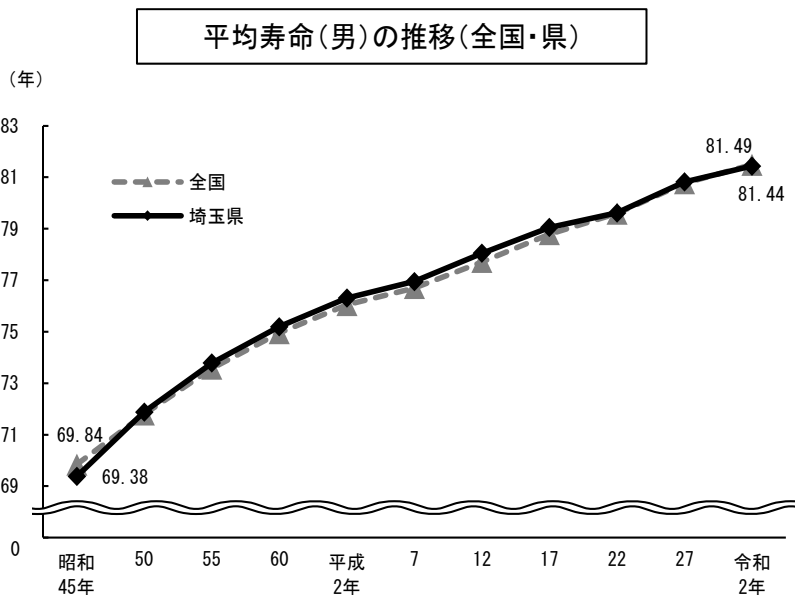
21-1 平均寿命（男）

順位	市町村	平均寿命 (年)
	全 県	81.4
1	上 尾 市	82.1
1	和 光 市	82.1
1	鳩 山 町	82.1
4	さい いた ま 市	82.0
4	伊 奈 町	82.0
6	所 沢 市	81.9
6	狭 山 市	81.9
6	鴻 巣 市	81.9
6	入 間 市	81.9
10	川 越 市	81.8
10	東 松 山 市	81.8
10	新 座 市	81.8
10	久 喜 市	81.8
14	飯 能 市	81.7
14	志 木 市	81.7
14	白 岡 市	81.7
14	越 生 町	81.7
14	川 島 町	81.7
19	朝 霞 市	81.6
19	蓮 田 市	81.6
19	鶴 ヶ 島 市	81.6
22	春 日 市	81.5
22	北 本 市	81.5
22	坂 戸 市	81.5
22	吉 川 市	81.5
22	小 川 町	81.5
22	宮 代 町	81.5
22	杉 戸 町	81.5
29	桶 川 市	81.4
29	八 潮 市	81.4
29	ふ じ み 野 市	81.4
29	毛 呂 山 町	81.4
29	滑 川 町	81.4
29	嵐 山 町	81.4
29	と き が わ 町	81.4
29	皆 野 町	81.4
29	長 瀬 町	81.4
29	東 秩 父 村	81.4
39	草 加 市	81.3
39	富 士 見 市	81.3
39	小 鹿 野 町	81.3
39	寄 居 町	81.3
43	加 須 市	81.2
43	越 谷 市	81.2
43	三 郷 市	81.2
43	幸 手 市	81.2
43	日 高 市	81.2
43	吉 見 町	81.2
43	松 伏 町	81.2
50	三 芳 町	81.1
50	上 里 町	81.1
52	熊 谷 市	80.9
52	秩 父 市	80.9
52	羽 生 市	80.9
52	蕨 市	80.9
52	戸 田 市	80.9
57	行 田 市	80.7
57	横 瀬 町	80.7
59	美 里 町	80.6
60	深 谷 市	80.5
61	川 口 市	80.4
61	本 庄 市	80.4
63	神 川 町	80.3

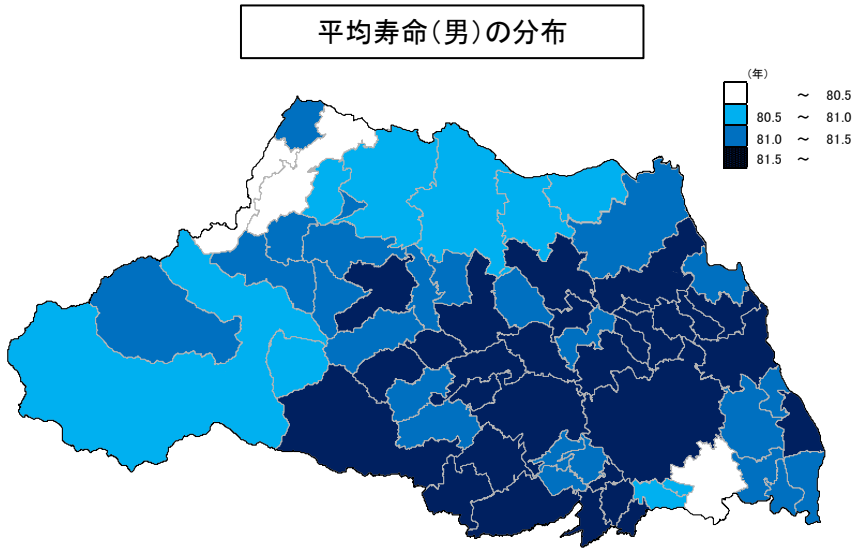
■ 埼玉県の男性の平均寿命は、50年間で12.06年の伸び

厚生労働省「都道府県別生命表」によると、令和2年の男性の平均寿命は81.44年でした。

昭和45年からの推移をみると、男性の平均寿命は、昭和50年以降は全国を上回りましたが、令和2年は若干下回りました。昭和45年から令和2年の50年間の伸びをみると、全国を0.41年上回る12.06年となりました。



資料：厚生労働省「都道府県別生命表」



● 平均寿命とは
0歳の平均余命。
※平均余命とは、ある期間における死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の者が平均してあと何年生きられるかという期待値。

令和2年
資料：厚生労働省「令和2年市区町村別生命表」

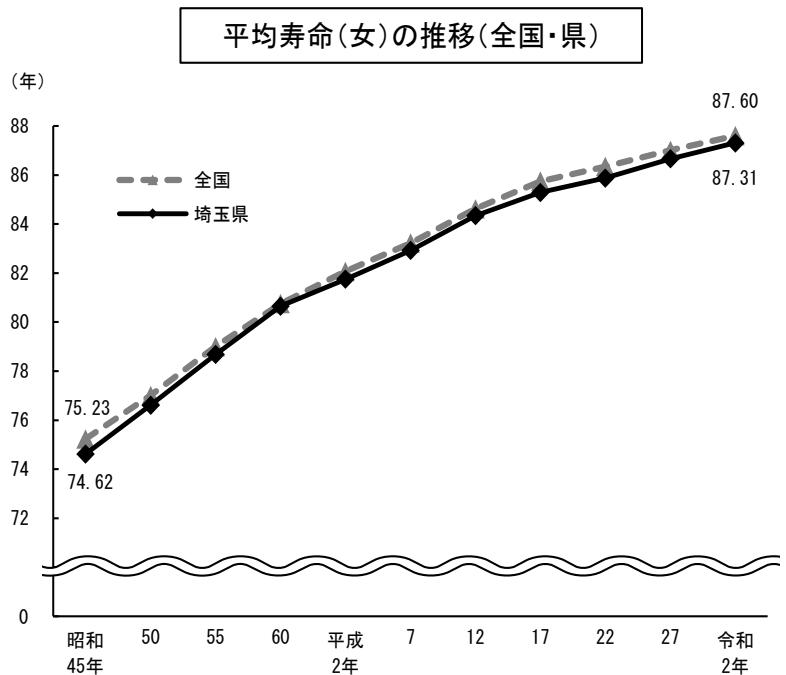
21-2 平均寿命（女）

順位	市町村	平均寿命 (年)
	全 県	87.3
1	志木 市	88.0
2	さいたま 市	87.9
2	所沢 市	87.9
2	和光 市	87.9
2	ふじみ野 市	87.9
6	蓮田 市	87.8
6	三芳 町	87.8
8	狭山 市	87.7
8	白岡 市	87.7
10	朝霞 市	87.5
10	新座 市	87.5
10	鶴ヶ島 市	87.5
10	日高島 町	87.5
15	川高島 町	87.5
15	蕨 市	87.4
15	桶川 市	87.4
15	久喜 市	87.4
15	八潮 市	87.4
15	坂戸 市	87.4
15	滑川 町	87.4
15	東秩父 村	87.4
15	宮代 町	87.4
23	秩父 市	87.3
23	加須 市	87.3
23	越谷 市	87.3
23	戸田 市	87.3
23	入間 市	87.3
23	伊奈 町	87.3
23	小鹿野 町	87.3
30	飯能 市	87.2
30	本庄 市	87.2
30	鴻巣 市	87.2
30	深谷 市	87.2
30	北本 市	87.2
30	越生 町	87.2
30	小川 町	87.2
30	鳩山 町	87.2
30	皆野 町	87.2
30	長瀬 町	87.2
30	杉戸 町	87.2
41	川越 市	87.1
41	羽生 市	87.1
41	上尾 市	87.1
41	草加 市	87.1
41	富士見 市	87.1
41	三郷 市	87.1
41	幸手 市	87.1
41	吉川 市	87.1
41	寄居 町	87.1
50	行田 市	87.0
50	東松山 市	87.0
50	毛呂山 町	87.0
50	ときがわ 町	87.0
50	松伏 町	87.0
55	春日 市	86.8
55	横瀬 町	86.8
55	神川 町	86.8
55	上里 町	86.8
59	吉見 町	86.7
59	美里 町	86.7
61	熊谷 市	86.6
61	川口 市	86.6
61	嵐山 町	86.6

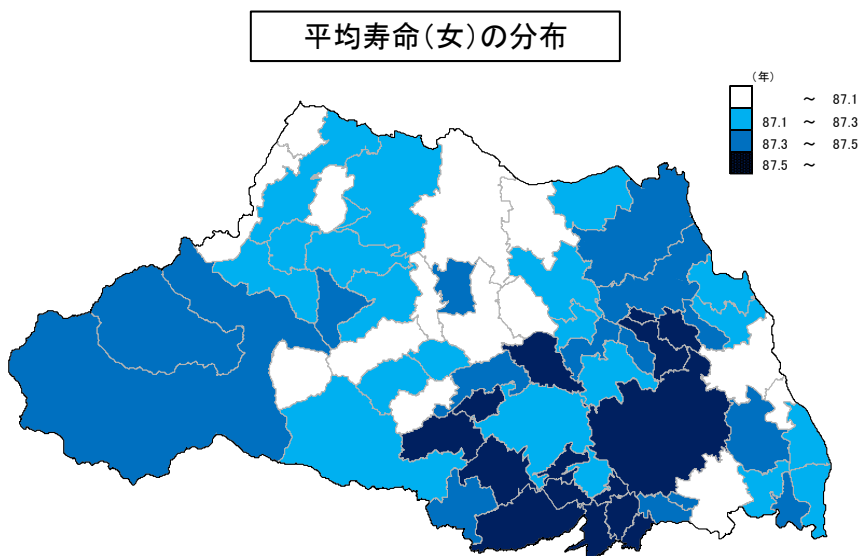
■埼玉県の女性の平均寿命は、50年間で12.69年の伸び

厚生労働省「都道府県別生命表」によると、令和2年の女性の平均寿命は87.31年でした。

昭和45年からの推移をみると、女性の平均寿命は各調査年では全国を下回りましたが、昭和45年から令和2年の50年間の伸びをみると、全国を0.32年上回る12.69年となりました。



資料:厚生労働省「都道府県別生命表」



令和2年
資料:厚生労働省「令和2年市区町村別生命表」

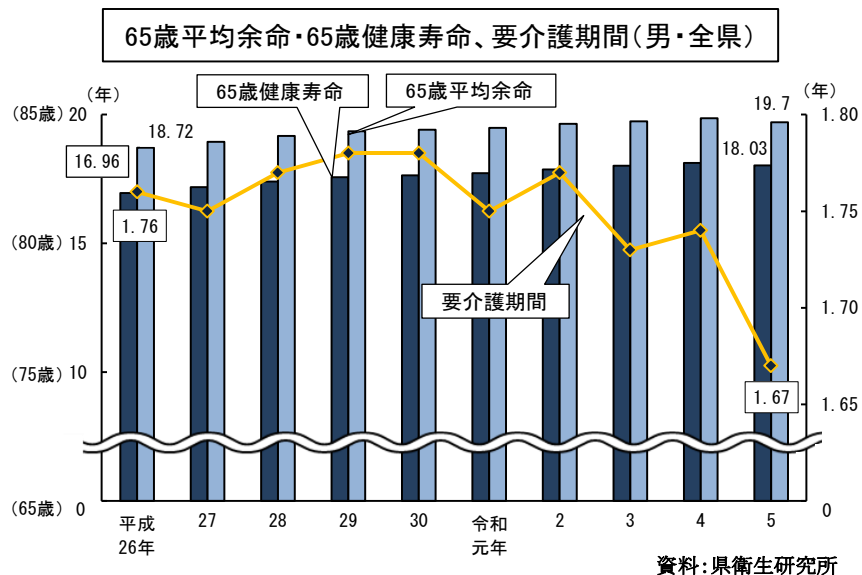
22-1 健康寿命（男）

順位	市町村	65歳健康寿命(年)	65歳平均余命(年)
	全 県	18.03	19.70
1	鳩 山 町	19.21	20.73
2	入 間 市	18.75	20.21
3	北 本 市	18.74	20.04
4	伊 奈 町	18.69	20.36
5	長 瀬 町	18.62	19.88
6	鴻 巣 市	18.58	20.15
7	蓮 田 市	18.58	20.41
8	和 光 市	18.58	19.97
9	川 島 町	18.57	20.37
10	狭 山 市	18.56	20.08
11	越 生 町	18.54	20.76
12	飯 能 市	18.51	20.01
13	志 木 市	18.48	19.97
14	所 沢 市	18.47	20.09
15	三 芳 町	18.43	19.89
16	久 喜 市	18.42	19.93
17	桶 川 市	18.38	19.95
18	杉 戸 町	18.33	20.07
19	幸 手 市	18.32	19.76
20	小 川 町	18.30	19.85
21	日 高 市	18.24	19.99
22	鶴ヶ島 市	18.24	19.98
23	白 岡 市	18.24	20.02
24	松 伏 町	18.21	19.66
25	宮 代 町	18.21	20.05
26	上 尾 市	18.20	19.97
27	坂 戸 市	18.18	20.00
28	越 谷 市	18.15	19.72
29	朝 霞 市	18.13	19.66
30	東 松 山 市	18.12	19.89
31	吉 川 市	18.11	19.69
32	加 須 市	18.06	19.73
33	さいたま 市	18.06	19.76
34	小 鹿 野 町	18.06	20.18
35	毛 呂 山 町	18.01	19.90
36	新 座 市	18.00	19.65
37	川 越 市	17.99	19.77
38	春 日 部 市	17.96	19.84
39	行 田 市	17.93	19.40
40	富 士 見 市	17.93	19.65
41	秩 父 市	17.88	19.61
42	滑 川 町	17.88	19.74
43	上 里 町	17.84	19.04
44	草 加 市	17.84	19.65
45	ふじみ野 市	17.84	19.43
46	東 秩 父 村	17.77	19.29
47	寄 居 町	17.77	19.41
48	八 潮 市	17.74	19.31
49	熊 谷 市	17.71	19.43
50	嵐 山 町	17.67	19.57
51	羽 生 市	17.66	19.61
52	皆 野 町	17.64	19.14
53	ときがわ 町	17.60	19.45
54	吉 見 町	17.59	19.30
55	深 谷 市	17.57	19.25
56	三 郷 市	17.52	19.37
57	蕨 市	17.41	18.76
58	本 庄 市	17.35	18.91
59	川 口 市	17.27	19.00
60	戸 田 市	17.26	18.98
61	横 瀬 町	16.61	17.93
62	神 川 町	16.19	17.29
63	美 里 町	15.59	17.02

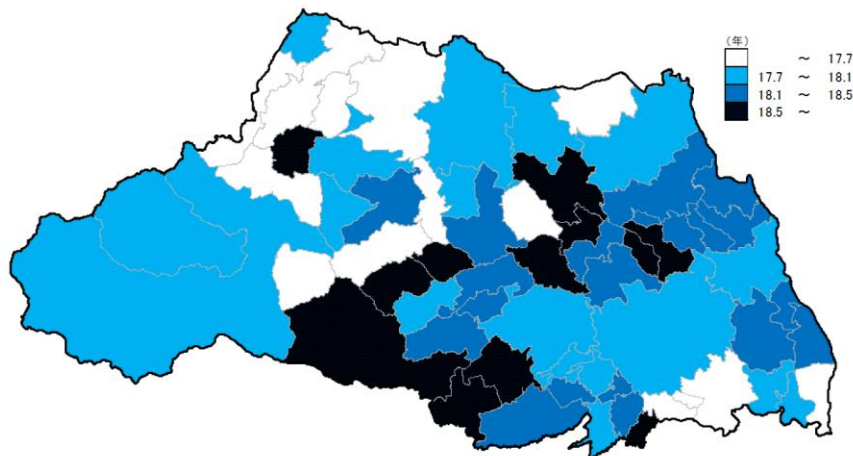
■ 埼玉県の男性の65歳健康寿命は、18.03年

県衛生研究所によると、令和5年の男性の65歳健康寿命は18.03年でした。

65歳健康寿命は、平成26年に比べ令和5年は1.07年延伸しました。また、65歳平均余命(65歳の人が平均してあと何年生きられるかという期待値)から65歳健康寿命を引いた期間が要介護期間で、令和5年は1.67年でした。



65歳健康寿命(男)の分布



● 健康寿命とは

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。埼玉県では、65歳に達した人が、健康で自立した生活を送ることができる期間とし、介護保険制度の「要介護2以上」になるまでの期間を算出している。

※厚生労働省による都道府県別健康寿命とは算出方法が異なる。

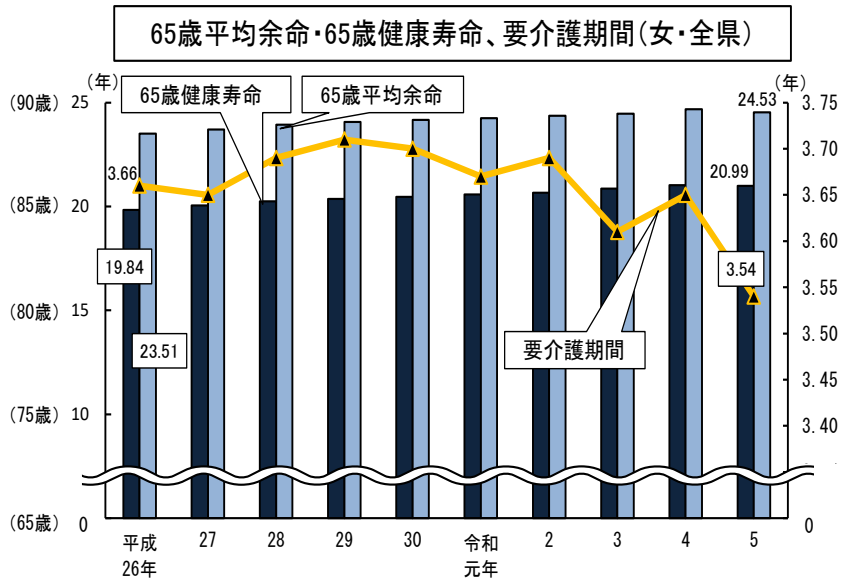
22-2 健康寿命（女）

順位	市町村	65歳健康寿命(年)	65歳平均余命(年)
	全 県	20.99	24.53
1	和 光 市	21.69	25.03
2	鳩 山 町	21.65	24.37
3	志 木 市	21.58	24.69
4	狭 山 市	21.56	24.68
5	日 高 市	21.54	24.88
6	入 間 市	21.49	24.71
7	滑 川 町	21.49	24.45
8	上 里 町	21.41	23.90
9	ふじみ野市	21.31	24.71
10	ときがわ町	21.30	24.66
11	幸 手 市	21.29	24.36
12	長 瀬 町	21.28	24.47
13	所 沢 市	21.25	24.78
14	飯 能 市	21.24	24.57
15	北 本 市	21.23	24.36
16	蕨 市	21.20	24.56
17	三 芳 町	21.20	24.73
18	桶 川 市	21.19	24.70
19	新 座 市	21.19	24.72
20	鴻 巣 市	21.19	24.67
21	朝 霞 市	21.15	24.53
22	小 川 町	21.15	24.44
23	小 鹿 野 町	21.15	24.70
24	越 谷 市	21.14	24.55
25	白 岡 市	21.13	24.70
26	鶴ヶ島市	21.13	24.41
27	行 田 市	21.12	24.25
28	さいたま市	21.11	24.66
29	東 松 山 市	21.05	24.67
30	蓮 田 市	20.99	24.89
31	久 喜 市	20.98	24.49
32	川 島 町	20.97	24.66
33	坂 戸 市	20.96	24.64
34	皆 野 町	20.95	24.33
35	越 生 町	20.93	24.67
36	吉 川 市	20.92	24.43
37	松 伏 町	20.92	24.53
38	熊 谷 市	20.90	24.37
39	伊 奈 町	20.88	24.48
40	宮 代 町	20.87	24.71
41	神 川 町	20.85	23.35
42	八 潮 市	20.85	24.23
43	秩 父 市	20.82	24.46
44	加 須 市	20.82	24.34
45	深 谷 市	20.81	24.39
46	本 庄 市	20.80	24.03
47	草 加 市	20.79	24.56
48	東 秩 父 村	20.75	24.19
49	川 越 市	20.75	24.51
50	三 郷 市	20.71	24.40
51	杉 戸 町	20.71	24.65
52	羽 生 市	20.67	24.46
53	寄 居 町	20.64	24.24
54	上 尾 市	20.62	24.62
55	毛 呂 山 町	20.61	24.19
56	嵐 山 町	20.61	24.53
57	川 口 市	20.57	24.22
58	富 士 見 市	20.53	24.38
59	戸 田 市	20.52	24.18
60	春 日 部 市	20.51	24.51
61	吉 見 町	20.36	24.04
62	横 瀬 町	20.29	23.82
63	美 里 町	20.16	23.66

■ 埼玉県女性の65歳健康寿命は、20.99年

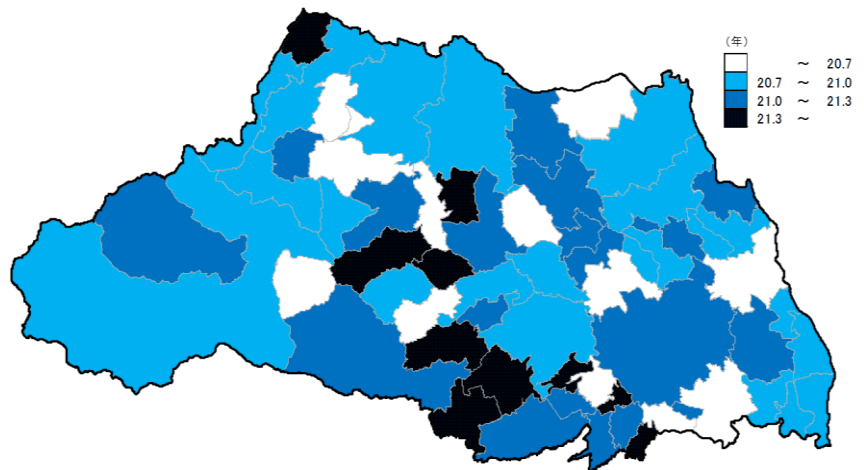
県衛生研究所によると、令和5年の女性の65歳健康寿命は20.99年でした。

65歳健康寿命は、平成26年に比べ令和5年は1.15年延伸しました。また、65歳平均余命（65歳の方が平均してあと何年生きられるかという期待値）から65歳健康寿命を引いた期間が要介護期間で、令和5年は3.54年でした。



資料：県衛生研究所

65歳健康寿命(女)の分布



● 平均余命とは

ある期間における死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の人が平均してあと何年生きられるかという期待値。0歳の平均余命を平均寿命という。

令和5年
資料：県衛生研究所

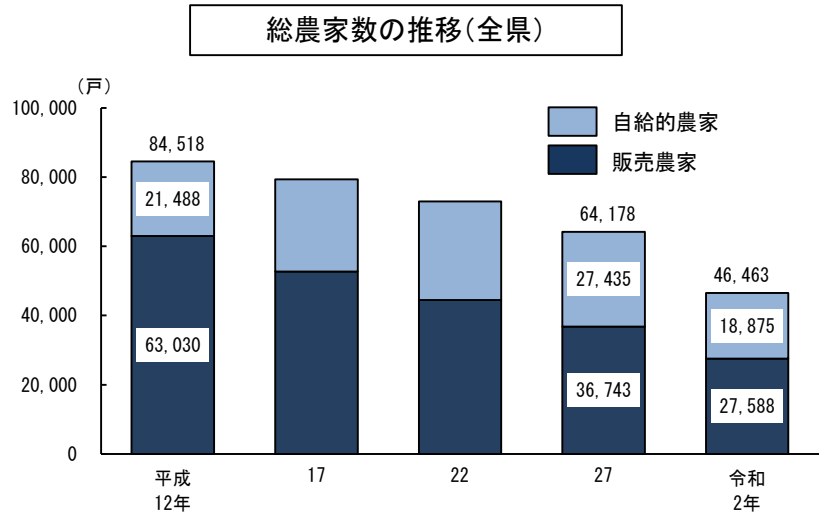
23 総農家数

順位	市町村	総農家数 (戸)	増減率(%) (対平成27年)
	全 県	46,463	△27.6
1	さいたま市	2,998	△19.6
2	加須市	2,314	△44.4
3	深谷市	2,134	△49.0
4	鴻巣市	1,644	△16.8
5	熊谷市	1,618	△60.1
6	行田市	1,474	△20.1
7	秩父市	1,419	△10.4
8	所沢市	1,356	△10.7
9	羽生市	1,312	△21.4
10	久喜市	1,253	△53.6
11	川越市	1,250	△57.5
12	本庄市	1,249	△17.0
13	寄居町	1,047	△8.2
14	東松山市	993	△18.6
15	川島町	974	△20.8
16	春日部市	958	△46.1
17	幸手市	916	△20.1
18	吉見町	888	△18.5
19	入間市	880	△14.7
20	越谷市	851	△30.1
21	狭山市	808	△14.0
22	上尾市	779	△15.8
23	美里町	758	△25.4
24	日高市	743	△19.1
25	小川町	714	△6.4
26	坂戸市	711	△19.9
27	杉戸町	697	△14.0
28	上里町	666	△13.2
29	富士見市	665	△11.0
30	川口市	640	△26.0
31	飯能市	621	△10.8
32	三郷市	598	△16.9
33	吉川市	595	△24.6
34	小鹿野町	588	△16.5
35	宮代町	580	△7.9
36	白岡市	577	△17.1
37	蓮田市	529	△21.4
38	桶川市	523	△7.1
39	神川町	506	△16.4
40	滑川町	505	△12.6
41	嵐山町	457	△5.8
42	ときがわ町	454	△8.1
43	新座市	434	△12.3
44	北本市	407	△5.8
45	毛呂山町	371	△12.9
46	皆野町	370	△7.5
47	伊奈町	338	△13.1
48	鳩山町	335	△13.9
49	越生町	323	△12.2
50	ふじみ野市	290	△16.7
51	長瀨町	285	△11.2
52	三芳町	262	△0.4
53	鶴ヶ島市	261	△9.4
54	八潮市	256	△14.4
55	松伏町	236	△13.9
56	横瀬町	223	△6.3
57	朝霞市	186	△20.5
58	東秩父村	175	△40.3
59	志木市	142	△15.5
60	草加市	141	△53.9
61	和光市	129	△25.0
62	戸田市	36	△28.0
63	蕨市	21	△16.0

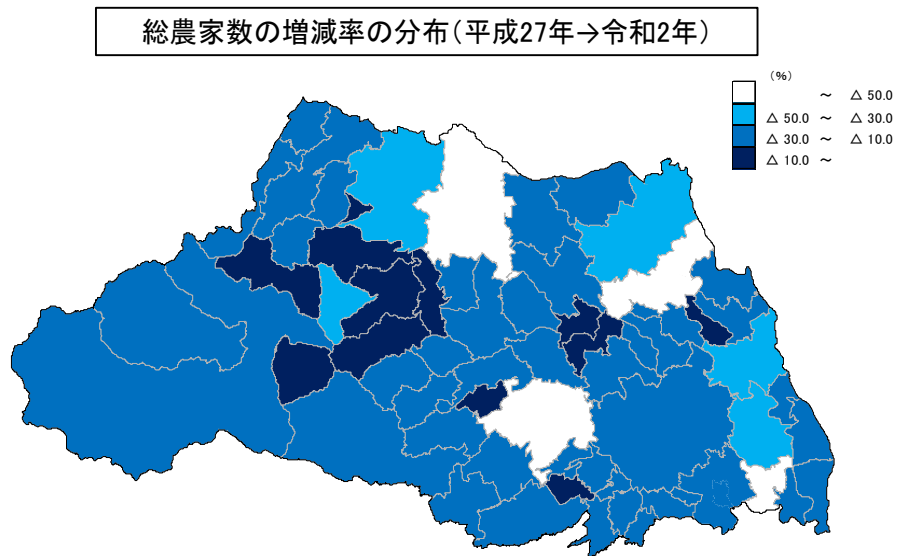
■埼玉県の総農家数は、減少傾向

農林水産省「農林業センサス」によると、令和2年2月1日現在、総農家数(販売農家数及び自給的農家数)は46,463戸でした。

総農家数は減少傾向にあり、前回(平成27年)調査からは17,715戸減少しています。



資料:農林水産省「農林業センサス累年統計」



●総農家数とは

販売農家数と自給的農家数を合わせた数。

※農家とは、経営耕地面積が10アール以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10アール未満であっても、調査期日前1年間の農産物販売金額が15万円以上あった世帯をいう。

※販売農家とは、経営耕地面積が30アール以上又は調査期日前1年間の農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

※自給的農家とは、経営耕地面積が30アール未満かつ調査期日前1年間の農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。

令和2年2月1日現在

資料:農林水産省「2020年農林業センサス」

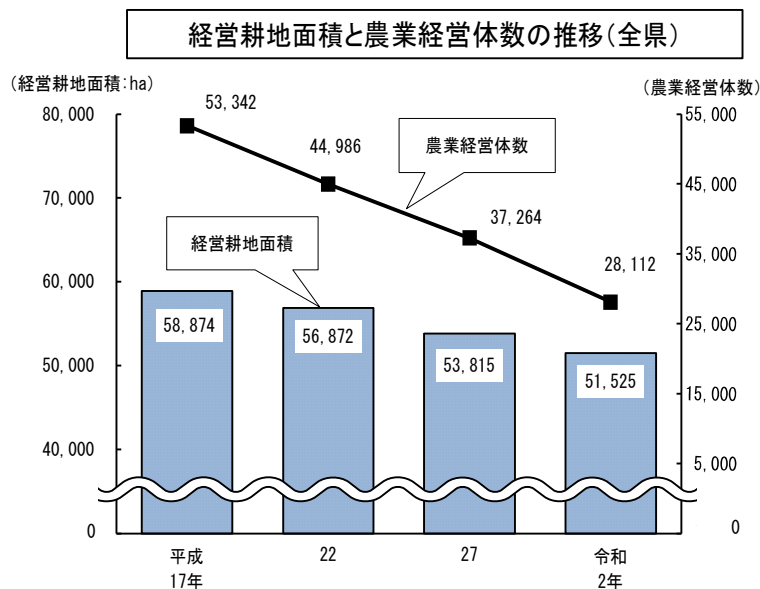
24 経営耕地面積

順位	市町村	面積 (ha)	農業経営体数
	全 県	51,525	28,112
1	加 須 市	4,840	2,332
2	熊 谷 市	4,462	1,650
3	深 谷 市	3,827	2,172
4	行 田 市	2,893	897
5	鴻 巣 市	2,488	1,092
6	羽 生 市	2,351	755
7	さいたま市	2,105	1,623
8	川 越 市	1,976	1,241
9	久 喜 市	1,902	1,252
10	春 日 部 市	1,889	961
11	本 庄 市	1,874	646
12	川 島 町	1,396	562
13	吉 見 町	1,269	469
14	寄 居 町	1,221	327
15	杉 戸 町	1,063	502
16	吉 川 市	1,030	410
17	所 沢 市	992	740
18	東 松 山 市	921	431
19	幸 手 市	918	697
20	上 里 町	770	409
21	越 谷 市	674	391
22	狭 山 市	651	434
23	美 里 町	552	356
24	富 士 見 市	490	463
25	坂 戸 市	486	317
26	白 岡 市	468	347
27	入 間 市	451	340
27	蓮 田 市	451	327
29	嵐 山 町	434	155
30	嵐 芳 町	407	236
31	滑 川 町	397	257
32	桶 川 市	393	218
33	川 口 市	389	378
34	宮 代 町	384	332
35	神 川 町	366	266
36	日 高 市	365	295
37	松 伏 町	356	144
38	上 尾 市	350	306
39	三 郷 市	325	328
40	新 座 市	306	292
41	秩 父 市	304	303
42	小 川 町	302	266
43	北 本 市	300	234
44	鳩 山 町	219	173
45	伊 奈 町	190	165
46	ふじみ野市	154	181
47	飯 能 市	140	143
48	朝 霞 市	136	120
49	ときがわ町	128	112
50	毛 呂 山 町	126	121
51	越 生 町	98	149
52	鶴ヶ島市	95	118
53	八 潮 市	82	129
54	志 木 市	77	89
55	小 鹿 野 町	75	121
56	和 光 市	58	75
57	横 瀬 町	39	61
58	皆 野 町	32	63
59	草 加 市	29	57
60	東 秩 父 村	26	24
61	長 瀨 町	21	41
62	戸 田 市	6	9
63	蕨 市	5	8

■ 埼玉県の経営耕地面積は、減少傾向

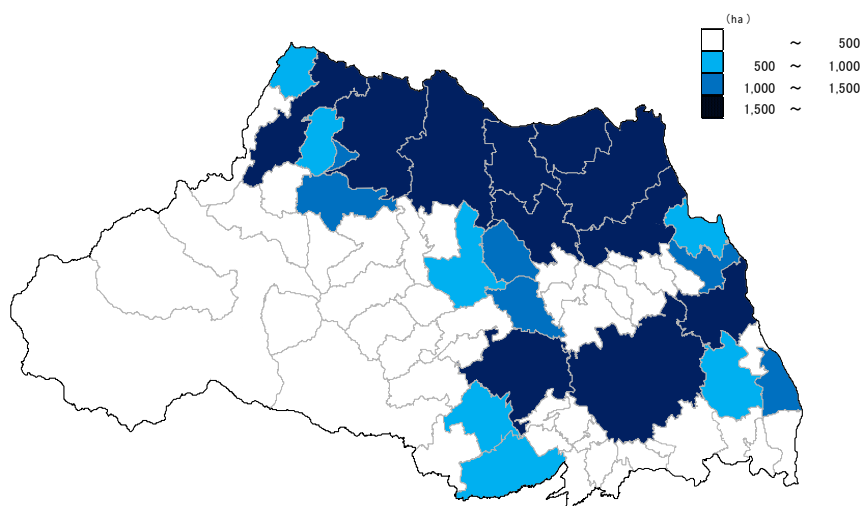
農林水産省「2020年農林業センサス」によると、令和2年2月1日現在、経営耕地面積は51,525haでした。

経営耕地面積は減少傾向にあり、前回(平成27年)調査からは約4%減少しています。



資料: 農林水産省「農林業センサス累年統計」

経営耕地面積の分布



● 経営耕地とは

農林業経営体が経営している耕地で、自作地と借入耕地の合計。

※ 農業経営体とは、農林業経営体のうち、農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭羽数が、規定に該当する事業を行う者。

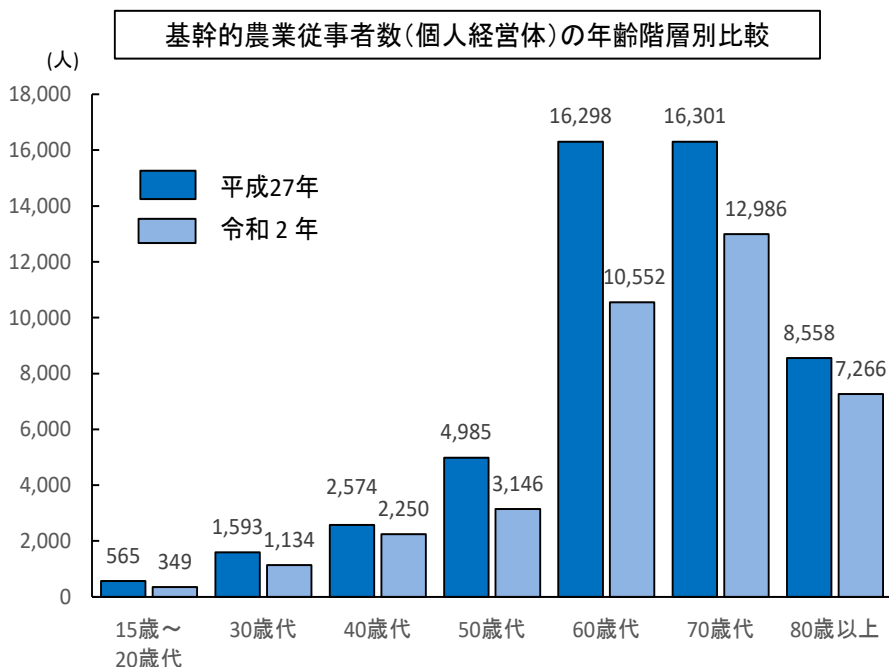
25 基幹的農業従事者数（個人経営体）

順位	市町村	従事者数 (人)
	全 県	37,683
1	深 谷 市	3,686
2	加 須 市	2,508
3	さいたま 市	2,404
4	熊 谷 市	1,884
5	川 越 市	1,743
6	鴻 巣 市	1,467
7	久 喜 市	1,418
8	所 沢 市	1,369
9	本 庄 市	1,142
10	春 日 部 市	1,025
11	行 田 市	990
12	羽 生 市	810
13	狭 山 市	768
14	幸 手 市	682
15	川 島 町	645
16	川 口 市	643
17	富 士 見 市	642
18	越 谷 市	625
19	上 里 町	616
20	杉 戸 町	605
21	吉 見 町	578
22	三 郷 市	566
23	三 芳 町	542
24	新 座 市	498
25	東 松 山 市	483
26	吉 川 市	482
27	白 岡 市	481
28	美 里 町	453
29	寄 居 町	443
30	蓮 田 市	440
31	上 尾 市	439
32	入 間 市	420
33	日 高 市	383
33	宮 代 町	383
35	坂 戸 市	373
36	秩 父 市	363
37	神 川 町	348
38	北 本 市	322
39	桶 川 市	318
40	滑 川 町	299
41	ふ じ み 野 市	294
42	小 川 町	274
43	八 潮 市	256
44	朝 霞 市	234
45	伊 奈 町	225
46	松 伏 町	188
47	和 光 市	183
48	鶴 ヶ 島 市	176
49	飯 能 市	173
50	嵐 山 町	167
51	鳩 山 町	166
52	小 鹿 野 町	163
53	と き が わ 町	143
54	毛 呂 山 町	136
55	越 生 町	130
56	志 木 市	125
57	草 加 市	105
58	横 瀬 町	77
59	皆 野 町	75
60	長 瀬 町	56
61	東 秩 父 村	34
62	戸 田 市	9
63	蕨 市	8

■個人経営体の基幹的農業従事者数は、減少

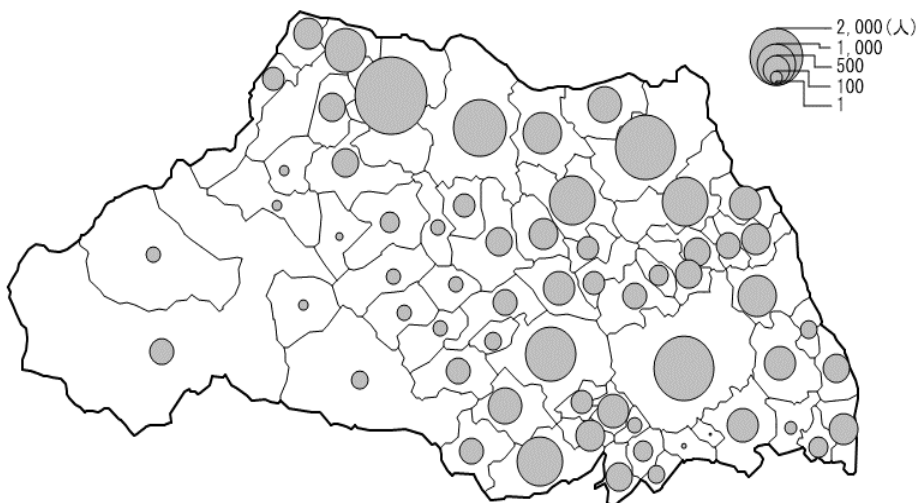
県統計課「2020年農林業センサス」によると、令和2年2月1日現在、個人経営体の基幹的農業従事者数は37,683人で、平成27年に比べ13,191人(25.9%)減少しました。

年齢階級別にみると、全ての階級で平成27年に比べ減少しています。



資料: 県統計課「2020年農林業センサス(確定値)」

基幹的農業従事者数(個人経営体)の分布



●基幹的農業従事者とは

15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している人。

※個人経営体とは、個人(世帯)で事業を行う経営体(法人化して事業を行う経営体は含まない)。

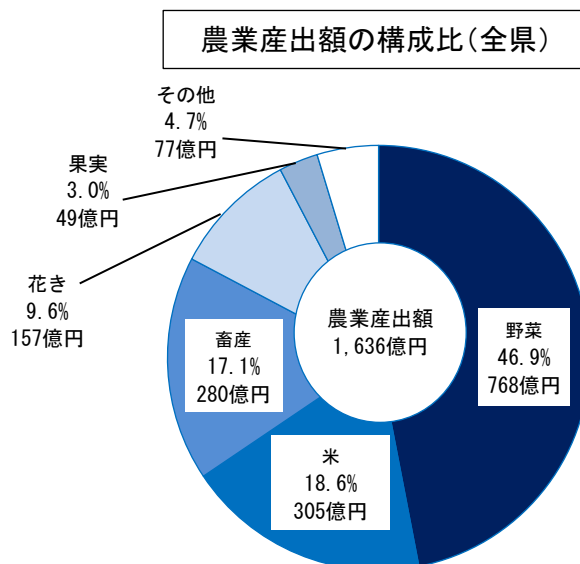
令和2年2月1日現在
資料: 農林水産省「2020年農林業センサス」

26 農業産出額

順位	市町村	農業産出額 (千万円)	うち野菜の産出額 (千万円)
	全 県	16,355	7,682
1	深 谷 市	3,072	1,791
2	本 庄 市	1,161	550
3	羽 生 市	1,145	16
4	さいたま市	997	713
5	加 須 市	847	179
6	熊 谷 市	707	380
7	川 越 市	660	424
8	所 沢 市	548	423
9	上 里 町	465	316
10	鴻 巣 市	422	51
11	寄 居 町	420	119
12	狭 山 市	392	309
13	久 喜 市	364	127
14	行 田 市	280	46
15	春 日 部 市	268	92
16	三 芳 町	248	198
17	川 島 町	210	55
18	越 谷 市	206	135
19	入 間 市	192	51
20	日 高 市	182	92
21	東 松 山 市	176	17
22	秩 父 市	165	77
23	杉 戸 市	160	40
24	鶴ヶ島市	158	138
25	吉 川 市	153	59
25	神 川 町	153	51
27	吉 見 町	152	62
28	川 口 市	142	23
28	白 岡 市	142	60
30	美 里 町	135	57
31	新 座 市	130	103
32	幸 手 市	128	10
33	ふじみ野市	124	72
34	富 士 見 市	117	75
35	上 尾 市	114	70
36	滑 川 町	110	79
37	坂 戸 市	98	28
38	桶 川 市	93	35
39	三 郷 市	86	68
39	嵐 山 町	86	23
41	北 本 市	85	45
42	蓮 田 市	71	14
43	小 川 町	69	42
43	宮 代 町	69	25
45	八 潮 市	62	60
45	鳩 山 町	62	12
47	松 伏 町	54	16
48	小 鹿 野 町	53	30
49	伊 奈 町	52	19
50	朝 霞 市	51	36
51	飯 能 市	50	27
52	和 光 市	49	38
53	志 木 市	46	10
54	毛 呂 山 町	42	20
55	横 瀬 町	27	19
56	草 加 市	25	17
57	ときがわ町	24	16
58	越 生 町	20	7
59	皆 野 町	15	8
60	東 秩 父 村	11	1
61	長 瀬 町	8	4
62	蕨 市	1	1
62	戸 田 市	1	1

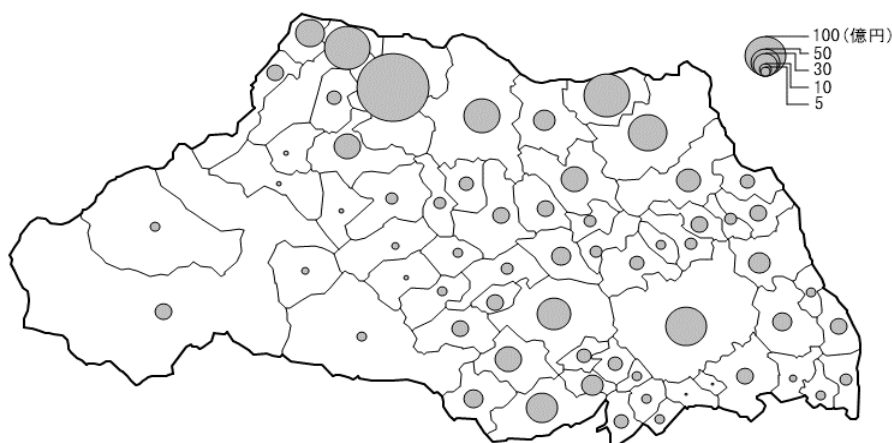
■埼玉県の農業産出額に占める野菜の割合は、おおむね半分

農林水産省「令和5年生産農業所得統計」によると、農業産出額は1,636億円でした。部門別にみると、野菜が最も多く768億円(46.9%)、次いで米305億円(18.6%)、畜産280億円(17.1%)の順でした。市町村別産出額では、深谷市が307億円で県内第1位でした。



注)市町村別農業産出額に按分できない品目を含む。
資料:農林水産省「令和5年生産農業所得統計」

農業産出額の分布



●農業産出額とは

都道府県別の品目ごとの生産量に、品目ごとの農家庭先販売価格(消費税を含む。)を乗じて求めたもの。

※農家庭先販売価格とは、農業経営体が出荷した時点の価格。

※市町村別農業産出額(推計)は、生産農業所得統計(都道府県別推計)において推計した都道府県別農業産出額を農林業センサス又は作物統計調査を用いて市町村別に按分して作成したもの。

令和5年

資料:農林水産省「令和5年市町村別農業産出額(推計)」

注) 全県の値は各市町村の農業産出額の合計。市町村別農業産出額に按分できない品目があるため、都道府県別農業産出額とは一致しない。

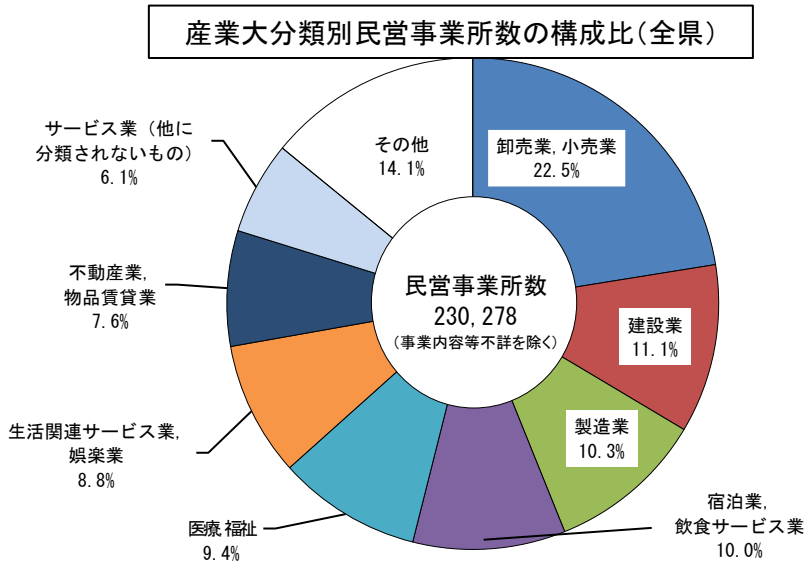
27 民営事業所数

順位	市町村	事業所数
	全 県	261,920
1	さいたま市	47,427
2	川口市	22,229
3	越谷市	12,413
4	越谷市	12,124
5	所沢市	10,995
6	草加市	8,471
7	熊谷市	8,426
8	春日部市	7,802
9	上尾市	6,719
10	戸田市	5,993
11	三郷市	5,766
12	深谷市	5,584
13	新座市	5,270
14	入間市	5,255
15	久喜市	5,197
16	八潮市	4,983
17	狭山市	4,757
18	朝霞市	4,293
19	加須市	4,084
20	東松山市	3,783
21	本庄市	3,506
22	鴻巣市	3,481
23	秩父市	3,250
24	富士見市	3,223
25	ふじみ野市	3,200
26	行田市	3,192
27	飯能市	2,999
28	坂戸市	2,994
29	蕨市	2,859
30	吉川市	2,436
31	桶川市	2,388
32	志木市	2,355
33	羽生市	2,275
34	和光市	2,255
35	鶴ヶ島市	2,244
36	北本市	2,077
37	幸手市	2,046
38	蓮田市	1,890
39	日高市	1,824
40	三芳町	1,722
41	杉戸町	1,521
42	白岡市	1,456
43	伊奈町	1,371
44	寄居町	1,266
45	毛呂山町	1,141
46	小川町	1,083
47	上里町	1,034
48	松伏町	1,030
49	宮代町	1,013
50	川島町	902
51	嵐山町	732
52	吉見町	635
53	ときがわ町	596
54	滑川町	587
55	小鹿野町	585
56	皆野町	495
57	神川町	484
58	越生町	448
59	鳩山町	440
60	美里町	431
61	長瀬町	425
62	横瀬町	326
63	東秩父村	132

■ 埼玉県民営事業所数は、261,920事業所

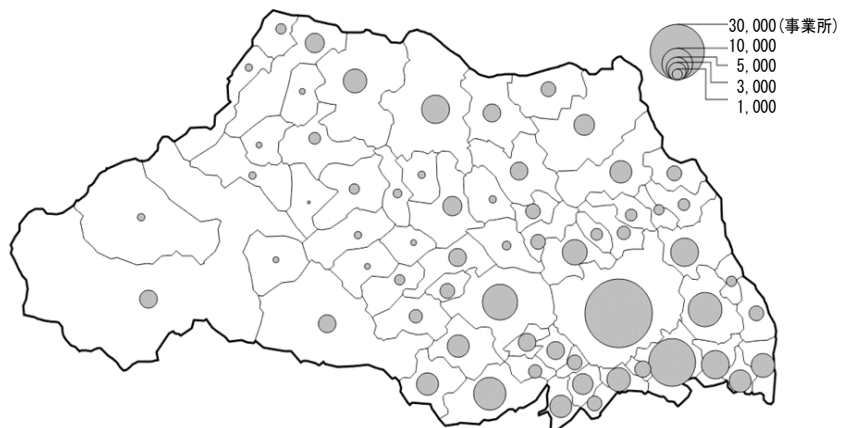
総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」によると、令和3年6月1日現在、民営事業所数は261,920事業所で、全国第5位でした。これは、全国の事業所(5,844,088事業所)の4.5%に当たります。

産業大分類別でみると、「卸売業,小売業」が22.5%を占め、次いで「建設業」11.1%、「製造業」10.3%と続いています。



資料:総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

民営事業所数の分布



● 事業所とは

経済活動が行われている場所ごとの単位で、原則として次の要件を備えているものをいう。

- 1 一定の場所(1区画)を占めて、単一の経営主体のもとで経済活動が行われていること。
- 2 従業者と設備を有して、物の生産や販売、サービスの提供が継続的に行われていること。

令和3年6月1日現在

資料:総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

(注)事業内容等不詳を含む。

28 従業者数

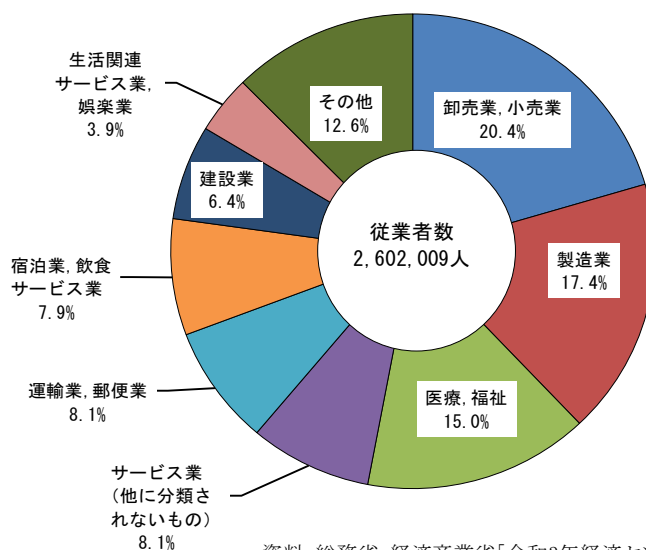
順位	市町村	従業者数(人)
	全 県	2,602,009
1	さいたま市	517,261
2	川口市	179,305
3	川越市	136,645
4	越谷市	112,120
5	所沢市	105,213
6	熊谷市	86,008
7	草加市	71,466
8	春日部市	67,902
9	上尾市	67,522
10	戸田市	66,334
11	久喜市	58,633
12	深谷市	58,229
13	狭山市	57,256
14	三郷市	54,271
15	入間市	51,999
16	新座市	50,852
17	八潮市	45,901
18	朝霞市	44,746
19	加須市	44,011
20	東松山市	41,175
21	本庄市	35,532
22	鴻巣市	30,854
23	行田市	30,658
24	ふじみ野市	29,512
25	坂戸市	29,442
26	和光市	29,101
27	三芳町	28,538
28	飯能市	26,909
29	富士見市	26,592
30	日高市	24,682
31	羽生市	24,355
32	秩父市	24,295
33	桶川市	24,145
34	吉川市	23,200
35	鶴ヶ島市	22,394
36	蕨市	22,306
37	北本市	19,238
38	蓮田市	18,521
39	幸手市	17,692
40	志木市	17,100
41	杉戸町	15,039
42	寄居町	14,233
43	伊奈町	14,190
44	白岡市	14,074
45	川島町	12,334
46	毛呂山町	12,304
47	上里町	11,970
48	滑川町	9,366
49	嵐山町	9,034
50	小川町	8,755
51	小松町	7,705
52	吉見町	7,664
53	宮代町	6,793
54	美里町	5,982
55	ときがわ町	5,082
56	神川町	4,719
57	小鹿野町	4,425
58	皆野町	3,866
59	鳩山町	3,601
60	越生町	3,067
61	長瀬町	2,587
62	横瀬町	2,567
63	東秩父村	737

■ 埼玉県の出業者数は「卸売業、小売業」が最も多く、全体の2割以上

総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」によると、令和3年6月1日現在、民営事業所の従業者数は2,602,009人で、全国第5位でした。

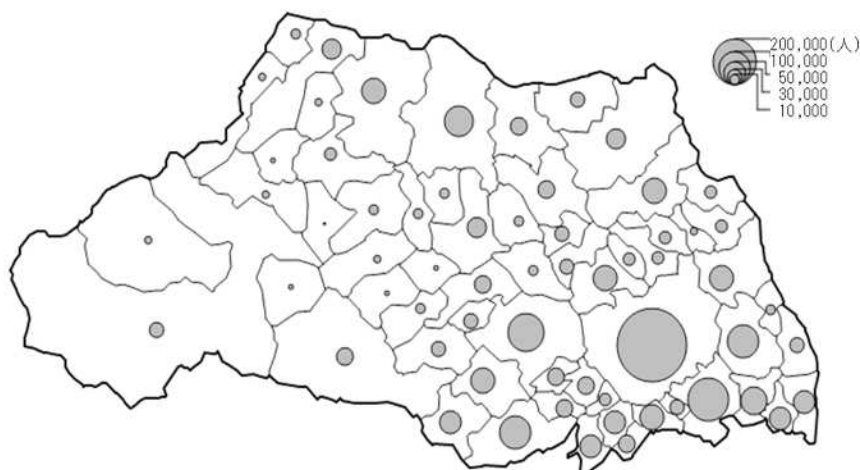
産業大分類別でみると、「卸売業、小売業」が最も多く、20.4%を占め、次いで「製造業」17.4%、「医療、福祉」が15.0%と続いています。

産業大分類別従業者数の構成比(全県)



資料: 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

従業者数の分布



● 従業者とは

調査の対象となる民営事業所に所属して働いている全ての人をいう。個人業主、無給家族従業者、有給役員、常用雇用者などを含む。

令和3年6月1日現在

資料: 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

注) 事業内容等不詳を除く。男女別の不詳を含む。

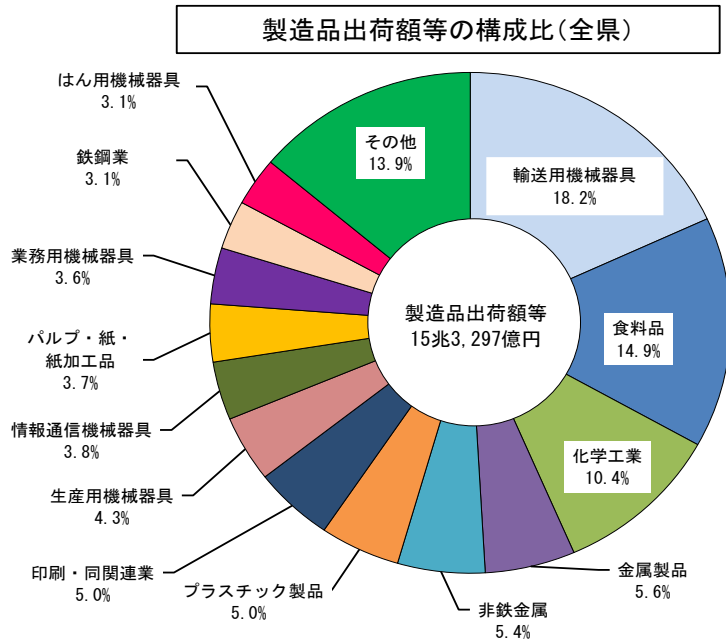
29 製造品出荷額等

順位	市町村	金額	
		(百万円)	(百万円/km ²)
	全 県	15,329,652	4,037
1	狭 山 市	1,302,331	26,584
2	熊 谷 市	1,065,314	6,666
3	川 越 市	878,151	8,047
4	さいたま市	872,908	4,015
5	草 加 市	598,753	21,805
6	入 間 市	592,701	13,262
7	川 口 市	562,201	9,075
8	久 喜 市	544,322	6,605
9	加 須 市	523,913	3,930
10	寄 居 町	504,299	7,849
11	深 谷 市	461,274	3,334
12	八 潮 市	450,066	24,976
13	上 尾 市	423,679	9,310
14	本 庄 市	415,823	4,636
15	行 田 市	396,199	5,870
16	三 芳 町	319,810	20,862
17	羽 生 市	262,212	4,472
18	東 松 山 市	261,283	3,998
19	春 日 部 市	257,602	3,903
20	鴻 巣 市	251,686	3,732
21	戸 田 市	245,075	13,473
22	越 谷 市	243,792	4,047
23	日 高 市	235,908	4,969
24	坂 戸 市	191,807	4,676
25	所 沢 市	190,289	2,639
26	蓮 田 市	163,081	5,978
27	飯 能 市	162,945	844
28	鶴 ヶ 島 市	160,400	9,088
29	嵐 山 町	146,716	4,904
30	上 里 町	146,276	5,013
31	ふじみ野市	146,005	9,973
32	蕨 市	143,318	28,047
33	三 郷 市	143,145	4,751
34	吉 見 町	138,746	3,591
35	小 川 町	138,737	2,298
36	秩 父 市	138,445	240
37	美 里 町	135,240	4,048
38	新 座 市	133,397	5,856
39	桶 川 市	132,702	5,235
40	川 島 町	131,273	3,153
41	幸 手 市	126,716	3,735
42	滑 川 町	113,813	3,835
43	伊 奈 町	103,677	7,010
44	朝 霞 市	97,490	5,316
45	吉 川 市	89,146	2,816
46	北 本 市	74,642	3,766
47	神 川 町	74,153	1,564
48	ときがわ町	64,446	1,153
49	白 岡 市	64,165	2,575
50	杉 戸 町	55,480	1,847
51	和 光 市	37,834	3,427
52	横 瀬 町	37,110	752
53	毛 呂 山 町	34,675	1,018
54	松 伏 町	34,269	2,115
55	小 鹿 野 町	26,961	157
56	志 木 市	23,065	2,549
57	富 士 見 市	20,323	1,028
58	長 瀨 町	9,958	327
59	越 生 町	7,820	194
60	宮 代 町	7,805	489
61	皆 野 町	7,064	111
62	鳩 山 町	5,830	227
63	東 秩 父 村	1,383	37

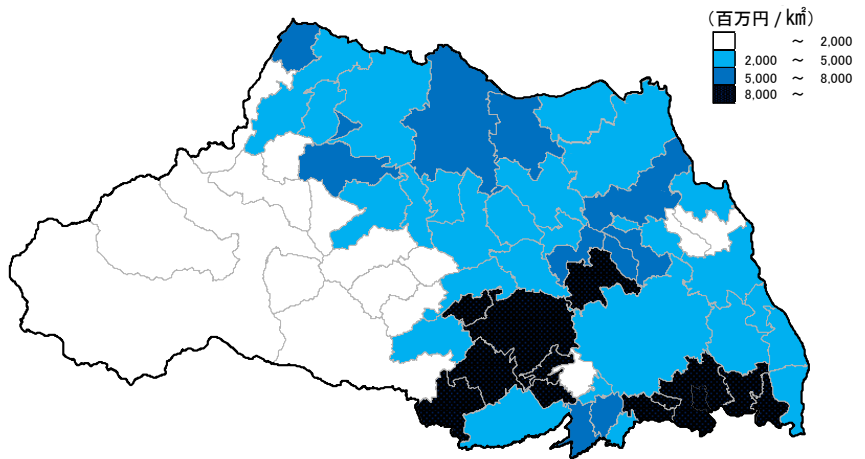
■ 埼玉県の製造品出荷額等は、15兆3,297億円

総務省・経済産業省「経済構造実態調査(製造業事務所調査)」によると、令和5年の製造品出荷額等は15兆3,297億円で、全国第6位でした。

製造品出荷額等の構成比をみると、「輸送用機械器具製造業」が最も多く、18.2%を占め、次いで「食料品製造業」14.9%、「化学工業」10.4%と続いています。



1km²当たり製造品出荷額等の分布



● 製造品出荷額等とは

個人経営を除く全ての事業所における1年間(1~12月)の製造品出荷額、加工賃収入額、くず廃物の出荷額及びその他収入額の合計であり、消費税、酒税、たばこ税、揮発油税及び地方揮発油税を含んだ額。

令和5年

資料: 総務省・経済産業省「2024年経済構造実態調査」

注1) 面積は国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調」(令和7年10月1日時点)による。

注2) 製造業事務所調査と経済センサス-活動調査及び工業統計調査は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

30 卸売業、小売業年間商品販売額

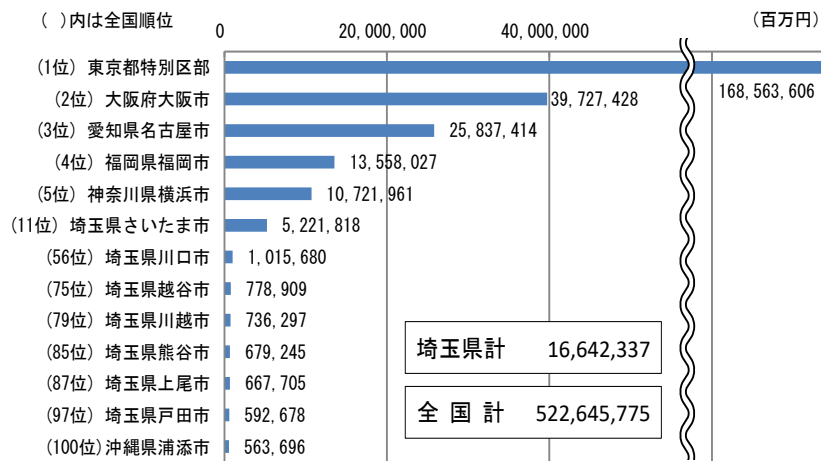
順位	市町村	金額	
		(百万円)	(百万円/k㎡)
	全 県	16,642,337	4,382
1	さいたま市	5,221,818	24,016
2	川口市	1,015,680	16,395
3	越谷市	778,909	12,930
4	川越市	736,297	6,747
5	熊谷市	679,245	4,250
6	上尾市	667,705	14,672
7	戸田市	592,678	32,583
8	所沢市	523,043	7,253
9	草加市	458,808	16,708
10	三郷市	365,258	12,123
11	久喜市	348,702	4,231
12	春日部市	345,684	5,238
13	新座市	323,315	14,193
14	八潮市	304,262	16,885
15	深谷市	294,293	2,127
16	和光市	278,762	25,250
17	入間市	242,234	5,420
18	朝霞市	240,238	13,099
19	狭山市	230,973	4,715
20	加須市	190,090	1,426
21	東松山市	148,759	2,276
22	鴻巣市	143,383	2,126
23	三芳町	139,070	9,072
24	本庄市	137,595	1,534
25	行田市	136,526	2,023
26	桶川市	130,512	5,148
27	鶴ヶ島市	126,176	7,149
28	北本市	123,004	6,206
29	伊奈町	120,534	8,150
30	富士見市	115,026	5,818
31	坂戸市	107,781	2,628
32	ふじみ野市	103,760	7,087
33	羽生市	102,980	1,756
34	杉戸町	94,160	3,136
35	日高市	90,318	1,902
36	吉川市	88,223	2,787
37	蕨市	87,042	17,034
38	秩父市	77,035	133
39	蓮田市	74,831	2,743
40	飯能市	74,438	386
41	幸手市	70,537	2,079
42	白岡市	64,515	2,589
43	志木市	63,658	7,034
44	川島町	55,829	1,341
45	上里町	45,718	1,567
46	松伏町	39,915	2,464
47	滑川町	38,996	1,314
48	毛呂山町	36,488	1,071
49	寄居町	27,048	421
50	嵐山町	19,903	665
51	小川町	18,459	306
52	美里町	15,517	464
53	神川町	14,618	308
54	宮代町	13,865	869
55	鳩山町	9,792	381
56	皆野町	9,429	148
57	吉見町	8,332	216
58	越生町	7,637	189
59	ときがわ町	7,160	128
60	小鹿野町	7,075	41
61	長瀬町	3,986	131
62	横瀬町	3,972	80
63	東秩父村	738	20

■県内上位5市の年間商品販売額は、県全体の約半分

総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」によると、令和2年中の卸売業、小売業の年間商品販売額は16兆6,423億3,700万円でした。

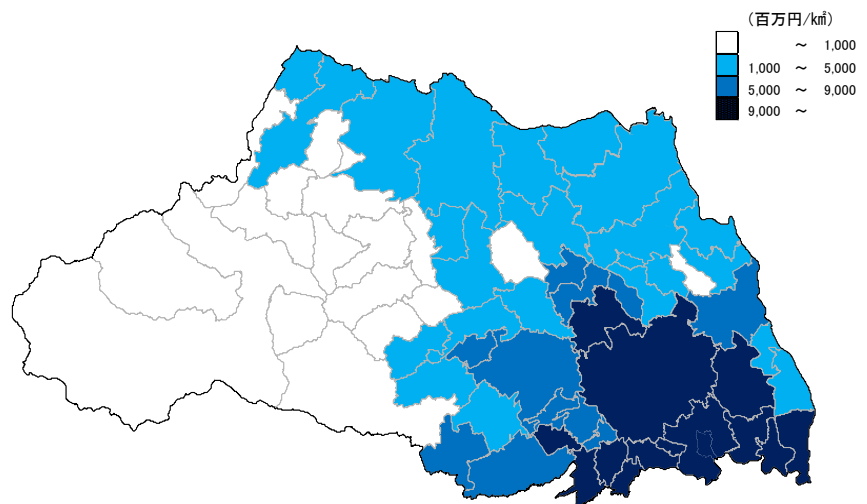
市町村別の全国順位をみると、第11位のさいたま市(5兆2,218億1,800万円)をはじめ、川口市、越谷市、川越市、熊谷市、上尾市、戸田市が上位100位以内に入っており、県内上位5市(さいたま市、川口市、越谷市、川越市、熊谷市)の合計額は県全体の50.7%を占めています。

卸売業、小売業年間商品販売額 上位100市町村



資料:総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

1km²当たり卸売業、小売業年間商品販売額の分布



●卸売業、小売業とは

卸売業とは、小売業又は他の卸売業に商品を販売する事業所、産業用使用者に業務用として商品を大量又は多額に販売する事業所等。

小売業とは、個人用又は家庭用消費のために商品を販売する事業所、産業用使用者に少量又は少額に商品を販売する事業所等。

令和2年

資料:総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

注)面積は国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調」(令和7年10月1日時点)による。

31-1 労働力率（男）

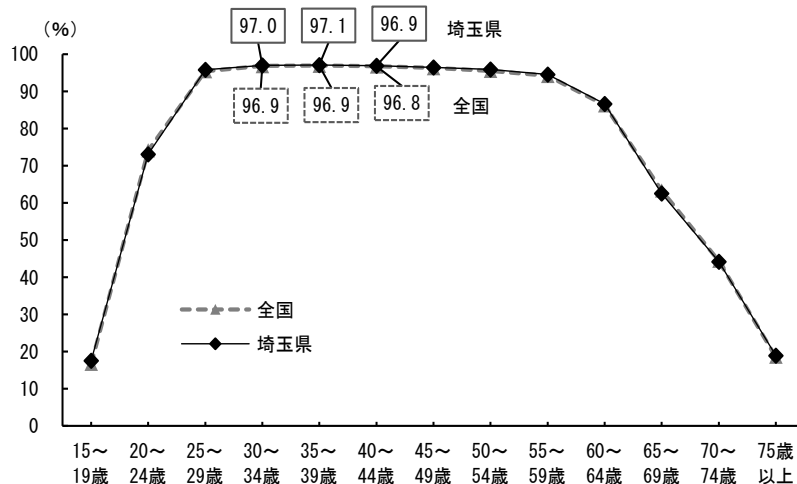
順位	市町村	労働力率 (%)	労働力人口 (人)
	全 県	73.30	2,270,274
1	和 光 市	81.56	30,368
2	戸 田 市	80.63	47,466
3	八 潮 市	79.92	33,014
4	朝 霞 市	79.77	48,341
5	蕨 市	77.66	25,639
6	川 口 市	77.63	198,426
7	草 加 市	76.74	84,567
8	三 郷 市	76.27	46,761
9	吉 川 市	76.27	23,170
10	富 士 見 市	75.37	34,972
11	新 座 市	75.32	52,178
12	さいたま市	74.96	414,053
13	越 谷 市	74.33	108,598
14	志 木 市	74.27	23,484
15	滑 川 町	73.38	6,162
16	ふじみ野市	73.02	35,029
17	松 伏 町	72.67	9,154
18	加 須 市	72.64	35,620
19	伊 奈 町	72.63	13,850
20	本 庄 市	72.22	24,525
21	深 谷 市	71.96	43,674
22	白 岡 市	71.93	16,037
23	上 里 町	71.75	8,867
24	上 尾 市	71.70	65,972
25	川 島 町	71.32	6,298
26	神 川 町	71.21	4,254
27	吉 見 町	71.20	5,914
28	所 沢 市	71.12	89,436
29	久 喜 市	70.98	46,418
30	入 間 市	70.94	44,527
31	川 越 市	70.86	94,117
32	鶴ヶ島市	70.68	21,397
33	熊 谷 市	70.66	60,122
34	鴻 巣 市	70.60	35,640
35	三 芳 町	70.57	11,660
36	行 田 市	70.43	24,166
37	桶 川 市	70.33	22,668
38	狭 山 市	70.13	45,802
39	東 松 山 市	70.09	27,720
40	春 日 部 市	69.87	62,745
41	羽 生 市	69.80	15,576
42	寄 居 町	69.47	9,965
43	嵐 山 町	69.39	5,575
44	坂 戸 市	68.89	29,854
45	ときがわ町	68.48	3,350
46	北 本 市	68.47	19,604
47	杉 戸 町	68.39	13,284
48	飯 能 市	68.25	24,060
49	宮 代 町	68.23	10,223
50	蓮 田 市	68.10	18,389
51	日 高 市	68.10	16,110
52	越 生 町	67.87	3,384
53	幸 手 市	67.84	15,086
54	小 鹿 野 町	67.38	3,263
55	秩 父 市	66.94	17,103
56	横 瀬 町	66.57	2,354
57	美 里 町	66.48	3,270
58	小 川 町	65.84	8,540
59	長 瀨 町	65.57	1,967
60	皆 野 町	65.22	2,653
61	東 秩 父 村	63.49	805
62	鳩 山 町	60.25	3,676
63	毛 呂 山 町	60.05	9,372

■ 埼玉県男性の労働力率は、73.30%

総務省統計局「国勢調査」によると、令和2年10月1日現在、男性の労働力人口は2,270,274人、労働力率は73.30%でした。

労働力率を年齢階級別にみると、埼玉県は35～39歳が97.1%で最も高くなっていますが、すべての階級において全国とほぼ同じ状況となっています。

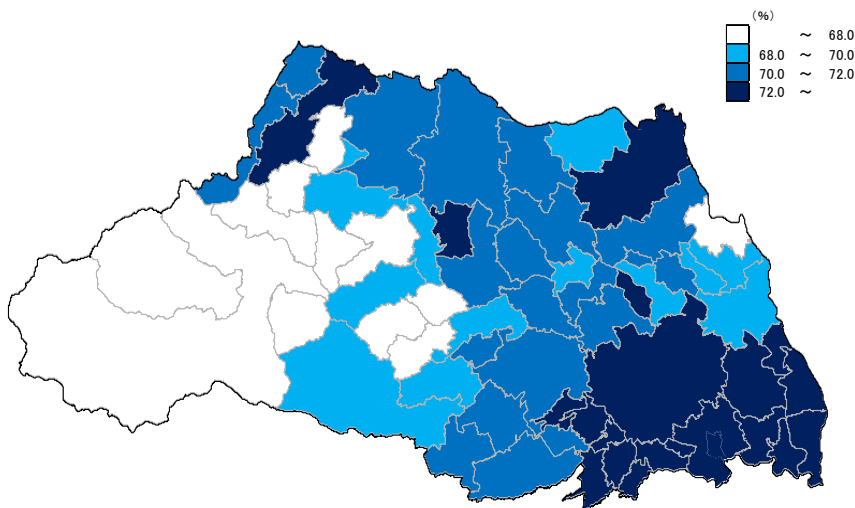
年齢階級別の労働力率(男)(全国・県)



注) 不詳補完値による。

資料: 総務省統計局「令和2年国勢調査」

労働力率(男)の分布



● 労働力率とは

15歳以上人口に占める労働力人口(就業者と完全失業者を合わせたもの)の割合。

※就業者とは、調査週間中(調査年の9月24日～30日)、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)を伴う仕事を少しでもした者。

※完全失業者とは、調査週間中、収入を伴う仕事を少しもしなかった者のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ、ハローワーク(公共職業安定所)に申し込むなどして積極的に仕事を探していた者。

令和2年10月1日現在

資料: 総務省統計局「令和2年国勢調査」

注) 集計結果(原数値)に含まれる労働力状態の「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」を使用。

31-2 労働力率（女）

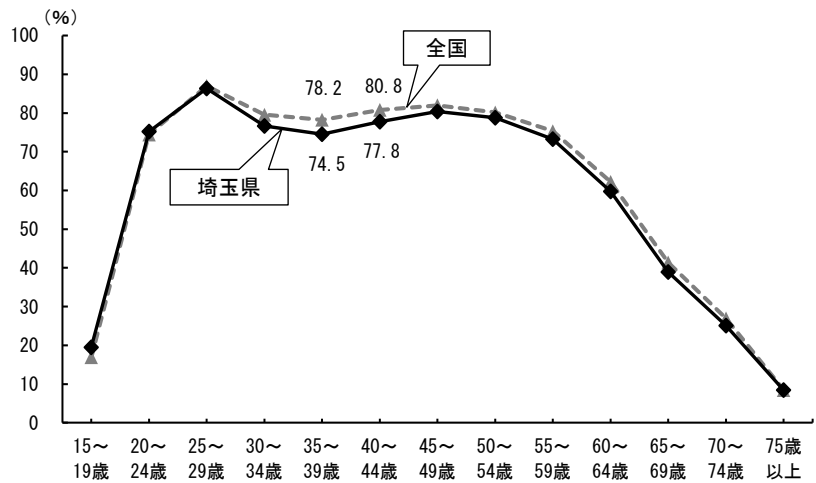
順位	市町村	労働力率 (%)	労働力人口 (人)
	全 県	54.22	1,720,554
1	戸 田 市	63.08	36,104
2	和 光 市	62.65	22,068
3	朝 霞 市	60.53	36,771
4	八 潮 市	59.82	23,159
5	蕨 市	59.30	19,428
6	川 口 市	57.83	147,842
7	草 加 市	57.05	62,163
8	吉 川 市	56.93	17,699
9	富 士 見 市	56.84	27,977
10	三 郷 市	56.23	34,384
11	新 座 市	55.44	39,671
12	滑 川 町	55.19	4,453
13	さいたま市	55.08	316,053
14	上 里 町	54.89	7,122
15	越 谷 市	54.77	82,954
16	伊 奈 町	54.51	10,397
17	深 谷 市	54.50	33,563
18	本 庄 市	54.39	18,709
19	志 木 市	54.22	18,048
20	神 川 町	53.81	3,168
21	松 伏 町	53.80	6,775
22	吉 見 町	53.67	4,470
23	加 須 市	53.64	26,397
24	ふじみ野市	53.59	26,718
25	鶴ヶ島市	53.40	16,815
26	川 越 市	52.78	72,785
27	上 尾 市	52.65	51,043
28	所 沢 市	52.42	71,065
29	嵐 山 町	52.35	4,231
30	白 岡 市	52.24	12,028
31	東 松 山 市	52.23	20,534
32	羽 生 市	52.17	11,947
33	熊 谷 市	52.06	44,730
34	久 喜 市	52.06	34,772
35	行 田 市	52.05	18,464
36	寄 居 町	52.00	7,658
37	入 間 市	51.93	33,925
38	鴻 巣 市	51.86	27,209
39	川 島 町	51.74	4,493
40	三 芳 町	51.56	8,864
41	越 生 町	51.45	2,600
42	ときがわ町	51.36	2,449
43	桶 川 市	51.30	17,176
44	春 日 部 市	50.95	48,689
45	美 里 町	50.89	2,505
46	坂 戸 市	50.52	22,129
47	北 本 市	50.47	14,970
48	飯 能 市	50.44	17,927
49	日 高 市	50.43	12,279
50	長 瀨 町	50.28	1,598
51	小 鹿 野 町	50.11	2,520
52	狭 山 市	49.95	33,174
53	杉 戸 町	49.59	9,695
54	宮 代 町	49.40	7,355
55	小 川 町	49.02	6,455
56	秩 父 市	48.77	13,291
57	蓮 田 市	48.76	13,519
58	幸 手 市	48.63	10,955
59	皆 野 町	48.22	2,057
60	横 瀬 町	47.79	1,711
61	毛 呂 山 町	46.94	7,483
62	東 秩 父 村	45.82	581
63	鳩 山 町	42.72	2,780

■ 埼玉県女性の労働力率は、54.22%

総務省統計局「国勢調査」によると、令和2年10月1日現在、女性の労働力人口は1,720,554人、労働力率は54.22%でした。

年齢階級別にみると、労働力率は25～74歳の各階級で全国を下回っています。特に、35～39歳は74.5%で全国(78.2%)を3.7ポイント、40～44歳は77.8%で全国(80.8%)を3.0ポイント、それぞれ下回っています。

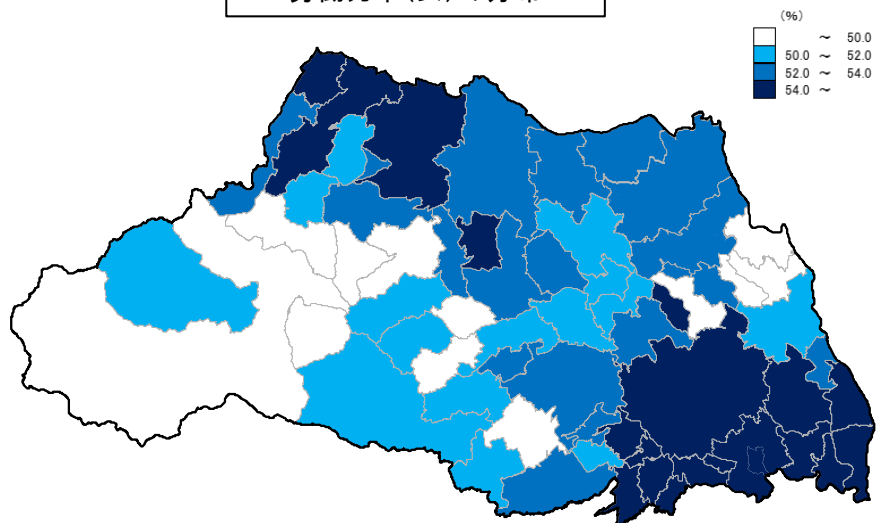
年齢階級別の労働力率(女)(全国・県)



注) 不詳補完値による。

資料:総務省統計局「令和2年国勢調査」

労働力率(女)の分布



令和2年10月1日現在

資料:総務省統計局「令和2年国勢調査」

注)集計結果(原数値)に含まれる労働力状態の「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」を使用。

32 若年者の就業率（20～34歳）

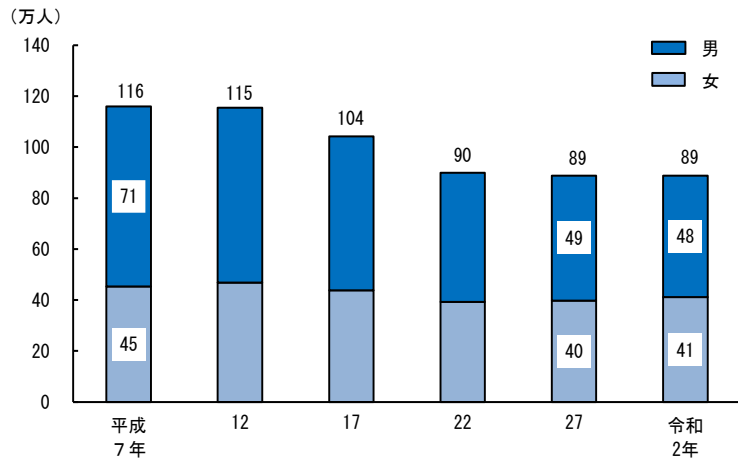
順位	市町村	就業率 (%)	就業者数 (人)
	全 県	79.8	888,681
1	八 潮 市	85.2	14,817
2	和 光 市	84.7	15,577
3	蕨 市	82.7	12,900
4	朝 霞 市	82.6	22,279
5	小 鹿 野 町	82.4	869
6	神 川 町	82.1	1,418
7	戸 田 市	82.0	22,461
8	東 秩 父 村	81.7	196
9	三 郷 市	81.4	17,687
10	川 口 市	81.2	83,151
11	本 庄 市	81.1	8,781
12	吉 川 市	80.9	9,181
13	草 加 市	80.9	33,706
14	嵐 山 町	80.8	1,963
15	滑 川 町	80.7	2,343
16	富 士 見 市	80.5	15,260
17	横 瀬 町	80.4	777
18	狭 山 市	80.3	16,638
19	越 谷 市	80.3	44,130
20	さいたま市	80.2	178,471
21	羽 生 市	80.2	5,668
22	秩 父 市	80.1	5,588
23	皆 野 町	79.9	770
24	ときがわ町	79.7	913
25	川 島 町	79.6	1,847
26	桶 川 市	79.6	8,345
27	新 座 市	79.6	19,205
28	加 久 須 市	79.6	12,435
29	久 喜 市	79.5	16,162
30	吉 見 町	79.4	1,854
31	寄 居 町	79.3	3,449
32	深 谷 市	79.3	15,233
33	行 田 市	79.3	8,190
34	熊 谷 市	79.0	21,892
35	日 高 市	79.0	5,083
36	所 沢 市	79.0	33,908
37	上 尾 市	79.0	24,676
38	白 岡 市	78.9	6,066
39	志 木 市	78.9	9,520
40	松 伏 町	78.9	2,940
41	長 瀨 町	78.7	499
42	春 日 部 市	78.7	21,181
43	伊 奈 町	78.5	4,992
44	美 里 町	78.4	1,048
45	入 間 市	78.4	15,843
46	三 芳 町	78.4	3,786
47	鴻 巣 市	78.3	12,807
48	上 里 町	78.3	2,967
49	小 川 町	78.3	2,475
50	幸 手 市	78.3	4,672
51	ふじみ野市	78.3	13,180
52	蓮 田 市	77.9	6,619
53	北 本 市	77.5	6,636
54	越 生 町	77.4	978
55	杉 戸 町	77.4	4,174
56	川 越 市	77.3	34,992
57	宮 代 町	77.3	3,750
58	飯 能 市	77.2	8,382
59	東 松 山 市	77.0	10,506
60	鶴 ヶ 島 市	76.7	8,098
61	鳩 山 町	76.6	931
62	坂 戸 市	72.6	10,376
63	毛 呂 山 町	65.3	3,440

■ 埼玉県若年者の就業率(20～34歳)は、79.8%

総務省統計局「国勢調査」によると、令和2年10月1日現在、若年者(20～34歳)の就業者数は888,681人で、就業率は79.8%でした。

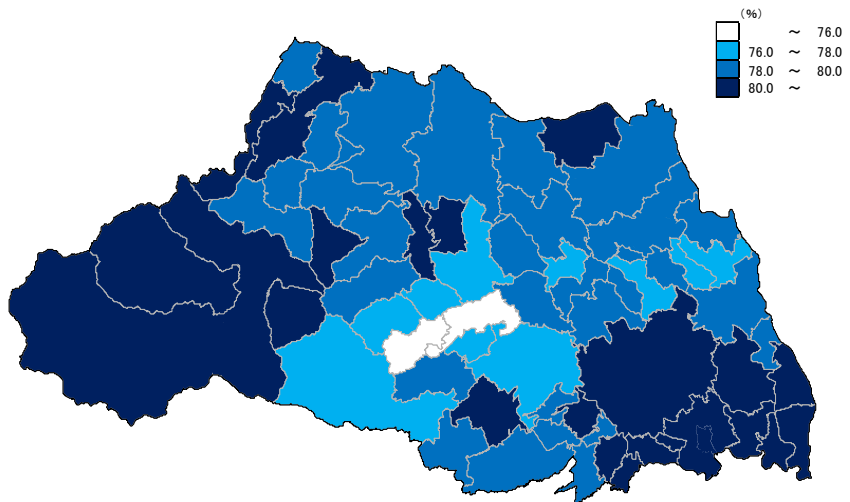
平成7年からの推移をみると、若年者の就業者数は減少が続いていましたが、平成27年から令和2年は横ばいとなっています。

若年者の就業者数(20～34歳)の推移(全県)



注) 平成27年及び令和2年は不詳補完値。
資料: 総務省統計局「国勢調査」

若年者の就業率(20～34歳)の分布



● 若年者の就業率(20～34歳)とは

若年者(本項では20～34歳)人口に占める、就業者の割合。

※就業者とは、調査週間中(調査年の9月24日～30日)、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)を伴う仕事を少しでもした者。

令和2年10月1日現在

資料: 総務省統計局「令和2年国勢調査」

注) 集計結果(原数値)に含まれる労働力状態の「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」を使用。

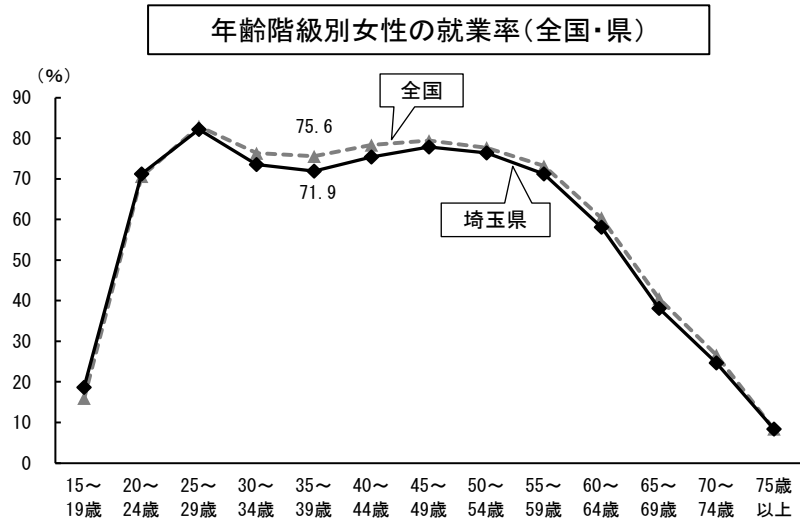
33 女性の就業率（30～39歳）

順位	市町村	就業率 (%)	就業者数 (人)
	全 県	72.7	287,780
1	小鹿野町	83.1	360
2	長瀬町	83.0	190
3	越生町	82.7	353
4	ときがわ町	82.2	324
5	美里町	81.9	417
6	皆野町	81.3	282
7	東秩父村	80.7	67
8	小川町	79.0	881
9	神川町	78.3	447
10	秩父市	77.9	2,081
11	嵐山町	76.9	620
12	鳩山町	76.6	344
13	本庄市	76.5	2,979
14	羽生市	76.4	1,835
15	寄居町	76.2	1,092
16	深谷市	76.1	5,461
17	日高市	75.9	1,833
18	蕨市	75.9	3,772
19	和光市	75.7	4,695
20	行田市	75.7	2,760
21	吉見町	75.5	589
22	上里町	75.4	1,056
23	戸田市	74.9	7,216
24	加須市	74.9	4,241
25	八潮市	74.5	4,323
26	熊谷市	74.1	7,246
27	鶴ヶ島市	74.0	2,635
28	朝霞市	73.9	6,936
29	毛呂山町	73.6	1,016
30	川島町	73.5	595
31	川口市	73.2	26,192
32	久喜市	73.1	5,578
33	飯能市	72.9	2,751
34	鴻巣市	72.8	4,519
35	草加市	72.7	9,733
36	所沢市	72.6	11,284
37	新座市	72.4	6,568
38	松伏町	72.4	838
39	志木市	72.3	3,317
40	滑川町	72.3	896
41	幸手市	72.3	1,584
42	宮代町	72.2	1,219
43	東松山市	71.9	3,399
44	北本市	71.9	2,188
45	さいたま市	71.9	57,589
46	伊奈町	71.9	1,632
47	三芳町	71.8	1,291
48	富士見市	71.7	4,731
49	春日部市	71.6	6,879
50	吉川市	71.5	3,046
51	川越市	71.5	11,465
52	三郷市	71.4	6,232
53	越谷市	71.4	14,323
54	入間市	71.3	5,156
55	桶川市	71.3	2,724
56	横瀬町	71.1	229
57	坂戸市	71.0	3,344
58	蓮田市	70.7	2,179
59	狭山市	70.6	4,916
60	杉戸町	70.6	1,375
61	上尾市	69.7	7,753
62	ふじみ野市	69.5	4,166
63	白岡市	69.3	2,038

■ 埼玉県女性の就業率は、30代を中心に全国より低い

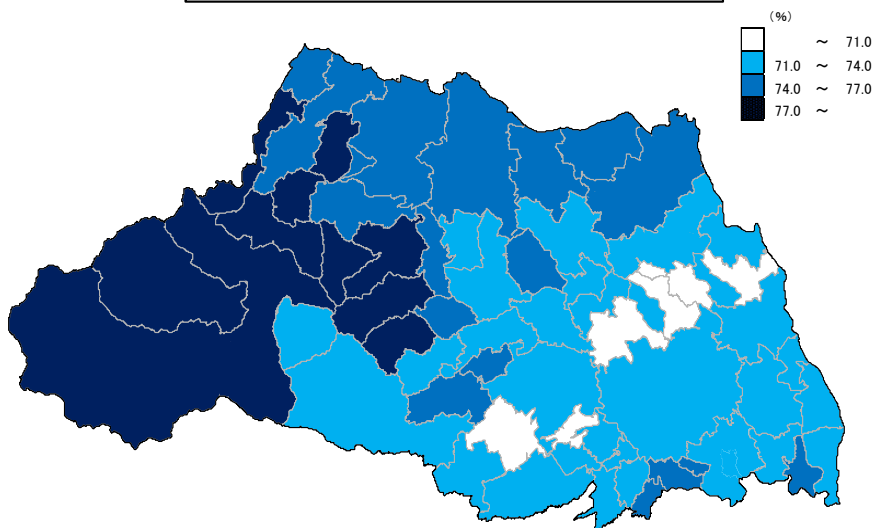
総務省統計局「国勢調査」によると、令和2年10月1日現在、30～39歳の女性の就業者数は287,780人で、就業率は72.7%でした。

年齢階級別にみると、女性の就業率は25～74歳の各階級で全国を下回っています。特に、35～39歳は71.9%と全国(75.6%)より3.7ポイント低くなっています。



注) 不詳補完値による。
資料: 総務省統計局「令和2年国勢調査」

女性の就業率(30～39歳)の分布



● 女性就業率(30～39歳)とは

女性(本項では30～39歳)人口に占める、就業者の割合。
※就業者とは、調査週間中(調査年の9月24日～30日)、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)を伴う仕事を少しでもした者。

令和2年10月1日現在
資料: 総務省統計局「令和2年国勢調査」
注) 集計結果(原数値)に含まれる労働力状態の「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」を使用。

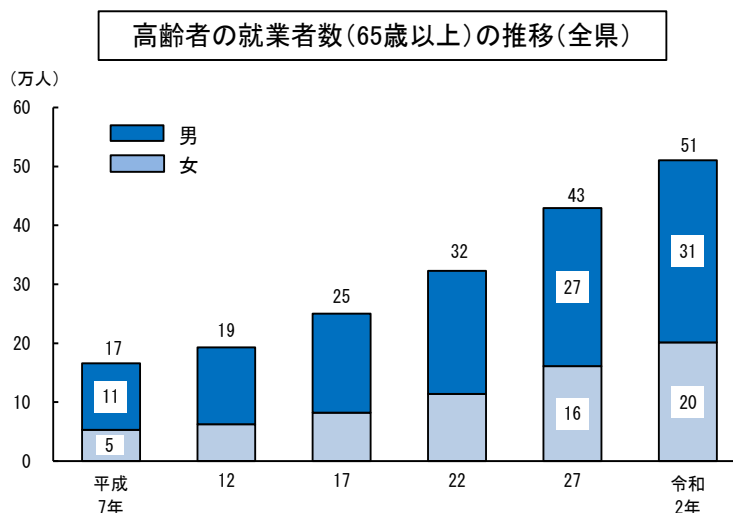
34 高齢者の就業率（65歳以上）

順位	市町村	就業率 (%)	就業者数 (人)
	全 県	26.4	510,244
1	川 島 町	32.8	2,286
2	八 潮 市	32.2	6,853
3	三 郷 市	32.2	12,416
4	戸 田 市	31.5	7,259
5	ときがわ町	30.8	1,260
6	吉 川 市	30.2	5,223
7	吉 見 町	30.0	1,846
8	和 光 市	30.0	4,507
9	松 伏 町	29.9	2,515
10	川 口 市	29.9	41,233
11	嵐 山 町	29.7	1,740
12	加 須 市	29.3	9,756
13	草 加 市	29.3	18,065
14	深 谷 市	29.2	11,930
15	神 川 町	29.1	1,274
16	朝 霞 市	29.0	7,971
17	新 座 市	28.8	12,160
18	小 鹿 野 町	28.1	1,192
19	東 秩 父 村	27.9	352
20	富 士 見 市	27.9	7,580
21	上 里 町	27.8	2,315
22	藤 野 市	27.3	4,709
23	久 喜 市	27.3	12,583
24	長 瀬 町	27.3	735
25	本 庄 市	27.1	6,133
26	滑 川 町	26.9	1,241
27	越 生 町	26.9	1,072
28	寄 居 町	26.8	2,919
29	行 田 市	26.2	6,561
30	鶴ヶ島市	26.2	5,308
31	川 越 市	26.2	23,338
32	小 川 町	26.2	2,903
33	東 松 山 市	26.1	6,779
34	羽 生 市	26.0	4,115
35	春 日 部 市	25.9	17,789
36	越 谷 市	25.7	22,410
37	皆 野 町	25.2	902
38	鴻 巣 市	25.1	8,795
39	三 芳 町	25.1	2,895
40	伊 奈 町	25.0	2,732
41	熊 谷 市	25.0	14,300
42	幸 手 市	24.9	4,399
43	日 高 市	24.9	4,469
44	所 沢 市	24.8	21,601
45	さいたま市	24.8	75,678
46	白 岡 市	24.8	3,621
47	上 尾 市	24.7	15,138
48	ふじみ野市	24.7	7,238
49	飯 能 市	24.6	6,210
50	入 間 市	24.6	10,561
51	美 里 町	24.6	915
52	杉 戸 町	24.6	3,539
53	志 木 市	24.3	4,548
54	鳩 山 町	24.0	1,495
55	狭 山 市	23.7	11,316
56	北 本 市	23.6	4,995
57	坂 戸 市	23.4	6,896
58	宮 代 町	23.2	2,544
59	桶 川 市	23.0	5,082
60	秩 父 市	22.4	4,557
61	横 瀬 町	22.1	600
62	毛 呂 山 町	22.0	2,551
63	蓮 田 市	21.8	4,339

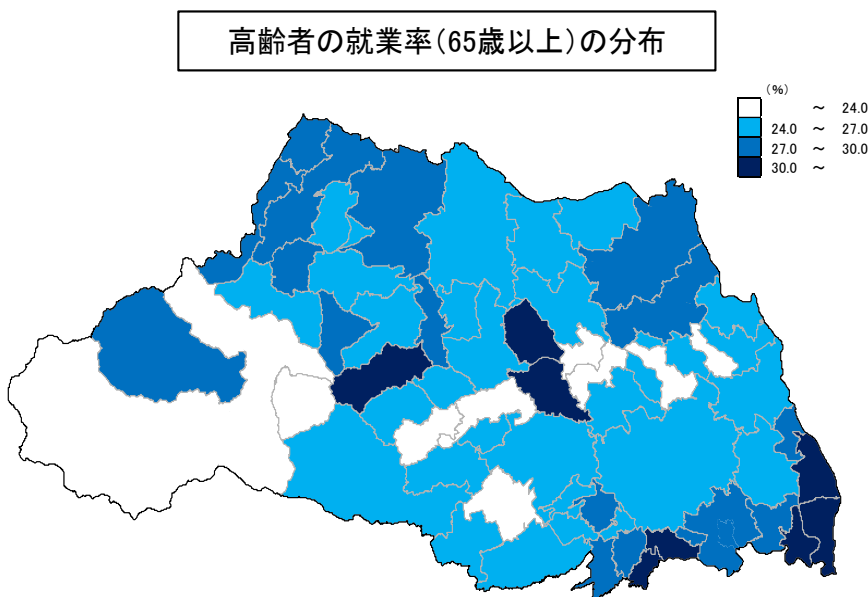
■ 埼玉県の高齢者の就業率(65歳以上)は、26.4%

総務省統計局「国勢調査」によると、令和2年10月1日現在、65歳以上の高齢者の就業者数は510,244人で、就業率は26.4%でした。

平成7年からの推移をみると、高齢者の就業者数は増加を続けており、平成27年(429,149人)の約1.2倍となっています。



注) 平成27年及び令和2年は不詳補完値。
資料: 総務省統計局「国勢調査」



● 高齢者の就業率(65歳以上)とは

65歳以上人口に占める就業者の割合。

※就業者とは、調査週間中(調査年の9月24日~30日)、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)を伴う仕事を少しでもした者。

令和2年10月1日現在

資料: 総務省統計局「令和2年国勢調査」

注) 集計結果(原数値)に含まれる労働力状態の「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」を使用。

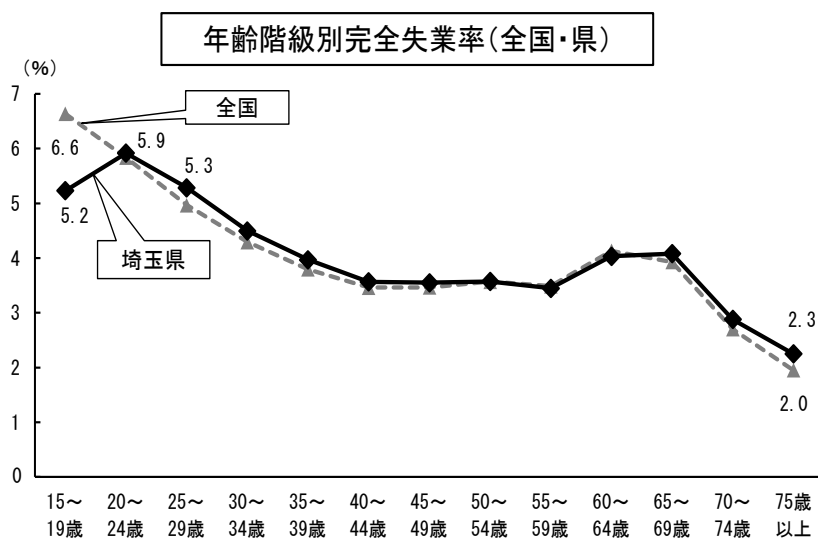
35 完全失業率

順位	市町村	完全失業率 (%)	完全失業者数 (人)
	全 県	3.99	159,225
1	毛呂山町	6.27	1,056
2	坂戸市	5.84	3,034
3	小川町	5.06	759
4	吉見町	4.95	514
5	幸手市	4.90	1,276
6	寄居町	4.78	842
7	上里町	4.75	760
8	美里町	4.74	274
9	鳩山町	4.71	304
10	神川町	4.65	345
11	蓮田市	4.60	1,467
12	狭山市	4.59	3,626
13	飯能市	4.55	1,910
14	越生町	4.50	269
15	皆野町	4.48	211
16	鶴ヶ島市	4.47	1,707
17	日高市	4.43	1,258
18	蕨市	4.42	1,991
19	北本市	4.40	1,522
20	深谷市	4.38	3,383
21	本庄市	4.35	1,881
22	春日部市	4.35	4,842
23	入間市	4.31	3,379
24	秩父市	4.25	1,291
25	加須市	4.25	2,633
26	羽生市	4.22	1,161
27	熊谷市	4.16	4,366
28	鴻巣市	4.15	2,607
29	東松山市	4.12	1,989
30	川島町	4.11	444
31	行田市	4.11	1,753
32	宮代町	4.06	713
33	川口市	4.02	13,920
34	草加市	4.02	5,897
35	所沢市	4.02	6,447
36	上尾市	4.01	4,692
37	ふじみ野市	4.00	2,467
38	杉戸町	3.98	915
39	松伏町	3.96	631
40	志木市	3.93	1,633
41	越谷市	3.92	7,503
42	桶川市	3.91	1,557
43	川越市	3.89	6,486
44	久喜市	3.88	3,152
45	三郷市	3.85	3,127
46	新座市	3.81	3,500
47	ときがわ町	3.79	220
48	富士見市	3.79	2,388
49	嵐山町	3.78	371
50	白岡市	3.77	1,059
51	横瀬町	3.74	152
52	三芳町	3.69	758
53	戸田市	3.66	3,061
54	さいたま市	3.60	26,283
55	東秩父村	3.54	49
56	朝霞市	3.46	2,944
57	小鹿野町	3.46	200
58	八潮市	3.44	1,935
59	長瀬町	3.42	122
60	吉川市	3.42	1,397
61	伊奈町	3.37	817
62	滑川町	3.25	345
63	和光市	3.11	1,630

■ 埼玉県完全失業率は、3.99%

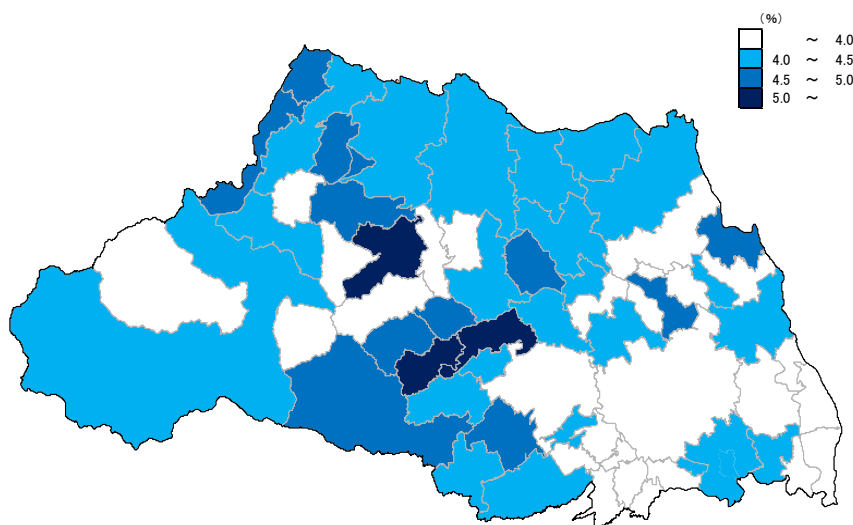
総務省統計局「国勢調査」によると、令和2年10月1日現在、完全失業者数は159,225人で、完全失業率は3.99%でした。

年齢階級別にみると、15～19歳(5.2%)、20～24歳(5.9%)、25～29歳(5.3%)の完全失業率が特に高く、これは全国と同様の状況となっています。



注) 不詳補完値による。
資料: 総務省統計局「令和2年国勢調査」

完全失業率の分布



● 完全失業率とは

労働力人口に占める完全失業者の割合。

※完全失業者とは、調査週間中(調査年の9月24日～30日)、収入を伴う仕事を少しもしなかった者のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ、ハローワーク(公共職業安定所)に申し込むなどして積極的に仕事を探していた者。

令和2年10月1日現在

資料: 総務省統計局「令和2年国勢調査」

注) 集計結果(原数値)に含まれる労働力状態の「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」を使用。

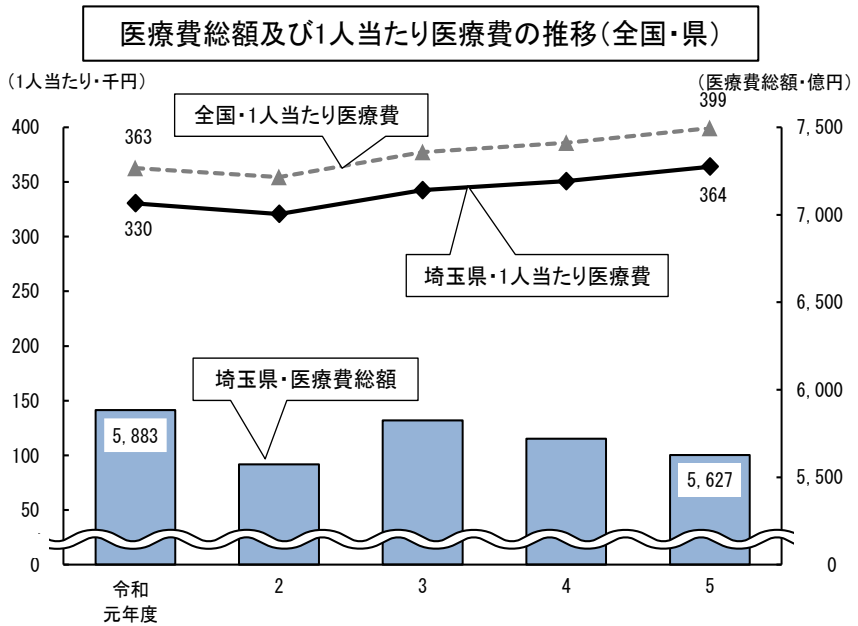
36 1人当たり医療費（国民健康保険事業）

順位	市町村	1人当たり医療費(円)
	全 県	363,974
1	東 秩 父 村	494,858
2	美 里 町	462,603
3	ときがわ 町	460,643
4	毛 呂 山 町	456,706
5	川 島 町	456,190
6	皆 野 町	448,024
7	横 瀬 町	438,042
8	小 川 町	430,441
9	上 里 町	428,821
10	蓮 田 市	424,653
11	白 岡 市	422,982
12	日 高 市	422,083
13	吉 見 町	422,061
14	神 川 町	421,797
15	嵐 山 町	421,688
16	久 喜 市	414,664
17	寄 居 町	414,659
18	杉 戸 町	411,372
19	秩 父 市	410,084
20	宮 代 町	408,182
21	松 伏 町	407,773
22	越 生 町	404,644
23	加 須 市	401,366
24	幸 手 市	401,226
25	三 郷 市	401,122
26	鳩 山 町	399,851
27	熊 谷 市	398,886
28	狭 山 市	398,211
29	北 本 市	398,105
30	行 田 市	397,672
31	吉 川 市	397,090
32	三 芳 町	397,067
33	飯 能 市	395,810
34	小 鹿 野 町	394,068
35	桶 川 市	393,959
36	鴻 巣 市	393,534
37	本 庄 市	389,658
38	上 尾 市	389,183
39	入 間 市	388,749
40	東 松 山 市	388,303
41	深 谷 市	386,657
42	羽 生 市	386,267
43	ふ じ み 野 市	385,733
44	長 瀬 町	381,983
45	さ い た ま 市	381,096
46	春 日 部 市	380,762
47	八 潮 市	379,502
48	川 越 市	379,371
49	越 谷 市	376,861
50	朝 霞 市	375,085
51	鶴 ヶ 島 市	373,332
52	坂 戸 市	369,097
53	所 沢 市	366,995
54	新 座 市	366,928
55	富 士 見 市	364,883
56	志 木 市	363,067
57	滑 川 町	360,762
58	伊 奈 町	360,290
59	和 光 市	356,681
60	草 加 市	355,737
61	川 口 市	345,840
62	戸 田 市	342,092
63	蕨 市	332,152

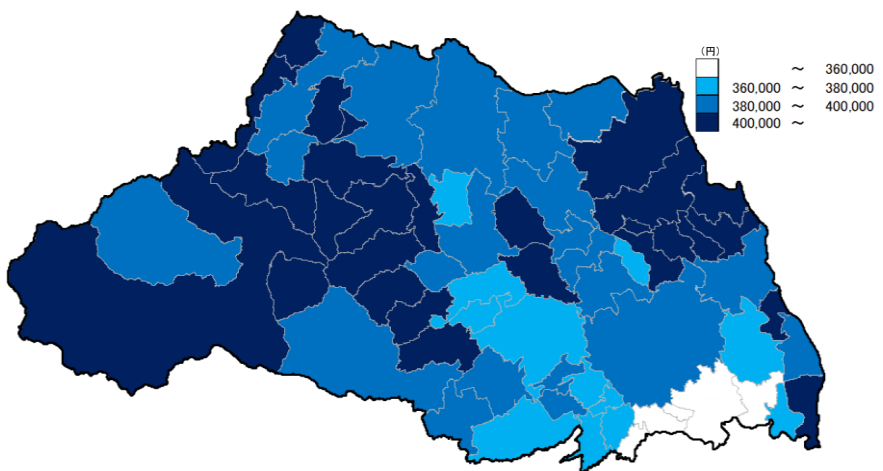
■ 埼玉県の1人当たり医療費は、全国平均より低く推移

県国保医療課「国民健康保険事業状況」によると、令和5年度中の1人当たり医療費は363,974円でした。

1人当たり医療費は全国と同様に増加傾向となっており、令和元年度(330,482円)から33,492円増加しています。令和元年度からの医療費総額の推移をみると、令和3年度は前年度に比べ増加したものの、令和4年度からは減少の傾向にあります。



1人当たり医療費の分布



● 1人当たり医療費とは

国民健康保険医療費(療養諸費及び医療諸費)を年度平均被保険者数で割った金額。

令和5年度

資料：県国保医療課「令和5年度国民健康保険事業状況」 注) 全県は市町村以外の国保組合分を含む。

37 人口10万人当たり病床数（病院）

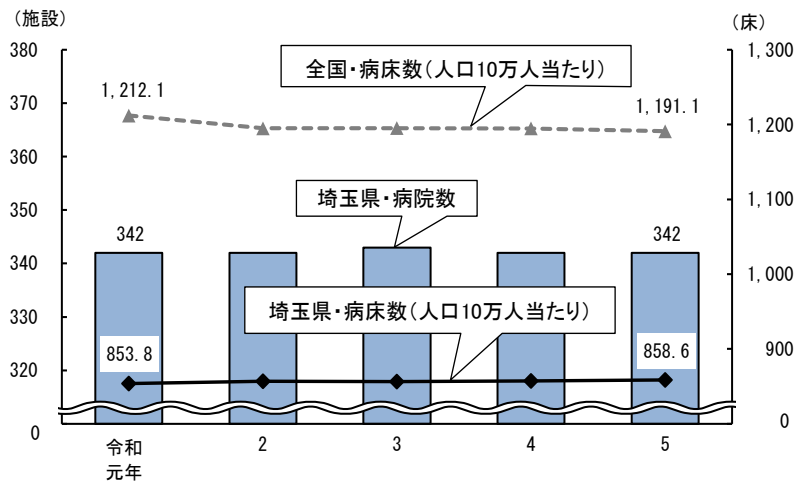
順位	市町村	病床数 (人口10万対)	病院数 (参考)
	全 県	858.6	342
1	毛呂山町	5,526.6	3
2	三芳町	2,924.8	5
3	皆野町	2,370.2	2
4	鳩山町	2,367.5	1
5	伊奈町	2,197.1	5
6	日高市	1,859.0	3
7	飯能市	1,830.0	7
8	本庄市	1,778.1	11
9	蓮田市	1,722.9	4
10	和光市	1,536.1	5
11	幸手市	1,408.1	5
12	狭山市	1,406.6	11
13	小川町	1,384.1	3
14	滑川町	1,365.8	1
15	川島町	1,280.5	1
16	所沢市	1,251.5	23
17	東松山市	1,241.3	7
18	熊谷市	1,233.4	12
19	川越市	1,204.4	24
20	松伏町	1,177.1	3
21	八潮市	1,145.9	4
22	羽生市	1,108.2	3
23	春日部市	1,058.1	13
24	戸田市	1,043.4	6
25	三郷市	993.6	7
26	白岡市	964.7	4
27	深谷市	950.9	9
28	小鹿野町	947.7	1
29	越谷市	915.0	15
30	久喜市	883.4	7
31	北本市	879.3	2
32	行田市	865.6	2
33	加須市	756.0	6
34	寄居町	748.4	2
35	鴻巣市	729.0	4
36	秩父市	690.0	4
37	吉川市	632.2	2
38	新座市	628.3	6
39	川口市	609.6	22
40	入間市	594.5	9
41	さいたま市	593.5	39
42	富士見市	580.9	5
43	上尾市	551.5	5
44	ふじみ野市	521.2	3
45	朝霞市	495.9	4
46	鶴ヶ島市	453.6	2
47	坂戸市	434.6	5
48	嵐山町	367.5	1
49	桶川市	350.8	2
50	蕨市	318.4	3
51	草加市	263.1	6
52	志木市	262.8	2
53	杉戸町	85.4	1
54	越生町	-	-
54	吉見町	-	-
54	ときがわ町	-	-
54	横瀬町	-	-
54	長瀨町	-	-
54	東秩父村	-	-
54	美里町	-	-
54	神川町	-	-
54	上里町	-	-
54	宮代町	-	-

■ 埼玉県の病院の人口10万人当たり病床数は、858.6床

県保健医療政策課「埼玉県保健統計年報」によると、令和5年10月1日現在、病院の人口10万人当たり病床数は858.6床で、全国第46位でした。

令和元年からの推移をみると、人口10万人当たり病床数は全国より低い水準にあり、おおむね横ばいで推移しています。

病院数及び人口10万人当たり病床数の推移(全国・県)



38 人口10万人当たり病床数（一般診療所）

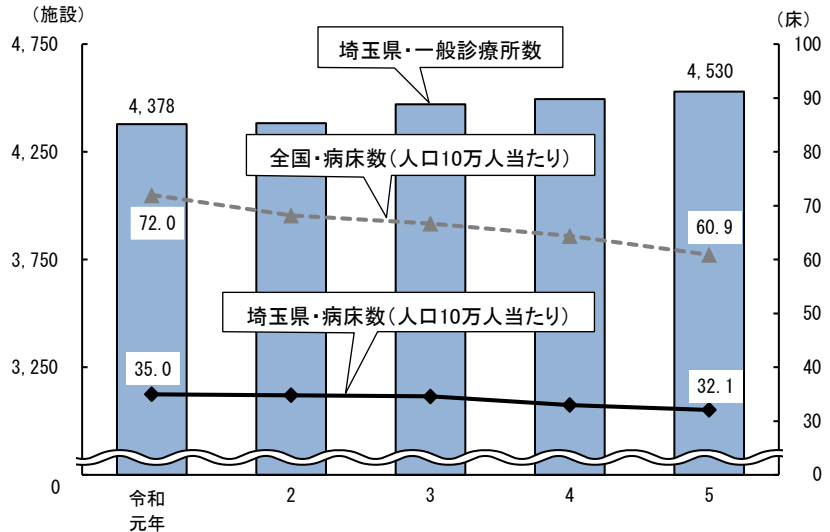
順位	市町村	病床数 (人口10万対)	一般診療所数 (参考)
	全 県	32.1	4,530
1	長 瀬 町	402.5	5
2	本 庄 市	88.4	51
3	羽 生 市	82.2	34
4	幸 手 市	77.8	31
5	宮 代 町	71.3	16
6	蓮 田 市	70.2	37
7	熊 谷 市	67.0	149
8	小 川 町	66.1	26
9	鴻 巣 市	65.3	69
10	飯 能 市	64.1	46
11	北 本 市	60.4	43
12	秩 父 市	59.8	60
13	日 高 市	57.8	19
14	富 士 見 市	54.9	64
15	狭 山 市	54.2	77
16	鶴 ヶ 島 市	54.0	43
17	深 谷 市	53.7	92
18	越 谷 市	49.7	200
19	入 間 市	48.1	66
20	吉 川 市	47.6	41
21	久 喜 市	47.1	83
22	上 尾 市	45.6	123
23	杉 戸 町	43.8	20
24	川 越 市	39.0	220
25	坂 戸 市	38.2	64
26	東 松 山 市	36.8	64
27	朝 霞 市	35.7	83
28	嵐 山 町	33.9	13
29	松 伏 町	32.7	10
30	草 加 市	32.5	134
31	春 日 部 市	25.1	130
32	行 田 市	24.8	39
33	川 口 市	21.8	339
34	さいたま市	21.6	1,028
35	加 須 市	18.0	49
36	所 沢 市	17.8	225
37	新 座 市	14.5	71
38	戸 田 市	13.4	94
39	ふじみ野市	11.5	69
40	三 郷 市	9.9	67
41	桶 川 市	5.4	46
42	志 木 市	5.3	40
43	蕨 市	-	50
43	和 光 市	-	41
43	八 潮 市	-	45
43	白 岡 市	-	29
43	伊 奈 町	-	19
43	三 芳 町	-	13
43	毛 呂 山 町	-	16
43	越 生 町	-	9
43	滑 川 町	-	8
43	川 島 町	-	13
43	吉 見 町	-	6
43	鳩 山 町	-	6
43	ときがわ町	-	8
43	横 瀬 町	-	4
43	皆 野 町	-	6
43	小 鹿 野 町	-	10
43	東 秩 父 村	-	2
43	美 里 町	-	11
43	神 川 町	-	10
43	上 里 町	-	23
43	寄 居 町	-	21

■ 埼玉県の一般診療所の人口10万人当たり病床数は、32.1床

県保健医療政策課「埼玉県保健統計年報」によると、令和5年10月1日現在、一般診療所の人口10万人当たり病床数は32.1床でした。

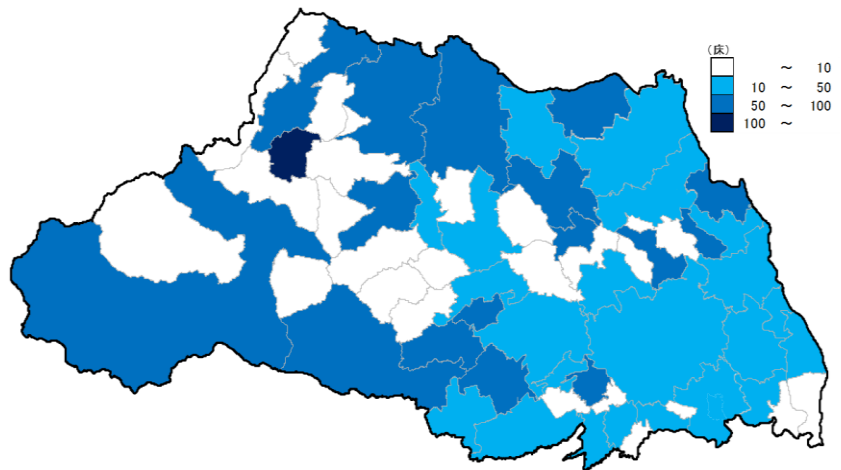
令和元年からの推移をみると、人口10万人当たり病床数は全国より低い水準にあり、減少傾向です。

一般診療所数及び人口10万人当たり病床数の推移(全国・県)



資料:厚生労働省「医療施設調査」
県保健医療政策課「埼玉県保健統計年報」

一般診療所の人口10万人当たり病床数の分布



● 一般診療所とは

医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所(歯科医業のみは除く。)であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するもの。

令和5年10月1日現在
資料:県保健医療政策課「令和5年埼玉県保健統計年報」

39 人口10万人当たり医師数

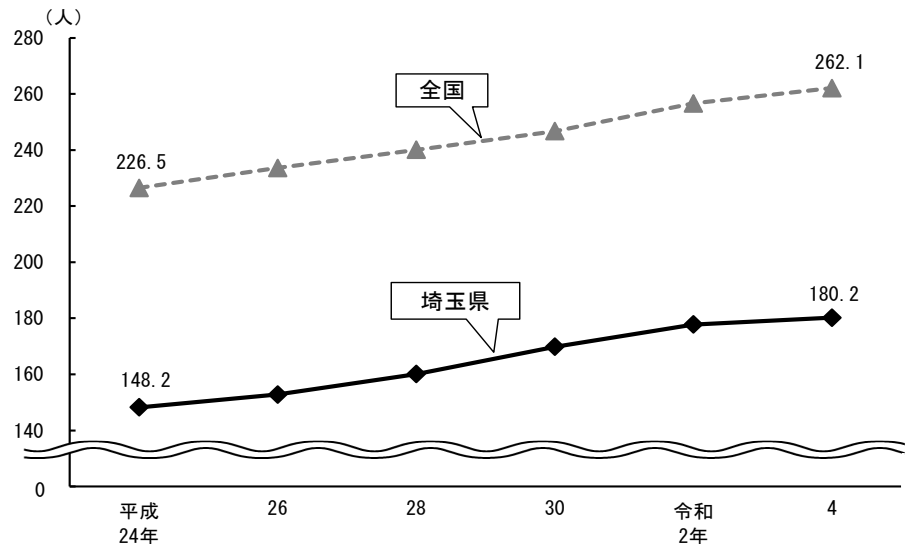
順位	市町村	医師数 (人口10万対)	実数(人)
	全 県	180.2	13,224
1	毛呂山町	1,509.9	526
2	日高市	623.2	336
3	伊奈町	449.3	203
4	和光市	327.2	274
5	越谷市	264.4	901
6	川越市	261.5	928
7	所沢市	259.3	888
8	小川町	242.6	67
9	三芳町	239.0	91
10	北本市	232.3	151
11	さいたま市	199.4	2,670
12	戸田市	198.0	281
13	狭山市	197.8	293
14	上尾市	186.7	426
15	羽生市	181.0	95
16	秩父市	172.9	100
17	幸手市	170.9	84
18	東松山市	166.1	153
19	熊谷市	165.0	317
20	久喜市	163.1	243
21	春日部市	159.5	364
22	本庄市	158.3	124
23	深谷市	155.6	218
24	川口市	154.6	915
25	蓮田市	153.5	94
26	三郷市	148.7	211
27	白岡市	146.5	77
28	行田市	146.4	113
29	小鹿野町	144.8	15
30	加須市	143.3	159
31	朝霞市	134.2	191
32	皆野町	132.6	12
33	富士見市	128.8	145
34	鶴ヶ島市	119.4	84
35	草加市	116.8	291
36	新座市	106.9	177
37	入間市	102.7	148
38	八潮市	101.9	95
39	飯能市	99.2	79
40	鴻巣市	95.1	111
41	長瀬町	90.9	6
42	川島町	90.1	17
43	吉川市	89.1	64
44	蕨市	86.6	64
45	松伏町	79.3	22
46	坂戸市	79.2	79
47	桶川市	76.8	57
48	鳩山町	75.4	10
49	嵐山町	73.1	13
50	ふじみ野市	71.6	81
51	寄居町	69.4	22
52	志木市	67.7	51
53	滑川町	65.1	13
54	越生町	55.9	6
55	杉戸町	55.1	24
56	上里町	49.9	15
57	ときがわ町	48.8	5
58	吉見町	33.9	6
59	神川町	30.5	4
60	宮代町	29.5	10
61	美里町	27.6	3
62	横瀬町	25.9	2
63	東秩父村	-	-

■埼玉県の人口10万人当たり医師数は、180.2人

県保健医療政策課「埼玉県保健統計年報」によると、令和4年12月31日現在、人口10万人当たりの医療施設に従事する医師数は180.2人でした。

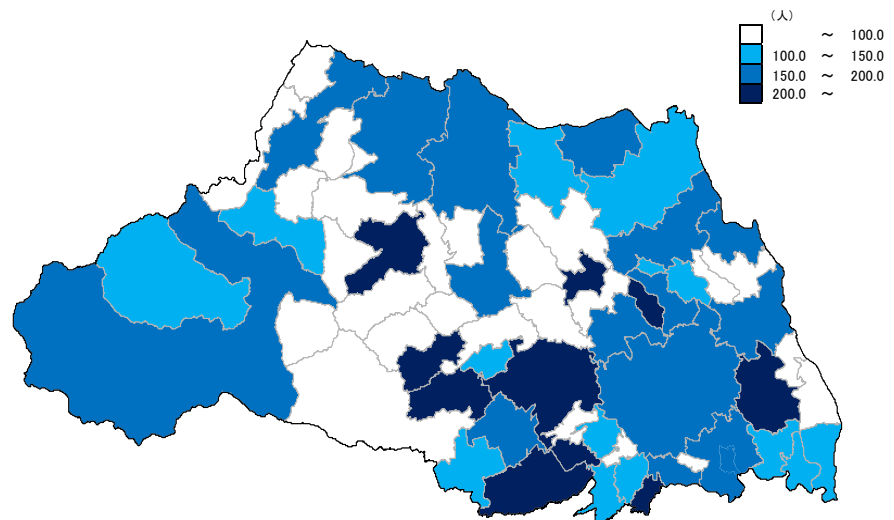
平成24年からの推移をみると、人口10万人当たりの医療施設に従事する医師数は増加傾向にはあるものの、全国よりも低い水準で推移しており、全国を上回る市町村は毛呂山町をはじめとする5市町でした。

人口10万人当たり医療施設に従事する医師数の推移(全国・県)



資料:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

人口10万人当たり医療施設に従事する医師数の分布



●医療施設に従事する医師数とは

日本国内に住所があつて、医師法第6条第3項により届け出た医師のうち、病院、診療所に従事する従業地ごとの医師の人数。

令和4年12月31日現在

資料:県保健医療政策課「令和5年埼玉県保健統計年報」

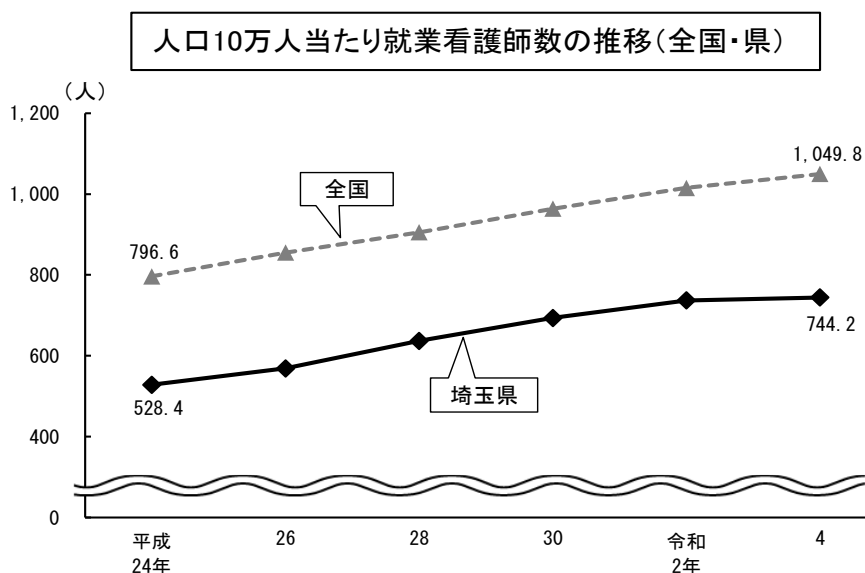
40 人口10万人当たり就業看護師数

順位	市町村	就業看護師数 (人口10万対)	実数(人)
	全 県	744.2	54,603
1	毛呂山町	3,951.0	1,373
2	日高市	2,402.3	1,292
3	伊奈町	2,094.3	946
4	三芳町	1,368.3	520
5	小川町	1,179.5	325
6	和光市	1,139.3	954
7	狭山市	1,062.0	1,572
8	蓮田市	1,004.5	614
9	東松山市	934.7	861
10	川越市	921.5	3,267
11	熊谷市	917.4	1,759
12	北本市	906.3	588
13	皆野町	899.4	81
14	戸田市	889.9	1,264
15	羽生市	852.9	447
16	越谷市	841.0	2,862
17	行田市	834.7	643
18	春日部市	814.6	1,857
19	幸手市	804.5	395
20	所沢市	795.7	2,723
21	久喜市	790.1	1,176
22	さいたま市	782.3	10,485
23	三郷市	765.0	1,084
24	上尾市	760.2	1,733
25	本庄市	738.9	578
26	深谷市	725.1	1,015
27	秩父市	708.7	408
28	白岡市	688.9	362
29	飯能市	688.8	548
30	鳩山町	665.9	88
31	加須市	646.3	717
32	小鹿野町	611.9	63
33	川口市	603.6	3,570
34	富士見市	603.0	679
35	朝霞市	574.8	817
36	寄居町	564.0	178
37	滑川町	560.1	112
38	八潮市	555.2	518
39	鶴ヶ島市	552.6	389
40	新座市	537.1	889
41	入間市	529.7	763
42	松伏町	501.7	139
43	吉川市	496.1	356
44	ふじみ野市	469.9	532
45	鴻巣市	452.9	528
46	川島町	451.7	85
47	坂戸市	425.9	424
48	桶川市	359.8	267
49	草加市	355.4	885
50	嵐山町	332.4	59
51	蕨市	310.1	229
52	横瀬町	299.4	23
53	長瀨町	288.9	19
54	志木市	263.0	198
55	吉見町	261.1	46
56	上里町	243.2	73
57	美里町	221.3	24
58	越生町	214.6	23
59	宮代町	201.3	68
60	東秩父村	198.3	5
61	杉戸町	170.1	74
62	ときがわ町	137.4	14
63	神川町	130.0	17

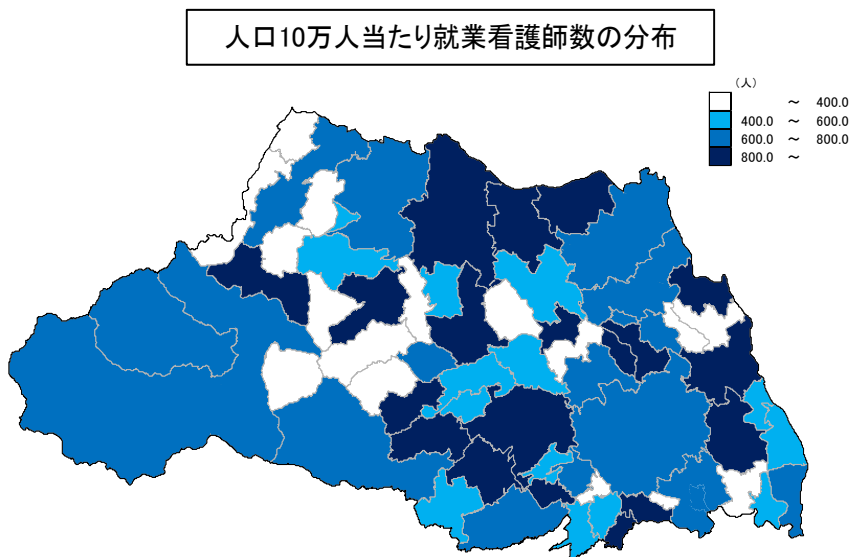
■ 埼玉県の人口10万人当たり就業看護師数は、増加傾向

県保健医療政策課「埼玉県保健統計年報」によると、令和4年12月31日現在、人口10万人当たりの就業看護師数は744.2人でした。

平成24年からの人口10万人当たり就業看護師数の推移をみると、増加傾向にはあるものの全国よりも低い水準で推移しており、全国を上回る市町村は毛呂山町をはじめとする7市町でした。



資料：厚生労働省「衛生行政報告例」



● 就業看護師数とは

看護師免許を取得している者のうち、就業している看護師数で、就業地ごとの人数。

令和4年12月31日現在

資料：県保健医療政策課「令和5年埼玉県保健統計年報」

41 要介護（要支援）認定率・認定者数

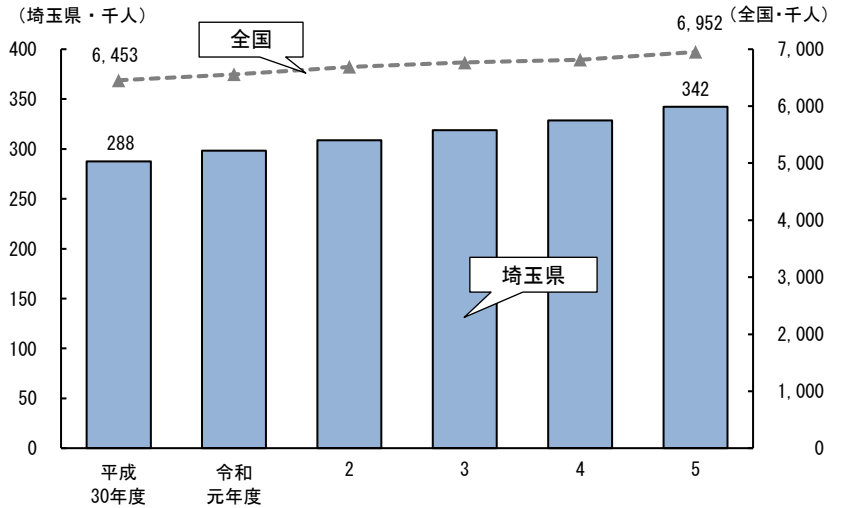
順位	市町村	認定率 (%)	認定者数 (人)
	全 県	17.3	342,104
1	秩 父 市	19.6	4,028
2	蕨 市	19.2	3,364
3	新 座 市	18.9	8,083
4	さいたま市	18.8	58,665
5	皆 野 町	18.8	670
6	入 間 市	18.5	8,214
7	川 越 市	18.5	17,634
8	富 士 見 市	18.4	4,990
9	志 木 市	18.2	3,448
10	朝 霞 市	18.1	5,171
11	桶 川 市	18.1	4,032
12	所 沢 市	18.0	17,118
13	川 口 市	17.8	24,665
14	草 加 市	17.8	11,000
15	蓮 田 市	17.7	3,480
16	上 尾 市	17.7	11,265
17	ふじみ野市	17.7	5,091
18	春 日 部 市	17.6	12,707
19	横 瀬 町	17.5	470
20	越 谷 市	17.4	15,259
21	小 鹿 野 町	17.3	742
22	宮 代 町	17.2	1,879
23	長 瀬 町	17.2	443
24	戸 田 市	17.2	4,068
25	三 郷 市	17.1	6,630
26	本 庄 市	16.6	3,752
27	嵐 山 町	16.6	991
28	伊 奈 町	16.4	1,769
29	羽 生 市	16.4	2,706
30	越 生 町	16.3	686
31	小 川 町	16.2	1,883
32	八 潮 市	16.1	3,368
33	ときがわ町	16.1	687
34	美 里 町	16.1	557
35	東 秩 父 村	16.1	187
36	狭 山 市	16.0	7,661
37	東 松 山 市	16.0	4,371
38	坂 戸 市	15.9	4,787
39	飯 能 市	15.8	4,039
40	三 芳 町	15.8	1,688
41	杉 戸 町	15.6	2,314
42	毛 呂 山 町	15.5	1,768
43	白 岡 市	15.4	2,278
44	北 本 市	15.4	3,296
45	川 島 町	15.3	1,093
46	久 喜 市	15.3	7,304
47	吉 川 市	15.3	2,694
48	加 須 市	15.2	5,342
49	松 伏 町	15.0	1,284
50	日 高 市	15.0	2,751
51	行 田 市	14.8	3,808
52	吉 見 町	14.5	943
53	幸 手 市	14.2	2,503
54	鶴ヶ島市	14.2	2,898
55	滑 川 町	14.1	647
56	神 川 町	13.8	566
57	上 里 町	13.7	1,169
58	鴻 巣 市	13.3	4,823
59	和 光 市	13.3	2,041
60	鳩 山 町	12.8	777
※	大里広域市町村圏組合	17.6	19,557

■ 埼玉県のと要介護（要支援）認定者数は、約34万2千人

厚生労働省「介護保険事業状況報告」によると、令和5年度末現在、第1号被保険者の要介護（要支援）認定者数は342,104人でした。

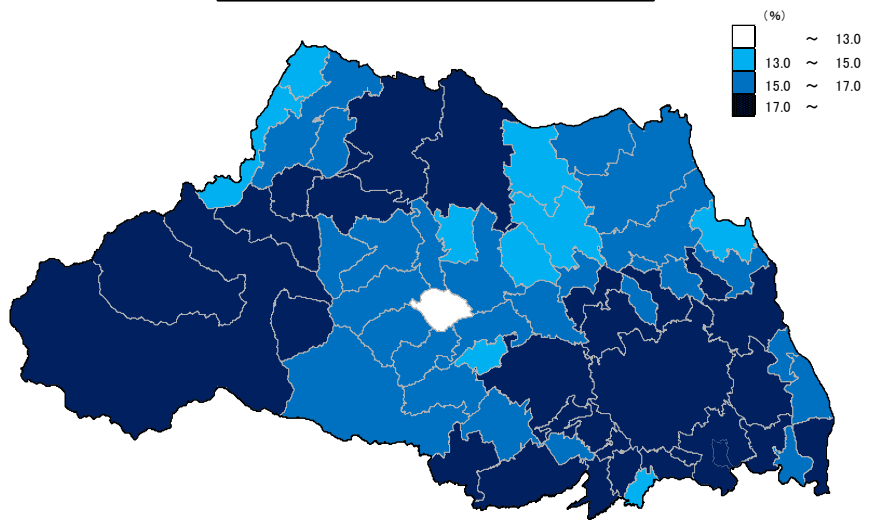
認定者数の推移をみると、全国、埼玉県ともに増加が続いており、5年前の平成30年度末と比較すると、全国では499,680人、埼玉県では54,487人増加しています。

要介護（要支援）認定者数の推移（全国・県）



注) 認定者数は第1号被保険者のみ。
資料: 厚生労働省「介護保険事業状況報告」

要介護（要支援）認定率の分布



● 要介護（要支援）認定率とは

65歳以上の人（第1号被保険者）のうち、要介護（要支援）認定者数の割合。

令和5年度末現在

資料: 厚生労働省「令和5年度介護保険事業状況報告」 注) 大里広域市町村圏組合: 熊谷市、深谷市、寄居町

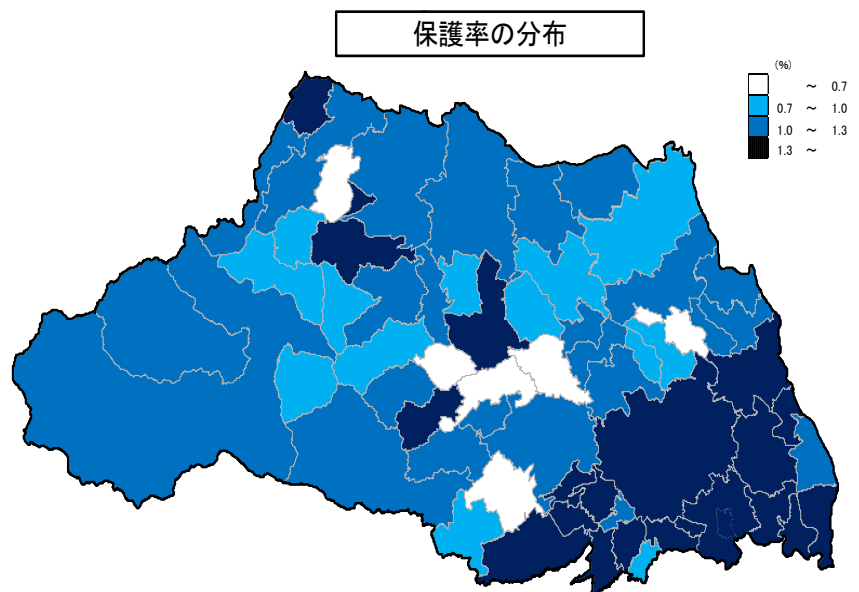
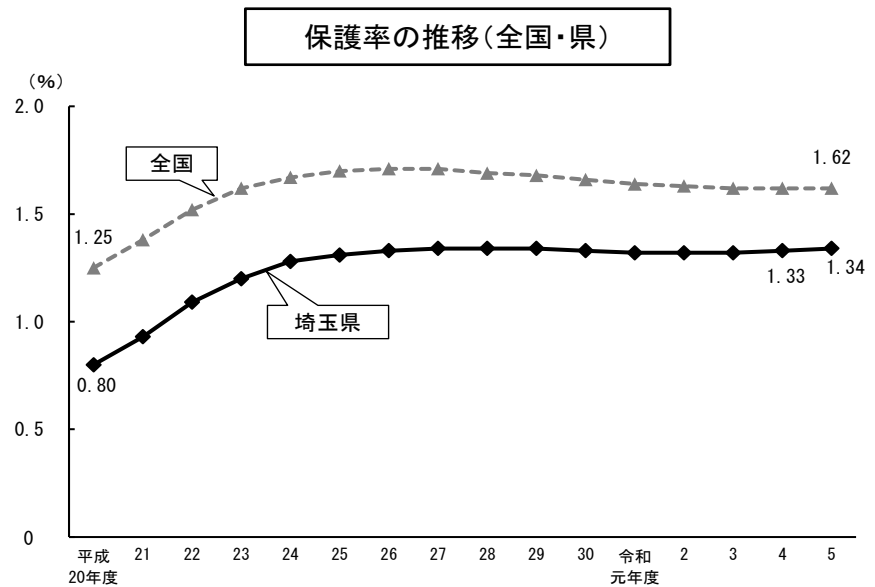
42 保護率（生活保護）

順位	市町村	保護率(%)
	全 県	1.34
1	毛呂山町	2.12
2	蕨市	2.05
3	川口市	1.99
4	三郷市	1.85
5	寄居町	1.75
6	ふじみ野市	1.66
7	新座市	1.64
8	草加市	1.63
9	戸田市	1.63
10	春日部市	1.62
11	富士見市	1.52
12	松伏町	1.47
13	所沢市	1.45
14	さいたま市	1.43
15	東松山市	1.35
16	上里町	1.34
17	朝霞市	1.34
18	八潮市	1.33
19	三芳町	1.31
20	越谷市	1.31
21	行田市	1.27
22	嵐山町	1.23
23	久喜市	1.22
24	熊谷市	1.22
25	越生町	1.22
26	秩父市	1.20
27	川越市	1.18
28	上尾市	1.17
29	小川町	1.14
30	杉戸町	1.13
31	羽生市	1.12
32	吉川市	1.11
33	宮代町	1.09
34	飯能市	1.09
35	本庄市	1.09
36	志木市	1.09
37	鶴ヶ島市	1.07
38	北本市	1.06
39	日高市	1.04
40	小鹿野町	1.03
41	深谷市	1.03
42	神川町	1.02
43	桶川市	1.01
44	幸手市	1.01
45	加須市	0.96
46	入間市	0.91
47	和光市	0.91
48	ときがわ町	0.91
49	皆野町	0.91
50	東秩父村	0.88
51	横瀬町	0.84
52	吉見町	0.82
53	滑川町	0.78
54	蓮田町	0.76
55	長瀬町	0.73
56	鴻巣市	0.73
57	伊奈町	0.73
58	狭山市	0.69
59	坂戸市	0.68
60	川島町	0.63
61	白岡市	0.59
62	鳩山町	0.43
63	美里町	0.41

■埼玉県の保護率は、全国に比べ低水準で推移

県社会福祉課によると、令和5年度の月平均の保護率は前年度から0.01ポイント上昇して1.34%となり、被保護人員は98,439人でした。

保護率は全国に比べ低い水準で推移していますが、平成20年9月のリーマンショックによる急速な景気悪化に伴い、平成21年度以降、急激に上昇しました。近年は経済情勢の改善などにより保護率の伸びは落ち着いてきています。



●保護率とは

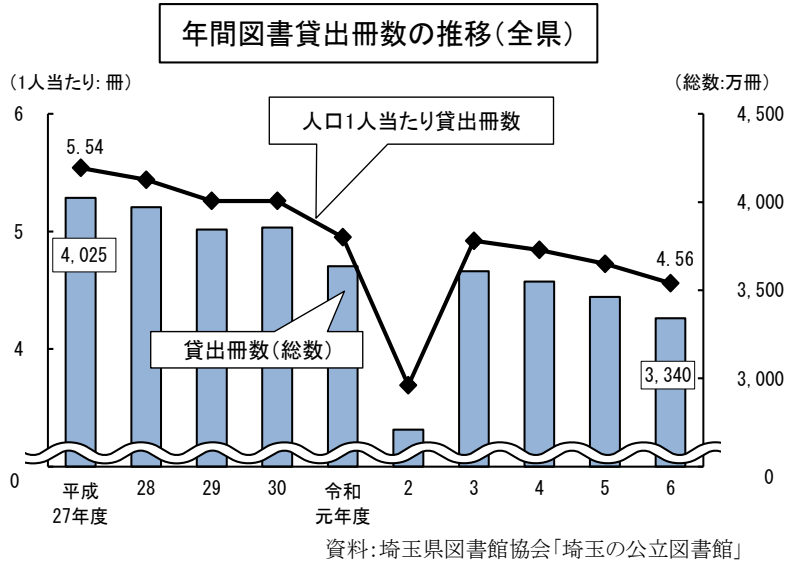
人口(各市町村推計人口の月平均)に占める被保護人員の割合。

43 人口1人当たりの年間図書貸出冊数

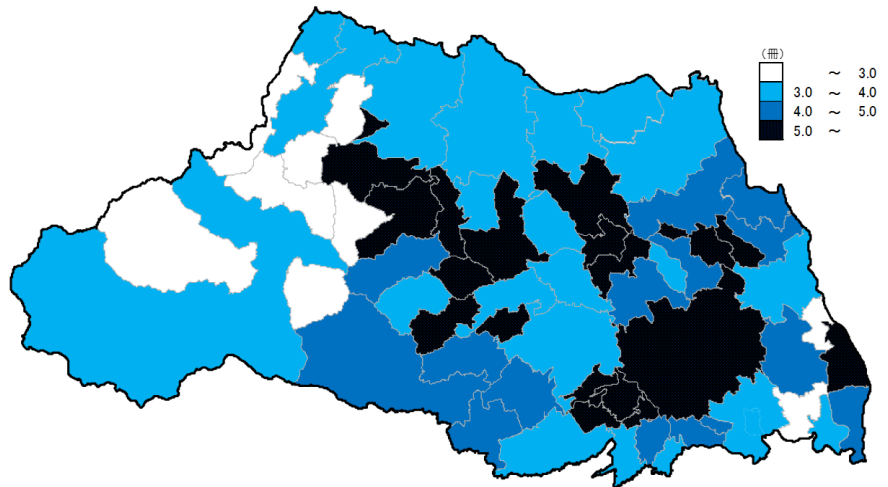
順位	市町村	1人当たり貸出冊数(冊)	貸出冊数(総数)(冊)
	全 県	4.56	33,404,040
1	三 芳 町	8.76	329,570
2	寄 居 町	7.61	234,953
3	白 岡 市	7.02	366,082
4	宮 代 町	6.70	225,148
5	鶴ヶ島市	6.11	427,051
6	富士見市	6.07	687,436
7	さいたま市	6.05	8,182,727
8	東松山市	5.82	538,540
9	志 木 市	5.72	430,028
10	毛 呂 山 町	5.68	193,442
11	吉 川 市	5.61	398,885
12	鴻 巣 市	5.45	633,736
13	桶 川 市	5.37	395,862
14	北 本 市	5.31	341,267
15	鳩 山 町	5.23	66,872
16	嵐 山 町	5.23	91,180
17	小 川 町	5.22	138,826
18	ふじみ野市	5.13	582,668
19	朝 霞 市	4.96	714,052
20	蓮 田 市	4.95	301,604
21	狭 山 市	4.91	719,428
22	久 喜 市	4.82	715,871
23	杉 戸 町	4.74	202,513
24	日 高 市	4.62	245,991
25	入 間 市	4.50	635,679
26	上 尾 市	4.37	996,543
27	ときがわ町	4.37	42,814
28	飯 能 市	4.36	344,168
29	三 郷 市	4.33	611,851
30	幸 手 市	4.09	197,593
31	蕨 市	4.09	306,425
32	越 谷 市	4.06	1,373,363
33	戸 田 市	4.01	570,268
34	伊 奈 町	3.96	177,911
35	川 口 市	3.93	2,338,036
36	行 田 市	3.90	295,474
37	和 光 市	3.88	327,542
38	新 座 市	3.82	634,357
39	滑 川 町	3.78	75,843
40	所 沢 市	3.77	1,284,931
41	熊 谷 市	3.77	712,755
42	加 須 市	3.76	416,086
43	坂 戸 市	3.74	371,216
44	川 島 町	3.66	66,775
45	羽 生 市	3.60	187,078
46	越 生 町	3.60	37,113
47	八 潮 市	3.59	339,455
48	川 越 市	3.54	1,253,580
49	春 日 部 市	3.44	776,323
50	吉 見 町	3.39	57,651
51	秩 父 市	3.24	178,586
52	深 谷 市	3.22	447,283
53	本 庄 市	3.20	247,135
54	上 里 町	3.01	90,015
55	草 加 市	2.94	736,086
56	小 鹿 野 町	2.57	24,753
57	横 瀬 町	2.32	17,136
58	美 里 町	1.72	18,169
59	神 川 町	1.17	14,757
60	伏 松 町	0.98	26,537
61	東 秩 父 村	0.65	1,522
62	皆 野 町	0.54	4,670
63	長 瀨 町	0.45	2,829

市町村の人口1人当たりの年間図書貸出冊数は、4.56冊

埼玉県図書館協会「令和7年度埼玉の公立図書館」によると、令和6年度における県内市町村立図書館の人口1人当たり年間図書貸出冊数は4.56冊、貸出冊数(総数)は33,404,040冊でした。平成27年度からの推移をみると、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの館が臨時休館となった令和2年度に比べると大幅に増加しましたが、貸出冊数(総数)及び人口1人当たり貸出冊数とも、長期的には減少傾向にあります。



人口1人当たりの年間図書貸出冊数の分布



●人口1人当たりの年間図書貸出冊数とは

県内各市町村立図書館の年間の貸出冊数を各自治体の人口で除した冊数。

※「貸出冊数」には団体への貸出及び電子書籍は含まれていない。

※近隣自治体住民への貸出を含めて貸出冊数を計上しているため、必ずしも各自治体の厳密な人口比となっていない。

令和6年度

資料: 埼玉県図書館協会「令和7年度埼玉の公立図書館」

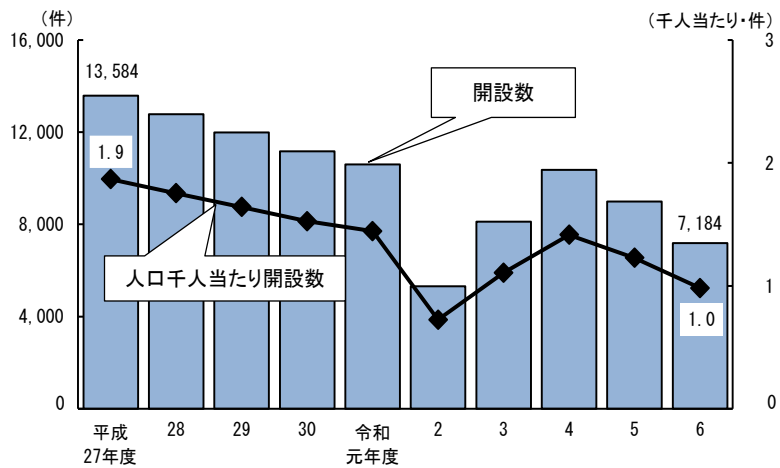
44 人口千人あたり社会教育学級・講座の開設数

順位	市町村	人口千人あたり開設数(件)	開設数(件)
	全 県	1.0	7,184
1	秩 父 市	6.6	367
2	神 川 町	5.9	75
3	行 田 市	5.8	439
4	北 本 市	5.2	333
5	本 庄 市	4.3	332
6	寄 居 町	4.1	127
7	加 須 市	3.3	369
8	小 川 町	2.9	77
9	ふじみ野市	2.9	324
10	三 郷 市	2.4	345
11	長 瀬 町	2.4	15
12	羽 生 市	2.1	108
13	桶 川 市	1.7	128
14	川 島 町	1.5	28
15	所 沢 市	1.5	503
16	坂 戸 市	1.2	119
17	草 加 市	1.1	271
18	皆 野 町	1.0	9
19	滑 川 市	1.0	21
20	幸 手 市	1.0	50
21	さいたま市	1.0	1,354
22	白 岡 市	1.0	52
23	鴻 巣 市	0.9	110
24	蕨 市	0.9	65
25	越 谷 市	0.9	292
26	小 鹿 野 町	0.8	8
27	ときがわ町	0.8	8
28	横 瀬 町	0.8	6
29	伊 奈 町	0.8	35
30	新 座 市	0.8	129
31	朝 霞 市	0.7	107
32	飯 能 市	0.7	55
33	美 里 町	0.7	7
34	上 里 町	0.6	19
35	松 伏 町	0.6	17
36	八 潮 市	0.6	59
37	上 尾 市	0.6	139
38	蓮 田 市	0.6	36
39	狭 山 市	0.6	82
40	毛 呂 山 町	0.5	18
41	熊 谷 市	0.5	89
42	川 越 市	0.4	137
43	宮 代 町	0.3	11
44	志 木 市	0.2	18
45	戸 光 市	0.2	34
46	和 光 市	0.2	19
47	東 松 山 市	0.2	20
48	富 士 見 市	0.2	24
49	三 芳 町	0.2	7
50	川 口 市	0.2	109
51	日 高 市	0.2	8
52	杉 戸 町	0.1	6
53	吉 見 町	0.1	2
54	入 間 市	0.1	16
55	久 喜 市	0.1	13
56	深 谷 市	0.1	11
57	春 日 部 市	0.1	17
58	川 島 市	0.1	5
59	越 生 町	-	-
59	嵐 山 町	-	-
59	鳩 山 町	-	-
59	東 秩 父 村	-	-

■ 埼玉県の人口千人あたり社会教育学級・講座開設数は1.0件

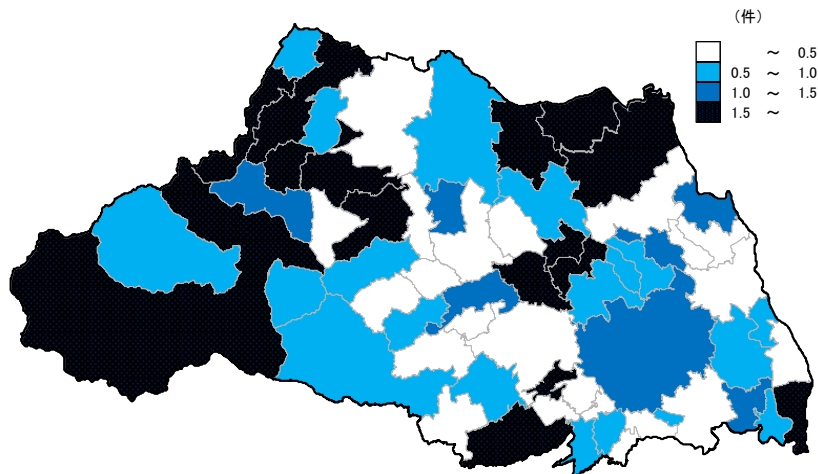
県教育局生涯学習推進課「埼玉県社会教育統計資料」によると、令和6年度における県内市町村の人口千人あたり年間社会教育学級・講座の開設数は1.0件、開設数(総数)は7,184件でした。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの施設等が臨時休館となり、開設数は大幅に減少しました。開設数(総数)及び人口千人あたり開設数は近年減少傾向にあります。

社会教育学級・講座の開設数の推移(全県)



資料:教育局生涯学習推進課「埼玉県社会教育統計資料」
県統計課「埼玉県推計人口」

人口千人あたり社会教育学級・講座の開設数の分布



● 社会教育学級・講座とは

市町村教育委員会が各年度に実施した、一定期間にわたって組織的、継続的に行われた社会教育学級・講座。

※人口千人あたり開設数は、開設数÷各市町村の人口×1,000で算出。

令和6年度 資料:教育局生涯学習推進課「埼玉県社会教育統計資料(令和7年度)」

注)割合の算出に用いた人口は県統計課「埼玉県推計人口」(令和7年4月1日現在)による。なお、「埼玉県推計人口」については利用上の注意を参照すること。

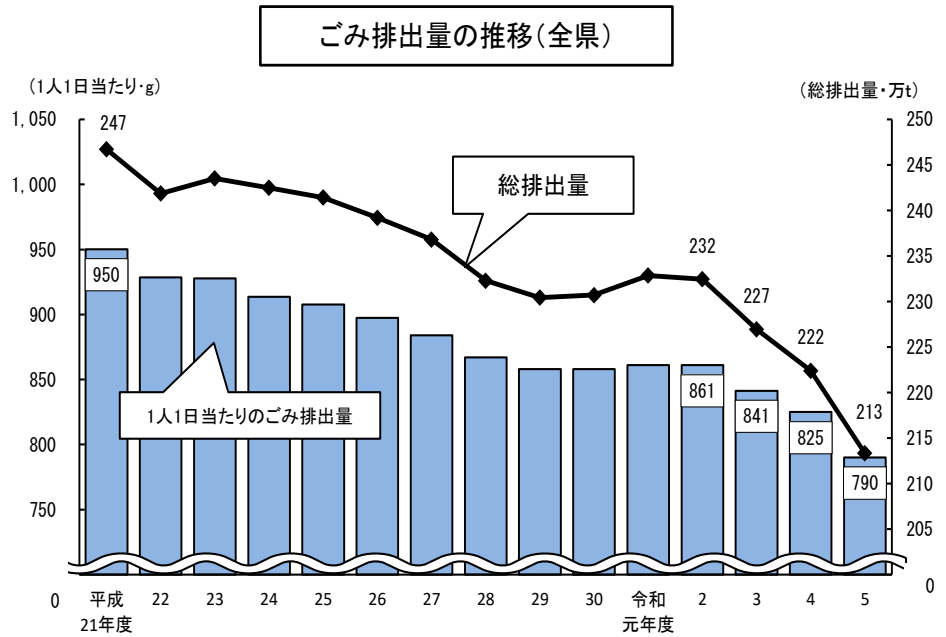
45 1人1日当たりのごみ排出量

順位	市町村	排出量 (g/人日)
	全 県	790
1	熊 谷 市	1,023
2	深 谷 市	1,015
3	本 庄 市	1,012
4	秩 父 市	982
5	美 里 町	959
6	加 須 市	946
7	羽 生 市	933
8	行 田 市	917
9	川 島 町	907
10	八 潮 市	886
11	鳩 山 町	883
12	上 里 町	866
13	春日部 市	865
14	寄 居 町	861
15	三 郷 市	846
16	戸 田 市	844
17	毛呂山 町	844
18	東 山 市	843
19	吉 川 市	843
20	小 鹿 野 町	839
21	杉 戸 町	837
22	神 川 町	834
23	三 芳 町	834
24	日 高 市	820
25	吉 見 町	813
26	長 瀬 町	811
27	越 生 町	802
28	嵐 山 町	800
29	松 伏 町	790
30	さいたま 市	787
31	伊 奈 町	786
32	入 間 市	781
33	幸 手 市	780
34	越 谷 市	779
35	川 越 市	777
36	鴻 巣 市	776
37	飯 能 市	771
38	久 喜 市	770
39	北 本 市	769
40	小 川 町	761
41	皆 野 町	757
42	川 口 市	749
43	草 加 市	749
44	狭 山 市	748
45	ときがわ 町	741
46	宮 代 町	740
47	白 岡 市	738
48	鶴ヶ島 市	731
49	新 座 市	723
50	蕨 市	722
51	蓮 田 市	717
52	上 尾 市	716
53	所 沢 市	707
54	坂 戸 市	707
55	和 光 市	706
56	志 木 市	703
57	ふじみ野 市	702
58	横 瀬 町	699
59	滑 川 町	696
60	朝 霞 市	690
61	富 士 見 市	679
62	東 秩 父 村	673
63	桶 川 市	663

■ 埼玉県のごみ排出量は、前年度より35g減少

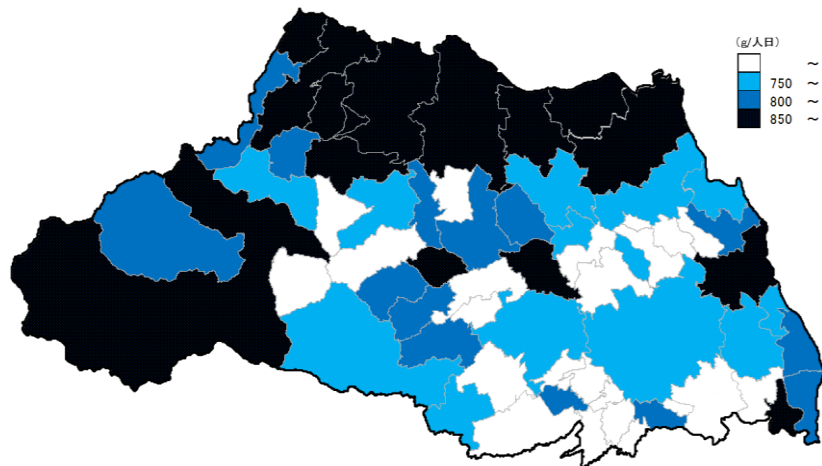
環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」によると、令和5年度のごみ排出量は790gで、前年度より35g減少しました。

ごみ総排出量は213万tで、平成21年度と比べると約33万t(13.5%)減少しています。平成21年度からのごみ総排出量の推移をみると長期的には減少傾向にあり、令和2年度以降は4年連続で減少しました。



資料:環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」

1人1日当たりのごみ排出量の分布



● 1人1日当たりのごみ排出量とは

ごみ総排出量を総人口及び年間日数で割った量。

令和5年度
資料:環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」

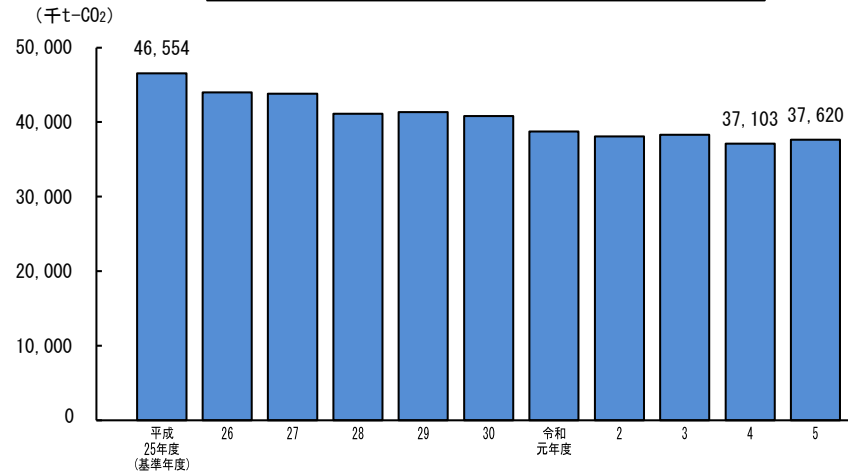
46 温室効果ガス排出量

順位	市町村	排出量 (千t-CO ₂)
	全 県	37,620
1	さいたま市	5,443
2	熊谷市	2,236
3	川口市	2,174
4	川越市	1,725
5	越谷市	1,252
6	所沢市	1,234
7	草加市	1,057
8	上尾市	1,040
9	日高市	915
10	春日部市	891
11	狭山市	875
12	深谷市	829
13	久喜市	766
14	入間市	726
15	横瀬町	708
16	戸田市の市	692
17	加須市の市	659
18	八潮市の市	622
19	新座市の市	613
20	三郷市の市	612
21	東松山市	546
22	本庄市の市	510
23	朝霞市の市	476
24	鴻巣市の市	466
25	行田市の市	452
26	坂戸市の市	426
27	ふじみ野市の市	390
28	飯能市の市	363
29	三芳町の市	349
30	富士見市の市	332
31	羽生市の市	323
32	秩父市の市	311
33	桶川市の市	303
34	吉川市の市	300
35	和光市の市	298
36	蕨市の市	296
37	鶴ヶ島市の市	279
38	蓮田市の市	266
39	北本居町の市	246
40	寄居町の市	238
41	幸手町の市	231
42	志木町の市	219
43	伊奈岡町の市	212
44	白杉戸町の市	190
45	上川島町の市	182
46	川島町の市	176
47	嵐山町の市	146
48	毛呂山町の市	141
49	滑川町の市	129
50	小川町の市	129
51	美里町の市	128
52	松伏町の市	117
53	吉見町の市	104
54	宮代町の市	104
55	神川町の市	90
56	ときがわ町の市	78
57	小鹿野町の市	62
58	鳩山町の市	49
59	皆野町の市	48
60	越生町の市	45
61	長瀬町の市	32
62	長瀬町の市	32
63	東秩父村	16

■ 埼玉県温室効果ガス排出量は、前年度比1.4%増

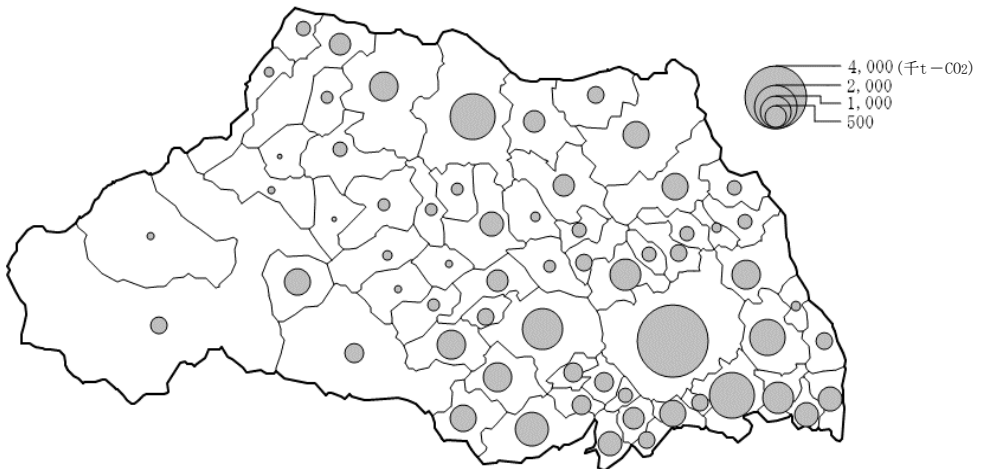
県温暖化対策課、県環境科学国際センター「2025年度埼玉県温室効果ガス排出量算定報告書」によると、令和5年度の県全体の温室効果ガス排出量は37,620千t-CO₂で、前年度比1.4%の増加となりました。

温室効果ガス排出量の推移(全県)



注) 各種統計データの修正、算定方法の見直し等により過年度分の数値について再計算を行っている。
資料: 県温暖化対策課、県環境科学国際センター「埼玉県温室効果ガス排出量算定報告書」

温室効果ガス排出量の分布



● 温室効果ガス排出量とは

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に示された温室効果ガスである二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素の7種類を対象として推計したもの。

令和5年度

資料: 県温暖化対策課、県環境科学国際センター「2025年度埼玉県温室効果ガス排出量算定報告書」

注) 市町村の温室効果ガス排出量は、全県の温室効果ガス排出量とは異なる方法で算出しているため、全市町村の合計と全県とは一致しない。

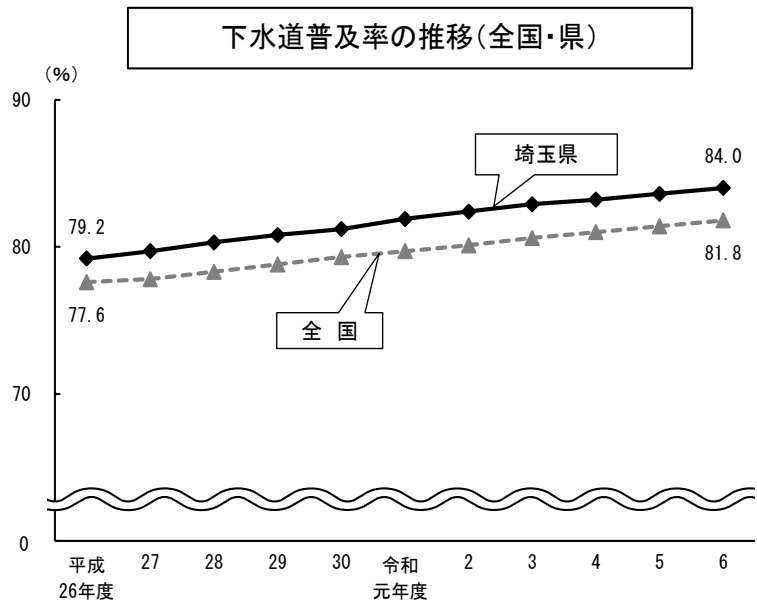
47 下水道普及率

順位	市町村	普及率(%)
	全 県	84.0
1	志 木 市	99.5
2	富 士 見 市	99.0
3	草 加 市	98.2
4	朝 霞 市	98.0
5	新 座 市	97.4
6	和 光 市	97.2
7	狭 山 市	97.1
7	蕨 市	97.1
9	戸 田 市	95.8
10	所 沢 市	95.4
11	さいたま市	95.3
12	三 芳 町	95.2
13	ふじみ野市	94.5
14	春 日 部 市	90.2
15	三 郷 市	89.3
16	川 口 市	89.1
17	鶴ヶ島市	89.0
18	入 間 市	88.7
19	川 越 市	87.6
20	上 尾 市	86.4
21	越 谷 市	84.4
22	吉 川 市	83.8
23	桶 川 市	83.0
24	八 潮 市	82.6
25	鴻 巣 市	79.2
26	伊 奈 町	77.9
27	北 本 町	75.3
28	蓮 田 市	74.7
29	宮 代 町	74.5
30	坂 戸 市	73.6
31	飯 能 市	73.4
32	長 瀨 町	73.1
33	久 喜 市	71.3
34	杉 戸 町	70.9
35	白 岡 市	70.7
36	松 伏 町	69.8
37	毛 呂 山 町	69.4
38	嵐 山 町	69.1
39	鳩 山 町	67.8
40	深 谷 市	66.9
41	皆 野 町	66.4
42	日 高 市	64.7
43	本 庄 市	62.6
44	小 川 町	58.7
45	行 田 市	58.0
46	秩 父 市	57.0
47	滑 川 町	56.4
48	越 生 町	54.3
49	東 松 山 市	53.8
50	川 島 町	53.4
51	加 須 市	52.7
52	熊 谷 市	50.6
53	幸 手 市	46.3
54	横 瀨 町	42.7
55	羽 生 市	36.8
56	吉 見 町	28.9
57	寄 居 町	28.3
58	美 里 町	20.7
59	上 里 町	17.8
60	神 川 町	12.8
61	ときがわ町	*
61	小 鹿 野 町	*
61	東 秩 父 町	*

■ 埼玉県の下水道普及率は、84.0%

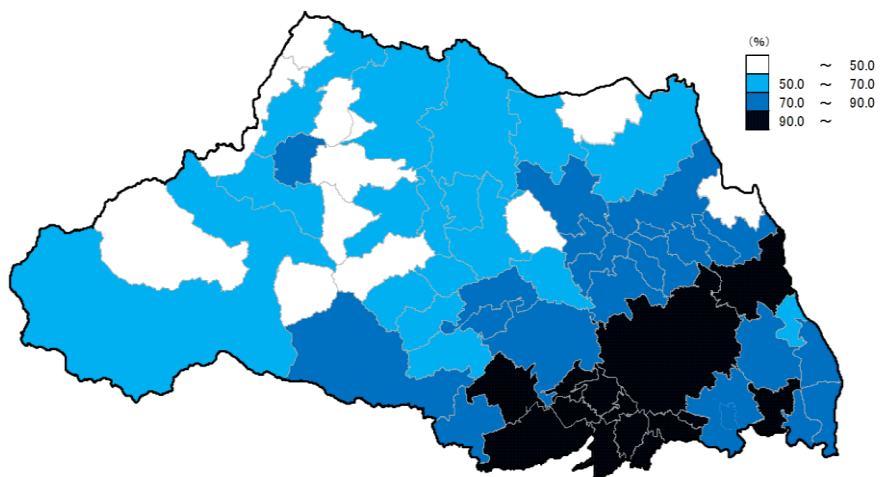
国土交通省「下水道処理人口普及率」によると、令和6年度末現在の下水道普及率は84.0%でした。

下水道普及率は全国平均を上回って推移しており、平成26年度からの10年間で4.8ポイント上昇しました。



注) 令和4年度以前の全国値は、東日本大震災の影響により調査不能な市町村を除いたデータ。
資料: 国土交通省「下水道処理人口普及率」

下水道普及率の分布



● 下水道普及率とは

総人口(住民基本台帳人口)に対する下水道を利用できる人口の割合。

令和6年度末現在
資料: 国土交通省「下水道処理人口普及率」注)「*」は、下水道整備予定の無い市町村を示す。

48 市町村道舗装率

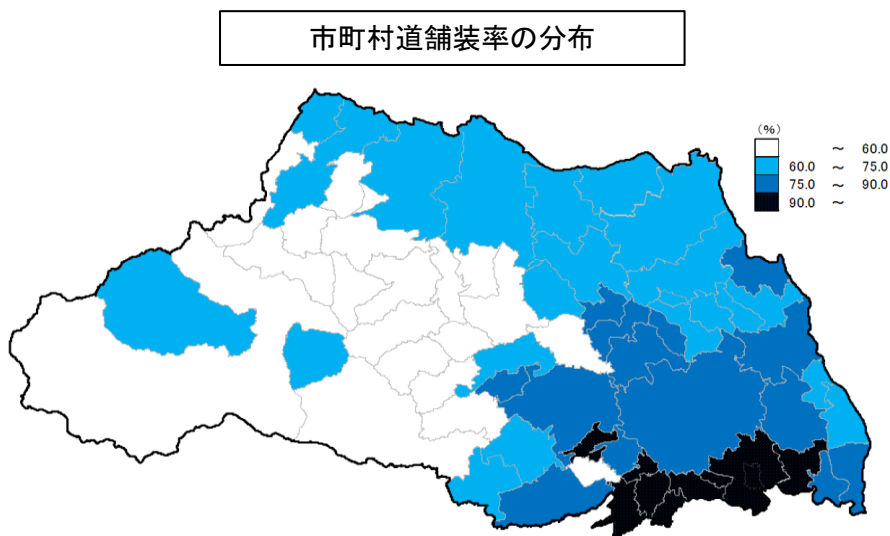
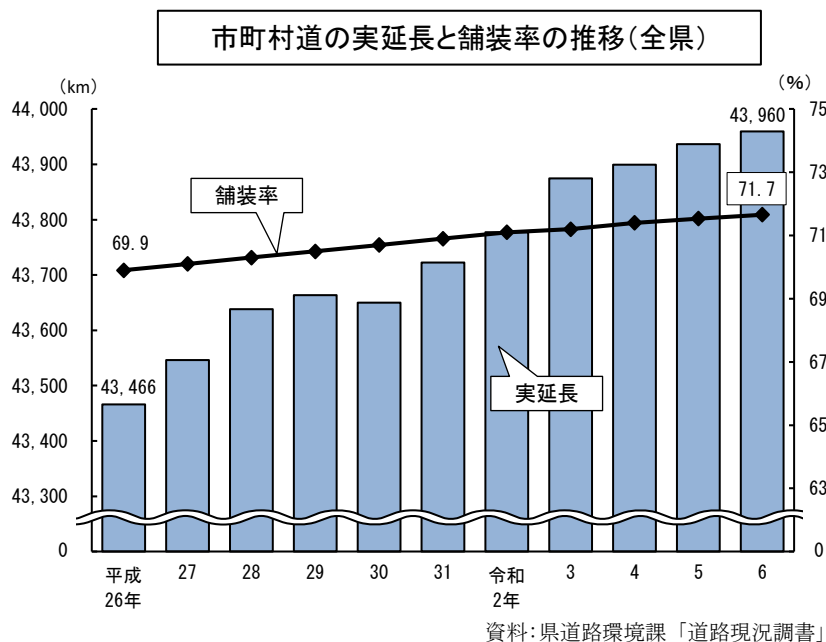
順位	市町村	舗装率(%)
1	全 県	71.7
2	戸 田 市	99.0
3	草 加 市	98.5
4	新 和 光 市	96.1
5	朝 座 市	95.6
6	川 霞 市	95.6
7	藤 口 市	95.5
8	志 木 市	95.2
9	ふじみ野市	91.7
10	三 郷 市	91.2
11	越 谷 市	89.9
12	鶴ヶ島市	89.8
13	上 尾 市	89.8
14	八 潮 市	87.5
15	春 日 部 市	85.2
16	桶 川 市	84.3
17	さいたま市	84.0
18	幸 手 市	82.0
19	伊 奈 沢 市	81.8
20	所 沢 市	80.9
21	富 士 見 市	79.2
22	北 本 市	76.1
23	川 越 市	75.7
24	上 里 町	74.0
25	杉 戸 町	74.0
26	久 喜 市	73.8
27	熊 谷 市	73.7
28	坂 戸 市	73.3
29	入 間 市	73.0
30	深 谷 市	72.7
31	行 田 市	70.8
32	加 須 市	70.2
33	小 鹿 野 町	69.9
34	鴻 巣 市	68.2
35	蓮 田 市	68.0
36	白 岡 市	67.4
37	松 伏 町	66.8
38	吉 川 市	66.5
39	宮 代 町	66.2
40	本 庄 市	65.2
41	本 羽 生 市	64.6
42	狭 山 市	63.4
43	吉 見 町	63.3
44	横 瀬 町	61.4
45	秩 父 市	58.7
46	皆 野 町	58.3
47	川 島 町	57.9
48	東 松 山 市	57.7
49	日 高 市	56.8
50	三 芳 市	54.7
51	寄 居 町	54.5
52	美 里 町	54.3
53	毛 呂 山 町	53.5
54	神 川 町	51.4
55	滑 川 町	49.0
56	嵐 山 町	48.5
57	小 川 町	45.8
58	鳩 山 町	44.3
59	長 瀬 町	41.7
60	飯 能 市	41.4
61	ときがわ町	38.5
62	越 生 町	35.0
63	東 秩 父 村	31.3

令和6年4月1日現在
資料: 県道路環境課「道路現況調査」

■ 埼玉県各市町村道舗装率は、71.7%

県道路環境課「道路現況調査」によると、令和6年4月1日現在の市町村道の実延長は43,959.8kmで、舗装率は71.7%でした。

舗装率は年々上昇しており、平成26年からの10年間で1.8ポイントの上昇となっています。



● 市町村道舗装率とは

市町村道実延長のうち、高級アスファルト舗装、簡易アスファルト舗装及びコンクリート舗装の区間の割合。

※実延長とは、道路法に基づき認定された道路の全延長から、未供用区間及び重用区間(上級路線と重複している区間)を除いた延長。

49 1人当たり都市公園面積

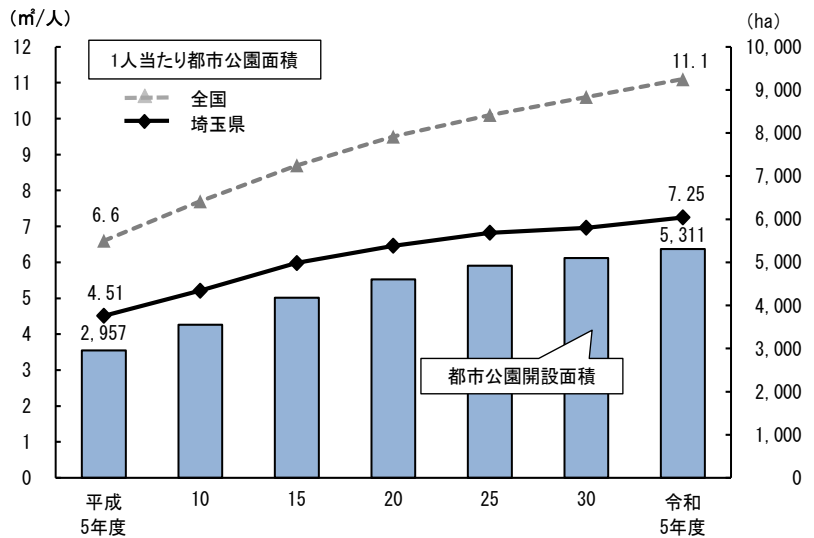
順位	市町村	1人当たり公園面積(m ² /人)	都市公園開設面積(ha)
	全 県	7.25	5,310.92
1	小鹿野町	145.75	116.60
2	滑川町	144.49	288.98
3	吉見町	126.22	227.19
4	神川町	43.61	52.33
5	秩父市	42.05	197.65
6	寄居町	27.25	87.21
7	熊谷市	25.76	492.02
8	東松山市	23.32	212.17
9	上里町	22.35	69.29
10	羽生市	19.90	109.45
11	飯能市	17.86	119.69
12	松伏町	15.81	44.26
13	加須市	15.18	170.04
14	行田市	14.57	113.64
15	幸手市	11.44	56.07
16	北本市	10.73	69.76
17	越本市	10.20	9.18
18	本庄市	10.04	77.28
19	戸田市	9.79	138.95
20	川島町	8.58	16.31
21	吉川市	7.75	56.61
22	日高市	7.57	40.87
23	久喜市	7.41	111.93
24	白岡市	7.27	37.79
25	狭山市	7.13	106.27
26	深谷市	6.96	92.55
27	皆野町	6.72	4.03
28	嵐山町	6.59	11.87
29	鴻巣市	6.11	72.13
30	鳩山町	5.98	8.37
31	鶴ヶ島市	5.91	41.34
32	伊奈町	5.36	24.11
33	宮代町	5.26	17.35
34	毛呂山町	5.20	17.15
35	和光市	5.09	42.79
36	さいたま市	5.00	672.60
37	川越市	4.76	168.19
38	杉戸町	4.51	19.85
39	坂戸市	4.49	44.42
40	志木市	4.34	32.96
41	上尾市	4.26	97.95
42	所沢市	4.15	142.87
43	富士見市	4.10	46.36
44	三郷市	4.08	57.93
45	春日部市	3.91	89.94
46	入間市	3.70	53.69
47	小川町	3.64	10.20
48	蓮田市	3.44	21.01
49	川口市	3.28	198.49
50	桶川市	2.98	22.04
51	越谷市	2.79	95.67
52	三芳町	2.45	9.31
53	八潮市	2.24	20.87
54	ふじみ野市	2.23	25.46
55	朝霞市	2.13	30.95
56	草加市	2.02	50.69
57	蕨市	1.82	13.84
58	新座市	1.77	29.41
59	ときがわ町	1.75	1.93
60	横瀬町	1.64	1.15
61	美里町	-	-
-	長瀨町	-	-
-	東秩父村	-	-

■ 埼玉県1人当たり都市公園面積は、7.25m²

県公園スタジアム課「市町村別都市公園整備現況」によると、令和6年3月31日現在の都市公園開設面積は5,310.92haで、都市計画区域内の人口1人当たりでは7.25m²でした。

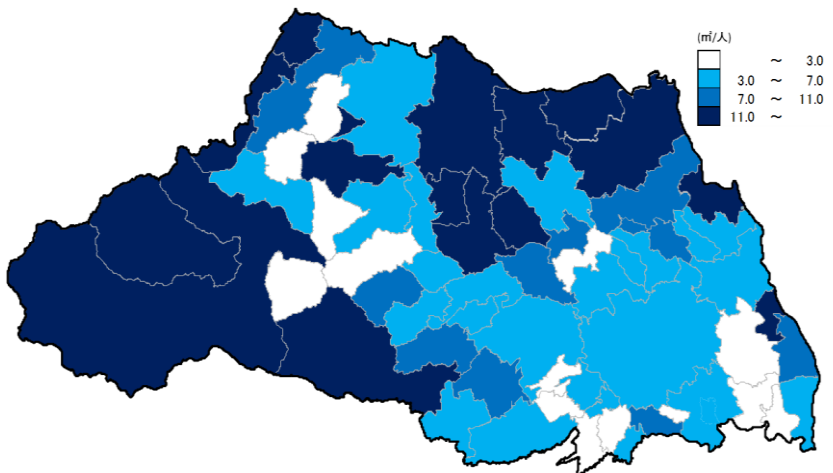
また、平成5年度からの30年間で、都市公園開設面積は約1.8倍に、都市計画区域内の1人当たり都市公園面積は約1.6倍になりました。

1人当たり都市公園面積(全国・県)・都市公園開設面積(県)の推移



資料: 県公園スタジアム課「市町村別都市公園整備現況」

1人当たり都市公園面積の分布



● 都市公園とは

都市計画施設である公園又は緑地で国又は地方公共団体が設置するもの及び地方公共団体が都市計画区域において設置する公園又は緑地。

令和6年3月31日現在

資料: 県公園スタジアム課「市町村別都市公園整備現況」

注1)美里町は都市計画区域内の公園又は緑地の設置なし。注2)長瀨町及び東秩父村は都市計画区域の指定なし。

50 人口千人あたり普通自動車等保有車両数

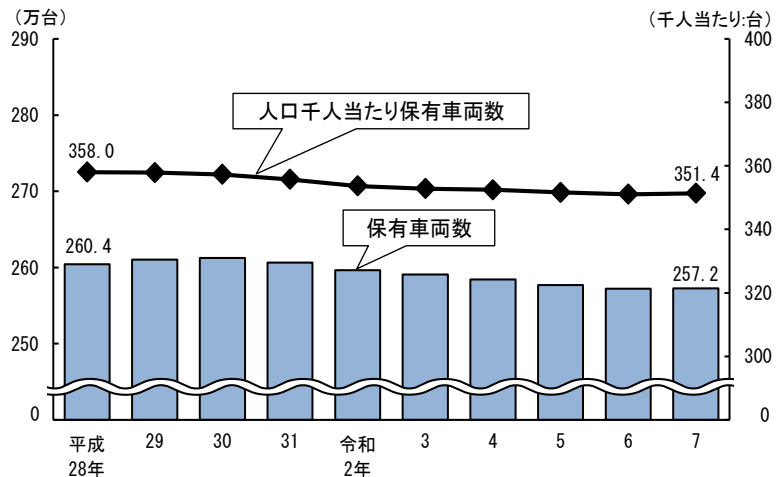
順位	市町村	人口千人あたり保有車両数(台)
	全 県	351.4
1	東 秩 父 村	586.5
2	ときがわ 町	578.1
3	美 里 町	569.2
4	神 川 町	561.6
5	川 島 町	531.6
6	皆 野 町	526.1
7	吉 見 町	493.5
8	長 瀬 町	492.6
9	小 鹿 野 町	491.9
10	本 庄 市	489.5
11	三 芳 町	489.3
12	行 田 市	480.8
13	深 谷 市	480.1
14	寄 居 町	479.7
15	熊 谷 市	476.5
16	加 須 市	457.2
17	上 里 町	456.0
18	羽 生 町	455.2
19	横 瀬 町	455.1
20	秩 父 市	453.4
21	越 生 町	450.9
22	松 伏 町	448.9
23	日 高 市	448.2
24	小 川 町	440.7
25	八 潮 町	430.2
26	滑 川 町	422.1
27	杉 戸 町	419.7
28	鳩 山 町	411.9
29	東 松 山 市	409.4
30	嵐 山 町	405.4
31	幸 手 市	402.6
32	伊 奈 町	402.4
33	久 喜 市	397.8
34	三 郷 市	392.0
35	白 岡 市	377.6
36	吉 川 市	377.4
37	入 間 市	376.8
38	飯 能 市	373.6
39	鴻 巣 市	372.4
40	蓮 田 市	369.3
41	北 本 川 市	364.3
42	桶 狭 山 市	364.3
43	狭 山 市	361.1
44	鶴 ヶ 島 市	358.2
45	坂 戸 市	348.6
46	川 越 市	346.4
47	春 日 部 市	344.2
48	上 尾 市	343.0
49	越 谷 市	338.4
50	毛 呂 山 町	337.1
51	宮 代 町	329.2
52	戸 田 市	322.3
53	さいたま 市	315.0
54	川 口 市	309.0
55	所 沢 市	304.6
56	草 加 市	300.6
57	新 座 市	300.0
58	朝 霞 市	278.3
59	ふ じ み 野 市	273.1
60	志 木 市	270.6
61	富 士 見 市	270.5
62	和 光 市	262.6
63	蕨 市	224.3

■ 埼玉県の人人口千人あたり普通自動車等保有車両数は、減少傾向

関東運輸局によると、令和7年3月末現在の人口千人あたり普通自動車等保有車両数(軽自動車を除く。)は351.4台でした。

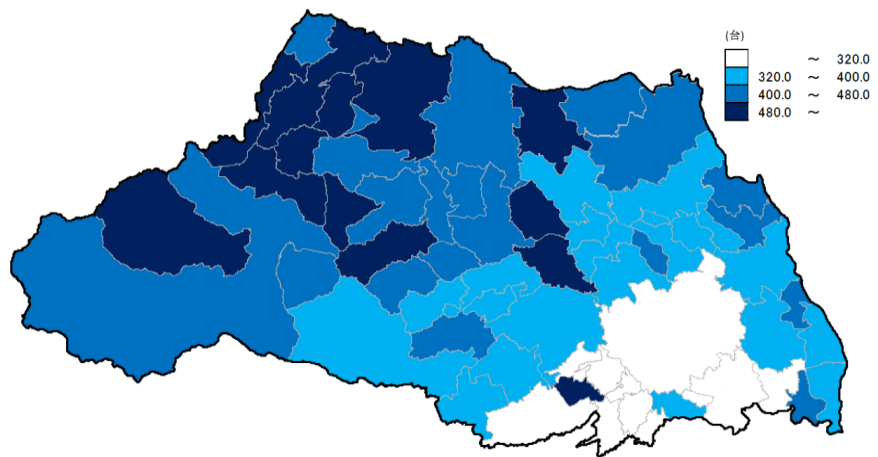
普通自動車等保有車両数は2,572,352台で、平成28年と比較して約3万台減少していますが、令和7年は前年より約400台増加しました。

普通自動車等保有車両数の推移(全県)



資料:関東運輸局「市区町村別自動車保有車両数」
県統計課「埼玉県推計人口」

人口千人あたり普通自動車等保有車両数の分布



● 普通自動車等保有車両数とは

検査対象の普通自動車等(軽自動車を除く。)の車両数で、自家用と事業用の合計。

※人口千人あたり保有車両数は、車両数÷埼玉県推計人口×1,000で算出。

令和7年3月末現在

資料:関東運輸局「市区町村別自動車保有車両数」

注1) 全県は登録地不明等を含む。

注2) 割合の算出に用いた人口は県統計課「埼玉県推計人口」(令和7年4月1日現在)による。なお、「埼玉県推計人口」については利用上の注意を参照すること。

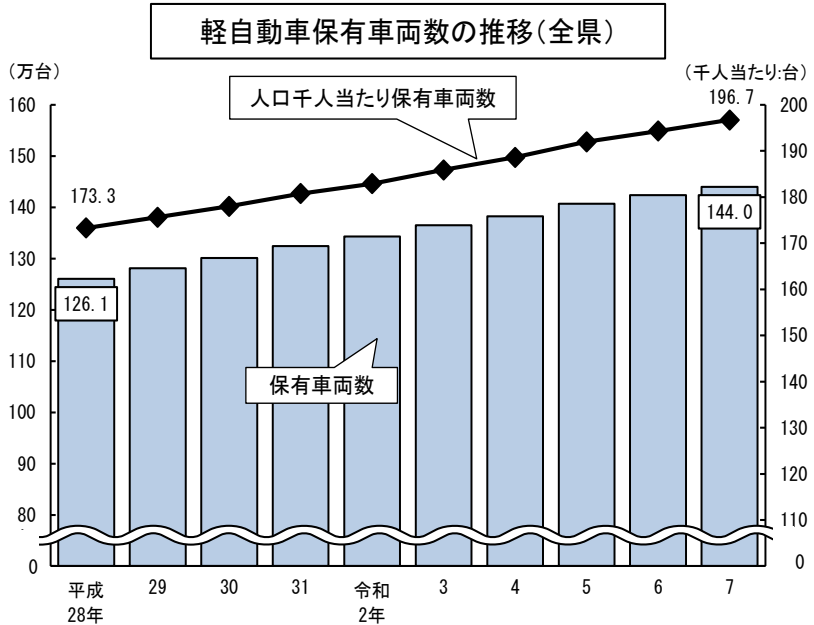
51 人口千人当たり軽自動車保有車両数

順位	市町村	人口千人当たり保有車両数(台)
	全 県	196.7
1	小 鹿 野 町	584.9
2	東 秩 父 村	569.1
3	皆 野 町	534.4
4	ときがわ 町	499.9
5	長 瀬 町	487.0
6	美 里 町	486.1
7	横 瀬 町	482.7
8	秩 父 町	481.1
9	吉 見 市	466.2
10	神 川 町	461.6
11	川 島 町	446.7
12	寄 居 町	428.1
13	上 里 町	403.4
14	越 生 町	400.6
15	本 庄 市	374.8
16	深 谷 市	371.3
17	小 川 市	370.2
18	小 羽 市	363.3
19	行 田 市	358.0
20	加 須 市	357.7
21	嵐 山 町	344.3
22	日 高 市	341.5
23	鳩 山 町	335.1
24	滑 川 町	331.1
25	熊 谷 市	326.4
26	松 伏 町	313.6
27	毛 呂 山 町	310.7
28	杉 戸 町	306.0
29	東 松 山 市	302.4
30	幸 手 市	299.0
31	飯 能 市	298.0
32	坂 戸 市	255.7
33	久 喜 市	253.8
34	鴻 巣 市	251.3
35	伊 奈 町	246.8
36	入 間 市	240.7
37	北 本 市	237.9
38	三 芳 町	237.3
39	宮 代 町	234.1
40	狭 山 市	233.0
41	蓮 田 市	229.9
42	鶴 ヶ 島 市	228.3
43	白 岡 市	227.6
44	桶 川 市	221.8
45	春 日 部 市	210.4
46	吉 川 市	206.9
47	川 越 市	204.6
48	上 尾 市	178.7
49	三 郷 市	170.5
50	八 潮 市	164.0
51	所 沢 市	160.1
52	越 谷 市	156.2
53	ふ じ み 野 市	144.8
54	富 士 見 市	138.6
55	新 座 市	131.0
56	さ い た ま 市	126.6
57	草 加 市	123.8
58	川 口 市	122.1
59	志 木 市	118.6
60	朝 霞 市	106.2
61	戸 田 市	92.6
62	和 光 市	80.8
63	蕨 市	73.6

■ 埼玉県の人人口千人当たり軽自動車保有車両数は、増加傾向

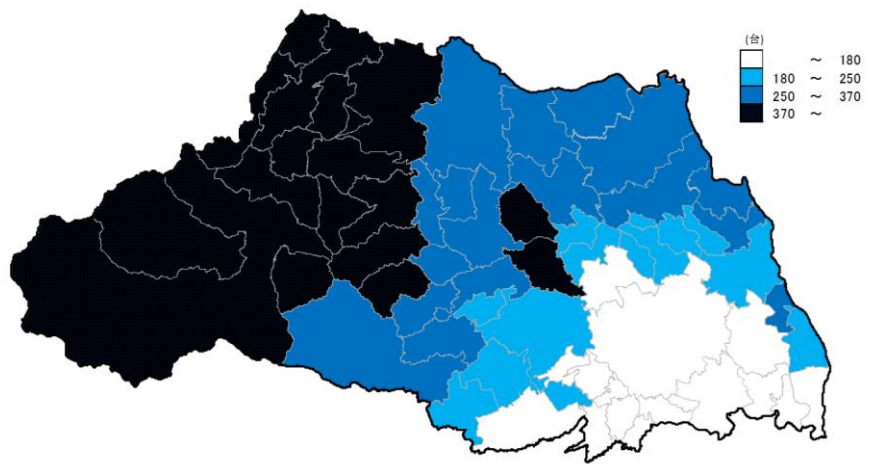
(一社)全国軽自動車協会連合会によると、令和7年3月末現在の人口千人当たり軽自動車保有車両数は196.7台でした。

軽自動車保有車両数は1,440,025台で増加傾向にあり、平成28年と比較して約18万台増加しています。



資料: (一社)全国軽自動車協会連合会「市区町村別軽自動車車両数」
県統計課「埼玉県推計人口」

人口千人当たり軽自動車保有車両数の分布



● 軽自動車保有車両数とは

検査対象の軽自動車の車両数で、自家用と事業用の合計。

※人口千人当たり保有車両数は、車両数÷埼玉県推計人口×1,000で算出。

令和7年3月末現在 資料: (一社)全国軽自動車協会連合会「市区町村別軽自動車車両数」

注1) 全県は登録地不明を含む。

注2) 割合の算出に用いた人口は県統計課「埼玉県推計人口」(令和7年4月1日現在)による。なお、「埼玉県推計人口」については利用上の注意を参照すること。

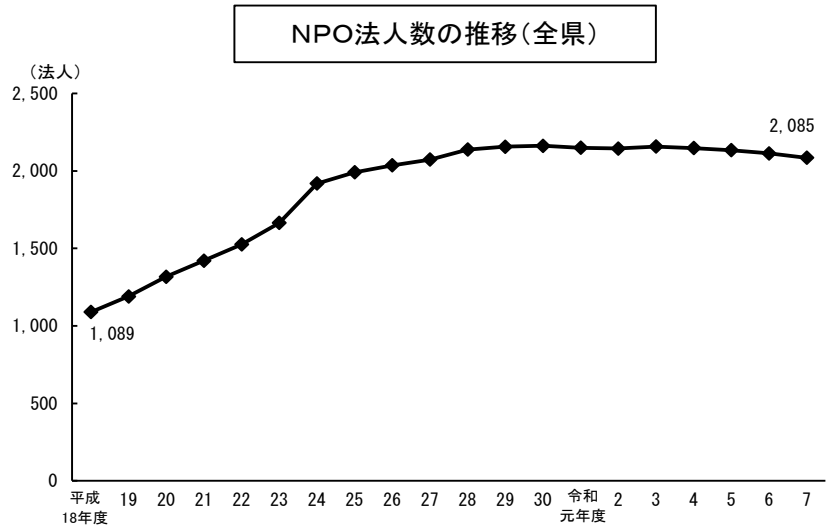
52 NPO法人数

順位	市町村	法人数	
		(法人)	(法人/万人)
	全 県	2,085	2.9
1	さいたま市	401	3.0
2	川口市	151	2.5
3	川越市	91	2.6
4	熊谷市	85	4.5
5	所沢市	75	2.2
6	越谷市	68	2.0
7	上尾市	59	2.6
8	深谷市	53	3.8
9	春日部市	52	2.3
10	草加市	51	2.0
11	本庄市	48	6.3
12	狭山市	47	3.2
13	朝霞市	46	3.2
13	久喜市	46	3.1
15	東松山市	44	4.8
16	鴻巣市	38	3.3
17	入間市	37	2.6
17	新座市	37	2.2
19	行田市	35	4.6
19	飯能市	35	4.5
21	戸田市	34	2.4
22	加須市	33	3.0
23	三郷市	31	2.2
24	秩父市	30	5.5
25	富士見市	26	2.3
26	志木市	25	3.3
27	坂戸市	24	2.4
28	鶴ヶ島市	23	3.3
29	日高市	22	4.2
30	吉川市	21	3.0
31	ふじみ野市	20	1.8
32	八潮市	19	2.0
33	羽生市	18	3.5
34	和光市	17	2.0
34	小川市	17	6.5
36	蕨市	16	2.1
36	白岡市	16	3.1
38	北本市	15	2.3
39	蓮田市	14	2.3
39	幸手市	14	2.9
39	毛呂山町	14	4.2
42	桶川市	13	1.8
43	伊奈町	11	2.5
43	吉見町	11	6.6
45	寄居町	10	3.3
45	宮代町	10	3.0
47	ときがわ町	8	8.3
47	杉戸町	8	1.9
49	三芳町	7	1.9
49	鳩山町	7	5.6
49	神川町	7	5.6
49	上里町	7	2.3
53	松伏町	6	2.2
54	嵐山町	5	2.9
54	川島町	5	2.8
54	美里町	5	4.8
57	滑川町	4	2.0
57	小鹿野町	4	4.2
59	越生町	2	2.0
59	横瀬町	2	2.7
59	皆野町	2	2.4
59	長瀨町	2	3.3
63	東秩父村	1	4.4

■ 埼玉県のNPO法人数は、2,085法人

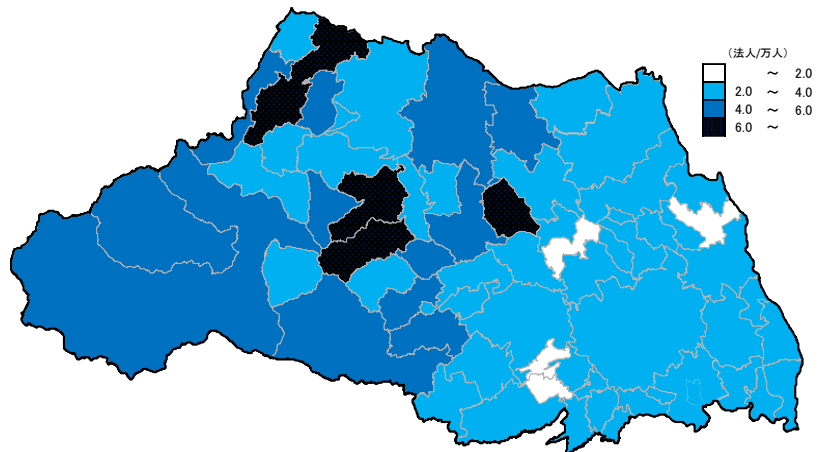
県共助社会づくり課によると、令和8年3月31日現在、NPO法人数は2,085法人でした。

平成18年度からの推移をみると、法人数は年々増加していましたが、近年は横ばいで推移しています。



資料：県共助社会づくり課

人口1万人当たりNPO法人数の分布



● NPO法人数とは

特定非営利活動促進法に基づき認証を受けた特定非営利活動法人(NPO法人)数。平成23年度までは県が認証した法人数を、平成24年度以降は県内所在の法人数を記載。

※NPO：Non-Profit Organization

令和8年3月31日現在

資料：県共助社会づくり課

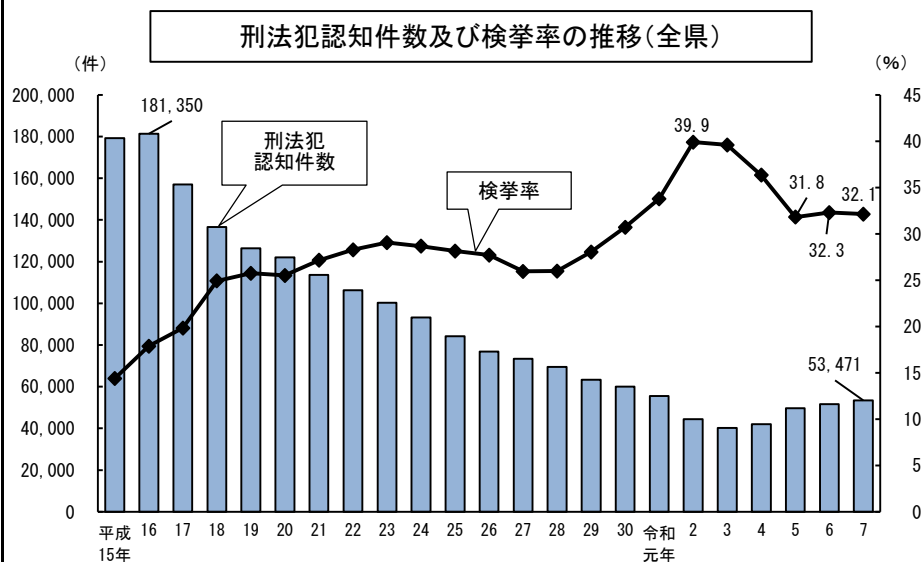
注)割合の算出に用いた人口は県統計課「埼玉県推計人口」(令和8年3月1日現在)による。なお、「埼玉県推計人口」については利用上の注意を参照すること。

53 犯罪率

順位	市町村	犯罪率 (人口千対)	認知件数 (件)
	全 県	7.3	53,471
1	川 島 町	10.9	199
2	羽 生 市	9.8	508
3	越 谷 市	9.6	3,256
4	八 潮 市	9.3	883
5	蕨 市	9.2	686
6	幸 手 市	9.1	441
7	東 松 山 市	9.0	830
8	上 里 町	8.8	264
9	三 郷 市	8.6	1,214
10	宮 代 町	8.4	283
11	富 士 見 町	8.3	945
12	滑 川 町	8.3	167
13	毛 呂 山 町	8.1	274
14	熊 谷 市	8.0	1,519
15	戸 田 市	8.0	1,143
16	伊 奈 町	8.0	358
17	吉 川 市	7.9	564
18	本 庄 市	7.8	601
19	蓮 田 市	7.7	472
20	嵐 山 町	7.7	135
21	川 越 市	7.7	2,722
22	行 田 市	7.7	582
23	草 加 市	7.6	1,906
24	川 口 市	7.4	4,417
25	北 本 市	7.3	472
26	上 尾 市	7.3	1,670
27	ふじみ野市	7.3	831
28	久 喜 市	7.3	1,086
29	杉 戸 町	7.2	309
30	鴻 巣 市	7.1	821
31	春 日 部 市	7.1	1,591
32	小 川 町	7.0	187
33	日 高 市	7.0	373
34	さいたま市	6.9	9,311
35	松 伏 町	6.9	186
36	坂 戸 市	6.9	682
37	朝 霞 市	6.7	969
38	鶴 ヶ 島 市	6.7	470
39	桶 川 市	6.7	494
40	入 間 市	6.7	944
41	飯 能 市	6.5	514
42	加 須 市	6.5	717
43	深 谷 市	6.4	885
44	三 芳 市	6.4	240
45	狭 山 市	6.3	919
46	越 生 町	6.2	64
47	新 座 市	6.0	1,000
48	吉 見 町	5.9	100
49	所 沢 市	5.8	1,981
50	ときがわ町	5.8	57
51	志 木 市	5.8	434
52	鳩 山 町	5.7	73
53	白 岡 市	5.4	283
54	秩 父 市	5.4	299
55	和 光 市	5.3	445
56	美 里 町	4.7	50
57	神 川 町	4.7	59
58	寄 居 町	4.6	141
59	長 瀨 町	4.3	27
60	皆 野 町	3.5	30
61	東 秩 父 村	3.0	7
62	小 鹿 野 町	2.4	23
63	横 瀬 町	2.3	17

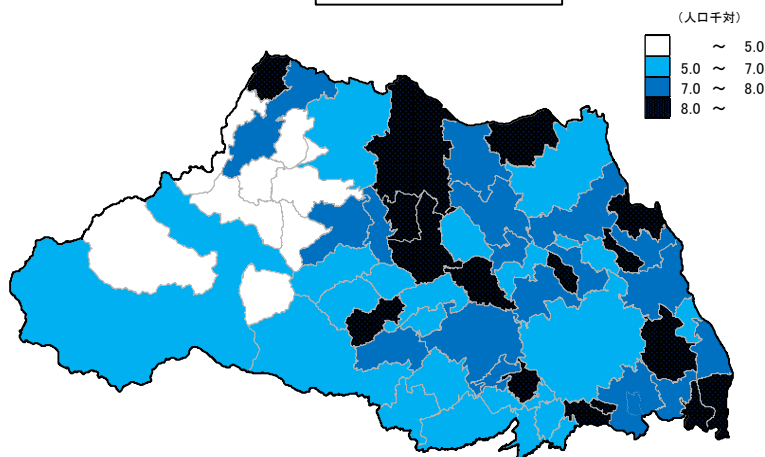
■ 埼玉県の刑法犯認知件数は、4年連続で増加

県警察本部によると、令和7年の刑法犯認知件数は53,471件、犯罪率は7.3でした。刑法犯認知件数は、平成17年以降減少が続いていましたが、令和4年に18年ぶりに増加に転じて以降、令和7年も引き続き増加しています。一方、検挙率は令和2年の39.9%をピークに低下が続いていますが、令和6年に増加、令和7年は再び低下しました。



資料:警察庁、県警察本部

犯罪率の分布



● 犯罪率とは

単位人口当たりの犯罪認知件数を示したもの。

※本項では、「刑法犯認知件数÷各市町村の人口×1,000」で算出。

令和7年

資料:県警察本部

注1) 全県は発生地不明・国外を含む。注2) さいたま市は、各区の認知件数の合計から統計課で算出。

注3) 割合の算出に用いた人口は県統計課「埼玉県推計人口」(令和7年4月1日現在)による。なお、「埼玉県推計人口」については利用上の注意を参照すること。

54 自主防犯活動団体数

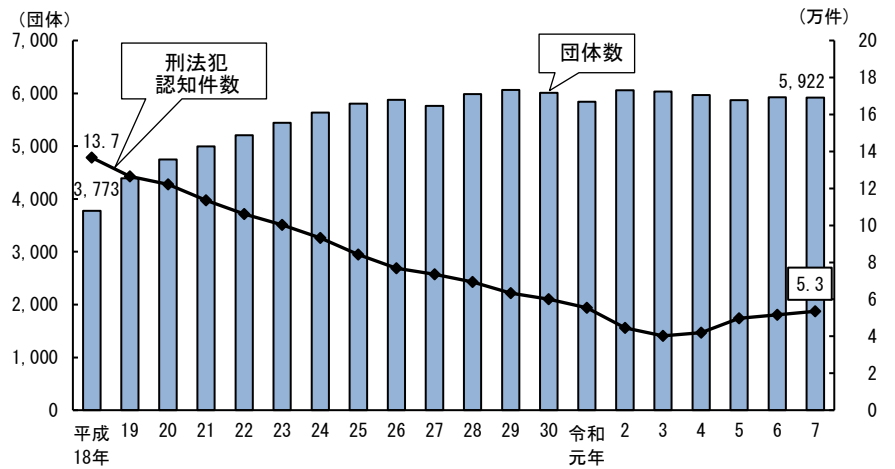
順位	市町村	団体数	
		(団体)	(団体/万人)
	全 県	5,922	8.1
1	さいたま市	893	6.6
2	川越市	337	9.5
3	熊谷市	331	17.6
4	越谷市	238	7.0
5	所沢市	217	6.4
6	川口市	193	3.2
7	久喜市	192	12.9
8	春日部市	190	8.4
9	草加市	162	6.5
10	行田市	154	20.3
11	加須市	143	12.9
12	入間市	137	9.7
13	狭山市	134	9.2
14	上尾市	126	5.5
15	北本市	120	18.7
16	深谷市	117	8.4
17	鴻巣市	111	9.5
18	本庄市	106	13.8
19	三郷市	100	7.1
20	坂戸市	96	9.7
21	東松山市	95	10.2
22	飯能市	92	11.7
23	吉川市	90	12.7
24	川島町	86	47.5
25	新座市	84	5.1
25	ふじみ野市	84	7.4
27	戸田市	71	5.0
27	鶴ヶ島市	71	10.2
29	富士見市	70	6.2
30	朝霞市	64	4.4
30	八潮市	64	6.8
30	蓮田市	64	10.5
33	和光市	63	7.4
34	秩父市	55	10.1
35	白岡市	49	9.4
36	蕨市	47	6.2
37	志木市	43	5.7
37	皆野町	43	50.6
39	桶川市	40	5.4
40	嵐山町	38	21.9
41	吉見町	35	20.8
42	羽生市	33	6.3
43	松伏町	32	11.9
44	小川町	31	11.8
45	上里町	30	10.0
45	寄居町	30	9.8
47	幸手市	29	6.0
47	美里町	29	27.6
49	杉戸町	27	6.4
50	神川町	26	20.6
51	長瀬町	25	40.7
52	伊奈町	24	5.4
53	横瀬町	22	29.9
54	三芳町	19	5.1
54	毛呂山町	19	5.6
54	滑川町	19	9.5
54	宮代町	19	5.7
58	日高市	18	3.4
59	越生町	12	11.8
60	鳩山町	11	8.7
61	小鹿野町	10	10.5
62	ときがわ町	9	9.3
63	東秩父村	2	8.7
※	全 域	1	

■ 埼玉県自主防犯活動団体数は、5,922団体

県警察本部によると、令和7年12月末現在、自主防犯活動団体数は5,922団体でした。

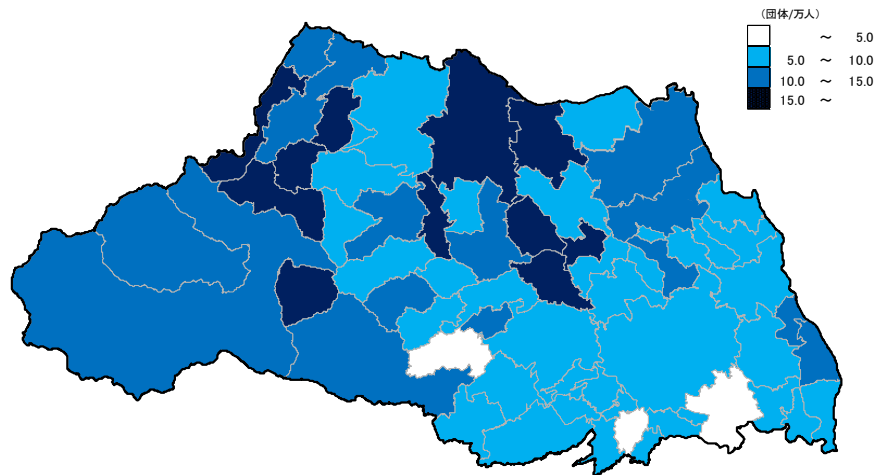
団体数は、平成18年以降20年連続で全国第1位となっています。

自主防犯活動団体数及び刑法犯認知件数の推移(全県)



資料: 県警察本部

人口1万人当たり自主防犯活動団体数の分布



● 自主防犯活動団体とは

地域で自主的に防犯パトロールやこどもの見守り活動などの防犯活動を行う団体(愛称: わがまち防犯隊)。

※団体数は、平均月1回以上活動実績があり、かつ構成員が5人以上の団体で、県警察本部が把握している数値。

令和7年12月末現在

資料: 県警察本部

注1) 全域とは、各市町村に含まれない団体を示す。

注2) 割合の算出に用いた人口は県統計課「埼玉県推計人口」(令和8年1月1日現在)による。なお、「埼玉県推計人口」については利用上の注意を参照すること。

55 交通事故（人身事故）発生率

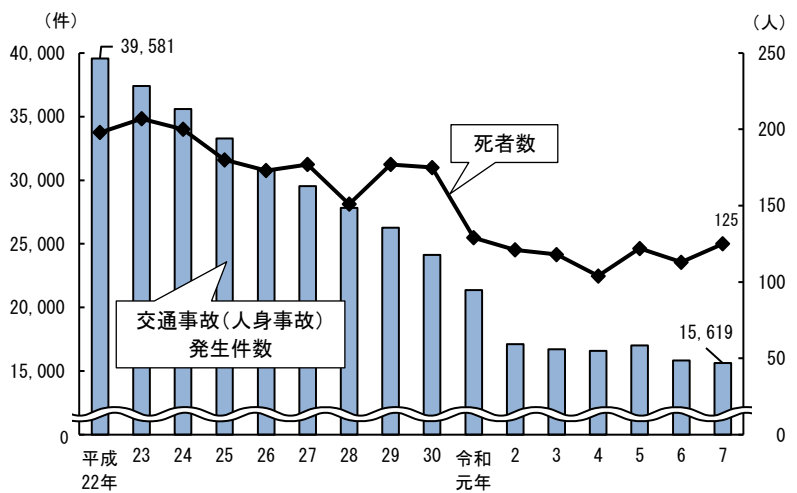
順位	市町村	発生率 (人口千対)	発生件数 (件)
	全 県	2.12	15,619
1	深 谷 市	3.70	521
2	川 島 町	3.70	69
3	美 里 町	3.65	39
4	三 郷 市	3.50	498
5	毛 呂 山 町	2.96	95
6	鶴ヶ島 市	2.89	202
7	川 越 市	2.83	999
8	三 芳 町	2.78	104
9	吉 川 市	2.78	201
10	羽 生 市	2.76	148
11	松 伏 町	2.66	74
12	東 松 山 市	2.56	234
13	長 瀬 町	2.51	16
14	坂 戸 市	2.42	241
15	加 須 市	2.40	269
16	寄 居 町	2.40	76
17	吉 見 町	2.38	42
18	皆 野 町	2.37	21
19	日 高 市	2.36	128
20	越 谷 市	2.35	806
21	熊 谷 市	2.33	445
22	八 潮 市	2.33	218
23	戸 田 市	2.27	322
24	飯 能 市	2.17	169
25	上 尾 市	2.09	481
26	杉 戸 町	2.07	90
27	和 光 市	2.05	174
28	幸 手 市	2.05	100
29	本 庄 市	2.04	157
30	桶 川 市	2.04	151
31	滑 川 町	1.97	39
32	久 喜 市	1.96	296
33	神 川 町	1.96	25
34	北 本 市	1.95	127
35	蓮 田 市	1.91	117
36	嵐 山 町	1.90	33
37	所 沢 市	1.88	645
38	さいたま市	1.87	2,531
39	伊 奈 町	1.86	84
40	行 田 市	1.85	144
41	草 加 市	1.84	464
42	鴻 巣 市	1.81	213
43	ふじみ野市	1.76	202
44	春 日 部 市	1.73	398
45	宮 代 町	1.73	58
46	新 座 市	1.73	288
47	富 士 見 市	1.73	196
48	小 川 町	1.71	47
49	川 口 市	1.68	1,020
50	秩 父 市	1.64	94
51	鳩 山 町	1.64	21
52	白 岡 市	1.64	86
53	上 里 町	1.64	50
54	横 瀬 町	1.58	12
55	狭 山 市	1.54	229
56	朝 霞 市	1.54	225
57	入 間 市	1.53	220
58	蕨 市	1.34	102
59	東 秩 父 村	1.25	3
60	志 木 市	1.23	94
61	ときがわ町	1.17	12
62	小 鹿 野 町	1.09	11
63	越 生 町	0.84	9

■ 埼玉県 of 交通事故（人身事故）発生件数は、2年連続の減少

県警察本部によると、令和7年中に埼玉県内で発生した交通事故（人身事故）は15,619件で、人口千人当たりの発生率は2.12でした。

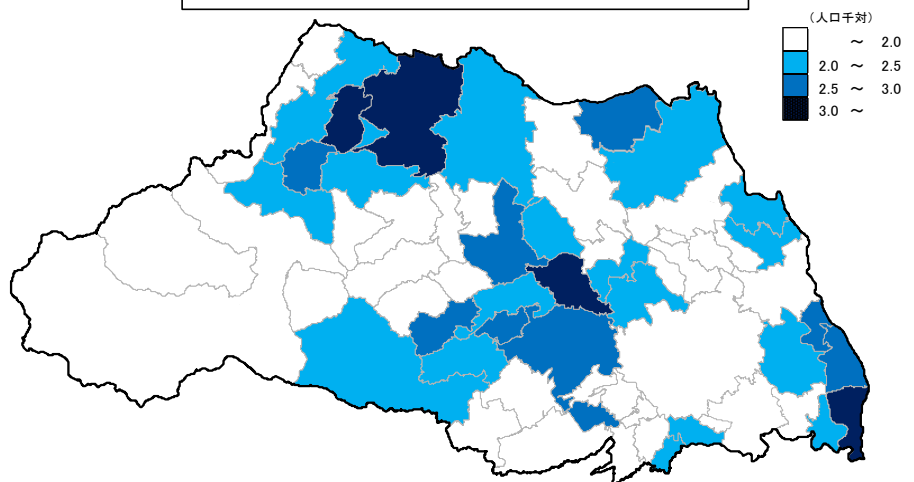
交通事故（人身事故）発生件数は、平成23年以降、12年連続で減少した後、令和5年に増加に転じましたが、令和6年から2年連続で減少しました。

交通事故（人身事故）発生件数及び死者数の推移（全県）



資料：県警察本部「交通事故統計」

交通事故（人身事故）発生率の分布



● 交通事故（人身事故）発生率とは

人口千人当たりの人身交通事故発生件数。

令和7年

資料：県警察本部「交通事故統計」

注1)高速道路上における事故は全県に計上。

注2)割合の算出に用いた人口は県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告」(令和7年1月1日現在)による。

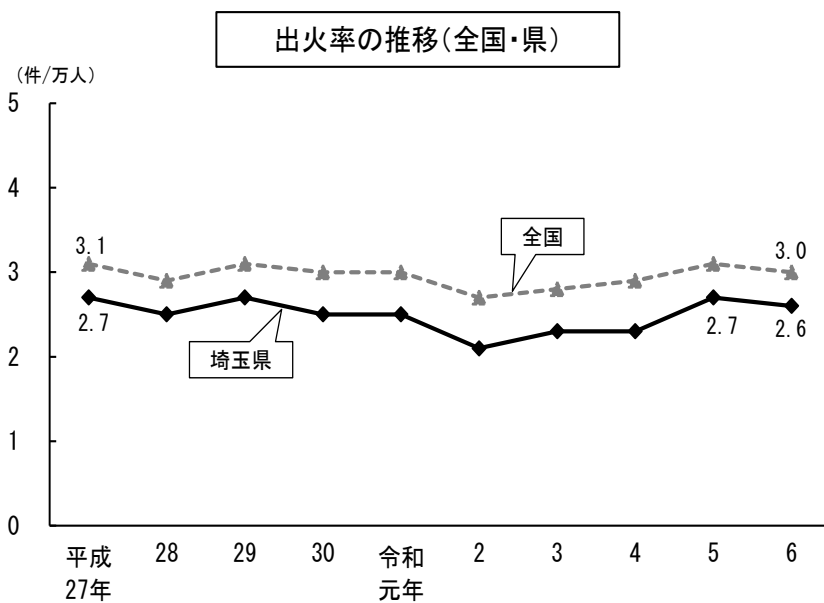
56 出火率

順位	市町村	出火率 (件/万人)	出火件数 (件)
	全 県	2.61	1,928
1	ときがわ町	11.52	12
2	吉見町	10.08	18
3	川島町	7.95	15
4	越生町	7.36	8
5	羽生市	6.68	36
6	鳩山町	5.40	7
7	嵐山町	5.14	9
8	松伏町	4.98	14
9	加須市	4.90	55
10	幸手市	4.69	23
11	毛呂山町	4.63	15
12	美里町	4.62	5
13	鴻巣市	4.51	53
14	日高市	4.41	24
15	行田市	4.34	34
16	寄居町	4.06	13
17	滑川町	4.05	8
18	東秩父村	4.04	1
19	久喜市	3.98	60
20	東松山市	3.95	36
21	神川町	3.88	5
22	小鹿野町	3.88	4
23	横瀬町	3.87	3
24	杉戸町	3.64	16
25	三芳町	3.47	13
26	深谷市	3.39	48
27	蓮田市	3.26	20
28	白岡市	3.23	17
29	北本町	3.21	21
30	八潮市	3.12	29
31	本庄市	3.11	24
32	秩父市	3.09	18
33	長瀨町	3.07	2
34	熊谷市	3.02	58
35	宮代町	3.00	10
36	坂戸市	2.81	28
37	さいたま市	2.63	354
38	上里町	2.62	8
39	吉川市	2.61	19
40	桶川市	2.55	19
41	小川町	2.51	7
42	川越市	2.44	86
43	春日部市	2.34	54
44	飯能市	2.29	18
45	鶴ヶ島市	2.28	16
46	入間市	2.28	33
47	戸田市	2.25	32
48	川口市	2.16	131
49	和光市	2.12	18
50	三郷市	2.04	29
51	草加市	1.95	49
52	狭山市	1.95	29
53	富士見市	1.94	22
54	上尾市	1.91	44
55	所沢市	1.86	64
56	蕨市	1.85	14
57	伊奈町	1.78	8
58	朝霞市	1.59	23
59	越谷市	1.57	54
60	志木市	1.44	11
61	ふじみ野市	0.87	10
62	新座市	0.84	14
63	皆野町	-	-

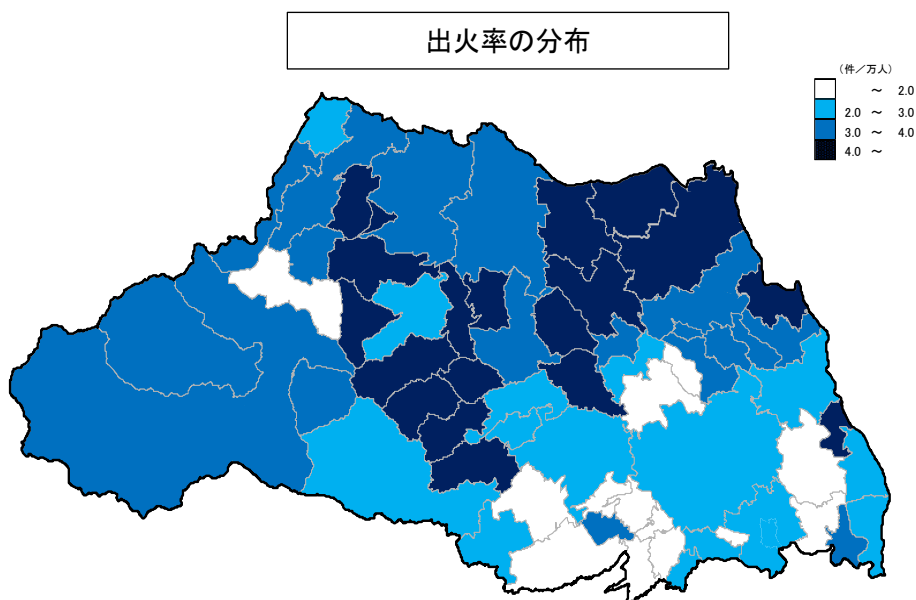
■ 埼玉県の出火率は、0.09ポイント減少

県消防課「消防年報」によると、令和6年中における出火件数は1,928件で、出火率は2.61件/万人でした。

平成27年からの推移をみると、出火率は全国平均よりも低い率で推移しており、令和6年は前年(2.70件/万人)から0.09ポイント減少しました。



資料:総務省消防庁「消防白書」



● 出火率とは

人口(住民基本台帳人口)1万人当たりの出火件数。

57 自主防災組織組織率

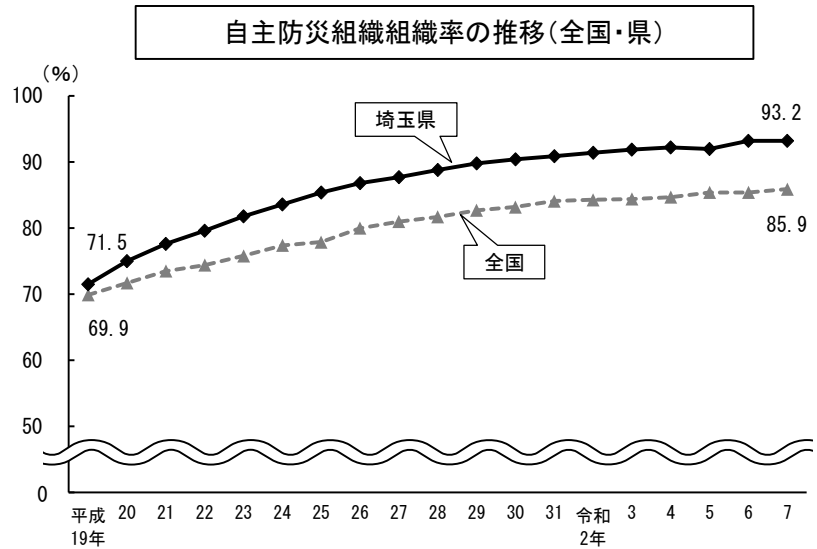
順位	市町村	組織率 (%)	組織数
	全 県	93.2	5,900
1	行 田 市	100.0	181
1	秩 父 市	100.0	80
1	羽 生 市	100.0	74
1	上 尾 市	100.0	116
1	草 加 市	100.0	140
1	蕨 市	100.0	37
1	戸 田 市	100.0	47
1	入 間 市	100.0	118
1	志 木 市	100.0	38
1	和 光 市	100.0	100
1	八 潮 市	100.0	44
1	日 高 市	100.0	75
1	ふじみ野市	100.0	58
1	伊 奈 町	100.0	21
1	越 生 町	100.0	29
1	滑 川 町	100.0	21
1	嵐 山 町	100.0	12
1	川 島 町	100.0	57
1	吉 見 町	100.0	75
1	鳩 山 町	100.0	28
1	ときがわ町	100.0	40
1	横 瀬 町	100.0	23
1	皆 野 町	100.0	27
1	東 秩 父 村	100.0	21
1	美 里 町	100.0	23
1	上 里 町	100.0	23
1	寄 居 町	100.0	67
1	宮 代 町	100.0	56
1	杉 戸 町	100.0	51
30	川 口 市	99.9	227
30	飯 能 市	99.9	129
32	新 座 市	99.6	61
33	桶 川 市	99.5	72
34	東 松 山 市	99.4	115
35	所 沢 市	99.1	214
36	本 庄 市	98.0	81
37	三 郷 市	97.9	130
38	坂 戸 市	97.6	106
39	春 日 部 市	95.7	195
40	長 瀬 町	93.5	22
41	越 谷 市	93.3	307
42	さいたま市	93.1	796
43	加 須 市	92.4	163
44	三 芳 町	91.1	12
45	毛 呂 山 町	90.6	47
46	吉 川 市	89.7	62
47	富 士 見 市	88.6	55
47	小 川 町	88.6	59
49	深 谷 市	86.4	164
50	朝 霞 市	83.4	52
51	川 越 市	82.6	221
52	蓮 田 市	82.4	43
53	久 喜 市	80.8	173
54	熊 谷 市	80.7	267
55	白 岡 市	80.6	27
56	狭 山 市	79.7	95
57	北 本 市	74.6	70
58	松 伏 町	71.9	23
59	鴻 巣 市	71.7	123
60	鶴 ヶ 島 市	67.3	36
61	幸 手 市	64.3	51
62	神 川 町	33.6	11
63	小 鹿 野 町	29.5	9

令和7年4月1日現在
資料: 県危機管理課

■ 埼玉県の自主防災組織組織率は、全国平均を上回り推移

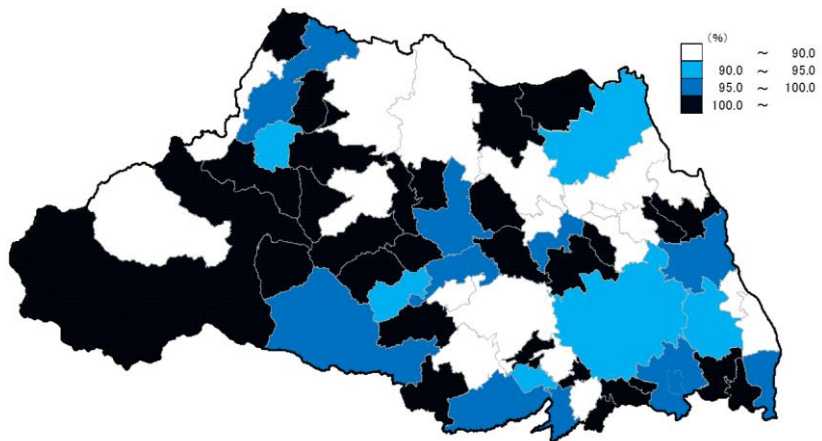
県危機管理課によると、令和7年4月1日現在、自主防災組織数は5,900、組織率は93.2%でした。

組織率の推移をみると、平成19年以降は全国平均を上回って推移しています。



注) 各年4月1日現在
資料: 県危機管理課

自主防災組織組織率の分布



● 自主防災組織とは

地域住民が自発的に、初期消火、救出・救護、避難誘導、給水・給食などの防災活動を行う団体(組織)のこと。

組織率とは、全世帯数のうち、自主防災組織の活動範囲に含まれている地域の世帯数の割合。

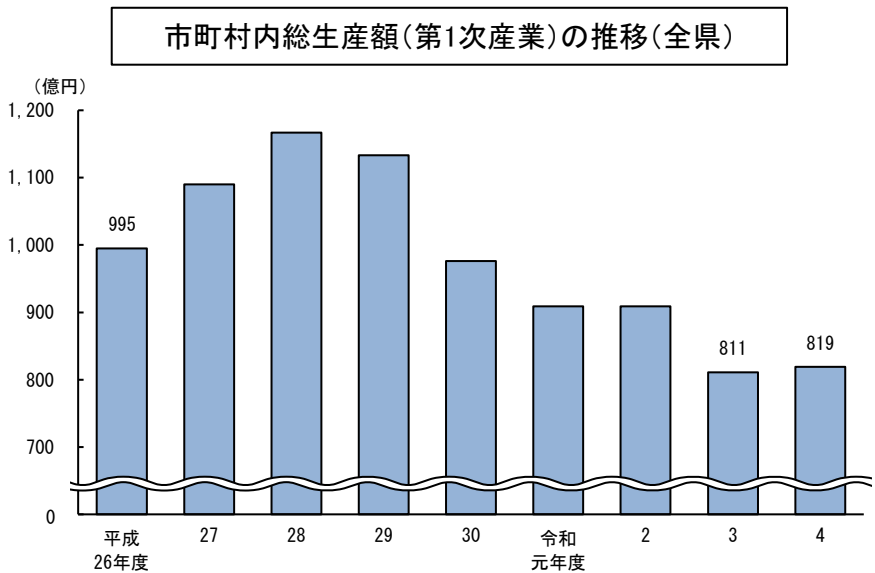
58-1 市町村内総生産（第1次産業）

順位	市町村	金額 (百万円)	増加率(%) (対令和3年度)
	全 県	81,947	1.0
1	深 谷 市	15,551	△0.5
2	本 庄 市	5,998	△1.2
3	さいたま市	5,069	△1.3
4	加 須 市	4,153	6.0
5	熊 谷 市	3,512	1.1
6	川 越 市	3,405	△0.3
7	所 沢 市	2,815	△0.5
8	上 里 町	2,467	3.9
9	鴻 巣 市	2,259	4.8
10	寄 居 町	2,051	△1.2
11	狭 山 市	2,015	△2.3
12	久 喜 市	1,988	4.8
13	羽 生 市	1,761	0.8
14	三 芳 町	1,548	△1.0
15	行 田 市	1,458	8.6
16	春日部市	1,383	3.6
17	秩 父 市	1,201	12.5
18	神 川 町	1,113	1.0
19	幸 手 市	1,100	1.6
20	川 島 町	1,077	6.3
21	日 高 市	1,025	△1.6
22	越 谷 市	1,024	△0.7
23	入 間 市	1,005	8.4
24	東 松 山 市	975	2.1
25	白 岡 市	888	△1.1
26	吉 川 市	869	0.6
27	吉 見 町	825	14.6
28	杉 戸 町	805	2.5
29	川 口 市	769	△4.7
29	鶴ヶ島市	769	△1.7
31	小 鹿 野 町	699	38.7
32	新 座 市	655	△1.1
33	美 里 町	654	1.6
34	ふじみ野市	624	△4.3
35	富 士 見 市	593	0.6
36	上 尾 市	591	△4.8
37	滑 川 町	565	△1.4
38	坂 戸 市	484	7.9
39	桶 川 市	471	△5.4
40	北 本 市	434	3.3
41	三 郷 市	423	△3.9
42	嵐 山 町	415	0.1
43	飯 能 市	353	△37.6
44	蓮 田 市	350	△0.1
45	小 川 町	345	0.1
46	宮 代 町	326	△3.4
47	八 潮 市	315	△3.5
48	鳩 山 町	301	4.6
49	松 伏 町	297	5.5
50	朝 霞 市	274	1.6
51	和 光 市	268	△0.3
52	伊 奈 町	253	△2.1
53	越 生 町	241	13.8
54	毛 呂 山 町	235	20.9
55	志 木 市	232	△0.3
56	横 瀬 町	164	24.5
57	草 加 町	132	△0.2
58	ときがわ町	126	15.0
59	皆 野 町	122	16.3
60	東 秩 父 村	59	△12.2
61	長 瀬 町	57	15.2
62	戸 田 市	6	1.4
63	蕨 市	5	△0.3

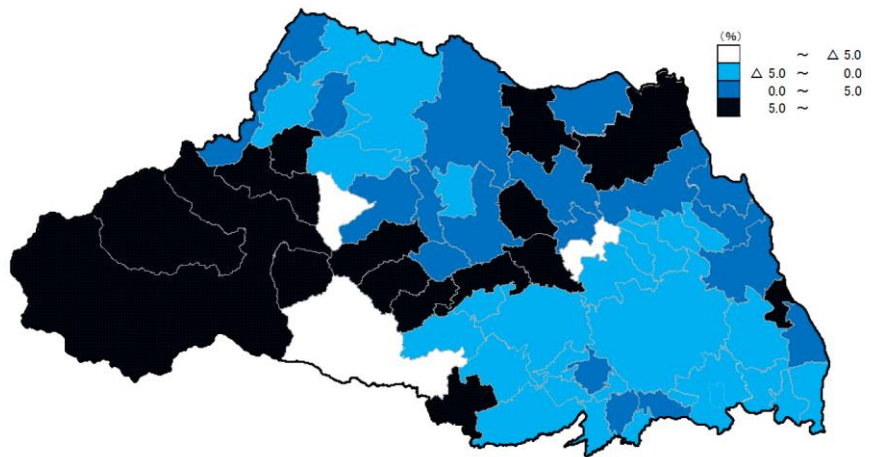
■第1次産業の市町村内総生産は、対前年度比1.0%増

県統計課「埼玉縣市町村民経済計算」によると、令和4年度の第1次産業の市町村内総生産額は、全体の0.3%、819億円で、前年度の811億円と比べ1.0%増加しました。

対前年度増加率をみると、プラスが最も大きかったのは小鹿野町(38.7%)、マイナスが最も大きかったのは飯能市(△37.6%)でした。



市町村内総生産額(第1次産業)の増加率の分布 (令和3年度 → 令和4年度)



●市町村内総生産(第1次産業)とは

1年間に市町村内の第1次産業(農業、林業、水産業)の各事業所で産出された付加価値の合計。

※付加価値とは、経済活動が行われた結果、生産された財貨・サービスの「産出額」(出荷額、売上高など)から「中間投入」(その生産に要した原材料費や光熱費など)を控除した額、つまり新たに作り出された価値をいう。

令和4年度

資料: 県統計課「2022年度(令和4年度)埼玉縣市町村民経済計算」

注) 市町村民経済計算は、最新年度の数値が公表されると過去に遡って数値が改定される(最新値は県HP「彩の国統計情報館」に掲載)。

58-2 市町村内総生産（第2次産業）

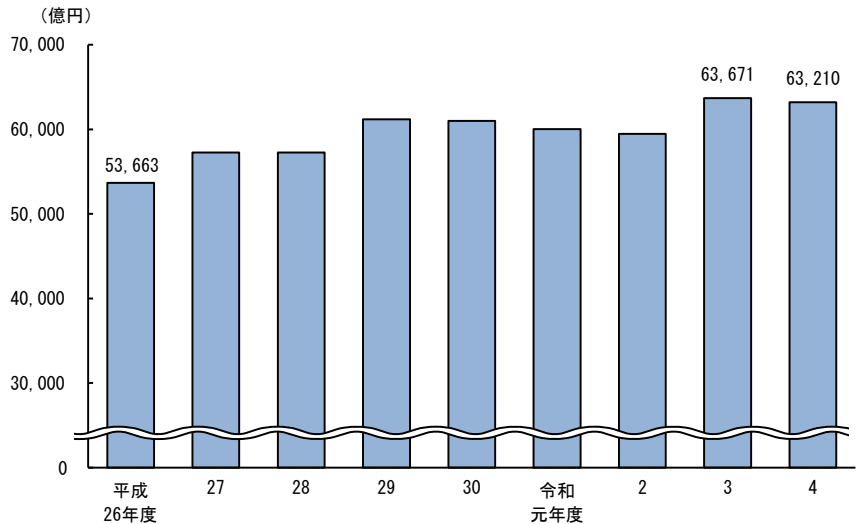
順位	市町村	金額 (百万円)	増加率(%) (対令和3年度)
	全 県	6,320,965	△0.7
1	さいたま市	596,340	△0.5
2	熊谷市	497,113	27.3
3	川越市	366,238	△29.6
4	狭山市	291,304	△0.9
5	川口市	288,530	5.4
6	上尾市	255,414	△1.6
7	草加市	248,928	9.0
8	入間市	195,323	△0.9
9	八潮市	181,599	3.7
10	深谷市	176,418	△8.0
11	久加須市	174,855	△20.7
12	久喜市	171,942	△9.4
13	東松山市	150,598	7.1
14	春日部市	136,420	2.2
15	戸田市	134,214	2.6
16	越谷市	131,816	△5.4
17	本庄市	130,420	2.6
18	所沢市	124,895	9.2
19	三芳町	120,153	△9.8
20	行田市	113,869	3.6
21	羽生市	92,473	△1.5
22	鴻巣市	85,683	△9.8
23	蕨市	83,954	6.3
24	日高市	83,125	△3.3
25	坂戸市	80,872	△13.1
26	寄居町	78,700	14.6
27	新座市	76,487	4.6
28	ふじみ野市	74,878	70.1
29	三郷市	74,405	△2.3
30	飯能市	74,378	△6.1
31	嵐山町	72,602	43.9
32	美里町	62,414	12.3
33	川島町	61,011	15.7
34	蓮田市	56,489	△21.4
35	秩父市	55,677	0.3
36	朝霞市	53,945	△15.4
37	桶川市	50,065	△0.6
38	上里町	50,044	5.3
39	幸手市	45,758	0.1
40	吉川市	45,669	△1.7
41	伊奈町	45,337	△5.9
42	滑川町	41,744	△5.1
43	鶴ヶ島市	41,162	0.5
44	北本市	37,760	△10.5
45	白岡市	32,659	0.1
46	小川町	29,281	15.4
47	小見町	25,793	△3.7
48	神川町	25,288	22.3
49	杉戸町	23,962	2.7
50	ときがわ町	23,474	17.1
51	和光市	20,518	△21.6
52	富士見市	19,436	3.4
53	横瀬町	18,370	51.8
54	志木市	18,143	8.8
55	毛呂山町	16,904	4.7
56	松伏町	16,809	0.9
57	小鹿野町	12,679	△3.7
58	小宮代町	5,786	△16.3
59	皆野町	5,276	0.7
60	越生町	5,053	4.2
61	長瀬町	4,973	△3.5
62	鳩山町	3,229	23.4
63	東秩父村	2,312	15.8

■第2次産業の市町村内総生産は、対前年度比0.7%減

県統計課「埼玉縣市町村民経済計算」によると、令和4年度の第2次産業の市町村内総生産額は、全体の25.6%、6兆3,210億円で、前年度の6兆3,671億円と比べて0.7%減少しました。

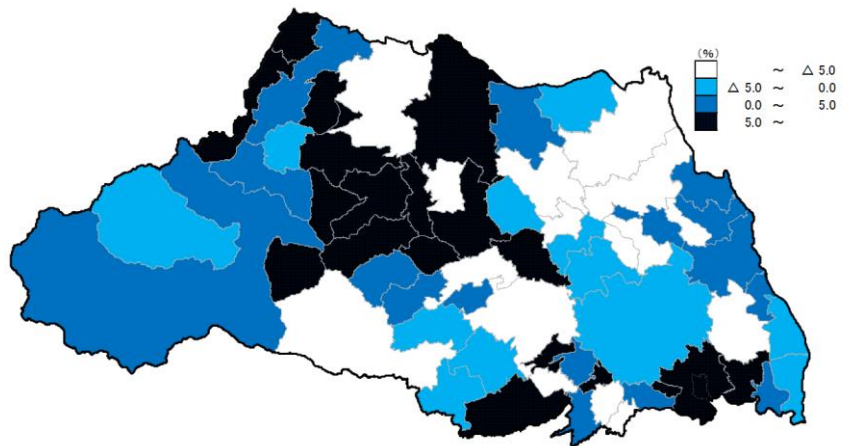
対前年度増加率をみると、プラスが最も大きかったのはふじみ野市（70.1%）、マイナスが最も大きかったのは川越市（△29.6%）でした。

市町村内総生産額(第2次産業)の推移(全県)



資料: 県統計課「埼玉縣市町村民経済計算」

市町村内総生産額(第2次産業)の増加率の分布
(令和3年度 → 令和4年度)



●市町村内総生産(第2次産業)とは

1年間に市町村内の第2次産業(鉱業、製造業、建設業)の各事業所で産出された付加価値の合計。

令和4年度

資料: 県統計課「2022年度(令和4年度)埼玉縣市町村民経済計算」

注) 市町村民経済計算は、最新年度の数値が公表されると過去に遡って数値が改定される(最新値は県HP「彩の国統計情報館」に掲載)。

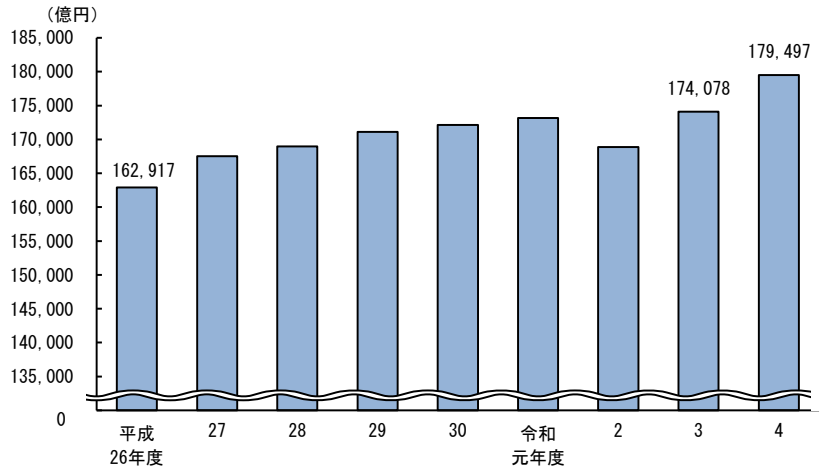
58-3 市町村内総生産（第3次産業）

順位	市町村	金額 (百万円)	増加率(%) (対令和3年度)
	全 県	17,949,685	3.1
1	さいたま市	4,364,873	2.7
2	川口市	1,196,615	2.7
3	川越市	966,450	2.5
4	所沢市	806,938	4.2
5	越谷市	742,673	3.3
6	熊谷市	608,384	3.2
7	上尾市	508,434	3.1
8	春日部市	477,638	2.6
9	草加市	466,294	2.9
10	戸田市	409,520	3.6
11	久喜市	387,513	4.0
12	狭山市	374,728	3.4
13	三郷市	361,293	3.5
14	新座市	340,141	3.9
15	和光市	322,161	4.1
16	朝霞市	318,021	3.2
17	深谷市	305,276	3.4
18	入間市	276,137	3.3
19	加須市	249,663	4.0
20	東松山市	241,340	2.8
21	八潮市	222,224	4.4
22	本庄市	211,932	3.9
23	坂戸市	208,589	2.5
24	ふじみ野市	200,619	3.7
25	富士見市	196,077	2.6
26	鴻巣市	193,868	3.1
27	行田市	174,122	1.1
28	飯能市	174,011	3.9
29	桶川市	163,748	3.4
30	三芳町	154,232	4.5
31	蕨市	152,547	2.1
32	秩父市	148,104	2.3
33	吉川市	137,138	3.3
34	鶴ヶ島市	136,712	3.3
35	志木市	127,805	△0.2
36	日高市	125,452	3.7
37	羽生市	125,269	5.1
38	北本市	120,422	3.0
39	杉戸町	111,730	3.8
40	蓮田町	110,479	3.2
41	幸手町	105,906	4.0
42	白岡町	104,783	3.5
43	伊奈町	89,924	3.7
44	寄居町	79,513	3.3
45	毛呂山町	73,810	2.7
46	川島町	65,176	2.7
47	上里町	53,698	3.7
48	小川町	50,769	2.7
49	宮代町	50,270	3.4
50	松伏町	47,180	3.5
51	嵐山町	46,619	7.4
52	滑川町	43,920	5.3
53	吉見町	36,313	1.9
54	美里町	24,183	2.7
55	鳩山町	24,139	2.4
56	神川町	22,882	1.3
57	皆野町	21,301	4.3
58	小鹿野町	20,770	2.7
59	ときがわ町	19,559	3.5
60	越生町	17,601	3.0
61	長瀬町	14,258	3.7
62	横瀬町	13,558	3.1
63	東秩父村	4,384	2.5

■第3次産業の市町村内総生産は、対前年度比3.1%増

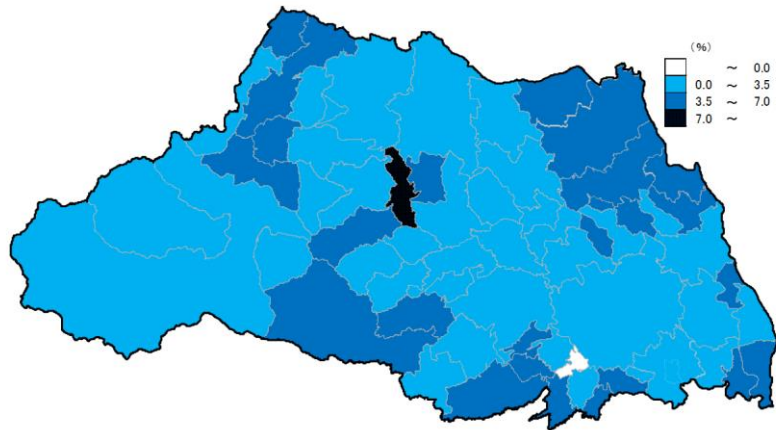
県統計課「埼玉縣市町村民経済計算」によると、令和4年度の第3次産業の市町村内総生産額は、全体の72.8%、17兆9,497億円で、前年度の17兆4,078億円と比べて3.1%増加しました。対前年度増加率をみると、県内62市町村で増加しており、増加率が最も高かったのは嵐山町(7.4%)でした。

市町村内総生産額(第3次産業)の推移(全県)



資料: 県統計課「埼玉縣市町村民経済計算」

市町村内総生産額(第3次産業)の増加率の分布
(令和3年度 → 令和4年度)



●市町村内総生産(第3次産業)とは

1年間に市町村内の第3次産業(電気・ガス・水道・廃棄物処理業、卸売・小売業、運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、金融・保険業、不動産業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、保健衛生・社会事業、その他のサービス)の各事業所で産出された付加価値の合計。

令和4年度

資料: 県統計課「2022年度(令和4年度)埼玉縣市町村民経済計算」

注) 市町村民経済計算は、最新年度の数値が公表されると過去に遡って数値が改定される(最新値は県HP「彩の国統計情報館」に掲載)。

59 1人当たり市町村民所得

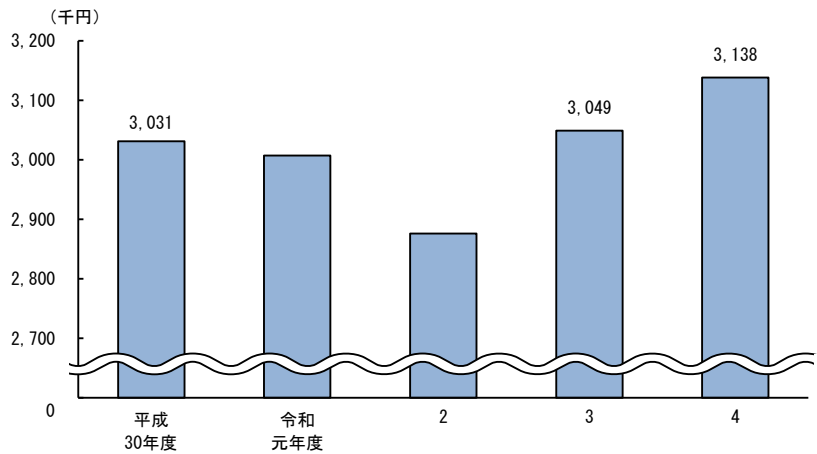
順位	市町村	金額 (千円)	増加率(%) (対令和3年度)
	全 県	3,138	2.9
1	和 光 市	4,034	3.8
2	さいたま市	3,785	3.7
3	戸 田 市	3,701	3.1
4	三 芳 町	3,616	4.0
5	朝 霞 市	3,532	2.5
6	八 潮 市	3,386	3.6
7	蕨 市	3,287	1.8
8	川 島 市	3,191	6.6
9	熊 谷 市	3,188	5.7
10	志 木 市	3,188	1.7
11	川 口 市	3,183	2.3
12	所 沢 市	3,119	2.3
13	美 里 町	3,083	6.1
14	川 越 市	3,062	0.7
15	草 加 市	3,059	3.7
16	三 郷 市	3,057	△1.1
17	嵐 山 町	3,051	11.0
18	本 庄 市	3,032	6.3
19	越 谷 市	3,025	2.2
20	新 座 市	2,999	4.1
21	ふじみ野市	2,971	2.2
22	上 尾 市	2,968	3.4
23	久 喜 市	2,959	3.3
24	狭 山 市	2,953	2.2
25	富 土 見 市	2,918	1.6
26	吉 川 市	2,906	2.6
27	滑 川 町	2,903	2.3
28	白 岡 市	2,880	2.2
29	東 松 山 市	2,871	2.9
30	伊 奈 市	2,846	3.8
31	蓮 田 市	2,838	1.9
32	羽 生 市	2,835	4.9
33	入 間 市	2,831	2.6
34	桶 川 市	2,822	1.8
35	日 高 市	2,804	3.6
36	寄 居 町	2,791	4.1
37	鶴ヶ島市	2,778	0.5
38	深 谷 市	2,754	1.7
39	加 須 市	2,751	2.9
40	飯 能 市	2,740	2.3
41	行 田 市	2,718	3.4
42	北 本 市	2,707	1.7
43	坂 戸 市	2,695	1.7
44	吉 見 町	2,683	1.7
45	鴻 巣 市	2,675	2.5
46	杉 戸 町	2,637	0.9
47	春日部市	2,633	2.6
48	上 里 町	2,613	3.8
49	横 瀬 町	2,541	7.7
50	ときがわ町	2,539	4.1
51	秩 父 市	2,524	2.4
52	幸 手 市	2,515	2.6
53	松 伏 町	2,476	1.1
54	神 川 町	2,447	5.4
55	小 川 町	2,414	2.3
56	鳩 山 町	2,379	2.9
57	越 生 町	2,367	3.2
58	小 鹿 野 町	2,359	6.9
59	長 瀨 町	2,342	1.6
60	宮 代 町	2,338	2.5
61	皆 野 町	2,323	4.0
62	毛 呂 山 町	2,229	3.3
63	東 秩 父 村	1,918	△1.2

■1人当たり市町村民所得は、対前年度比2.9%増

県統計課「埼玉縣市町村民経済計算」によると、令和4年度の1人当たり市町村民所得(県全体)は3,138千円で、令和3年度の3,049千円から89千円増(2.9%)となりました。

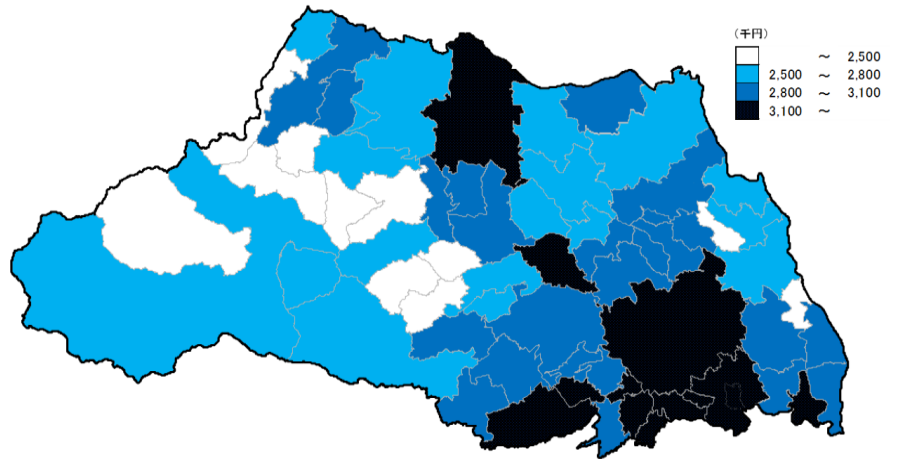
令和4年度の対前年度増加率は、県内63市町村のうち、61市町でプラスとなりました。

1人当たり市町村民所得の推移(全県)



資料: 県統計課「埼玉縣市町村民経済計算」

1人当たり市町村民所得の分布



●1人当たり市町村民所得とは

市町村民所得を国勢調査人口又は推計人口(10月1日現在)で割ったものの。

※市町村民所得には企業の所得が含まれ、市町村人口に乳児などの生産に従事しない者が含まれる。個人の所得水準を表すものではない。

令和4年度 資料: 県統計課「2022年度(令和4年度)埼玉縣市町村民経済計算」

注) 市町村民経済計算は、最新年度の数値が公表されると過去に遡って数値が改定される(最新値は県HP「彩の国統計情報館」に掲載)。

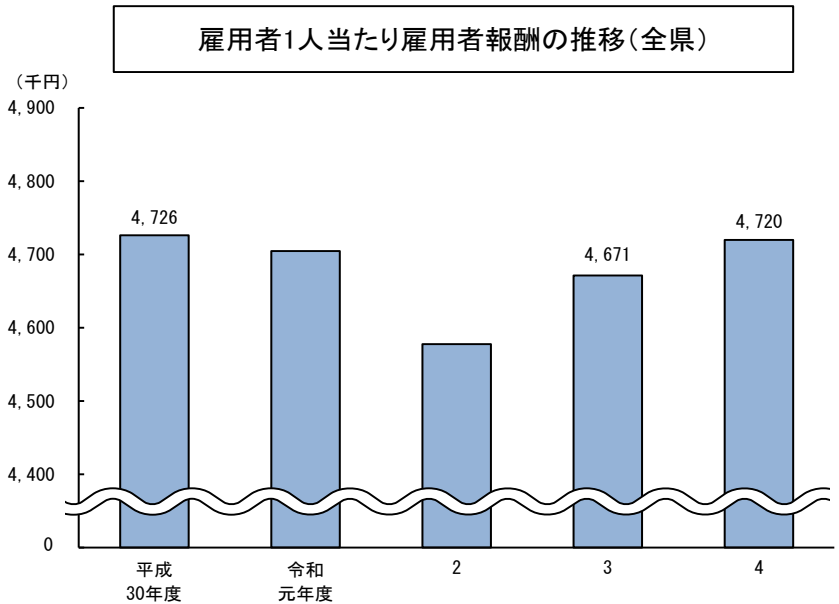
60 雇用者1人当たり雇用者報酬

順位	市町村	金額 (千円)	増加率(%) (対令和3年度)
	全 県	4,720	1.0
1	さいたま市	5,877	2.5
2	和 光市	5,634	1.7
3	朝 霞市	5,479	1.0
4	戸 田市	5,350	2.1
5	志 木市	5,265	△0.8
6	所 沢市	5,154	0.7
7	草 加市	4,992	2.4
8	蕨 市	4,963	△0.5
9	新 座市	4,921	1.5
10	川 口市	4,916	0.5
11	富 士見市	4,890	0.7
12	ふじみ野市	4,834	△0.7
13	川 越市	4,804	0.0
14	八 潮市	4,782	3.0
15	越 谷市	4,689	1.6
16	三 郷市	4,582	△2.8
17	三 芳町	4,530	2.2
18	鶴ヶ島市	4,457	△1.3
19	吉 川市	4,415	2.0
20	蓮 田市	4,386	0.5
21	上 尾市	4,331	1.0
22	坂 戸市	4,281	0.2
23	伊 奈町	4,229	2.4
24	白 岡市	4,217	0.7
25	入 間市	4,177	0.5
26	久 喜市	4,135	1.1
27	熊 谷市	4,112	1.2
28	狭 山市	4,104	△0.4
29	北 本市	4,060	△0.4
30	春日部市	4,045	0.0
31	川 口市	4,010	△1.2
32	飯 能市	4,004	0.5
33	鴻 巣市	3,991	0.7
34	本 庄市	3,981	5.1
35	東 松山市	3,974	0.3
36	滑 川市	3,903	0.5
37	日 高市	3,893	1.5
38	深 谷市	3,803	△0.5
39	鳩 山町	3,797	△0.2
40	杉 戸町	3,783	△1.9
41	宮 代町	3,769	0.9
42	行 田市	3,618	△1.0
43	松 伏町	3,614	△0.2
44	加 須市	3,591	1.3
45	羽 生市	3,582	1.4
46	毛 呂山町	3,568	0.3
47	幸 手市	3,555	△0.7
48	越 生町	3,474	△0.4
49	川 島町	3,421	1.5
50	秩 父市	3,388	△3.0
51	嵐 山町	3,345	1.6
52	上 里町	3,336	1.3
53	美 里町	3,277	△0.7
54	横 瀬町	3,273	△0.9
55	小 川町	3,243	△3.0
56	長 瀨町	3,227	△2.9
57	吉 見町	3,219	△2.3
58	寄 居町	3,211	0.0
59	皆 野町	3,144	△0.8
60	神 川町	3,110	1.9
61	ときがわ町	3,096	△2.5
62	小 鹿野町	3,011	1.8
63	東 秩父村	2,514	△9.9

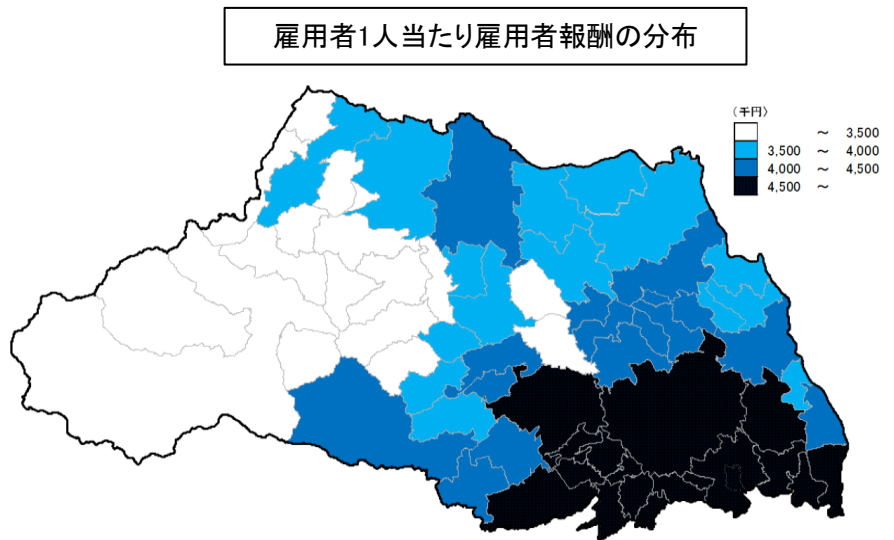
■ 埼玉県 雇用者1人当たり雇用者報酬は、対前年度比1.0%増

県統計課「埼玉縣市町村民経済計算」によると、令和4年度の雇用者1人当たり雇用者報酬(県全体)は4,720千円で、令和3年度の4,671千円から49千円増(1.0%)となりました。

令和4年度の対前年度増加率は、県内63市町村のうち、39市町でプラスとなりました。



資料: 県統計課「埼玉縣市町村民経済計算」



● 雇用者1人当たり雇用者報酬とは

雇用者報酬合計を雇用者数で割った額。雇用者報酬には、社会保険料の雇主負担が含まれる。

※雇用者とは、就業者のうち、個人業主と無給の家族従業者を除いた者。

令和4年度 資料: 県統計課「2022年度(令和4年度)埼玉縣市町村民経済計算」

注) 市町村民経済計算は、最新年度の数値が公表されると過去に遡って数値が改定される(最新値は県HP「彩の国統計情報館」に掲載)。

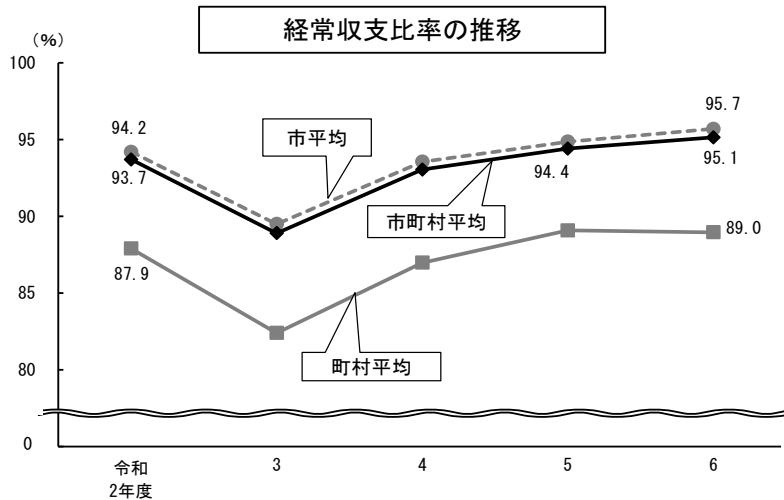
61 経常収支比率

順位	市町村	経常収支比率(%)
	全 県	95.1
1	三 郷 市	100.7
2	草 加 市	100.7
3	ふじみ野市	99.5
4	川越 市	99.1
5	新 座 市	98.7
6	川 口 市	98.5
7	さいたま市	98.4
8	朝 霞 市	97.6
9	上 里 町	96.6
10	春 日 部 市	95.8
11	入 間 市	95.6
12	所 沢 市	95.5
13	ときがわ町	95.3
14	上 尾 市	95.0
15	加 須 市	94.9
16	坂 戸 市	94.9
17	鴻 巣 市	94.8
18	本 庄 市	94.7
19	富 士 見 市	94.7
20	吉 川 市	94.6
21	東 松 山 市	94.6
22	志 木 市	94.1
23	鶴 ヶ 島 市	94.0
24	飯 能 市	94.0
25	幸 手 市	93.8
26	川 島 町	93.4
27	行 田 市	93.1
28	狭 山 市	92.7
29	日 高 市	92.7
30	宮 代 町	92.6
31	蕨 市	92.4
32	伊 奈 市	92.4
33	羽 生 市	92.4
34	鳩 山 町	92.1
35	和 光 市	92.0
36	北 本 市	92.0
37	滑 川 町	91.9
38	越 谷 市	91.8
39	蓮 田 市	91.5
40	桶 川 市	91.5
41	深 谷 市	91.5
42	白 岡 市	91.1
43	毛 呂 山 町	91.1
44	八 潮 市	91.0
45	杉 戸 町	90.8
46	越 生 市	90.5
47	小 鹿 野 町	90.4
48	久 喜 市	90.4
49	熊 谷 市	89.9
50	三 芳 町	89.6
51	秩 父 市	88.7
52	小 川 町	88.6
53	皆 野 町	86.5
54	戸 田 市	86.3
55	東 秩 父 市	85.9
56	吉 見 町	84.7
57	神 川 町	84.6
58	嵐 山 町	84.5
59	寄 居 町	84.0
60	美 里 町	82.8
61	横 瀬 町	81.3
62	横 瀬 町	79.0
63	長 瀨 町	78.5

■経常収支比率の市町村平均は、0.7ポイント上昇

県市町村課「令和6年度市町村普通会計決算の概要」によると、令和6年度の経常収支比率の市町村平均は95.1%でした。

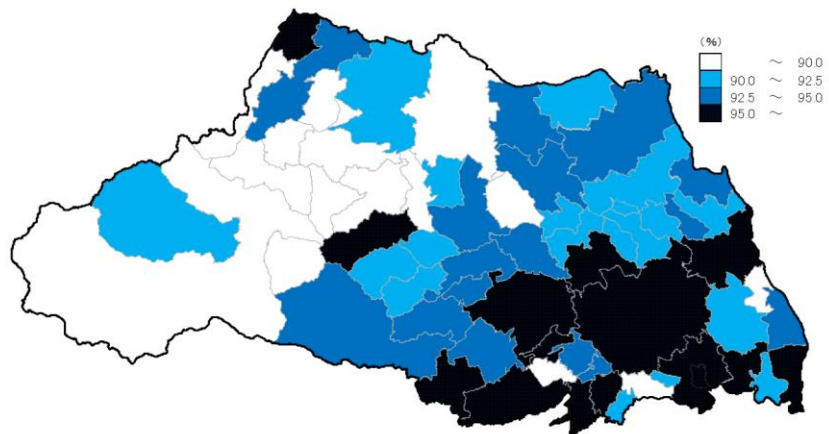
人件費、物件費などの経常経費充当一般財源が増加したことにより、経常収支比率の市町村平均は前年度(94.4%)と比べて0.7ポイント上昇しました。



注) 平均値は、加重平均

資料: 県市町村課「令和6年度市町村普通会計決算の概要」

経常収支比率の分布



●経常収支比率とは

人件費、扶助費、公債費などのように毎年度経常的に支出する経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)の総額と減収補てん債特例分及び臨時財政対策債の発行額の合計額に占める割合。

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す。

令和6年度

資料: 県市町村課「令和6年度市町村普通会計決算の概要」

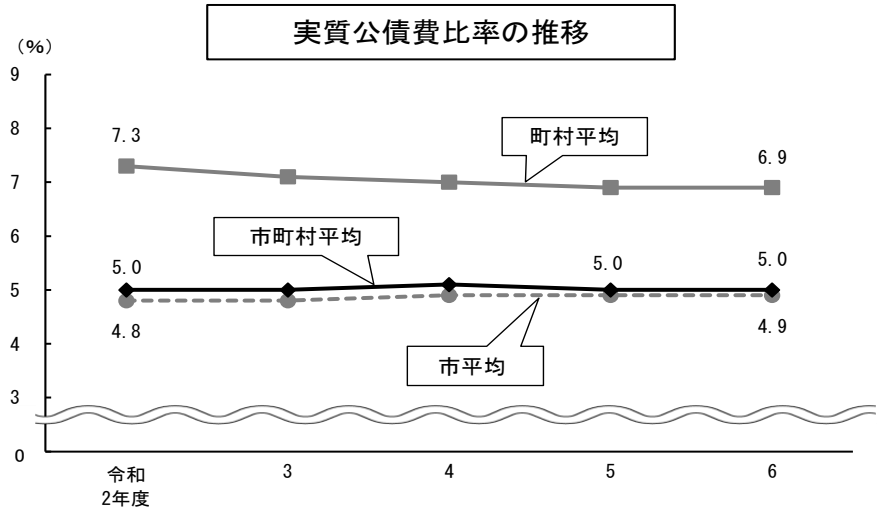
62 実質公債費比率

順位	市町村	実質公債費比率 (%)
	全 県	5.0
1	鳩 山 町	11.7
2	長 瀬 市	11.3
3	羽 生 市	10.4
4	三 芳 町	9.3
5	坂 戸 市	8.9
6	上 里 町	8.8
7	三 郷 市	8.5
7	嵐 山 町	8.5
7	小 鹿 野 町	8.5
10	毛 呂 山 町	8.2
11	戸 田 市	7.8
11	北 本 市	7.8
13	横 瀬 市	7.5
14	八 潮 市	7.2
14	滑 川 市	7.2
16	美 里 町	7.0
17	伊 奈 町	6.9
18	吉 川 市	6.7
19	川 越 市	6.4
19	和 光 市	6.4
19	越 生 町	6.4
19	杉 戸 町	6.4
23	松 伏 町	6.3
24	さいたま市	6.1
24	皆 野 町	6.1
26	新 座 市	5.8
27	狭 山 市	5.7
27	ときがわ町	5.7
29	加 須 市	5.6
29	日 高 市	5.6
29	吉 見 町	5.6
32	宮 代 町	5.5
33	草 加 市	5.4
34	桶 川 市	5.3
34	神 川 町	5.3
36	飯 能 市	5.2
36	越 谷 市	5.2
36	朝 霞 市	5.2
39	鶴ヶ島市	5.1
40	所 沢 市	5.0
40	上 尾 市	5.0
42	川 島 町	4.8
43	東 松 山 市	4.7
43	幸 手 市	4.7
45	小 川 町	4.6
46	久 喜 市	4.5
47	入 間 市	4.2
48	白 岡 市	4.1
49	本 庄 市	4.0
49	寄 居 町	4.0
51	鴻 巣 市	3.7
52	蓮 田 市	3.6
53	ふじみ野市	3.4
54	富 士 見 市	3.3
55	東 秩 父 村	3.2
56	秩 父 市	3.0
57	蕨 市	2.9
58	春 日 部 市	2.5
59	志 木 市	2.4
60	行 田 市	2.3
61	川 口 市	2.1
62	熊 谷 市	△ 0.8
63	深 谷 市	△ 1.5

■実質公債費比率の市町村平均は、5.0%

県市町村課「令和6年度市町村普通会計決算の概要」によると、令和6年度の実質公債費比率の市町村平均は5.0%でした。

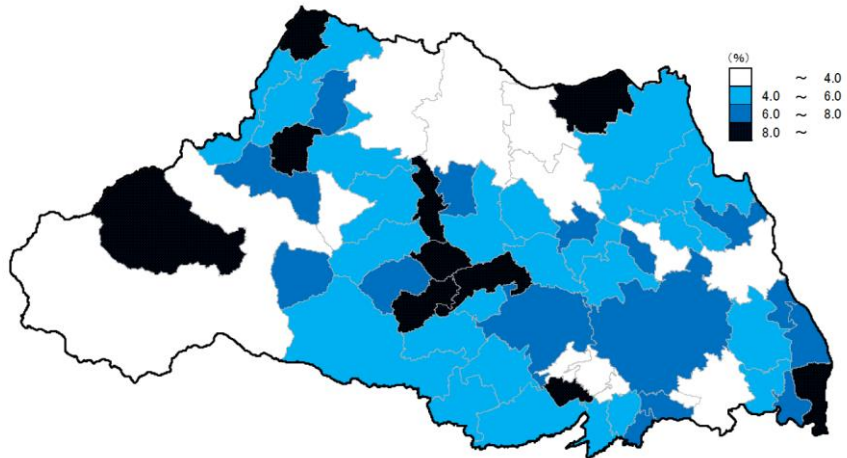
地方債の元利償還金やこれに準ずるものが減少し、標準財政規模が増加したものの、それぞれの増減が小さいことから、実質公債費比率の市町村平均は前年度と同じ5.0%となりました。



注) 平均値は、加重平均。

資料: 県市町村課「令和6年度市町村普通会計決算の概要」

実質公債費比率の分布



●実質公債費比率とは

地方債の償還金、公営企業会計や一部事務組合の地方債の償還財源として支出した繰出金や負担金など、一般会計等が実質的に負担した公債費の額が、標準財政規模に占める比率。

早期健全化基準は25%以上、財政再生基準は35%以上となっている。

令和6年度

資料: 県市町村課「令和6年度市町村普通会計決算の概要」 注) 実質公債費比率は、当該年度を含む前3か年平均の値。

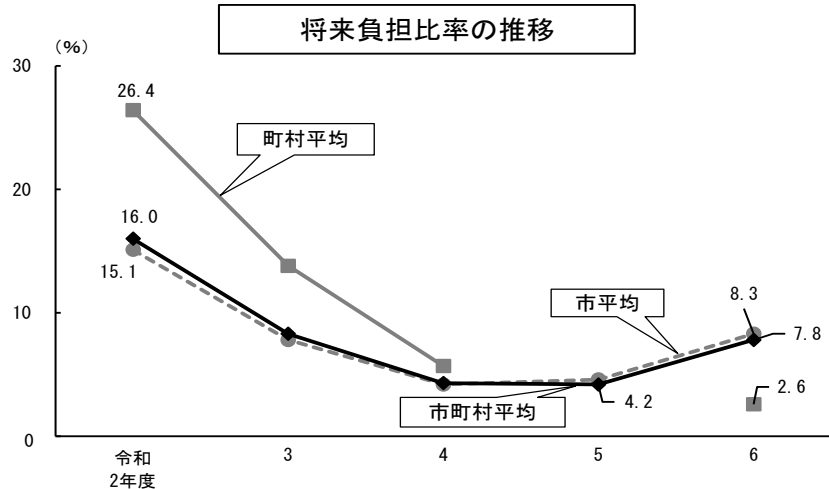
63 将来負担比率

順位	市町村	将来負担比率(%)
	全 県	7.8
1	鳩山町	71.3
2	八潮市	55.4
3	三郷市	51.2
4	川越市	48.3
5	羽生市	41.7
6	三芳町	39.0
7	横瀬町	37.2
8	和光市	35.7
9	春日部市	34.2
10	桶川市	31.5
11	草加市	30.2
12	小川町	27.0
13	毛呂山町	24.3
14	新座市	23.3
15	戸田市	23.1
16	寄居町	22.5
17	川口市	21.3
18	川島町	20.8
19	さいたま市	20.7
20	飯能市	19.5
21	嵐山町	18.4
22	東松山市	17.7
23	朝霞市	17.5
24	小鹿野町	14.0
25	幸手市	11.6
26	所沢市	9.1
27	滑川町	8.2
28	松伏町	8.0
29	狭山市	2.9
30	越谷市	1.3
30	坂戸市	1.3
32	入間市	0.6
33	吉見町	0.1
34	熊谷市	-
34	行田市	-
34	秩父市	-
34	加須市	-
34	本庄市	-
34	鴻巣市	-
34	深谷市	-
34	上尾市	-
34	蕨市	-
34	志木市	-
34	久喜市	-
34	北本市	-
34	富士見市	-
34	蓮田市	-
34	鶴ヶ島市	-
34	日高市	-
34	吉川市	-
34	ふじみ野市	-
34	白岡市	-
34	伊奈町	-
34	越生町	-
34	ときがわ町	-
34	皆野町	-
34	長瀬町	-
34	東秩父村	-
34	美里町	-
34	美神町	-
34	上里町	-
34	宮代町	-
34	杉戸町	-

■将来負担比率の市町村平均は、3.6ポイント上昇

県市町村課「令和6年度市町村普通会計決算の概要」によると、令和6年度の将来負担比率の市町村平均は7.8%でした。

地方債の現在高等の増加による将来負担額の増加や充当可能基金額の減少などにより分子が増加したことから、前年度(4.2%)と比べて3.6ポイント上昇しました。

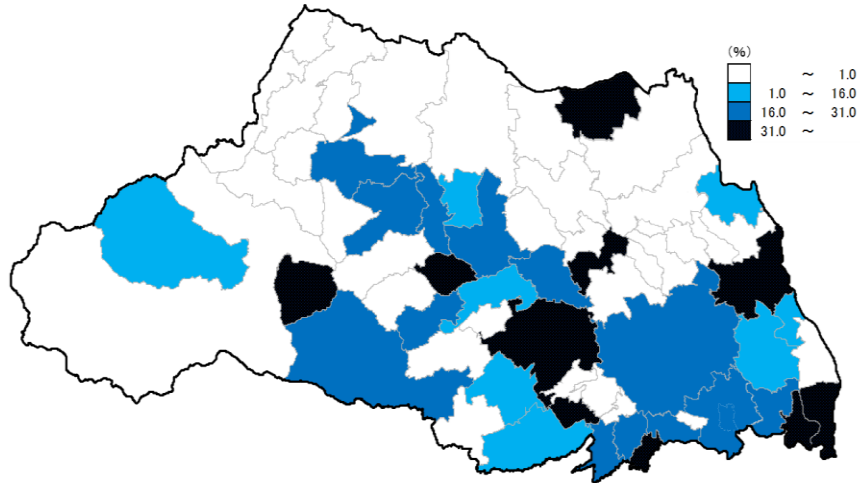


注) 平均値は加重平均。

注) 令和5年度の町村平均は、将来負担がない(充当可能財源が将来負担を超えている)。

資料: 県市町村課「令和6年度市町村普通会計決算の概要」

将来負担比率の分布



●将来負担比率とは

地方債残高、債務負担行為に基づく支出予定額など、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債(将来負担額)が標準財政規模の何倍あるかを示す比率。

早期健全化基準は350%(政令指定都市は400%)、財政再生基準は設けられていない。

令和6年度

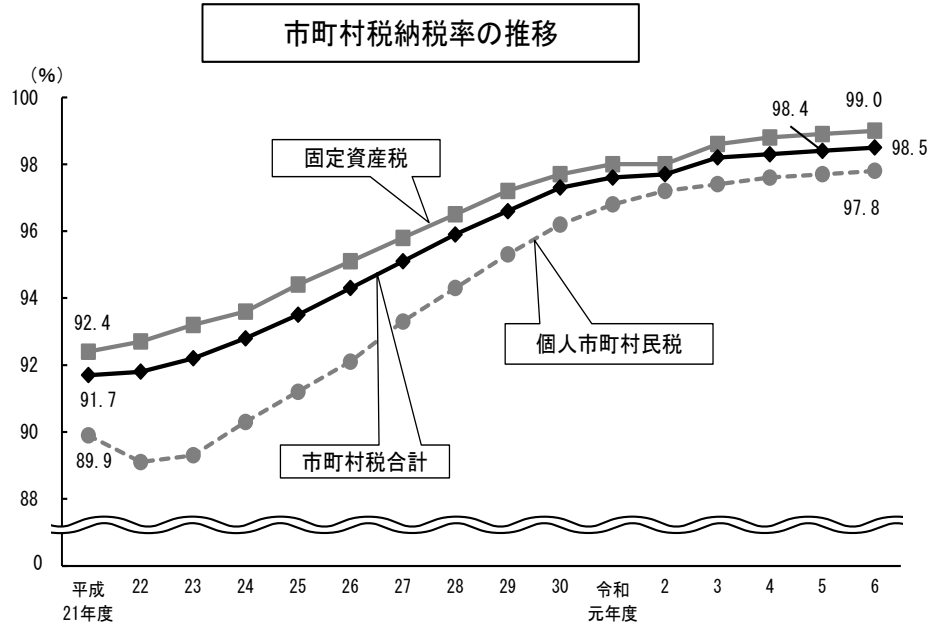
資料: 県市町村課「令和6年度市町村普通会計決算の概要」 注)「-」は、将来負担額がない場合。

64 市町村税納税率

順位	市町村	納税率 (%)	収入額 (百万円)
	全 県	98.5	1,229,459
1	東 秩 父 村	99.9	239
2	ふ じ み 野 市	99.5	17,518
3	志 木 市	99.3	11,514
4	三 芳 町	99.3	8,228
5	富 士 見 市	99.3	16,449
6	と き が わ 町	99.1	1,304
7	美 里 町	99.1	1,924
8	川 島 町	99.1	3,386
9	鴻 巣 市	99.0	15,157
10	上 尾 市	99.0	32,616
11	鶴 ヶ 島 市	98.9	10,301
12	小 鹿 野 町	98.9	1,151
13	神 川 町	98.9	1,828
14	羽 生 市	98.9	8,479
15	戸 田 市	98.8	30,886
16	熊 谷 市	98.8	30,449
17	桶 川 市	98.8	10,628
18	狭 山 市	98.8	22,063
19	新 座 市	98.8	25,716
20	本 庄 市	98.7	11,904
21	八 潮 市	98.7	18,498
22	伊 奈 町	98.7	6,021
23	東 松 山 市	98.7	13,790
24	さいたま市	98.7	291,479
25	蕨 市	98.7	12,440
26	吉 見 町	98.6	2,825
27	朝 霞 市	98.6	24,947
28	和 光 市	98.6	17,178
29	入 間 市	98.6	21,161
30	白 岡 市	98.6	7,333
31	飯 能 市	98.6	12,690
32	杉 戸 町	98.5	5,766
33	蓮 田 市	98.5	8,537
34	滑 川 町	98.5	3,307
35	宮 代 町	98.5	4,117
36	加 須 市	98.5	17,045
37	日 高 市	98.5	8,373
38	越 谷 市	98.5	51,068
39	所 沢 市	98.5	55,492
40	寄 居 町	98.4	5,184
41	三 郷 市	98.3	23,247
42	坂 戸 市	98.3	14,269
43	川 口 市	98.3	103,161
44	嵐 山 町	98.3	3,013
45	久 喜 市	98.3	23,564
46	深 谷 市	98.3	19,639
47	草 加 市	98.2	39,510
48	行 田 市	98.2	10,346
49	鳩 山 町	98.2	1,668
50	上 里 町	98.2	4,070
51	幸 手 市	98.1	6,745
52	秩 父 市	98.1	8,771
53	越 生 町	98.1	1,306
54	川 越 市	98.1	59,304
55	小 川 町	98.1	3,431
56	北 本 市	98.0	8,942
57	吉 川 市	98.0	10,198
58	毛 呂 山 町	98.0	3,670
59	春 日 部 市	97.8	29,330
60	松 伏 町	97.7	3,268
61	横 瀬 町	96.9	1,175
62	長 瀨 町	96.8	782
63	皆 野 町	96.8	1,059

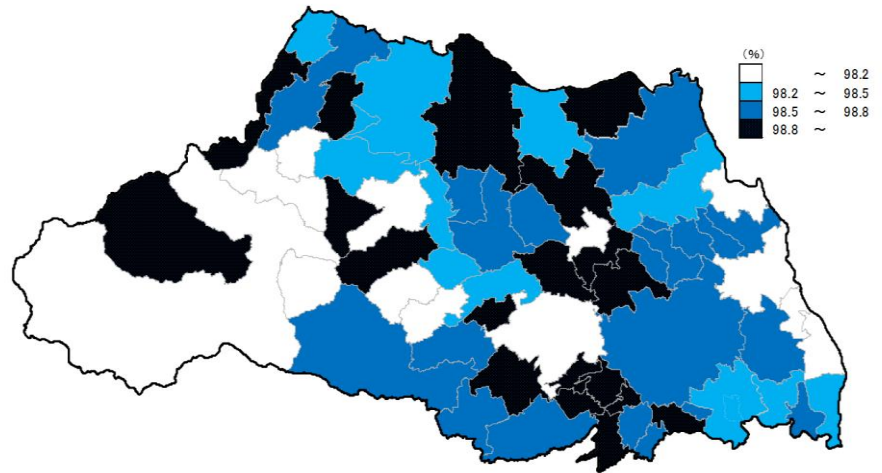
■市町村税合計の納税率は、0.1ポイント上昇

県市町村課「市町村普通会計決算の概要」によると、令和6年度の市町村税合計の納税率は98.5%で前年度の98.4%から0.1ポイント上昇しました。市町村税合計の納税率の推移は、平成22年度から15年連続で上昇しています。



資料：県市町村課「市町村普通会計決算の概要」

市町村税納税率の分布



●市町村税とは

個人市町村民税、法人市町村民税、固定資産税など、市町村の条例により課税される税。

※納税率とは、その年度に課税をした額のうち、実際に納付された額の割合。「収入額÷調定額×100」で算出。

令和6年度
資料：県市町村課「令和6年度市町村普通会計決算の概要」注)国民健康保険税は除く。

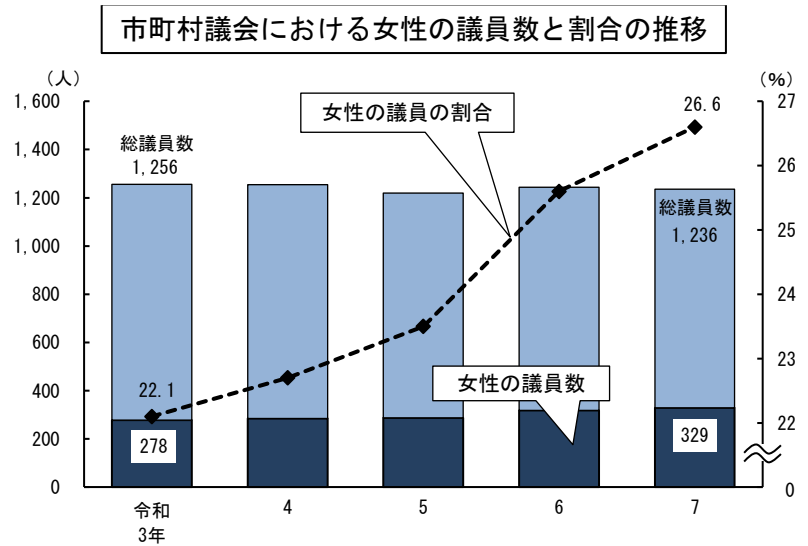
65 議会における女性の議員の割合

順位	市町村	割合 (%)	人数 (人)
	全 県	26.6	329
1	三 芳 町	53.3	8
2	新 座 市	46.2	12
3	桶 川 市	42.1	8
4	和 光 市	41.2	7
5	坂 戸 市	40.0	8
5	神 川 町	40.0	4
7	飯 能 市	37.5	6
8	上 尾 市	36.7	11
9	入 間 市	36.4	8
9	越 生 町	36.4	4
11	加 須 市	36.0	9
12	吉 見 町	35.7	5
12	宮 代 町	35.7	5
14	北 本 市	35.0	7
14	八 潮 市	35.0	7
16	朝 霞 市	34.8	8
17	蕨 市	33.3	6
17	久 喜 市	33.3	8
17	ふ じ 野 市	33.3	7
20	川 口 市	32.5	13
21	越 谷 市	31.3	10
22	川 越 市	30.6	11
23	所 沢 市	30.3	10
24	蓮 田 市	30.0	6
24	吉 川 市	30.0	6
26	鴻 巣 市	29.2	7
26	戸 田 市	29.2	7
26	三 郷 市	29.2	7
29	富 士 見 市	28.6	6
30	さいたま市	28.7	16
31	伊 奈 町	25.0	4
32	本 庄 市	23.8	5
32	東 松 山 市	23.8	5
34	嵐 山 町	23.1	3
35	狭 山 市	22.7	5
36	白 岡 市	22.2	4
37	春 日 部 市	20.7	6
38	幸 手 市	20.0	3
38	鳩 山 町	20.0	2
38	美 里 町	20.0	2
38	杉 戸 町	20.0	3
38	松 伏 町	20.0	3
43	日 高 市	18.8	3
43	寄 居 町	18.8	3
45	草 加 市	18.5	5
46	熊 谷 市	16.7	5
46	深 谷 市	16.7	4
46	鶴ヶ島市	16.7	3
46	ときがわ町	16.7	2
46	横 瀬 町	16.7	2
51	秩 父 市	15.8	3
52	川 島 町	15.4	2
53	羽 生 市	14.3	2
53	志 木 市	14.3	2
53	毛 呂 山 町	14.3	2
53	東 秩 父 村	14.3	1
57	小 川 町	12.5	2
58	長 瀬 町	11.1	1
59	行 田 市	10.0	2
60	皆 野 町	8.3	1
61	滑 川 町	7.1	1
61	上 里 町	7.1	1
63	小 鹿 野 町	-	-

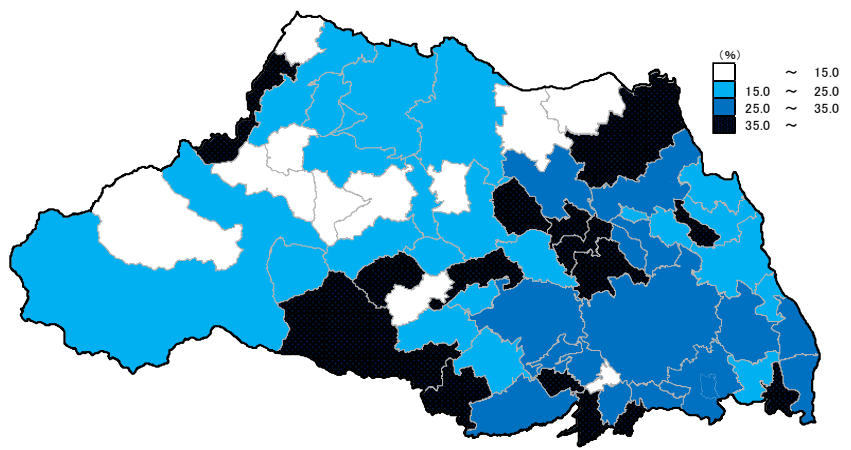
■市町村議会における女性の議員の割合は、26.6%

県人権・男女共同参画課「男女共同参画に関する年次報告」によると、令和7年4月1日現在、県内市町村議会における女性の議員の割合は26.6%でした。

女性の議員の割合は、三芳町(53.3%)、新座市(46.2%)、桶川市(42.1%)の順に高くなっています。



市町村議会における女性の議員の割合の分布



●議会における女性の議員の割合とは
県内市町村議会における総議員数のうち、女性の議員数の割合。

令和7年4月1日現在
資料: 県人権・男女共同参画課「令和7年度版男女共同参画に関する年次報告」
注) 全県は市町村議会の議員の数値であり、県議会の議員は含まない。

66 審議会等における女性の委員の割合

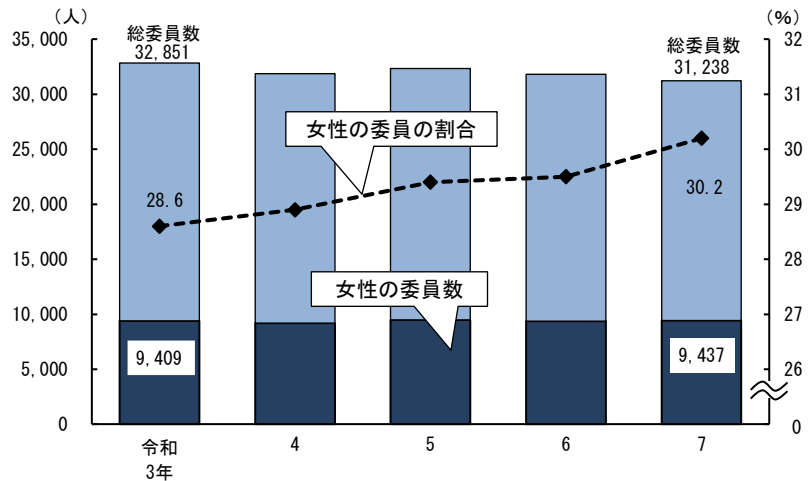
順位	市町村	割合 (%)	人数 (人)
	全 県	30.2	9,437
1	日 高 市	43.8	196
2	蕨 市	38.6	196
3	久 喜 市	38.5	255
4	蓮 田 市	37.9	141
5	新 座 市	37.2	241
6	鶴ヶ島 市	37.1	172
7	越 谷 市	35.4	421
8	ふじみ野 市	34.5	182
9	上 尾 市	34.3	237
10	さいたま 市	34.0	613
11	狭 山 市	33.8	197
12	入 間 市	33.2	262
13	八 潮 市	32.5	233
14	朝 霞 市	32.4	261
15	和 光 市	32.3	104
16	三 郷 市	32.3	152
17	加 須 市	32.2	157
18	加 神 川 町	31.9	44
19	小 川 町	31.1	88
20	富 士 見 市	31.1	155
21	川 越 市	30.9	303
22	草 加 市	30.7	166
23	所 沢 市	30.6	287
24	伊 奈 町	30.5	96
25	嵐 山 町	29.9	73
26	松 伏 町	29.9	64
27	戸 田 市	29.4	164
28	鴻 巣 市	29.2	228
29	上 本 町	29.1	75
30	北 本 市	29.0	134
31	三 芳 町	29.0	106
32	羽 生 市	29.0	205
33	行 田 市	28.9	151
34	桶 川 市	28.4	137
35	東 松 山 市	28.3	153
36	川 口 市	28.3	663
37	志 木 市	28.0	66
38	熊 谷 市	27.4	151
39	吉 見 町	27.0	40
40	越 生 町	26.9	29
41	飯 能 市	26.8	137
42	深 谷 市	26.7	151
43	幸 手 市	26.6	99
44	坂 戸 市	26.5	122
45	川 島 町	26.0	46
46	白 岡 市	25.4	66
47	吉 川 市	25.3	93
48	杉 戸 町	25.2	82
49	宮 代 町	25.1	94
50	毛 呂 山 町	24.7	54
51	春 日 部 市	24.2	93
52	長 瀬 町	24.0	55
53	本 庄 市	23.7	127
54	滑 川 町	22.8	63
55	ときがわ 町	22.8	34
56	鳩 山 町	21.7	67
57	横 瀬 町	20.5	40
58	秩 父 市	19.7	80
59	小 鹿 野 町	18.4	29
60	東 秩 父 村	18.3	36
61	皆 野 町	17.8	28
62	美 里 町	16.4	43
63	寄 居 町	16.4	39
※	広 域 圏	40.1	161

■市町村審議会等における女性の委員の割合は、30.2%

県人権・男女共同参画課「男女共同参画に関する年次報告」によると、令和7年4月1日現在、県内市町村審議会等における女性の委員の割合は30.2%でした。

女性の委員の割合が高いのは、日高市(43.8%)、蕨市(38.6%)、久喜市(38.5%)となっています。

市町村審議会等における女性の委員数と割合の推移

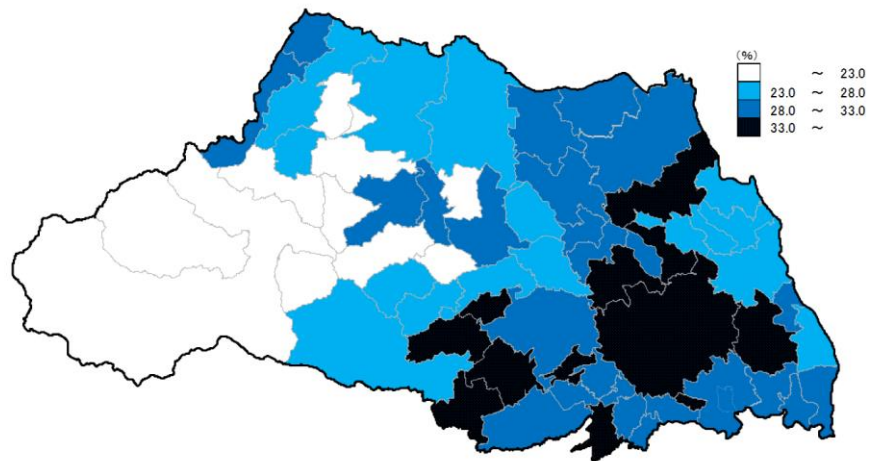


注1) 各年4月1日現在(各市町村の事情により異なる場合がある。)

2) 広域圏で設置している審議会等の数値を含む。

資料: 県人権・男女共同参画課「男女共同参画に関する年次報告」

市町村審議会等における女性の委員の割合の分布



注) 広域圏で設置している審議会等の委員数は除いた割合。

●審議会等における女性の委員の割合とは

県内市町村審議会等及び委員会等における総委員数のうち、女性の委員数の割合。

令和7年4月1日現在(各市町村の事情により異なる場合がある。)

資料: 県人権・男女共同参画課「令和7年度版男女共同参画に関する年次報告」

注) 全県は市町村及び広域圏で設置している審議会等の数値であり、県設置の審議会等は含まない。

統計からみた埼玉縣市町村のすがた 2026

令和8年6月

編集 埼玉県総務部統計課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-2330 (ダイヤルイン)